令 和 4 年 度

植 物 防 疫 年 報

三 重 県 病 害 虫 防 除 所

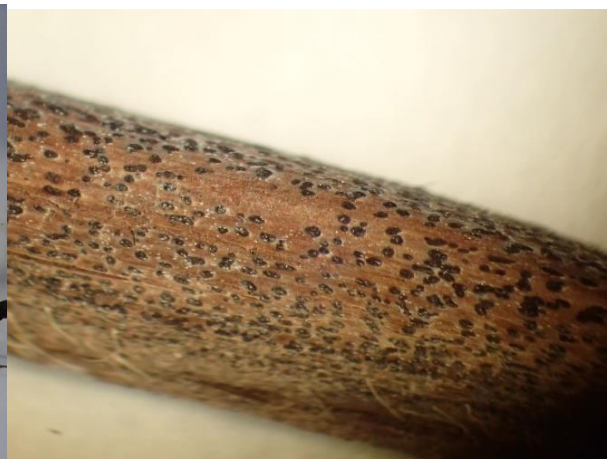
三重県内で新たに発生がみられた病害虫

オリーブ立枯病

（病害虫発生特殊報第 1 号、令和 4 年 4 月 27 日発表）

サツマイモ基腐病

（病害虫発生特殊報第 2 号、令和 4 年 12 月 23 日発表）



目　　次

Ⅰ　病害虫防除所の組織と業務 …… 1
1. 病害虫防除所の業務内容 …… 1
2. 病害虫防除所の組織図 …… 1
Ⅱ　病害虫防除員の設置及び活動状況 …… 4
1. 病害虫防除員の配置 …… 4
2. 病害虫防除員の活動状況 …… 5
Ⅲ　病害虫発生予察に関する業務 …… 6
1. 病害虫発生予察の対象作物及び有害動植物 …… 6
（1）指定有害動植物名 …… 6
（2）指定外有害動植物名 …… 7
2. 病害虫発生予察の調査圃場 …… 8
（1）県予察圃場 …… 8
（2）予察灯・トラップ …… 8
（3）その他の調査圃場 …… 8
（4）ミバエ類等侵入警戒調査圃場 …… 11
（5）火傷病侵入警戒調査圃場 …… 11
（6）調査地点図 …… 12
3. 作物別の病害虫発生状況 …… 13
（1）水稲 …… 13
（2）麦類 …… 17
（3）大豆 …… 18
（4）果樹 …… 20
（5）茶 …… 25
（6）野菜 …… 27
（7）全作物一覧 …… 28
4. 病害虫の発生面積と防除面積 …… 32
5. 発行された予察情報 …… 34
（1）発生予察情報の一覧 …… 34
（2）予報 …… 35
（3）注意報 …… 84
（4）特殊報 …… 84
（5）技術情報 …… 86
Ⅳ　事業関係の試験成績 …… 93
1. 診断対策 …… 93
（1）灰色かび病の薬剤感受性検定 …… 93

（2）ミカンハダニの薬剤感受性検定 …… 96
Ⅴ　農薬の指導に関する業務 …… 98
1. 農薬危害防止対策 …… 98
（1）農薬危害防止運動の実施 …… 98
（2）農薬安全使用講習会の開催状況 …… 98
（3）ゴルフ場の調査点検実施状況 …… 99
（4）ゴルフ場におけるコガネムシ類発生状況 …… 100
2. 無人航空機による空中散布の実施状況 …… 101
Ⅵ　各種データ …… 102
1. トラップ等データ …… 102
（1）予察灯 …… 102
（2）フェロモントラップ …… 115
（3）ウメ輪紋ウイルス（PPV）に関する調査 …… 118
（4）キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統に関する調査 …… 118
（5）ミバエ類等侵入警戒調査 …… 119
（6）火傷病侵入警戒調査 …… 120
2. 巡回等データ …… 121
（1）水稲 …… 121
（2）麦類 …… 135
（3）大豆 …… 136
（4）果樹 …… 139
（5）茶 …… 164
（6）野菜 …… 173
3. 気象データ …… 187
（1）気象概況 …… 187
（2）旬別気象表 …… 188
（3）気象グラフ …… 189

Ⅰ　病害虫防除所の組織と業務

1. 病害虫防除所の業務内容

植物防疫法関係	発生予察業務	病害虫発生予察事業に関すること 病害虫発生予察情報の発行に関すること
	防除指導業務	病害虫防除の企画・調査・指導に関すること 病害虫防除員に関すること 航空防除に関すること
農薬取締法関係	農薬安全対策業務	農薬適正使用啓発・登録情報に関すること 農薬使用者・取扱者の指導・取締に関すること ゴルフ場の農薬安全使用指導等に関すること 農薬管理指導士に関すること

2. 病害虫防除所の組織図

(1)事務の体制

所　長	副所長	主　幹	主　査	病害虫発生予察支援員
1名	1名	2名	3名	1名

発生予察従事職員

農業研究所	農産物安全安心研究課	1名
	茶業研究課	1名
	伊賀農業研究課	1名
	紀南果樹研究課	1名

(2)発生予察の体制

所外からの情報　→　病害虫防除所　→　情報の発信

ア. 調査依頼

発生予察従事職員

・農業研究所　4 人

病害虫防除員

・市町　31 人

・共済　6 人

・広域　6 人

1 法人

予察灯調査委託

・県予察灯　2 人

ア. 調査・研究

・県予察圃場

・地区予察圃場

・巡回調査圃場

・侵入警戒調査圃場

イ. 検討

・所内検討会

・三重県病害虫発生予察警報発令検討会等

イ. 情報検討

病害虫発生予察情報会議

・農産物安全・流通課

・病害虫防除所

・中央・地域農業改良普及センター

・農業研究所

・農業共済組合・その他関係機関

ウ. 情報交換

植物防疫関係諸会議

・農林水産省関連

・日本植物防疫協会(JPP)関連

予察用の主な機器類　(　)は導入年度

・予察灯　6台(H16、21、22、23、24、28)

・人工気象器　1台(H7)

・定温恒温器　1台(H30)

・光学顕微鏡　1台(S61)

・実体顕微鏡　2台(S61、R2)

・乾燥器　1台(S61)

ア. 情報提供先等

	県内					県外	
	農業者	防除員	農業団体	市町	県機関	国機関	他県
予　報	ADE	AB	AB	A	A	A C	C
技術情報	E	AB	AB	A	A	A C	C
報　告						A C	

イ. 情報の内容

予　報:発生予報、注意報、警報、特殊報

技術情報:防除に関する情報

報　告:現況報告、年次報告

ウ. 発信の方法

A:e メール、ファックス

B:郵送、運搬

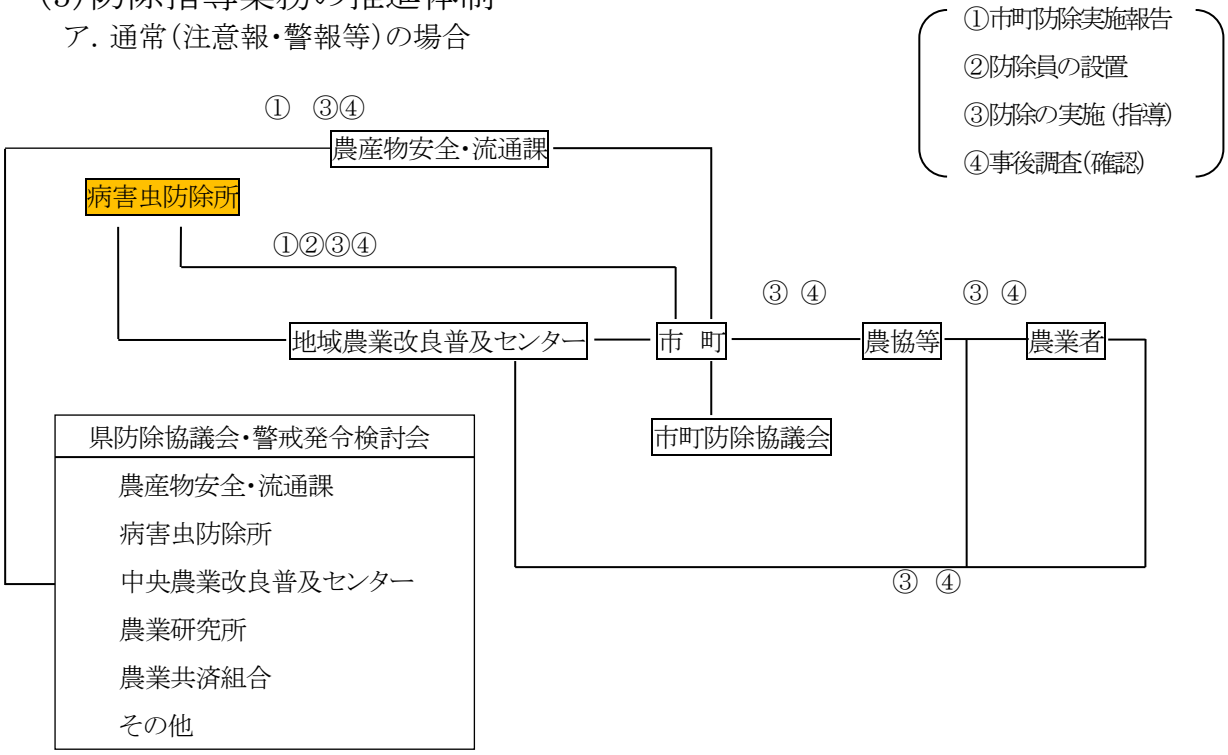
C:JPP-NET(植物防疫情報総合ネットワーク)および発生予察集計プログラム(農林水産省)

D:報道機関(農産物安全・流通課・病害虫防除所)

E:ホームページ

(3)防除指導業務の推進体制

ア. 通常(注意報・警報等)の場合

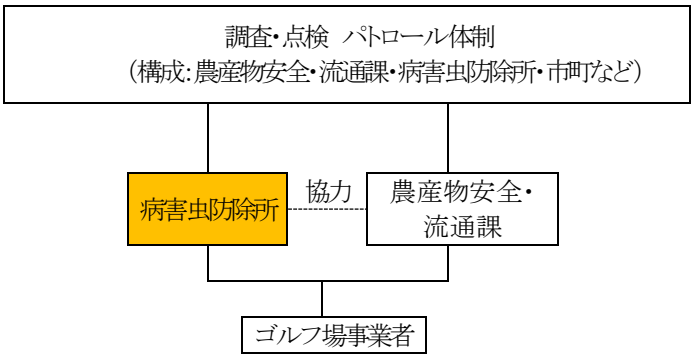


イ. 緊急(緊急防除・防除勧告)の場合

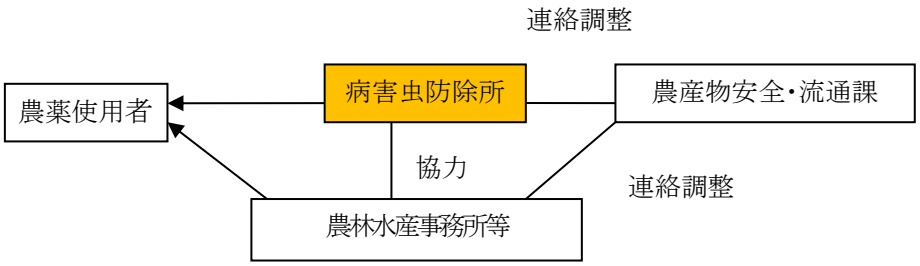
国から植物防疫法第17条による緊急防除(侵入病害虫など)や第30条による防除勧告(防除が未実施・不適切など)を受けた場合、農産物安全・流通課は「三重県緊急防除対策会議」を組織し、速やかに防除を実施する。

(4)農薬安全対策の推進

ア. ゴルフ場の農薬安全対策



イ. 農薬使用者の監視指導



Ⅱ　病害虫防除員の設置及び活動状況

1. 病害虫防除員の配置

(1)配置状況(所属別地域別配置人数)

地区	市町	農業共済組合等	広域	合計
桑名	4	1	1(法人)	6
四日市鈴鹿	8		2(うち法人 1)	11
津	1	1	1	3
松阪	4	1	1	6
伊勢志摩	7	1	1	9
伊賀	2	1	1	4
紀州	5	1	1	7
合計	31	6	7(うち法人 1)	44(うち法人 1)

(2)病害虫防除員所属

①市町関係(29 市町、31 名)

市町名	所　属	市町名	所　属
桑名市	農林水産課	伊勢市	農林水産課
いなべ市	農林課	玉城町	産業振興課
木曽岬町	産業課	南伊勢町	水産農林課
東員町	産業課	大紀町	農林課
四日市市	農水振興課	度会町	産業振興課
菰野町	観光産業課	鳥羽市	農水商工課
朝日町	産業建設課	志摩市	農林課
川越町	産業建設課	伊賀市	農林振興課
鈴鹿市	農林水産課	名張市	農林資源室
亀山市	産業振興課	尾鷲市	水産農林課
津市	農林水産政策課	紀北町	農林水産課
松阪市	農水振興課	熊野市	農業振興課
明和町	農水商工課	御浜町	農林水産課
多気町	農林商工課	紀宝町	産業建設課
大台町	産業課		

②農業共済組合(6 名)

組合名
三重県農業共済組合　北勢支所
三重県農業共済組合　本所
三重県農業共済組合　松阪飯多支所
三重県農業共済組合　伊勢地域支所
三重県農業共済組合　伊賀名張支所
三重県農業共済組合　東紀州支所

③広域関係（6 名および 1 法人）

担当地域名	氏名
桑員地域	三重北農業協同組合
三泗地域	三重北農業協同組合
鈴亀地域	平野　三男
津市地域	鈴木　功
松阪飯多地域	小林　雅彦
伊勢地域	福井　敏
伊賀地域	松尾　眞澄
東紀州地域	菊山　竜二

2. 病害虫防除員の活動状況

(1) 主な活動内容

①防除指導

水稲等の共同・空中防除の打ち合わせや薬剤散布に必要に応じて立ち会い、適切な広報活動及び防除指導を行った。また、病害虫防除所から発表された予報・注意報等の病害虫発生予察情報の広報を適宜行った。

②病害虫発生状況調査

管内の巡回調査を行い、水稲、麦、大豆、野菜等の病害虫発生状況の把握に努めた。また、広域病害虫防除員は担当地域の巡回調査で農家に対して聞き取り調査を行った。

③農薬安全使用指導

広報誌への掲載、市町ホームページでの告知等を通じて農薬の適正使用の啓発に努めた。

④関係機関との打ち合わせ

共同防除、空中防除、防除暦作成等のため、JAや農業共済、農業改良普及センター等と適宜連携を図った。

⑤講習会・協議会

病害虫防除所が主催した植物防疫技術研修会等に参加し、最新の技術と情報の収集に努めた。

(2) 活動実績

（一人当たり平均、単位：時間）

防除指導	病害虫発生状況調査	農薬安全使用指導	関係機関との打ち合わせ	講習会協議会	その他	合計
6.5	29.9	0.4	2.2	3.6	2.1	44.3

Ⅲ 病害虫発生予察に関する業務

1. 病害虫発生予察の対象作物及び有害動植物

(1)指定有害動植物名(植物防疫法 22 条) (延 108 種)

区　　分	作物名	対　象　病　害　虫　名
普通作物	イ　ネ	いもち病、紋枯病、稲こうじ病、縞葉枯病、ばか苗病、もみ枯細菌病、斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、イネカメムシ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、ホソハリカメムシ、ミナミアオカメムシ)、イネミズゾウムシ、ツマグロヨコバイ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ニカメイガ、コブノメイガ、フタオビコヤガ
	コムギ	うどんこ病、赤かび病
	ダイズ	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、吸実性カメムシ類(アオクサカメムシ、イチモンジカメムシ、ブチヒゲカメムシ、ホソヘリカメムシ、ミナミアオカメムシ)
果　　樹	カンキツ	そうか病、黒点病、かいよう病、ハダニ類（ミカンハダニ）、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アブラムシ類（ミカンクロアブラムシ、ユキヤナギアブラムシ、ワタアブラムシ）
	カ　キ	炭疽病、カキノヘタムシガ、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アザミウマ類（カキクダアザミウマ）、カイガラムシ類（クワコナカイガラムシ）
	ナ　シ	黒星病、シンクイムシ類(ナシヒメシンクイ)、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、ハダニ類(カンザワハダニ、ナミハダニ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アブラムシ類（ナシノアブラムシ、ナシミドリオオアブラムシ、モモアカアブラムシ）
	ブドウ	べと病、晩腐病
茶	チ　ャ	炭疽病、ハダニ類（カンザワハダニ）、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、チャノホソガ
野　　菜	トマト	疫病、灰色かび病、葉かび病、アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ)、ハスモンヨトウ、コナジラミ類（オンシツコナジラミ、タバココナジラミ）、オオタバコガ
	ハクサイ	アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ)、コナガ、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、オオタバコガ
	キャベツ	黒腐病、菌核病、コナガ、アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ、ダイコンアブラムシ)、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、オオタバコガ
	ネ　ギ	さび病、黒斑病、べと病、アブラムシ類(ネギアブラムシ)、アザミウマ類（ネギアザミウマ）、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ
	イチゴ	灰色かび病、うどんこ病、炭疽病、アブラムシ類(ワタアブラムシ)、ハスモンヨトウ、アザミウマ類、ハダニ類（カンザワハダニ、ナミハダニ）、オオタバコガ

(2)指定外有害動植物名(植物防疫法第31条) (延65種)

区　　分	作物名	対　象　病　害　虫　名
普通作物	イ　ネ	白葉枯病、苗立枯病、萎縮病、イネドロオイムシ、イネクロカメムシ、イチモンジセセリ、アワヨトウ、イナゴ類、イネシンガレセンチュウ、スクミリンゴカイ、イネゾウムシ、ササキリ類
	コムギ	さび病、縞萎縮病、黒穂病、黒節病、ムギアカタマバエ、アブラムシ類
	ダイズ	紫斑病、コガネムシ類(マメコガネ、ヒメコガネ、ドウガネブイブイ)、シロイチモジマダラメイガ
果　樹	カンキツ	褐色腐敗病、ヤノネカイガラムシ、チャノキイロアザミウマ、ミカンハモグリガ、アカマルカイガラムシ、ハマキムシ類（チャハマキ、チャノコカクモンハマキ）
	カ　キ	うどんこ病
	ナ　シ	赤星病、うどんこ病
	ブドウ	黒とう病、チャノキイロアザミウマ、ハダニ類
	ウ　メ	黒星病、かいよう病、アブラムシ類、ウメシロカイガラムシ
茶	チ　ャ	もち病、輪斑病、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、ツマグロアオカスミカメ、クワシロカイガラムシ、ヨモギエダシャク
野　菜	トマト	黄化葉巻病、ハモグリバエ類、すすかび病、タバコガ類（オオタバコガを除く）
	ハクサイ	軟腐病、白斑病、べと病、モンシロチョウ、タバコガ類（オオタバコガを除く）
	キャベツ	根こぶ病、モンシロチョウ、タバコガ類（オオタバコガを除く）
	ネ　ギ	黒斑病、ネギハモグリバエ、ネギコガ、ヨトウムシ類
	イチゴ	萎黄病、コナジラミ類

2. 病害虫発生予察の調査圃場

農作物の栽培地帯における病害虫の発生及び被害を的確に予想し、その地帯の防除作業の実施に寄与するために、県予察圃場、地区予察圃場、巡回調査圃場、侵入調査圃場を設置し、調査を実施する。

(1) 県予察圃場 (3 地点 7 圃場)

作目	設置場所	設置数	備考
イネ	農業研究所	1	コシヒカリ
カンキツ	紀南果樹研究室	1	紀南果樹研究課担当
チャ	茶業・花植木研究室	1	茶業研究課担当
秋冬ハクサイ	農業研究所	1	
冬キャベツ、春キャベツ	〃	2	
ネギ	〃	1	

(2) 予察灯・トラップ (8 地点 23 箇所)

作目	設置場所	設置数	備考
予察灯	農業研究所	2	イネ、畑作物
	紀南果樹研究室	1	カンキツ
	伊賀農業研究室	1	イネ
	紀北町島原	1	イネ
	御浜町神木	1	イネ
フェロモントラップ	農業研究所	14	ニカメイガ(水田)、ハスモンヨトウ(畑)、コナガ(畑)、ネギコガ(畑)、チャノコカクモンハマキ(ナシ園)、チャハマキ(ナシ園)、ナシヒメシンクイ(ナシ園)、シロイチモジヨトウ(畑)、オオタバコガ(畑)、チャバネアオカメムシ、ヒメコガネ、マメコガネ、ドウガネブイブイ、トマトキバガ(場内)
	林業研究所	2	チャバネアオカメムシ(場内・山林内)
	多気町矢田	1	チャバネアオカメムシ

(3) その他の調査圃場 (地区予察圃場 41 地点 41 圃場、巡回圃場 147 地点 370 圃場) 地点数は重複有り

県予察圃場の他に、地区予察圃場と巡回調査圃場で調査を行っている。

地区予察圃場は、農作物の中心地帯に農作物の種類ごとに設置した。この圃場における調査は、その地帯における病害虫の発生状況を把握するとともに、病害虫の発生に関与する各種の条件がどのように影響したかを検討する資料を得るために行なう。

巡回調査圃場は、病害虫の発生が類似した地点ごとに任意に抽出した圃場、あるいは地帯区分せずに系統抽出等によって抽出した圃場について定量的観察を行うとともに、管内を巡回して定性的観察を行うために設置する。以下の表中で、地区予察圃場の地名は太字で示してある。

① イネ 60 地点 240 圃場（地区予察圃場 19 地点 19 圃場＝19 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 60 地点 221 圃場＝41 地点各 4 圃場＋地区予察圃場 19 地点併置の各 3 圃場）

地区	設置場所
桑名	**いなべ市北勢町阿下喜** いなべ市大安町高柳、いなべ市藤原町川合、桑名市坂井、桑名市長島町平方、東員町瀬古泉、木曽岬町小林、桑名市上深谷部（普通期）
四日市鈴鹿	**菰野町千草、亀山市山下町、四日市市下海老町、鈴鹿市矢橋町、鈴鹿市御薗町** 四日市市山田町、四日市市水沢野田町、四日市市茂福、亀山市太森町、鈴鹿市石薬師町、菰野町潤田（普通期）、鈴鹿市地子町（普通期）
津	**津市安濃町草生、津市安東町、津市一志町井生** 津市芸濃町北神山、津市雲出本郷町、津市美里町家所、津市戸木町、津市白山町川口、一志町高野（普通期）
松阪	**松阪市美濃田町、多気町兄国、明和町坂本** 松阪市嬉野下之庄町、松阪市藤之木町、松阪市清水町、松阪市西黒部町、多気町朝柄、明和町明星、松阪市嬉野新屋庄町（普通期）
伊勢志摩	**伊勢市円座町、玉城町蚊野、志摩市磯部町下之郷** 伊勢市上地町、伊勢市西豊浜町、伊勢市楠部町、度会町牧戸、鳥羽市松尾町、南伊勢町泉、伊勢市小俣町（普通期）
伊賀	**伊賀市大野木、伊賀市甲野** 伊賀市羽根、伊賀市岡田、伊賀市中柘植、伊賀市馬田、名張市東田原
紀州	**紀北町島原、熊野市飛鳥町** 御浜町下市木、紀宝町大里

② 4年産コムギ 9 地点 36 圃場（巡回調査圃場 9 地点 36 圃場＝9 地点各 4 圃場）

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	いなべ市大安町片樋	松阪	松阪市藤之木町、多気町兄国
四日市鈴鹿	菰野町竹成、鈴鹿市下大久保町	伊勢志摩	伊勢市西豊浜町
津	津市殿村	伊賀	伊賀市西之澤、伊賀市畑村

③ ダイズ 8 地点 32 圃場（巡回調査圃場 8 地点 32 圃場＝8 地点各 4 圃場）

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	いなべ市大安町大井田	松阪	松阪市藤之木町、松阪市六根町
四日市鈴鹿	菰野町竹成、鈴鹿市下大久保町	伊賀	伊賀市木興町、伊賀市千戸
津	津市白山町川口		

④ カンキツ 13 地点 13 圃場（地区予察圃場 2 地点 2 圃場＝2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 11 地点 11 圃場＝11 地点各 1 圃場）　表中の（数字）は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	桑名市多度町小山（1）	伊勢志摩	**南伊勢町船越**（1）、五ヶ所浦（1）、泉（1）
津	津市大里窪田町（1）	紀州	紀北町道瀬（1）、熊野市久生屋町（1）、御浜町下市木（1）・阿田和（1）・中立（1）、紀宝町大里（1）
松阪	**多気町五桂**（1）、松阪市小阿坂町（1）		

⑤ カキ 2 地点 4 圃場（地区予察圃場 2 地点 2 圃場＝2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 2 地点 2 圃場＝地区予察圃場 2 地点併置の各 1 圃場）　表中の（数字）は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
松阪	**松阪市嬉野川北町**（2）	伊勢志摩	**玉城町蚊野**（2）

⑥ ナシ 6 地点 7 圃場（地区予察圃場 3 地点 3 圃場＝3 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 3 地点 4 圃場＝2 地点各 1 圃場＋1 地点 2 圃場）　表中の（数字）は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
四日市鈴鹿	四日市市下海老町（1）	伊勢志摩	**玉城町富岡**（1）
津	**津市久居小野辺町**（1）、**津市香良洲町**（1）	伊賀	伊賀市羽根（2）
松阪	松阪市嬉野川北町（1）		

⑦ ブドウ 5 地点 8 圃場（地区予察圃場 2 地点 2 圃場＝2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 5 地点 6 圃場＝3 地点各 1 圃場+1 地点 2 圃場＋地区予察圃場 1 地点併置の 1 圃場）　表中の（数字）は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
津	津市久居明神町（1）	伊賀	**伊賀市森寺**（2）、**伊賀市上之庄**（2）、名張市下小波田（2）
伊勢志摩	玉城町勝田（1）		

⑧ ウメ 4 地点 4 圃場（巡回調査圃場 4 地点 4 圃場＝4 地点各 1 圃場）

地区	設置場所	地区	設置場所
津	津市片田田中町	紀州	御浜町中立、御浜町上市木
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦		

⑨ チャ 6 地点 18 圃場（地区予察圃場 3 地点 3 圃場＝3 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 6 地点 15 圃場＝2 地点各 3 圃場＋1 地点 2 圃場＋地区予察圃場 3 地点併置の 7 圃場）　表中の（数字）は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
四日市鈴鹿	**四日市市水沢町**（3）、**鈴鹿市山本町**（4）、亀山市太森町（3）	伊勢志摩	度会町牧戸（2）
松阪	**大台町栃原**（3） 松阪市飯南町粥見（3）		

⑩ 野菜 46 地点 53 圃場 （地区予察圃場 10 地点 10 圃場、巡回調査圃場 37 地点 43 圃場）

表中の（数字）は圃場数

野菜名	地区	設置場所	地区予察圃場	巡回調査圃場
冬春トマト	桑名 四日市鈴鹿 松阪 伊勢志摩	木曽岬町和泉（1）、**木曽岬町源緑輪中**（1）、桑名市長島町（1） 四日市市貝家町（1） 松阪市嬉野一志町（1）、明和町佐田（1） 伊勢市小俣町相合（1）	1 地点 1 圃場	6 地点 6 圃場
冬ハクサイ	四日市鈴鹿 津 松阪	**四日市市水沢町**（2）、四日市市下海老町（1）、四日市市平尾町（1）、**鈴鹿市山本町**（2） 津市一志町（2） 多気町丹生（1）、明和町金剛坂（1）	2 地点 2 圃場	6 地点 8 圃場
冬キャベツ	四日市鈴鹿 津 松阪 伊勢志摩	**四日市市平尾町**（1）、四日市市下海老町（1）、菰野町菰野（1）、鈴鹿市国府町（2） **津市芸濃町椋本**（1）、津市河辺町（1）、津市久居野口町（1）、津市新家町（1） 松阪市嬉野算所町（1） 玉城町岡出（1）	3 地点 3 圃場	11 地点 14 圃場
春キャベツ	四日市鈴鹿 津	四日市市水沢町（1）、四日市市赤水町（1） **津市川方町**（2）、津市新家町（2）		
青ネギ	松阪 伊勢	松阪市柿木原町（1） **伊勢市東豊浜町**（1）、伊勢市小俣町（2）	1 地点 1 圃場	2 地点 3 圃場
白ネギ	鈴鹿 松阪	**鈴鹿市深溝町**（1）、鈴鹿市長澤町（1） 明和町佐田（1）、多気町三疋田（1）	1 地点 1 圃場	3 地点 3 圃場
冬春イチゴ	津 松阪 伊勢志摩	津市芸濃町椋本（1）、津市雲出長常町（1） **松阪市藤之木町**（1）、松阪市曽原町（1）、松阪市嬉野権現前町（1）、松阪市新開町（1） 玉城町勝田（1）、玉城町岩出（1）、伊勢市小俣町相合（1）、伊勢市二見町（1）、**志摩市磯部町栗木広**（1）	2 地点 2 圃場	9 地点 9 圃場

（4）ミバエ類等侵入警戒調査圃場（6 地点）

果樹等に多大の被害をもたらすミバエ類の侵入警戒のために誘引トラップを設置する（4～10 月）。

地区	設置場所	ウリミバエ・ミカンコミバエ種群（ユーゲルア D8）	チチュウカイミバエ（メドフライコール）
桑名	桑名市多度町小山	○	○
津	津市大里窪田町	○	○
松阪	多気町五桂	○	○
伊勢志摩	南伊勢町船越	○	○
紀州	紀北町道瀬	○	○
	御浜町志原（紀南果樹研究室）	○	○

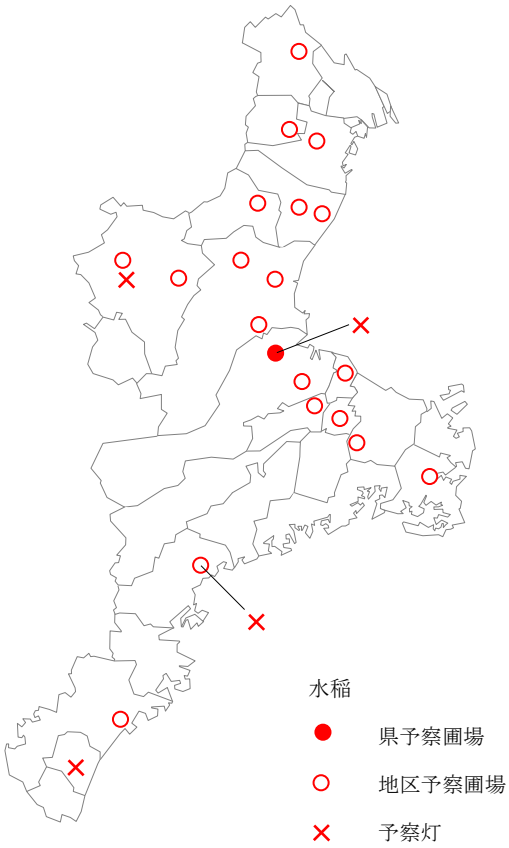
（5）火傷病侵入警戒調査圃場（7 地点）

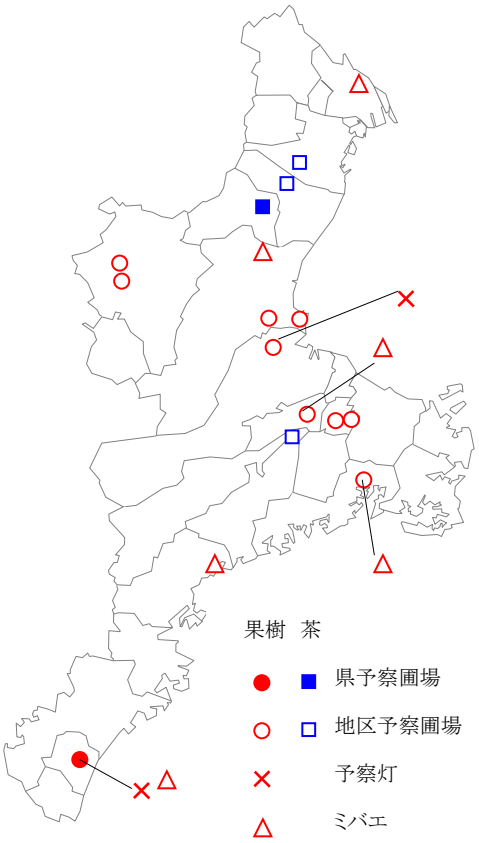
寒冷地のリンゴ等に多大の被害をもたらす火傷病の侵入警戒のために巡回調査を実施する（4～9 月）。

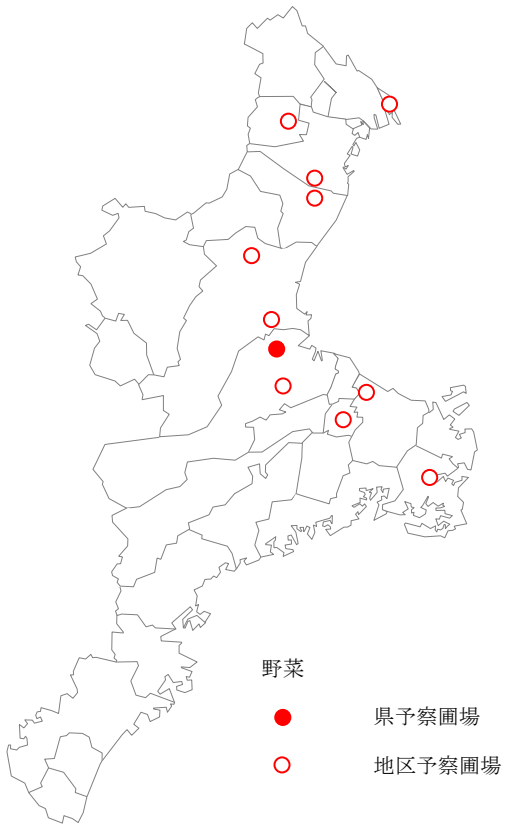
調査樹	地区	設置場所
日本ナシ	四日市鈴鹿	四日市市下海老町
	津	津市久居小野辺町、津市香良洲町
	松阪	松阪市嬉野川北町
	伊勢	玉城町富岡
	伊賀	伊賀市羽根
カナメモチ	四日市鈴鹿	鈴鹿市高塚町

(6) 調査地点図

いなべ市
東員町
桑名市
木曽岬町
菰野町
朝日町
四日市市
川越町
亀山市
鈴鹿市
伊賀市
津市
明和町
名張市
松阪市
玉城町
多気町
伊勢市
鳥羽市
度会町
大台町
大紀町
南伊勢町
志摩市
紀北町
尾鷲市
熊野市
御浜町
紀宝町


水稲
県予察圃場
地区予察圃場
予察灯


果樹　茶
県予察圃場
地区予察圃場
予察灯
ミバエ


野菜
県予察圃場
地区予察圃場

3. 作物別の病害虫発生状況

(1) 水稲

① 生育状況

(a) 育苗期

県内 20 育苗施設におけるばか苗病の発生状況は、発生施設率が 15%(3 年 5%)、発生箱率が 0.11%(3 年 0.01%)で、いずれも前年より高かった。

(b) 移植～活着期

気温はほぼ平年並であり日照時間は少なかった。一部植え傷みも見られたが、活着はおおむね順調であった。

(c) 分げつ期

移植から 5 月中旬までは低日照となり、徒長気味で茎数は少なかった。その後日照は回復し、幼穂形成期まで茎数は増加し、平年並の生育となった。

(d) 幼穂形成期～出穂期

幼穂形成期から出穂期にかけて平均気温は高く、日照時間も多く推移した。出穂は平年並であり、穂数は多く、1 穂当たりのもみ数は平年並であった。

(e) 登熟期

登熟中後期の多照により、登熟歩合及び千粒重が平年を上回り多収となった。

(f) 作柄

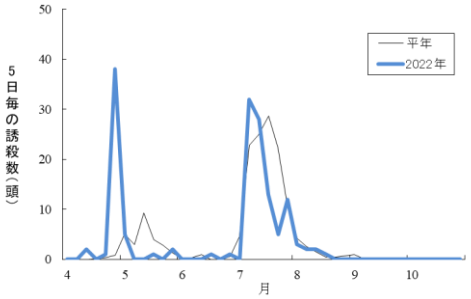
収量は 511kg/10a(前年 495kg)、作況指数は 102 で作柄は「やや良」となった。コシヒカリの 1 等米比率は 37.3%(5 年 10 月 31 日現在、確定値)となった。

② 病害虫の発生状況

梅雨入りが 6 月 14 日頃と平年より遅く、梅雨明けも 7 月 23 日と平年より遅かった。ブラスタムによるいもち病感染好適日の出現は 5 月下旬からみられたが出現日数はやや少であったが、梅雨期間中の降水量は平年比 116%と多く、準感染好適日の日数はやや多かった。梅雨の影響で葉いもち病の発生が 6 月下旬以降中山間や谷地田を中心に見られた。特に中南勢地域で発生が多くみられ、葉いもち、穂いもちともに発生面積、発病程度は多であった。スクミリンゴガイの発生は減少してきており、防除対策の実施により発生が抑えられたものと考えられる。斑点米カメムシ類の発生は平年より多く、やや多の発生であった。一部地域では発生が多く被害粒、不稔籾が多かった。近年イネカメムシの発生が増えてきている。トビイロウンカの飛来は平年より早くから確認され、その後の飛来数は少なく、被害は確認されなかった。

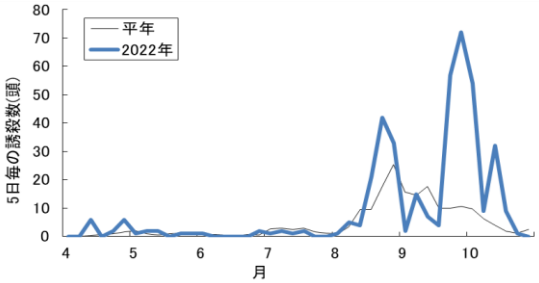
③予察灯での誘殺状況（60 ワット白熱灯）

・イネミズゾウムシ



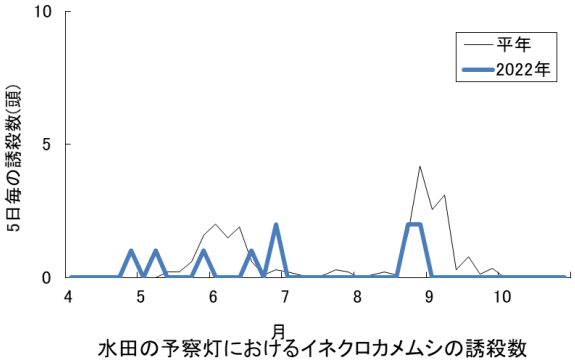
水田予察灯におけるイネミズゾウムシ誘殺数の推移
（松阪市嬉野川北町60W白熱灯）

・ミナミアオカメムシ



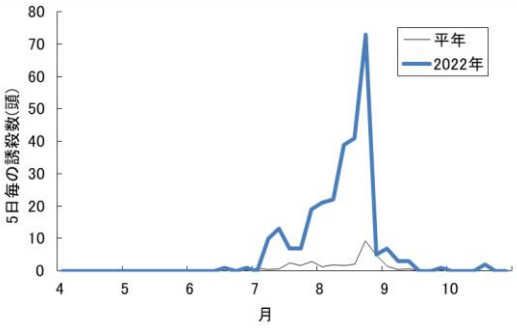
水田の予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数
（松阪市嬉野川北町　60W白熱灯）

・イネクロカメムシ



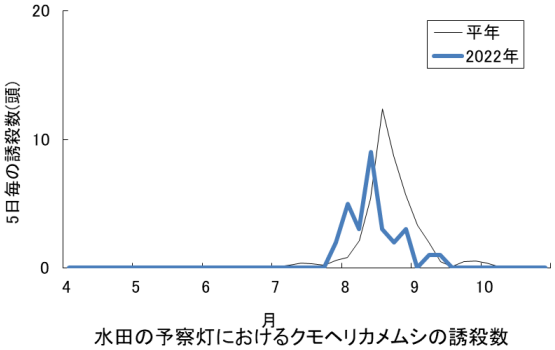
水田の予察灯におけるイネクロカメムシの誘殺数
（松阪市嬉野川北町　60W白熱灯）

・イネカメムシ

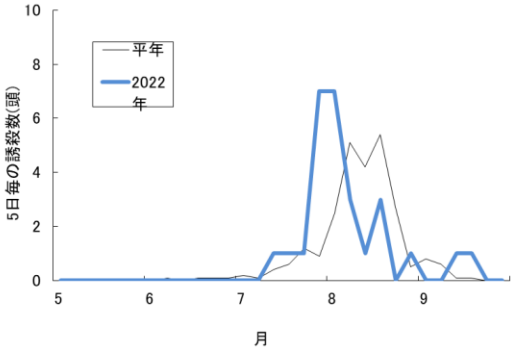


水田の予察灯におけるイネカメムシの誘殺数
（松阪市嬉野川北町　60W白熱灯）

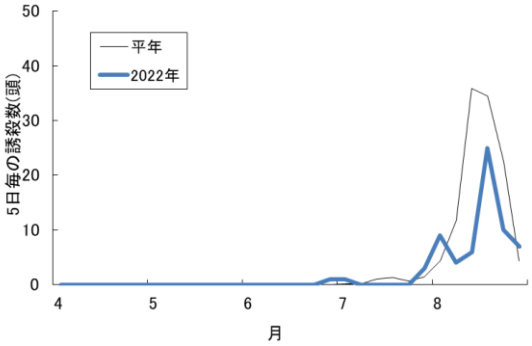
・クモヘリカメムシ



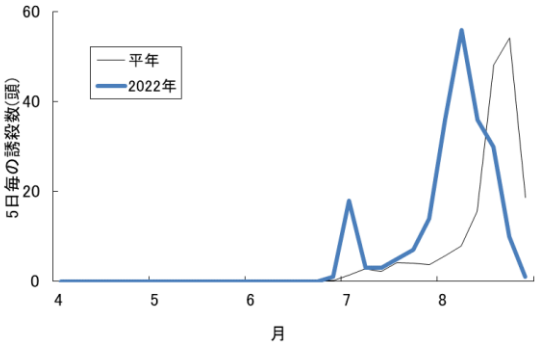
水田の予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数
（松阪市嬉野川北町　60W白熱灯）



水田の予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数
（伊賀市　60W白熱灯）

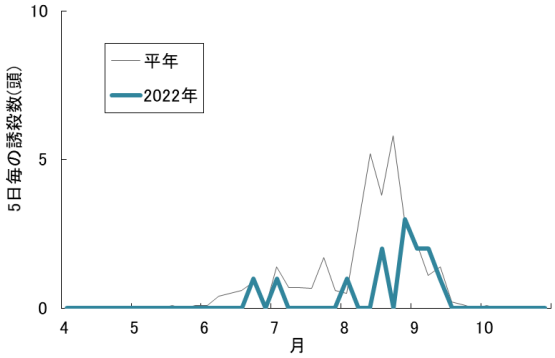


水田の予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数
（紀北町　60W白熱灯）

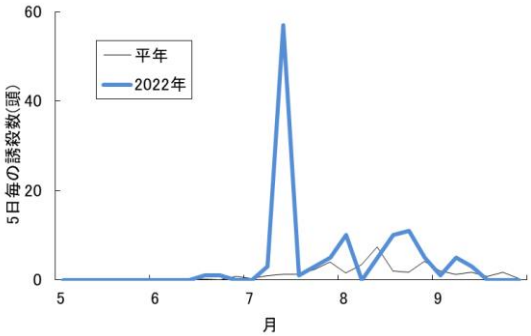


水田の予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数
（御浜町　60W白熱灯）

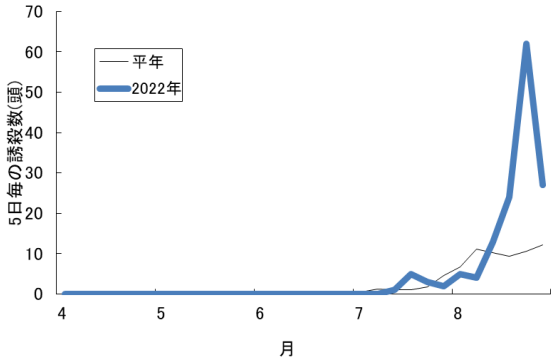
・ヒメトビウンカ



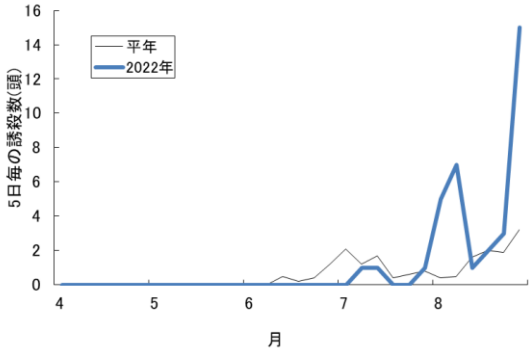
水田予察灯におけるヒメトビウンカの誘殺数
（松阪市　60W白熱灯）



水田の予察灯におけるヒメトビウンカの誘殺数
（伊賀市　60W白熱灯）

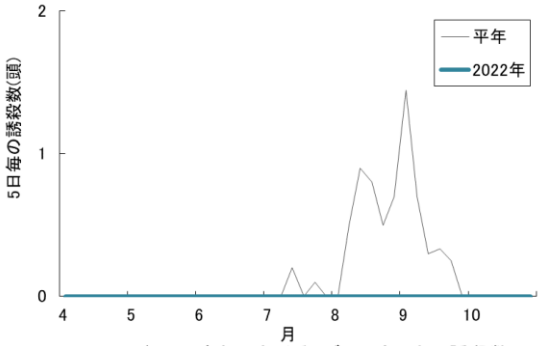


水田の予察灯におけるヒメトビウンカの誘殺数
（紀北町　60W白熱灯）

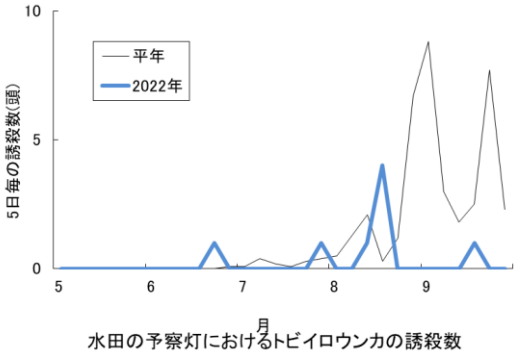


水田の予察灯におけるヒメトビウンカの誘殺数
（御浜町　60W白熱灯）

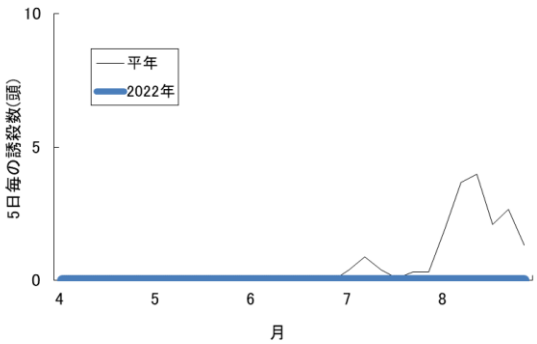
・トビイロウンカ



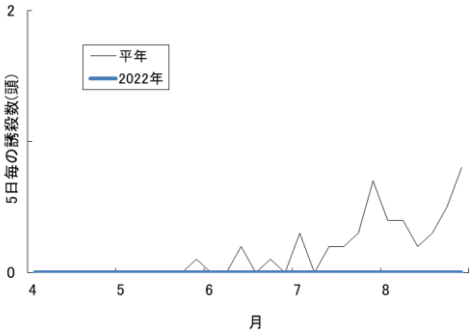
水田予察灯におけるトビイロウンカの誘殺数
（松阪市　60W白熱灯）



水田の予察灯におけるトビイロウンカの誘殺数
（伊賀市　60W白熱灯）

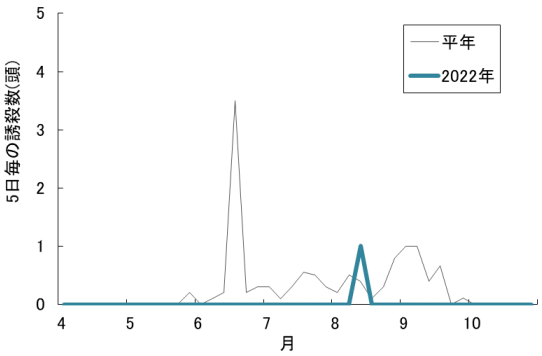


水田の予察灯におけるトビロイウンカの誘殺数
（紀北町　60W白熱灯）

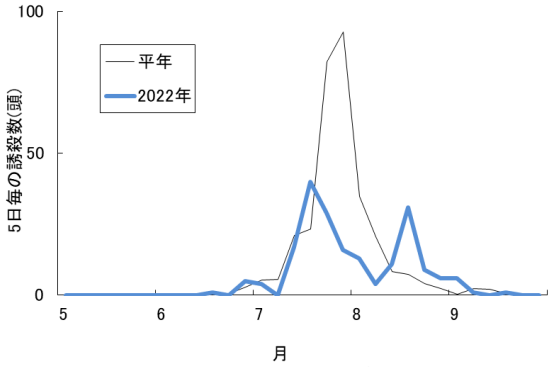


水田の予察灯におけるトビロイウンカの誘殺数
（御浜町　60W白熱灯）

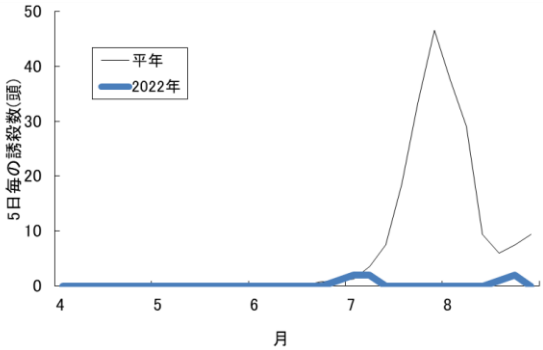
・ツマグロヨコバイ



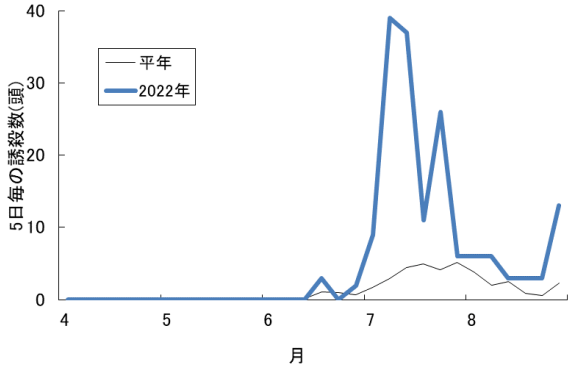
水田予察灯におけるツマグロヨコハ゛イの誘殺数
（松阪市　60W白熱灯）



水田の予察灯におけるツマグロヨコバイの誘殺数
（伊賀市　60W白熱灯）



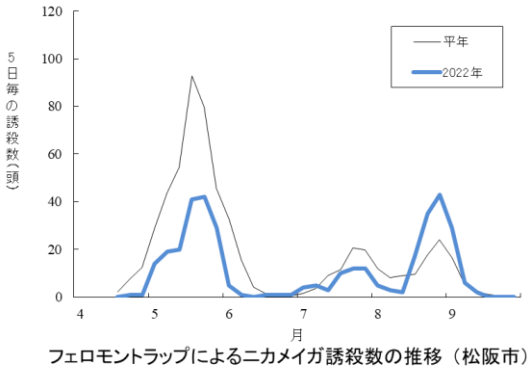
水田の予察灯におけるツマグロヨコバイの誘殺数
（紀北町　60W白熱灯）



水田の予察灯におけるツマグロヨコバイの誘殺数
（御浜町　60W白熱灯）

④フェロモントラップでの誘殺状況

・ニカメイガ



フェロモントラップによるニカメイガ誘殺数の推移（松阪市）

(2) 麦類（令和 4 年産）

a 生育状況

(a) 播種期

10 月下旬から播種が始まり、それ以降好天にも恵まれ 11 月中旬まで播種作業は順調に進んだ。

(b) 生育期

出芽苗立ちは概ね良好となり、冬場の気温がほぼ平年並みに推移したが 3 月以降気温が平年より高く推移したことで例年よりやや生育が早まった。

(c) 出穂期

播種の早いところでは4月上旬に出穂期を迎えるなど 2～4 日早かった、しかし、それ以降は気温が高く推移し、開花期は 4 月中旬頃となった。

(d) 登熟期

4 月中下旬も高温の傾向が続き、成熟期は平年並みになった。5 月下旬から刈り取りが始まった。6 月中旬には降雨がしばしば見られた。6 月中旬まで刈り取り作業が行われた。1 等比率は昨年をやや下回ったが、収量は良好であった。

b 病害虫の発生状況

コムギ縞萎縮病は、耐病性品種の作付けが進められたため、県全体としての発生量は少なかった。

赤かび病については、開花期に降雨が多く、発生量は多かったが、追加防除の呼びかけ等が行われ被害は比較的抑えられた。

(3) 大豆

a 生育状況

(a) 播種期

6 月中旬以降梅雨明けを思わせる好天があったものの 7 月はまとまった晴れ間が少なく、播種は降雨の間を縫っての作業で、排水の悪い圃場や大規模農家では作業が遅れ、8 月中旬まで遅れた。またその後、8 月中旬から降雨が見られ苗立ちが安定しない状況であった。

(b) 生育期

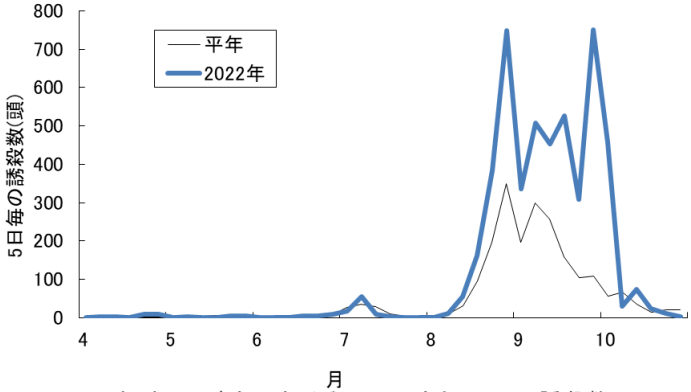
適期に播種されたものは比較的順調に生育が進んだが、遅まきのものは初期の湿害で生育が抑制され、一部にかなり草高が低くなったほ場が見受けられた。9 月、10 月は台風の接近や通過は少なかったことで生育は回復したほ場も見受けられた。また、10 月中旬以降、日照量が多くなり生育はかなり回復傾向となった。

(c) 成熟期

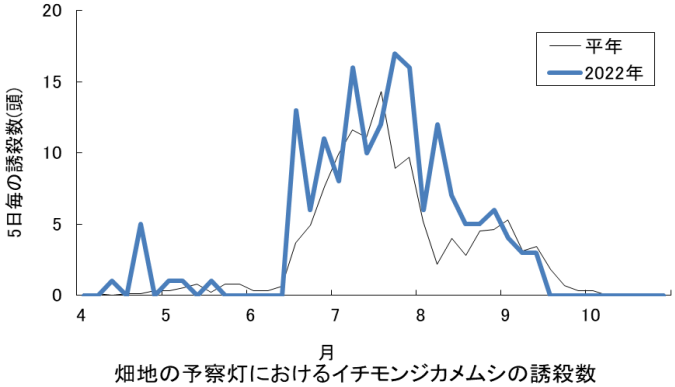
台風の直撃はすくなかったので全体的に病害は少なかった。吸実性カメムシ類は播種がばらついたことで適期に防除されなかった圃場もあり、ミナミアオカメムシの発生が多かったことから一部青立ち圃場も見られた。多くの農家では 12 月上旬から収穫作業が始まり、虫害ではフタスジヒメハムシ、吸実性カメムシ類の被害粒は平年並の発生であった。紫斑粒については少なかった。

b 病害虫の発生状況

ダイズでは、吸実性カメムシ類について、技術情報第 12 号(9 月 20 日)を発表し、発生状況の周知と適期防除の注意喚起を行った。

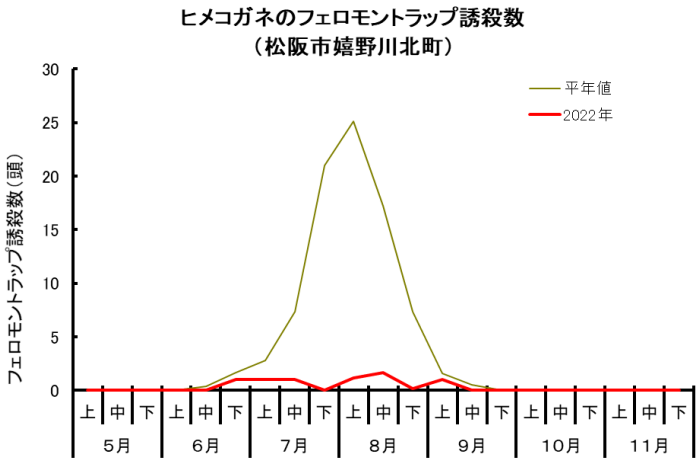


畑地の予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 100W水銀灯)

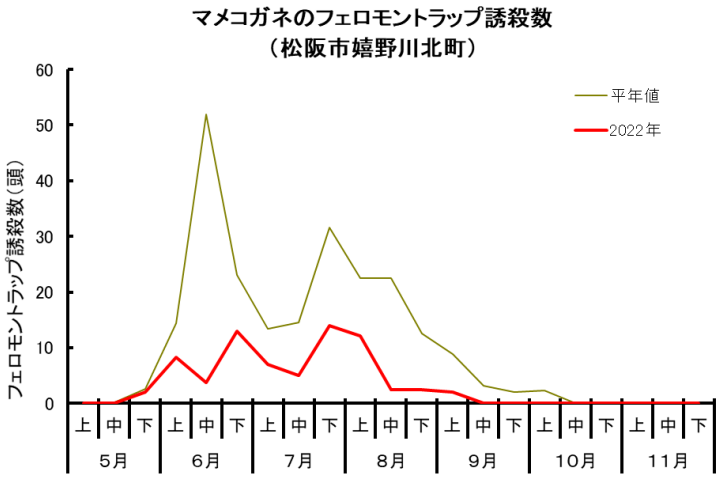


畑地の予察灯におけるイチモンジカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 100W水銀灯)

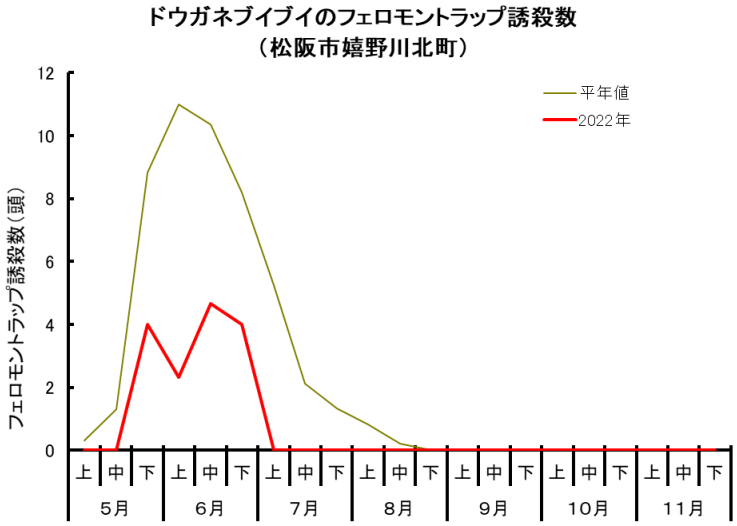
・ヒメコガネ



・マメコガネ



・ドウガネブイブイ



(4) 果樹

①生育状況

ア　カンキツ

・発芽期は、平年に比べて極早生温州では4日早く、早生温州では平年並であった。

・開花盛期は、平年に比べて極早生温州、早生温州ともに5日早かった。

・着花量は、極早生温州は紀州地域ではやや多かった。早生温州も全県的にやや多かった。

・果実発育は、横径が極早生温州は平年より0.9mm小さく、早生温州は平年より0.7mm大きかった。

・成熟期の糖度は、平年に比べて極早生温州は0.4度低く、早生温州は0.5度低くなった。クエン酸は、平年に比べて極早生温州は約0.1％低く、早生温州は平年並だった。

イ　ナシ（幸水）

・開花盛期は平年より3日早い4月12日だった。収穫盛期は、ほぼ平年並の8月20日であった。

・果実肥大は生育後半に良好になり、収穫期における果実重は平年より大きかった。

・果実糖度は平年並みだった。

ウ　カキ（前川次郎）

・開花盛期は平年より 5 日早い 5 月 14 日であった。

・気温が高く着色は遅れ、収穫盛期は 11 月 21 日と平年より 6 日遅かった。

・果実糖度は平年並で、果実重は平年より大きかった。

エ　ブドウ（巨峰）

・4 月は平年より暖かい気温であったため、発芽期は露地栽培で平年より 4 日早かった。開花盛期は 2 日早かった。

・梅雨の時期は平年と比べて降水量が少なく、6 月後半には日焼けによる果粒障害が多発した。収穫期は露地栽培で平年より遅かった。果実品質は良好であった。

②病害虫の発生状況

カンキツでは、そうか病の発生量はやや多であった。発生時期は春葉で平年並、果実では早かった。黒点病およびかいよう病の発生量は平年並であった。ミカンハダニの発生量は平年並で推移し、10 月以降やや少となった。

ナシでは、黒星病の発生量は、期間を通じて平年並であった。

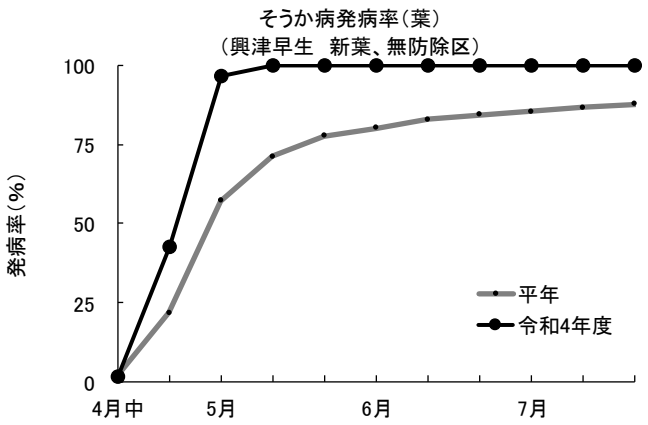
カキでは、炭疽病、うどんこ病の発生量はやや少であった。フジコナカイガラムシの発生量は平年並であった。

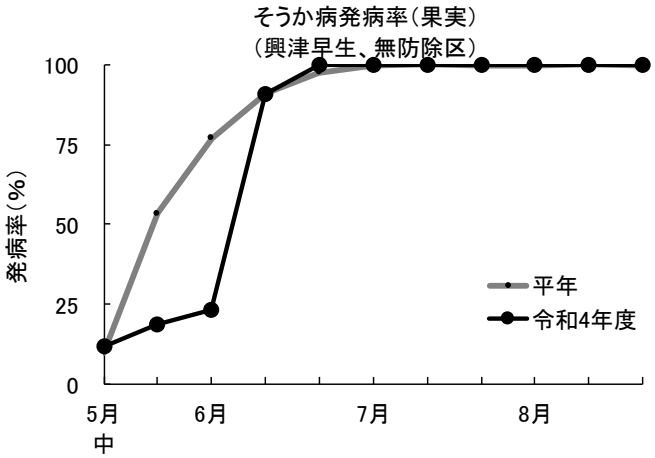
ブドウでは、べと病の発生量は、8 月以降やや多くなった。黒とう病および晩腐病の発生量は平年並であった。

果樹カメムシ類のチャバネアオカメムシは、8 月中旬頃まで誘殺数が多く、その後平年並からやや少で推移した。ツヤアオカメムシの誘殺数は、6 月中下旬に多く、他の期間は平年並からやや少であった。

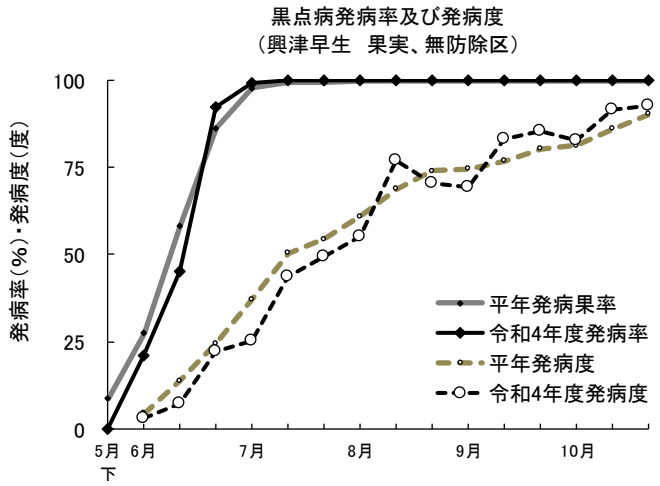
ア　カンキツ（御浜町　紀南果樹研究室）

ア）そうか病

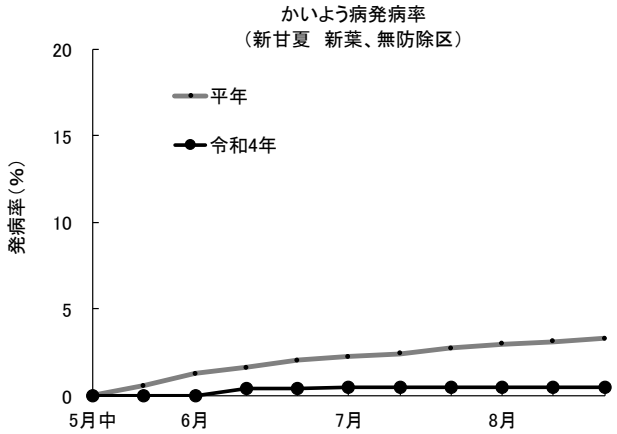


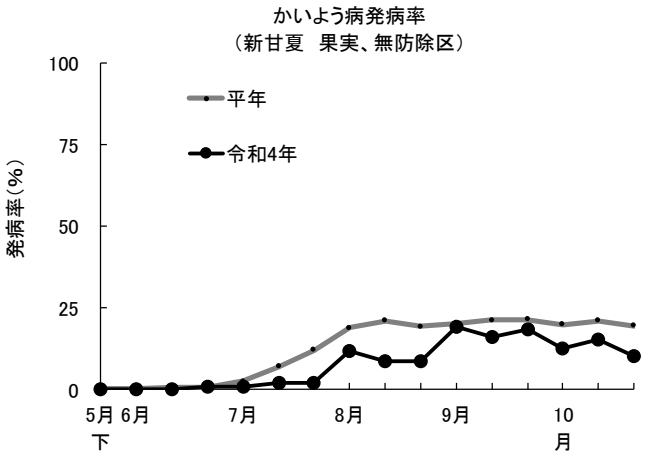


イ）黒点病

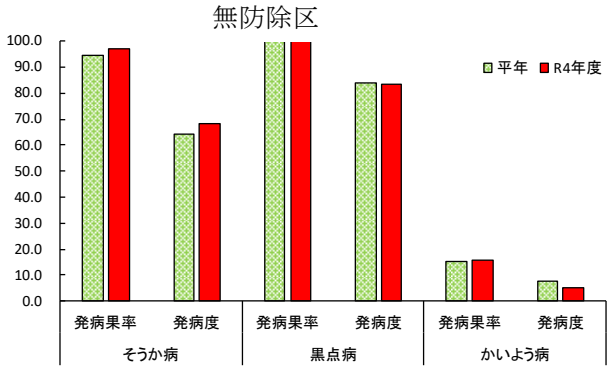


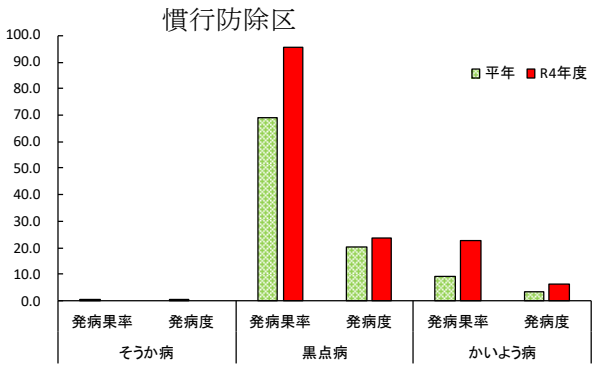
ウ）かいよう病



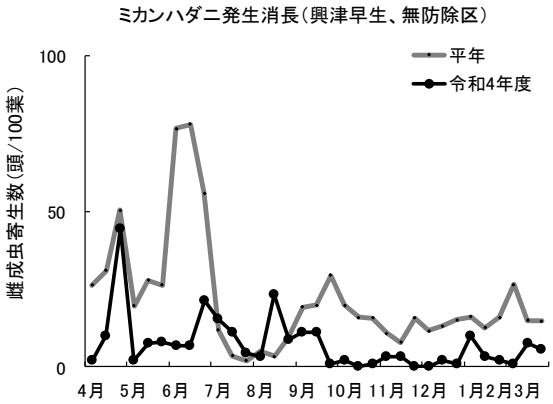


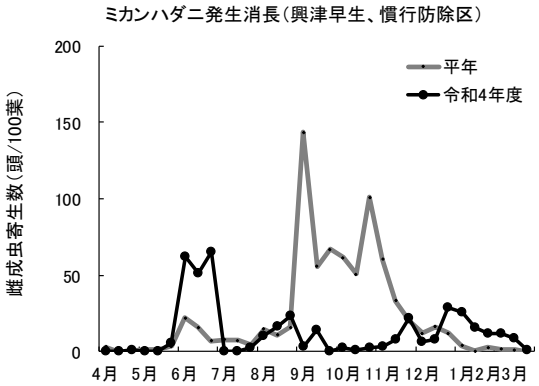
エ）収穫果実（外観果実調査）



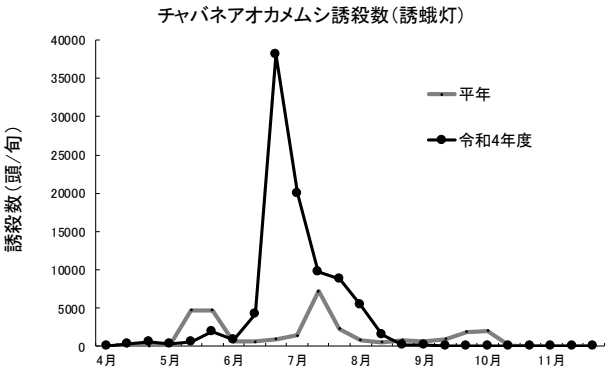


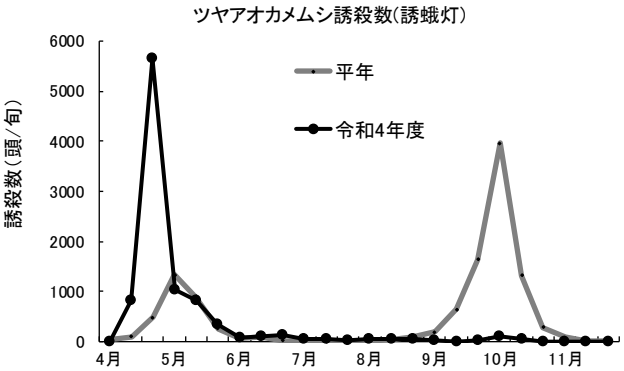
オ）ミカンハダニ



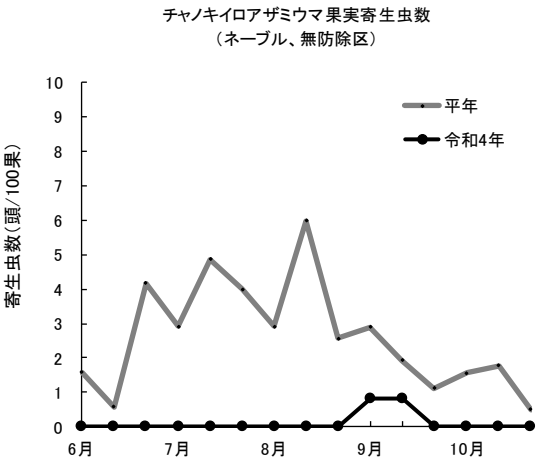


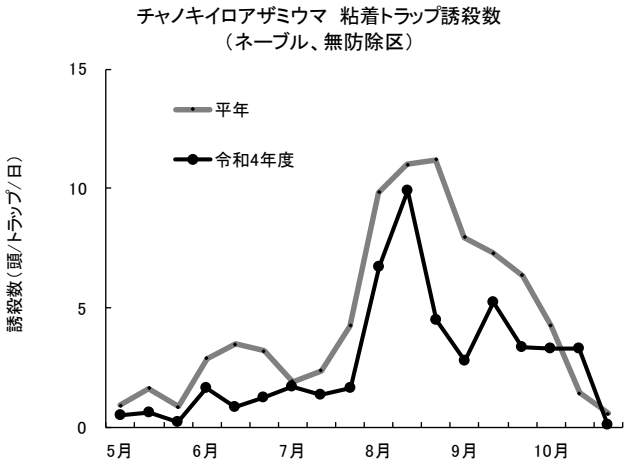
カ）カメムシ類の予察灯への飛来状況





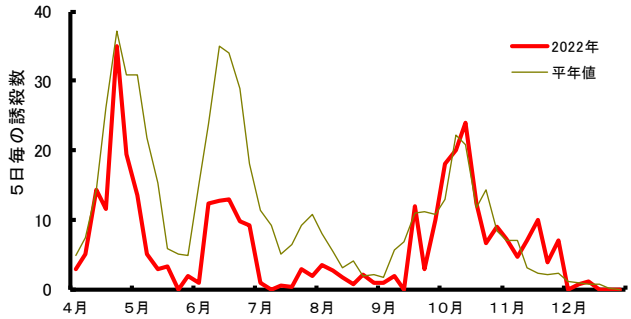
キ）チャノキイロアザミウマ



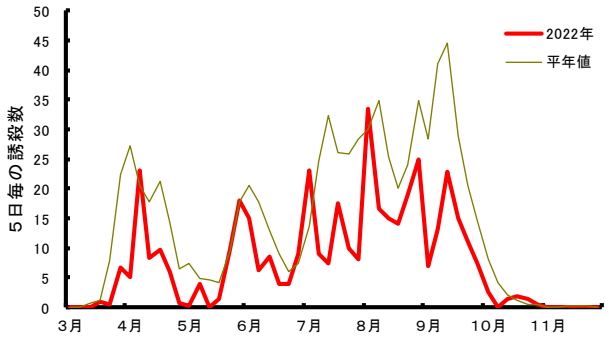


イ ナシ

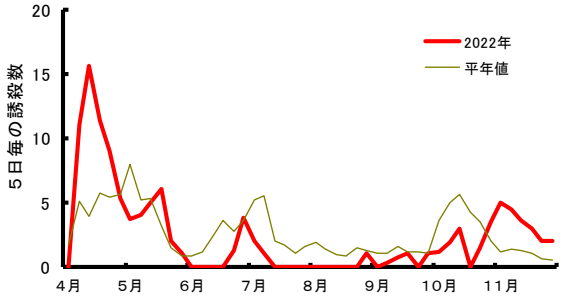
ア）フェロモントラップでの誘殺状況（松阪市嬉野川北町　病害虫防除所）



フェロモントラップによるチャノコカクモンハマキ成虫の誘殺消長
（調査場所：松阪市嬉野川北町）

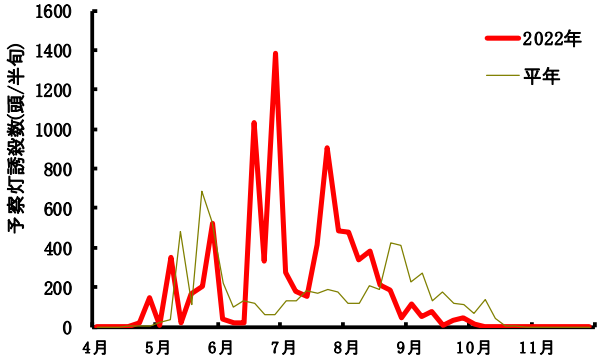


フェロモントラップによるナシヒメシンクイ成虫の誘殺消長
（調査場所：松阪市嬉野川北町）

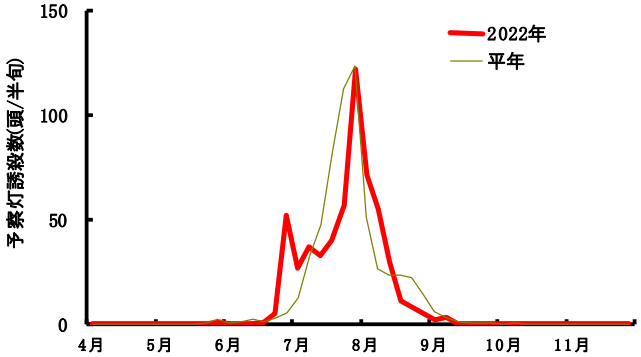


フェロモントラップによるチャハマキ成虫の誘殺消長
（調査場所：松阪市嬉野川北町）

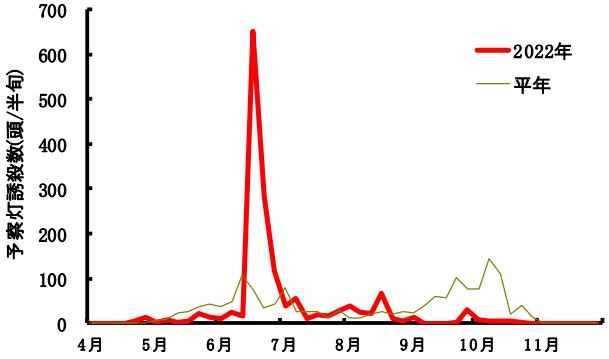
イ）カメムシ類の予察灯への飛来状況（松阪市嬉野川北町　病害虫防除所）



チャバネアオカメムシ
（調査地点：松阪市嬉野川北町）

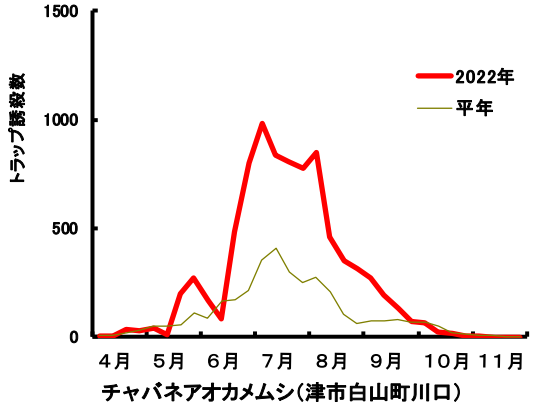


クサギカメムシ
（調査地点：松阪市嬉野川北町）

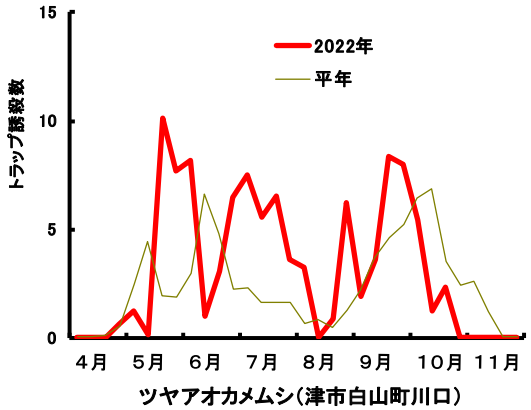


ツヤアオカメムシ
（調査地点：松阪市嬉野川北町）

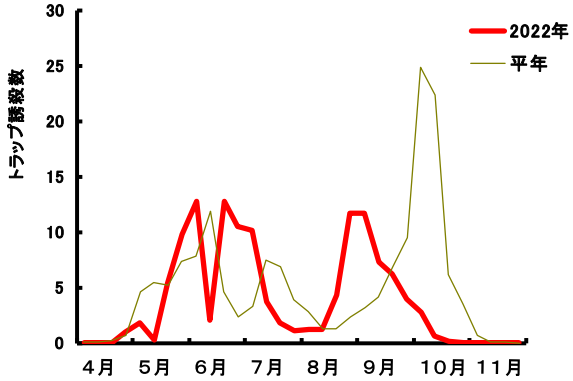
フェロモントラップにおける果樹カメムシ類誘殺数（白山町川口、白山町二本木、嬉野川北町）



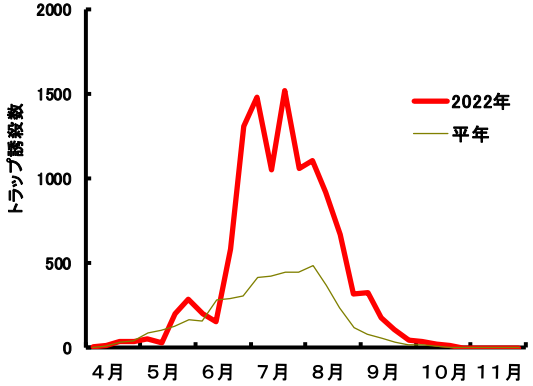
チャバネアオカメムシ（津市白山町川口）



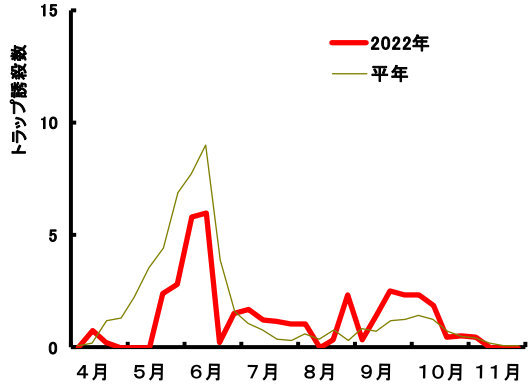
ツヤアオカメムシ（津市白山町川口）



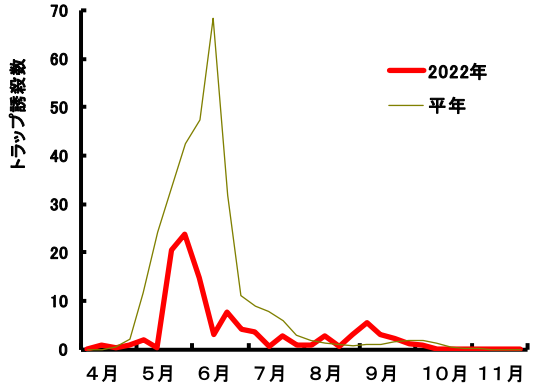
クサギカメムシ（津市白山町川口）



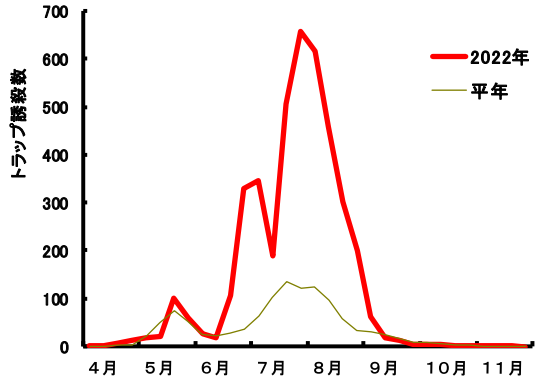
チャバネアオカメムシ（津市白山町二本木）



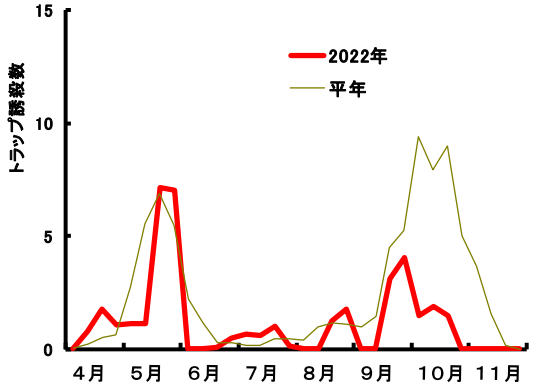
ツヤアオカメムシ（津市白山町二本木）



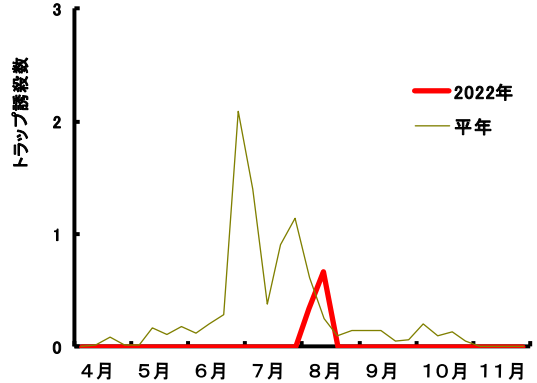
クサギカメムシ（津市白山町二本木）



チャバネアオカメムシ（松阪市嬉野川北町）



ツヤアオカメムシ（松阪市嬉野川北町）



クサギカメムシ（松阪市嬉野川北町）

(5) 茶

①生育状況

- 一番茶の摘採時期は平年並～やや早かった。
- 虫害防除のため、一番茶後に中切り更新を行うほ場が多かった。

(生育に関するデータ)

農水省 8 月 16 日発表

一番茶摘採面積 2,320ha(前年比 97%)、単収 517kg(前年比 124%)

農業研究所茶業・花植木研究室作況園

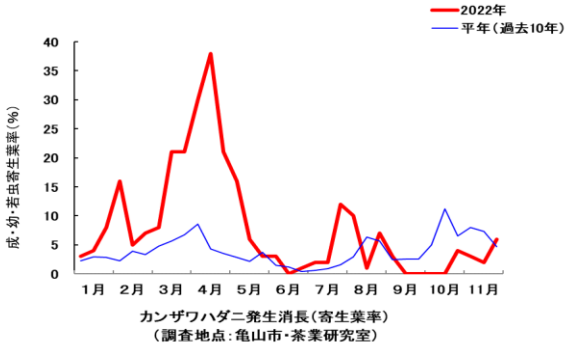
一番茶:摘採時期 5/2(平年 5/6)、単収 630kg(平年 537kg)

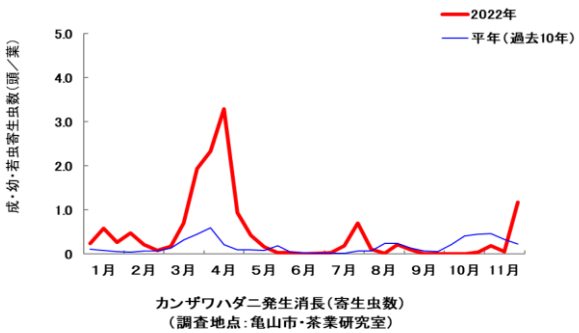
二番茶:摘採時期 6/23(平年 6/27)、単収 673kg(平年 570kg)

②病害虫発生状況

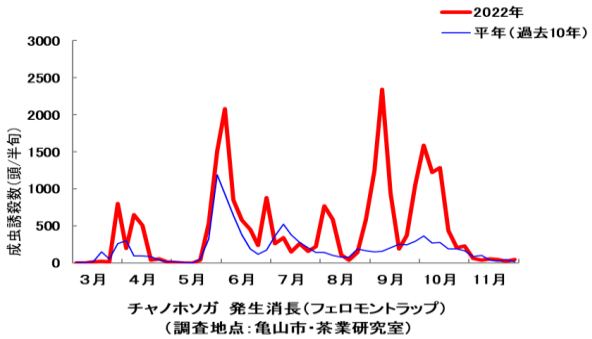
- 病害は、炭疽病・もち病・輪斑病の発生はあったが、平年並程度で推移した。
- カンザワハダニの発生量はやや多かった。クワシロカイガラムシの発生量は、7 月の発生がやや多くなり、それ以降は平年並からやや少なくなった。チャノミドリヒメヨコバイの発生量が平年並程度で推移した。チャノコカクモンハマキ、チャハマキ及びチャノホソガの発生量は、平年並程度で推移した。

ア)カンザワハダニ

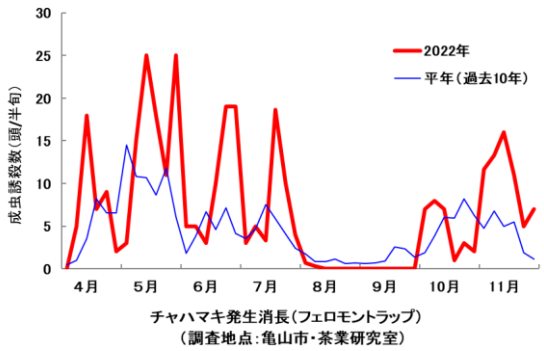




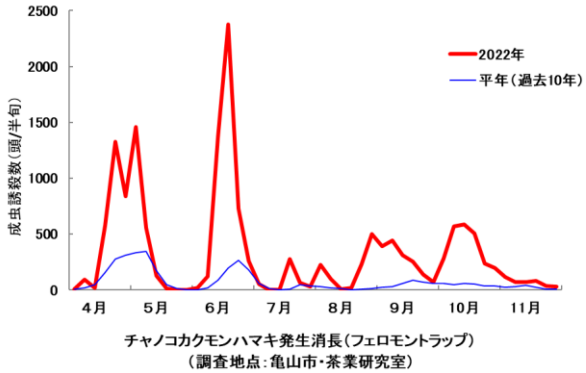
イ)チャノホソガ



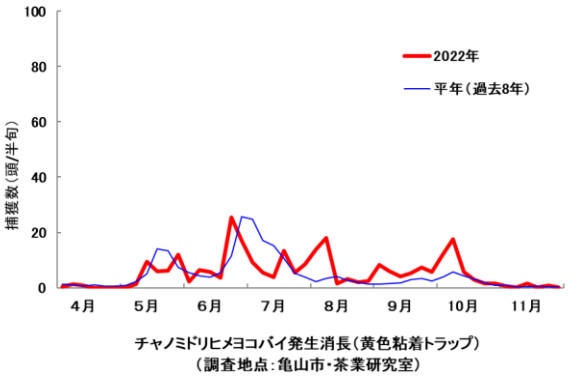
ウ）チャハマキ



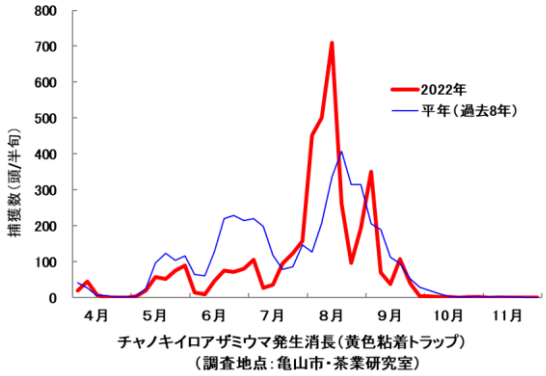
エ）チャノコカクモンハマキ



オ）チャノミドリヒメヨコバイ



カ）チャノキイロアザミウマ



(6)野菜

a　生育及び病害虫の発生状況

・野菜類害虫のフェロモントラップでの誘殺数は、ハスモンヨトウで9月中下旬に急増したため、技術情報第13号（9月26日）を発出し、防除対策を呼びかけた。シロイチモジヨトウは8月の誘殺数がやや多めだったが概して平年並だった。オオタバコガは平年並、コナガは概して少なかった。

・トマトでは、ほ場によってはコナジラミ類の発生量がやや多く、コナジラミ類が多発したほ場では黄化葉巻病、黄化病の発生が確認されている。

・キャベツでは、今年度は台風の通過がなかったため、黒腐病の発生は平年と比べるとやや少なかった。

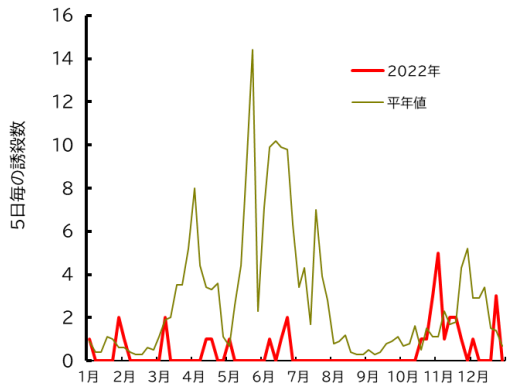
・ハクサイでも、今年度は台風の通過がなかったため、軟腐病の発生は一部圃場でみられたが概して少なかった。

・ネギでは、ネギハモグリバエの発生量、被害量ともに平年並だった。ネギアザミウマの発生量は雨で防除が遅れたため8月にやや多かったが、それ以降平年並からやや少なかった。また、白ネギでは軟腐病、白絹病が例年より多く発生した。

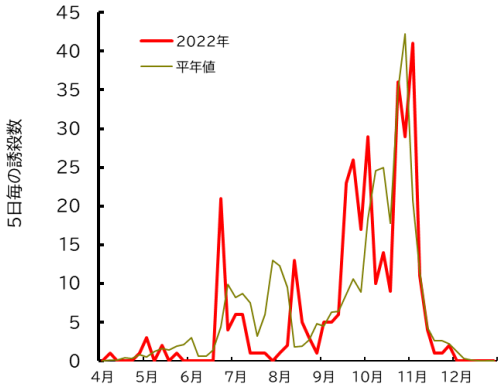
・イチゴでは、一部で炭疽病の発生が冬の間も続いた。ハダニ類の発生は4～5月頃に顕著な高温のため発生が助長されたほか、11月頃にもやや多い地域があったがその後はやや少なく推移した。

・サツマイモでは、県内で初めてサツマイモ基腐病が確認され、12月23日に病害虫発生予察特殊報第2号を発出し、チラシや研修会などで注意喚起を行った。

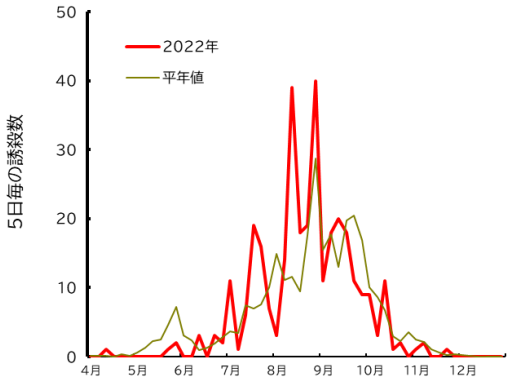
b　フェロモントラップ



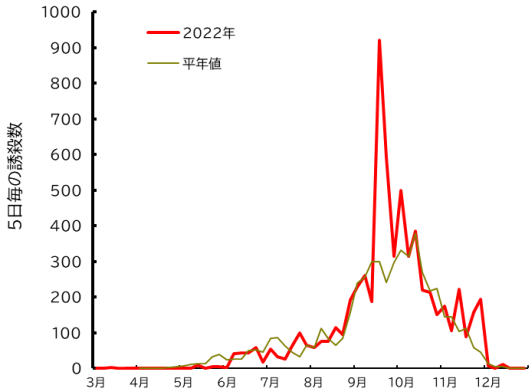
フェロモントラップによるコナガ成虫の誘殺消長
（調査場所：松阪市嬉野川北町）



フェロモントラップによるオオタバコガ成虫の誘殺消長
（調査場所：松阪市嬉野川北町）



フェロモントラップによるシロイチモジヨトウ成虫の誘殺消長
（調査場所：松阪市嬉野川北町）



（図）フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長
（調査場所：松阪市嬉野川北町）

(7) 全作物一覧

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
イネ（早期）	葉いもち	6月中旬～8月上旬 平年：－ 前年：－	平年：多 前年：やや多	育苗期間中および置き苗での発生は少なかった。7月上旬の発生圃場率、発病度ともに多であった。地域により発生に差がみられた。	感染好適条件は5月下旬から出現、初発時期は平年並みであった。中山間や谷地田を中心に発生、箱施用や本田防除が行われた。感染好適日の出現はやや少であったが、7月から8月にかけて曇雨天の日が多かったことから、準感染好適日の出現が多く、発生は多となった。	箱施用、本田防除が行われた。
	穂いもち	7月下旬～8月下旬 平年：－ 前年：－	平年：多 前年：やや多	発生面積、発病穂率ともに多であった。地域により発生に差がみられ、中山間地域を中心に発生が多かった。	葉いもちの発生は多であり、出穂期以降曇雨天の日が例年に比べ多かった。	本田防除が行われた。病害虫防除技術情報第9号（7月15日）発表による注意喚起を行った。
	紋枯病	7月～8月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや多	期間を通して発生ほ場率、発病株率、発病度とも平年より低く、発生ほ場内で水平進展は見られたが、垂直進展は少なかった。	6月下旬から7月上旬にかけて気温が高く推移したが、出穂期以降ぐずついた日が多く、気温が近年では比較的低く推移したため、垂直進展が少なかったと考えられる。	被害の恐れのある圃場では本田防除が行われ、実害はほとんど出なかった。
	斑点米カメムシ類	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	期間の前半は平年並みの発生であったが、7月以降発生が増加した。また、地域差はあるが、斑点米カメムシ類全体では、期間を通してやや多の発生量であった。近年イネカメムシの発生が増えてきた。	前年の発生は平年並であった。6月下旬から7月上旬の降雨が少なく推移したため、活動及び増殖に好適となり、発生量がやや多くなったと考えられる。	被害の恐れのある圃場では本田防除が行われた。病害虫防除技術情報第7号（7月1日発表）による注意喚起を行った。
	イネミズゾウムシ	5月～6月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	移植後の5～6月における越冬世代成虫の発生量はやや多であった。8月上旬における第一世代成虫の発生量は平年より少であった。	昨年夏の越冬成虫量は平年並、第一世代の発生量は少であった。箱施用剤により発生が抑えられていると思われる。	被害の恐れのある圃場では箱施用が行われ、実害はほとんど出なかった。
	ツマグロヨコバイ	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生量は平年並であった。	前年の発生量は並であった。箱施用剤により発生が抑制されていると思われる。	本種を対象とした防除は行われていないが、箱施用等により被害が発生しない程度に抑制されていると思われる。
	セジロウンカ	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	6月第5半旬以降予察灯により飛来を確認した。その後も飛来は確認されているが、発生は少なかった。	初飛来は早かったが、その後の飛来数は比較的少なかった。	斑点米カメムシ類と同時防除が行われている。病害虫防除技術情報第6号（7月1日発表）、病害虫防除技術情報第11号(9月20日発表）による注意喚起を行った。
	トビイロウンカ	7月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや少	6月第5半旬以降、予察灯により飛来を確認した。例年より飛来時期が早く、8月中旬以降の被害が予想されたが、被害は確認されなかった。	飛来時期は早かったが飛来数は平年並みであり、被害は確認されなかった。	斑点米カメムシ類と同時防除が行われている。病害虫防除技術情報第6号（7月1日発表）、病害虫防除技術情報第11号(9月20日発表）による注意喚起を行った。
	ヒメトビウンカ	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	発生面積・発生量は平年よりやや多かった。	6月から7月にかけて高温傾向であり、台風も少なかったことから活動及び増殖に好適となり、発生量がやや多くなったと思われる。	本種を対象とした防除は行われていない。実害はほとんどなかったと考えられる。
	ニカメイガ	6月～8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	本年は越冬世代の発生はやや少なかったが、第一世代、第二世代の発生量は平年並みであった。	フェロモントラップの誘殺数は、期間を通して平年並の発生であった。	例年被害の出る地域では、必要に応じて防除が行われた。
	コブノメイガ	7月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	7月中旬頃から発生が見られた。	普通期栽培での発生が中心であるが、近年、普通期栽培が増加しているため、発生は増加傾向である。	本種を対象とした防除事例は少ない。
	白葉枯病	8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	早期栽培水稲ではほとんど発生が見られなかった。	強風を伴う降雨日がほとんどなかった。	本病害を対象とした防除は行われなかった。
	もみ枯細菌病（細菌性苗腐敗症）	4月中旬～5月上旬、8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生量は平年並に少なかった。	健全な種子の供給、育苗施設の環境改善により、近年発生は少ない。	種子消毒で防除を行った。
	苗立枯病	4月中旬～5月上旬 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	育苗期間中の発生量は平年並に少なかった。	夜間の低温、日中の高温により発病が誘発されるが、育苗期間中の気温はかなり高く推移した。5月上旬の気温は低かったが、影響は少なかった。	種子消毒及び育苗箱散布を行った。
	ばか苗病	4月中旬～5月上旬、7月 平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	発生は確認されていない。	健全種子の供給、種子消毒の徹底によるものと思われる。	種子消毒で防除した。採種圃および周辺圃場でも対策が徹底されている。
	縞葉枯病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生は確認されていない。	例年、発生は確認されていない。	本病害を対象とした防除は行われていない。
	萎縮病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生は確認されていない。	例年、発生は確認されていない。	本病害を対象とした防除は行われていない。
	イネドロオイムシ	5月中旬～7月上旬 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：少	発生量は少なかった。例年、実害は少ない。	発生が散見されたが、収量減につながる被害はなかった。	本種の防除を目的とした防除は行われなかった。
	イネクロカメムシ	5月中旬～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	発生量は並だった。6月上旬頃から発生が確認された。	近年の一時期、被害が多発したことがあったが、本年の発生量はやや少。	本種を対象とした防除は行われなかった。実害はなかった。
	イチモンジセセリ	7月～8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	発生量は平年並みであった。	寒い時期もあったが、冬季の気温はほぼ平年並であった。	本種を対象とした防除は行われていない。
	アワヨトウ	7月～8月 平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	発生は平年より少なかった。	寒い時期もあったが、冬季の気温はほぼ平年並であった。	本種を対象とした防除は行われていない。
	フタオビコヤガ	7月～8月 平年：－ 前年：－	平年：少 前年：やや多	7～8月の発生量は少なかった。	前年の発生が少なかった。	本種を対象とした防除は行われていない。実害はなかった。
	イナゴ類	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：少	圃場、地域による差があるが、7～8月の発生量は平年並であった。 8月以降、葉の食害が目立つ圃場が見られた。	近年増加傾向にある。周囲の休耕田の影響が考えられる。	本種を対象とした防除は行われていない。実害は少ないと思われる。
	イネシンガレセンチュウ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されていない。	種子更新・種子消毒が行われており、例年発生量は少ない。	種子消毒で防除した。
小麦	うどんこ病	4月～5月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	近年ほとんど発生を確認していない。冬暖かく雨量は平年並であったが、発生量は平年並に少なかった。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	赤かび病	5月～6月 平年：－ 前年：－	平年：多 前年：多	発生量は多かった。	4月5月の感染好適日に降雨が多かったことから多発生となった。	開花期の薬剤防除、および追加防除が行われた。
	さび病類	4月～6月上旬 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	近年ほとんど発生を確認しておらず、発生量は平年並に少ない状況であった。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	縞萎縮病	4月～5月 平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	耐病性品種の作付が増えた。	耐病性品種・播種時期・施肥管理など耕種的に対応した。
	黒穂病類	5月～6月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	種子更新により、健全な種子が使用されているため、ほとんど発生はなかった。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	ムギアカタマバエ	5月～6月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	連作圃場では発生があるが、わずかである。	連作回避で防除した圃場が多かった。
	アブラムシ類	4月～6月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を主目的とした防除は行われていない。
大豆	アブラムシ類	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	発生量は平年より少なく推移した。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を主目的とした防除は行われていない。
	ハスモンヨトウ	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	白変葉の発生は多かったが葉の食害程度は平年並みであった。	飛来数は多かったが、ほ場での発生量はやや少なかった。	集団化された圃場では、発生量に応じて無人ヘリまたは乗用散布機で防除が行われた。
	吸実性カメムシ類	8月～10月 平年：－ 前年：－	平年：多 前年：多	各地で発生が確認され平年より多発生となった。	近年ミナミアオカメムシが分布拡大し、発生量が増加した。早期水稲の収穫に伴ってダイズへの飛来がある。	集団化された圃場では、発生量に応じて無人ヘリまたは乗用散布機で防除が行われた。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
	紫斑病		平年：少 前年：少	紫斑粒の発生量は少なかった。	種子消毒の実施が指導された。	健全種子の使用、種子消毒が行われた。集団化された圃場では、無人ヘリまたは乗用散布機で防除が行われた。
	コガネムシ類	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	圃場での発生量はやや少なく推移した。	フェロモントラップの状況から本年の発生量は、少なかったと考えられる。	本種を主目的とした防除は行われていない。
	シロイチモジマダラメイガ		平年：並 前年：並	食害による被害粒の発生量は平年並みに少なかった。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を主目的とした防除は行われていない。
かんきつ	そうか病	春葉 4～7月 平年：並 前年：遅 果実 5～9月 平年：早 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	春葉での初発は4月12日（平年4月14日）と平年並、果実では5月10日（平年5月16日）と早かった（県予察圃）。発生量は、5月まではほぼ平年並で推移したが、その後、やや多となった。	5月中旬の降雨により、感染が助長されたと考えられる。	イミベンコナゾール水和剤、ジチアノン剤、銅剤、EBI等による発芽期防除が行われた。
	黒点病	果実 5月～ 平年：並 前年：並	平年：平年並 前年：やや少	果実での初発は5月23日（平年5月22日）と平年並（県予察圃）。発生量は平年並に推移した。	8月、9月に降雨が続いたが、防除が的確に行われ、発生が抑制された。	初期感染時期から降水量に応じてマンゼブ剤、ポリカーバメート剤等による防除が行われた。
	かいよう病	春葉 5～9月 平年：遅 前年：遅 果実 6～9月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	温州みかんでの発生量は期間を通じて平年並に少なかった。 中晩柑での発生量は平年並であったが、局所的に多発生が確認される圃場があった。	中晩柑では銅剤による防除の実施により数年前から発生が抑制されていることが、全体的に発生が抑えられた大きな要因と考えられる。	中晩柑類では定期的に銅剤による防除が実施された。また、降雨の前後には銅剤等による防除が行われた。
	ミカンハダニ	4月～ 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	局所的に多発生が確認されたが、全体的には平年並に推移し、10月以降はやや少となった。	8月、9月に降水量が多く、ハダニの発生量は抑えられた。	マシン油乳剤を主体とした防除が実施されているが、多発時にはアセキノシル剤、シフルメトフェン剤、シエノピラフェン・ピリダベン剤等による防除が行われた。
	ハマキムシ類	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	アラニカルブ剤等による防除が行われた。
	褐色腐敗病	8月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	台風通過後に一部の圃場で発生したが、発生量は平年並に少ない。	温州みかんでは台風通過後に一斉防除が実施された。	マンゼブ剤、シアゾファミド剤等で防除が行われた。
	ヤノネカイガラムシ	第1世代 4～7月 第2世代 7～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	近年、全般的に発生量自体が少ない。	マシン油乳剤、DMTP剤等による防除が行われた。
	チャノキイロアザミウマ	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	局所的に多発生が確認されたが、全体的には平年並に推移した。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、クロルフェナピル剤、合成ピレスロイド剤等による防除が行われた。
	アブラムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に推移した。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	幼木を中心に、アセタミプリド剤、チアメトキサム剤による防除が行われた。
	ミカンハモグリガ	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	7月に多く確認されたが、その後は平年並に推移した。	発生が確認されたが、その後は適宜防除が実施され、発生が抑制された。	幼木を中心に、アセタミプリド剤、チアメトキサム剤による防除が行われた。
	アカマルカイガラムシ	第1世代 5～6月 第2世代 7～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	紀州地域中心に発生しており、期間を通じて発生量はやや少であった。	紀州地域を中心に防除が実施された。	マシン油剤、DMTP剤、ブプロフェジン剤、アラニカルブ剤、ジノテフラン等による防除が行われた。
かき	カキノヘタムシガ	7月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、アラニカルブ剤、プロチオホス剤等による防除が行われた。
	ハマキムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	例年発生は少ない。	IGR剤、フェンプロパトリン剤等による防除が行われた。
	炭疽病	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	期間を通じて発生量はやや少であった。	例年発生は少ない。	マンゼブ剤、イミノクタジン剤等による防除が行われた。
	うどんこ病	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生量はやや少であった。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	石灰硫黄合剤、テブコナゾール剤、イミノクタジン剤等による防除が行われた。
	カキクダアザミウマ	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	近年、典型的な被害の発生は、ほとんど見られない。発生密度そのものが低いと考えられる。	本害虫を対象とした防除は通常実施されていない。
	フジコナガイガラムシ	6月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	適期の薬剤防除により発生が抑制された。	ジノテフラン剤、DMTP剤、プロチオホス剤等による防除が行われた。
なし	黒星病	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に推移した。	5月中旬の降雨により、発病に好適な気候であったが、適宜防除が実施され、発生が抑制された。	発病初期には罹病部の除去が行われた。ストロビルリン系剤、DMI剤、ジチアノン剤等による防除が行われた。
	ナシヒメシンクイ	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	フェロモントラップ（松阪市）では発生量はやや少なく推移した。一般圃場における発生量も、平年並に少なく推移した。	一般圃場では防除により概ね発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、チオジカルブ剤等による防除が実施された。一部では地域でまとまって、交信攪乱剤の設置が行われた。
	ハマキムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	チャノコカクモンハマキのフェロモントラップ（松阪市）ではやや少なく推移した。一般圃場での発生量も、平年並に少なく推移した。	一般圃場では防除により概ね発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、MEP剤等による防除が実施された。一部では地域でまとまって、交信攪乱剤の設置が行われた。
	ハダニ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は少なく推移した。	降雨と防除により抑制されたと考えられる。	エトキサゾール剤、ビフェナゼート剤、ミルベメクチン剤等による防除が行われた。
	赤星病	4～6月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	5月までは平年並に推移したが、6月以降やや多くなった。	4月下旬の降雨により、感染が助長され、また、防除が遅れたことにより発病したと考えられる。	DMI剤、マンゼブ剤等による防除が行われた。
	うどんこ病	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に推移した。	適期の薬剤防除により発病が抑制された。	イミノクタジン剤,EBI剤等による防除が行われた。
	輪紋病	5～8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通して発生量は平年並に少なく推移した。	例年発生量は少なく、病原菌密度そのものが低いと考えらる。	DMI剤等の散布や休眠期のチオファネートメチルペースト剤塗布による防除が行われた。
	アブラムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	5月までは平年並に推移したが、6月以降やや多くなった。	4～6月は平年に比べ温暖で、アブラムシの生育に適していたと考えられる。	ネオニコチノイド剤等による防除が行われた。
	クワコナガイガラムシ	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	的確な防除により発生が抑制された。	DMTP剤、ピリフルキナゾン剤等による防除が行われた。
ぶどう	べと病	6～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	7月までは平年並に推移したが、8月以降やや多くなった。	7月、8月の降水量が多く、発病を助長したと考えらえる。	シアゾファミド剤、ストロビルリン系剤、銅剤等による防除が行われた。
	ハマキムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	チャハマキおよびチャノコカクモンハマキのフェロモントラップ（松阪市）ではやや少なく推移した。期間を通じて発生量はやや少なく推移した。	適期の薬剤防除により発生が抑制された。	ダイアジノン剤等による防除が行われた。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
	晩腐病	6～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生量は平年並で推移した。	適期の薬剤防除により発生が抑制された。	アゾキシストロビン剤、マンゼブ剤等による防除が行われた。
	黒とう病	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	発生密度が低いと考えられる。	イミベンコナゾール剤、ベノミル剤、トリフルミゾール剤、マンゼブ剤等による防除が行われた。
	チャノキイロアザミウマ	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	適期の薬剤防除により発生が抑制された。	ペルメトリン剤等による防除が行われた。
	クワコナガイガラムシ	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	適期の薬剤防除により発生が抑制された。	DMTP剤、ダイアジノン剤による防除が行われた。
果樹共通	カメムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	予察灯による初誘殺が早く、8月中旬頃までチャバネアオカメムシが多く誘殺された。ツヤアオカメムシの誘殺数は6月中下旬に多かったが、他の期間は平年並からやや少であった。	昨年の9月以降に発生量が増え、越冬量が多かったと考えられる。また、4～6月は平年に比べ温暖で、カメムシ類の生育に適していたと考えられる。技術情報や注意報を発出し、防除を呼び掛けたことから、果実への被害は一部に抑えられた。	飛来が確認された園地では、ネオニコチノイド剤、合成ピレスロイド剤、MEP剤等による防除が行われた。
茶	炭疽病	4月～10月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生量はやや少で推移したが、8月の長雨の影響で増加し、やや多となった。	8月の降水量が多く、発生が増加したと考えられる。	デブコナゾール剤等による防除が行われた。
	もち病	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並～やや少であった。	8月以降の降雨や高温が発生に適した条件であったと考えられる。	デブコナゾール剤等による防除が行われた。
	輪斑病	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並～やや少であった。	8月以降の降雨や高温が発生に適した条件であったと考えられる。	アゾキシストロビン剤等による防除が行われた。
	チャノコカクモンハマキ	越冬世代（4～5月） 平年：やや早 前年：並 第１世代（6～7月） 平年：やや早 前年：並	平年：並 前年：やや少	期間を通して発生時期は平年よりやや早く、発生量は平年並であった。	暖冬傾向で、特に1月下旬から4月上旬の気温が高く推移したことが発生時期に影響したと考えられる。	エマメクチン安息香酸塩剤等による防除が行われた。
	チャハマキ	4月～10月 平年：やや早 前年：並	平年：並 前年：やや少	期間を通して発生時期は平年よりやや早く、発生量はやや少～やや多であった。	暖冬傾向で、特に1月下旬から4月上旬の気温が高く推移したことが発生時期に影響したと考えられる。	エマメクチン安息香酸塩剤等による防除が行われた。
	チャノホソガ	越冬世代（3～4月） 平年：やや早 前年：やや早 第1世代（5～6月） 平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	発生ピーク時のフェロモントラップの誘殺数が多かったものの、全体では平年並であった。	暖冬で越冬世代の活動が活発であったため4月の発生が多くなり、それ以降の発生量が増加したと考えられる。	ミルベメクチン剤等による防除が行われた。
	チャノミドリヒメヨコバイ	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並～やや少であった。	5月以降にまとまった降雨があり、発生量が抑えられたと考えられる。	ピリフルキナゾン剤、トルフェンピラド剤等による防除が行われた。
	カンザワハダニ	4月～10月 平年：やや早 前年：やや早	平年：やや多 前年：やや多	期間を通じて発生量はやや多であった。	5月以降にまとまった降雨があり、発生量が抑えられたと考えられる。	エトキサゾール剤、ミルベメクチン剤、シフルメトフェン剤等による防除が行われた。
	チャノキイロアザミウマ	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並～やや少であった。	5月以降、月に1回は降雨が続く時期があったため、発生量が抑えられたと考えられる。	ピリフルキナゾン剤等による同時防除が行われた。
	ツマグロアオカスミカメ	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並～やや少であった。	防除のタイミングや隣接に雑草地が多寡など周囲の条件による影響が大きいと考えられる。	ピリフルキナゾン剤、トルフェンピラド剤等による防除が行われた。
	クワシロカイガラムシ	第1世代（5月） 平年：並 前年：並 第2世代（7月） 平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	第1世代幼虫孵化最盛期は5月第3半旬でやや早、第2世代幼虫は7月第5半旬で平年並であった。発生量は、7月の発生がやや多となり、それ以降は平年並からやや小へと推移した。	多発圃場では一番茶摘採後の中刈りを行い発生を抑制している。	ピリプロキシフェン剤による冬季防除、ピリフルキナゾン剤やプロフェジン剤等による幼虫孵化期を中心にした防除が行われた。
	ヨモギエダシャク	6月～10月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量はやや多～やや少であった。	梅雨時期の少雨が発生量の増加に影響を及ぼしたためと考えられる。	ルフェヌロン剤等による防除が行われた。
冬春トマト	疫病	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	全般的に平年並に少なかった。	例年、ほとんど発生は見られない。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。
	灰色かび病	4～3月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	全体的な発生はやや少であるが、園地によっては多発ほ場が見られている。	換気等によるハウス内環境の改善などがなされた。	薬剤耐性菌発生に配慮した防除がなされた。
	アブラムシ類	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生は平年並に少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	コナジラミ類の侵入を阻止する防虫ネットの設置や薬剤防除により、同時防除された。
	ハスモンヨトウ	9月～10月	平年：並 前年：並	トマト施設内における発生は、期間を通して発生量は平年並に少ない状況であった。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいる。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。発生の多いほ場ではフェロモントラップを設置しているほ場もある。
	葉かび病	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	発生は一部圃場での発生にとどまり、発生に広がりが認められなかった。期間を通しての発生はやや少であった。	近年、葉かび病抵抗性品種の導入が進んでいるため、発生は少ない状況である。しかし、葉かび病の防除圧が減っているため、逆にすすかび病の発生は増加している。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。抵抗性品種導入圃場では、抵抗性を打破する新レースの出現に注意する必要がある。
	黄化葉巻病	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	3月に入り発生が増加傾向で主にコナジラミ類の防除が徹底していない園地で発生量がやや多となっている。	一部園地ではコナジラミの侵入防止用の防虫ネットの老朽化などにより、侵入が認められている。	防虫ネットの設置や発病株の除去の徹底を指導している。
	ハモグリバエ類	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	期間を通して発生量は平年並に少なかった。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいるため、多発する圃場は少なくなっている。	発生圃場では薬剤による防除や葉欠きが行われた。
	コナジラミ類	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	3月の気温上昇で増加傾向。一部ほ場ではやや多の発生となっている。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいるが防虫ネットの老朽化などにより、侵入が認められている園地がある。	薬剤による防除が行われている。
	オオタバコガ	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	オオタバコガのフェロモントラップ（松阪市嬉野川北町）による誘殺数調査によると、9月～11月末のオオタバコガの誘殺数は269頭（平年：252.3頭）と平年並だった。	侵入を阻止するネットの設置により回避を図っている。	薬剤による防除がなされた。
秋冬ハクサイ	アブラムシ類	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	一般圃場における発生は少なかった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	コナガ	9月～12月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	発生ほ場は限定的で、全体的に発生はやや少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。近年、秋の発生量は少ない傾向である。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや多	フェロモントラップ（松阪市嬉野川北町）誘殺数は、9月から11月までで5,245頭が誘殺され、平年3,982.7頭で、この期間中の発生は多かった。	育苗期および定植時の防除により初期の発生は抑制されたものの、9月中下旬に多く誘殺されており、顕著な高温や台風の影響も考えられる。	育苗期灌注処理などの薬剤による防除が行われた。
	軟腐病	9月～11月	平年：やや少 前年：並	降雨があって排水が停滞するような一部ほ場で発生しているが本年は発生がやや少ない。	水田裏作での栽培でほ場が湿地傾向にあるほ場で発生が認められている。	薬剤による防除がなされた。
	白斑病	9月～12月	平年：やや少 前年：並	発生は平年同様少なかった。近年発生は少ない傾向である。	防除により発生は抑えられた。	薬剤による防除がなされた。
	べと病	9月～12月	平年：やや少 前年：並	発生はやや少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	薬剤による防除がなされた。
	根こぶ病	11月～2月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	目立った発生は確認されなかった。一部ほ場で発生が確認されている。	例年発生は少なく、畑地圃場の一部で発生が認められる程度である。	発生圃場では定植前に薬剤による防除が行われた。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
	モンシロチョウ	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	本年はほ場での飛翔があまり見られなかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	ヨトウガ	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	発生は平年並であった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
冬キャベツ	黒腐病	10月～12月	平年：やや少 前年：やや多	10月中旬以降、台風の接近がなかったため、発生量は少であった。	初期防除により発生は抑制された。	薬剤による防除がなされた。
	菌核病	11月～12月	平年：やや少 前年：やや少	ほ場により、発生の有無に差があり、連作ほ場で発生が多い。	畑地圃場で発生する傾向となっている。	被害株の早期撤去などが行われた。
	コナガ	9月～12月	平年：やや少 前年：並	フェロモントラップによると9月～12月までの誘殺数は20頭(平年39.2頭)と少なく、ほ場での発生量もやや少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。近年、秋の発生量は少ない傾向である。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	アブラムシ類	9月～11月	平年：やや少 前年：やや少	ほ場によって発生が見られたが平年並に少なかった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期に薬剤による防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	9月～11月	平年：やや多 前年：並	フェロモントラップ（松阪市嬉野川北町）誘殺数は、9月から11月までで5,245頭が誘殺され、平年3,982.7頭で、この期間中の発生は多かった。	育苗期および定植時の防除が実施されたこと等により、発生は抑制された。	育苗期に薬剤による防除が行われた。
	根こぶ病	11月～2月	平年：並 前年：並	目立った発生は確認されなかった。	例年発生は少なく、畑地圃場の一部で発生が認められる程度である。	発生圃場では定植前に薬剤による防除が行われた。
	モンシロチョウ	9月～11月	平年：やや少 前年：並	本年はほ場での飛翔があまり見られなかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	ヨトウガ	9月～11月	平年：やや少 前年：やや少	発生は平年並であった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
春キャベツ	菌核病	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	発生は平年に比べてやや少の発生量であった。	前年の発生ほ場への作付けを行ったほ場で発生が認められている。	被害株の早期撤去などが行われた。
	根こぶ病	4月～5月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	全体的に発生は平年並であった。	例年発生は少なく、畑地圃場の一部で発生が確認される程度である。	定植前の薬剤による防除、発病株の除去等が行われた。
	コナガ	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	年度前半の発生は少なかったがフェロモントラップの誘殺状況は年明け以降発生は多めに推移した。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	モンシロチョウ	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	本年はほ場での飛翔があまり見られなかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	アブラムシ類	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	発生はほとんど見られず、平年よりやや少なかった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期灌注処理などの薬剤による防除が行われた。
秋冬ネギ	さび病	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生は平年並に少なかった。近年発生量は少ない傾向にある。	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除が行われた。
	アブラムシ類	5月～11月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通して発生は平年並に少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	薬剤による防除が行われた。
	黒斑病	6月～11月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生は平年並である。	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除が行われた。
	ネギハモグリバエ	5月～11月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	本年は防除困難なほ場は少なくなり、発生量はやや少なかった。	ネギハモグリバエは長年のネギの産地では期間を通して発生が見られており、年々発生量、被害量が多くなってきている。	薬剤による防除が行われた。
	ネギアザミウマ	5月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	8月以降の長雨で防除が遅れ発生量はやや多めだった。近年防除に苦慮している。	防除により発生は抑制された。近年発生が多い傾向である。	薬剤による防除が行われた。
	ネギコガ	8月～12月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	ほ場での発生は平年並だった。	例年、ほ場ではほとんど多発生は見られない。	発生圃場では薬剤による防除が行われた。
	シロイチモジヨトウ	8月～12月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	シロイチモジヨトウのフェロモントラップ（松阪市嬉野川北町）による誘殺数調査によると、8月から12月の誘殺数は250頭（平年：237.6頭）と平年並であった。	防除により発生は抑制された。近年発生が多い傾向がある。	薬剤による防除が行われた。
冬春イチゴ	灰色かび病	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	3月に入りハウス内温度の上昇に伴い発生の目立つ地域もあるが、全体としては年間を通じて発生量はやや少なかった。	防除の遅れなどによりいったん多発生すると防除困難となることが多いが、本年は防除困難となるほ場は見られなかった。	薬剤による防除、発病部位の除去などが行われた。
	アブラムシ類	6月～3月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並であった。	防除効果が高い薬剤が普及し、多発する圃場は減少している。	薬剤による防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	フェロモントラップ（松阪市嬉野川北町）誘殺数は、9月から11月までで5,245頭が誘殺され、平年3,982.7頭で、この期間中の発生は多かった。	育苗期および定植時の防除が実施されたこと等により、発生は抑制された。	育苗期に薬剤による防除が行われた。
	うどんこ病	6月～3月 平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	苗床、本圃での発生は、ともに少なく推移した。	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除がなされた。
	炭疽病	6月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	育苗期のころからやや多いほ場が散見され、そのまま本ぽに持ち込まれたハウスが目立った。定植後になっても取りこぼしが散発し期間を通じて発生量はやや多かった。	主力品種は罹病性の‘章姫’であるが、近年は県育成の抵抗性品種‘かおり野’の導入が進んでいる。	薬剤による予防防除、発病を軽減する育苗方法の導入（雨よけ育苗、底面給水等）、抵抗性品種（かおり野）の導入、発病株の除去等が行なわれた。
	アザミウマ類	3月～4月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	冬の間は少なかったが、3月に入り全体的に発生が見られるようになってきた。	密度上昇による被害拡大がないよう、早期発見に努めている。	薬剤による防除が行われた。
	ハダニ類	6月～3月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	ほ場間差が大きく、管理方法の差がそのまま発生量の差となって表れており、発生の二極化がみられている。	ほ場による差が大きく、定植時に少ない状況であることが重要であるとみられる。	薬剤による防除がなされた。 薬剤感受性の低下を防ぐため、天敵資材（カブリダニ）や気門封鎖剤を組み合わせた防除を実施している。

4. 病害虫の発生面積と防除面積

農作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積（ha）					防除面積（ha）	
			甚	多	中	少	計	実面積	延面積
イネ（早期水稲）	23,900	苗立枯病				0	0	23900	23900
		葉いもち			335	5354	5689	16730	16730
		穂いもち				3131	3131	16730	19120
		紋枯病				4039	4039	16730	19120
		白葉枯病				0	0	0	0
		ばか苗病				0	0	23900	23900
		イネシンガレセンチュウ				0	0		
		イネシンガレセンチュウ（種子消毒）						23900	23900
		籾枯細菌病				0	0		
		籾枯細菌病（種子消毒）						23900	23900
		縞葉枯病				0	0	0	0
		萎縮病				0	0	0	0
		ニカメイチュウ第1世代				0	0	0	0
		ニカメイチュウ第2世代				4039	4039	0	0
		セジロウンカ				215	215	16730	19120
		トビイロウンカ				0	0	16730	19120
		ヒメトビウンカ				8413	8413	16730	19120
		ツマグロヨコバイ				9416	9416	16730	19120
		イネドロオイムシ				0	0	0	0
		イネクロカメムシ				1338	1338	0	0
		斑点米カメムシ類		215	4254	9082	13551	16730	19120
		イチモンジセセリ				120	120	0	0
		フタオビコヤガ				550	550	0	0
		アワヨトウ				101	101	0	0
		コブノメイガ				2836	2836	0	0
		イネミズゾウムシ				13217	13217	5975	5975
		スクミリンゴガイ				2290	2290	2390	2390
イネ（普通期水稲）	1,300	苗立枯病				0	0	1300	1300
		葉いもち			195	520	715	910	910
		穂いもち			195	65	260	910	1040
		紋枯病				40	40	910	1040
		白葉枯病				0	0	0	0
		ばか苗病				5	5	1300	1300
		イネシンガレセンチュウ				0	0		
		イネシンガレセンチュウ（種子消毒）						1300	1300
		もみ枯細菌病				0	0		
		もみ枯細菌病（種子消毒）						1300	1300
		縞葉枯病				0	0	0	0
		萎縮病				0	0	0	0
		ニカメイチュウ第1世代				0	0	0	0
		ニカメイチュウ第2世代				220	220	0	0
		セジロウンカ				0	0	910	1040
		トビイロウンカ				0	0	910	1040
		ヒメトビウンカ				260	260	910	1040
		ツマグロヨコバイ				195	195	910	1040
		イネドロオイムシ				0	0	0	0
		イネクロカメムシ				217	217	0	0
		斑点米カメムシ類			108	433	541	910	1040
		イチモンジセセリ				130	130	0	0
		フタオビコヤガ				65	65	0	0
		アワヨトウ				0	0	0	0
		コブノメイガ				165	165	0	0
		イネミズゾウムシ			7	286	293	325	325
		スクミリンゴガイ				0	0	130	130
コムギ R4年産	6,931	さび病類				0	0	0	0
		うどんこ病				5	5	0	0
		赤かび病				6546	6546	6546	7855
		黒穂病類				0	0	0	0
		縞萎縮病				2	2	0	0
		アブラムシ類				0	0	0	0
		ムギアカタマバエ				0	0	0	0
ダイズ	4,340	ハスモンヨトウ		136	136	949	1221	2170	2170
		吸実性カメムシ類			1085	1085	2170	3472	4514
		紫斑病					0	2867	2867
		アブラムシ類					0	0	0
		コガネムシ類				930	930	0	0
		シロイチモジマダラメイガ				36	36	0	0
カンキツ	1,332	そうか病			20	185	205	1199	2398
		黒点病		20	287	615	922	1199	5694
		かいよう病			20	390	410	1199	2997
		ヤノネカイガラムシ				49	49	1199	2098

		ミカンハダニ		2	306	717	1025	1199	3896
		カメムシ類			20	390	410	1199	755
		チャノキイロアザミウマ		2	307	408	717	1199	4795
		ミカンハモグリガ			205	922	1127	1199	1199
		アブラムシ類				307	307	1199	599
ナシ	145	黒星病			1	19	20	138	1825
		赤星病				62	62	138	482
		うどんこ病				41	41	138	156
		ナシヒメシンクイ			4	30	34	138	930
		ハダニ類				44	44	138	413
		カメムシ類		2	4	35	41	138	138
		カイガラムシ類				6	6	138	500
		アブラムシ類				103	103	138	620
カキ	360	炭疽病				17	17	252	1071
		うどんこ病				13	13	252	1323
		カキノヘタムシガ				22	22	252	567
		カメムシ類		1	8	67	76	252	567
ブドウ	111	晩腐病				11	11	105	492
		黒とう病				14	14	105	738
		べと病			10	53	63	105	844
		チャノキイロアザミウマ				14	14	105	387
		ハマキムシ類				7	7	105	140
		カイガラムシ類				7	7	105	246
チャ	2,320	炭疽病			60	543	603	2019	4846
		もち病				116	116	1253	1880
		輪斑病			6	318	325	2088	2320
		チャノコカクモンハマキ			104	940	1044	2035	3663
		チャハマキ				580	580	1392	1810
		チャノホソガ			13	1287	1299	1954	3989
		チャノミドリヒメヨコバイ			17	1375	1392	1954	3989
		カンザワハダニ		12	51	1097	1160	2019	6175
		チャノキイロアザミウマ		14	111	919	1044	2035	6919
		ツマグロアオカスミカメ				534	534	1624	1624
		クワシロカイガラムシ		3	103	1216	1322	1856	2598
		ヨモギエダシャク			2	462	464	1160	1392
冬春トマト	63	疫病				0	0	5	10
		灰色かび病				12	12	63	295
		葉かび病				3	3	12	18
		コナジラミ類		1	5	24	30	63	315
		マメハモグリバエ				1	1	1	1
秋冬ハクサイ	177	軟腐病				4	4	53	53
		白斑病				0	0	35	70
		べと病				1	1	107	107
		アブラムシ類				32	32	177	221
		ヨトウガ				14	14	105	126
		コナガ				1	1	107	107
冬キャベツ	231	黒腐病				5	5	218	251
		菌核病				10	10	133	151
		モンシロチョウ				7	7	50	64
		コナガ				8	8	218	264
		ヨトウガ				14	14	133	264
		ハスモンヨトウ				20	20	199	199
		シロイチモジヨトウ				27	27	133	264
春キャベツ	146	菌核病				1	1	14	28
		モンシロチョウ				10	10	23	35
		コナガ				10	10	123	210
秋冬ネギ	163	さび病				3	3	3	5
		黒斑病				134	134	152	217
		シロイチモジヨトウ			1	42	43	163	281
		アブラムシ類				0	0	1	1
		ネギハモグリバエ			10	101	111	163	495
		ネギアザミウマ		1	47	57	105	52	163
		ネギコガ				2	2	6	6
冬春イチゴ	74	灰色かび病				3	3	74	305
		うどんこ病				1	1	74	102
		アブラムシ類				8	8	74	102
		アザミウマ類				20	20	74	150
		ハダニ類			1	30	31	74	320
		ハスモンヨトウ				1	1	74	85

5. 発行された予察情報

(1) 発生予察情報の一覧

発生予報	第1号 4月27日	第2号 5月26日	第3号 6月23日	第4号 7月28日	第5号 8月25日	第6号 10月27日	第7号 3月23日

	病害虫名	対象作物
注意報第 1 号　令和 4 年 4 月 21 日	赤かび病	ムギ類
注意報第 2 号　令和 4 年 8 月 2 日	果樹カメムシ類	ナシ、カキ、カンキツ等

	病害虫名	対象作物
特殊報第 1 号　令和 4 年 4 月 27 日	オリーブ立枯病	オリーブ
特殊報第 2 号　令和 4 年 12 月 23 日	サツマイモ基腐病	サツマイモ

	病害虫名	対象作物
技術情報第 1 号　令和 4 年 4 月 4 日	赤かび病	ムギ類
技術情報第 2 号　令和 4 年 4 月 11 日	スクミリンゴガイ	水稲
技術情報第 3 号　令和 4 年 5 月 13 日	果樹カメムシ類	ナシ、ウメ、カンキツ、カキ等
技術情報第 4 号　令和 4 年 5 月 13 日	クワシロカイガラムシ	チャ
技術情報第 5 号　令和 4 年 6 月 23 日	果樹カメムシ類	ナシ、カキ、ブドウ、カンキツ等
技術情報第 6 号　令和 4 年 7 月 1 日	ウンカ類（トビイロウンカ、セジロウンカ）	水稲（早期、普通期）
技術情報第 7 号　令和 4 年 7 月 1 日	斑点米カメムシ類	水稲（早期、普通期）
技術情報第 8 号　令和 4 年 7 月 1 日	クワシロカイガラムシ	チャ
技術情報第 9 号　令和 4 年 7 月 15 日	いもち病（葉いもち・穂いもち）	水稲
技術情報第 10 号　令和 4 年 8 月 30 日	斑点米カメムシ類（主にイネカメムシ）	水稲（普通期）
技術情報第 11 号　令和 4 年 9 月 20 日	ウンカ類、斑点米カメムシ類	水稲（普通期）
技術情報第 12 号　令和 4 年 9 月 20 日	吸実性カメムシ類	ダイズ
技術情報第 13 号　令和 4 年 9 月 26 日	ハスモンヨトウ	野菜類・花き類・ダイズ
技術情報第 14 号　令和 4 年 12 月 6 日	スクミリンゴガイ	水稲
技術情報第 15 号　令和 5 年 3 月 13 日	カンザワハダニ	チャ
技術情報第 16 号　令和 5 年 3 月 23 日	赤かび病	ムギ類

(2) 予報

防 除 第 10 号
令和 4 年 4 月 27 日

各 位

三重県病害虫防除所長

令和 4 年度病害虫発生予報第1号

このことについて、下記のとおり発表します。

目 次

	ページ
1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	6
4. 予察項目の見方	10
5. 気象のデータ	11
6. おしらせ	13

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、イネミズゾウムシの発生時期は**早**、発生量は**平年並**と予想されます。

コムギでは、赤かび病の発生量は**やや多**と予想されます。開花状況を確認して防除してください。曇天または降雨が続く場合は追加防除を行ってください。

2) 果樹

カンキツでは、そうか病、かいよう病、ミカンハダニの発生量は**平年並**と予想されます。ナシでは、黒星病、赤星病、ハダニ類、アブラムシ類の発生量は**平年並**と予想されます。

果樹共通では、果樹カメムシ類の発生量は**平年並**と予想されます。

3) 茶

チャでは、カンザワハダニの発生量は**やや多**と予想されます。多発状況であれば摘採前日数に注意して防除してください。

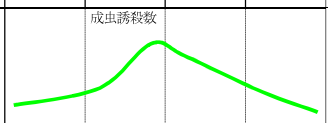
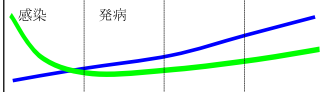
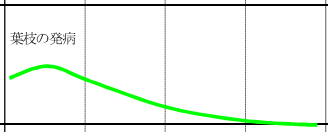
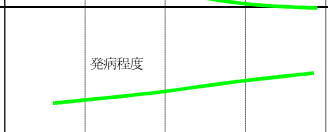
チャノホソガ、チャノコカクモンハマキの発生量は**平年並**と予想されます。チャノキイロアザミウマ、クワシロカイガラムシの発生量は**やや少**と予想されます。

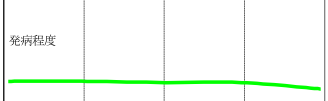
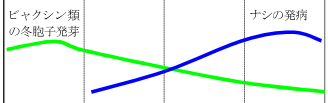
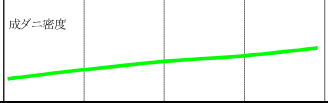
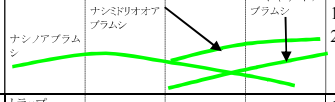
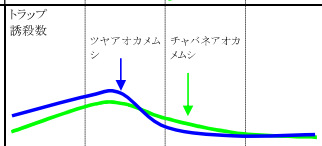
4) 野菜

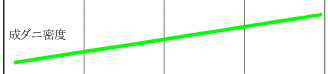
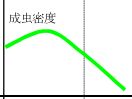
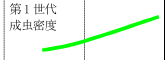
イチゴでは、ハダニ類の発生は**平年並**と予想されます。

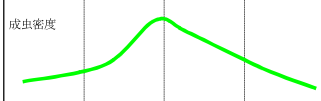
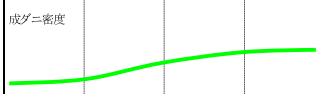
農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						4 月	5 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
イネ	イネミズゾウムシ	早	平年並	小	普通					1) 近年、発生量が少ないので移植後、発生の状況に応じて防除してください。 2) 常発圃場では、箱施用剤による予防を行ってください。
コムギ	赤かび病	―	やや多	小	高					1) 病害虫防除技術情報第 1 号(令和 4 年 4 月 4 日発表)。 2) 病害虫発生予察注意報第1号(令和 4 年 4 月 21 日発表)。 3) 開花期から乳熟期にかけて感染するので、開花最盛期が防除適期です。開花前の薬剤散布は防除効果が劣ります。 4) 出穂および開花状況を把握し、適期防除を行ってください。 5) 曇雨天が続くと被害は増加するので天候の推移に注意し、追加防除を行ってください。
カンキツ	そうか病	―	平年並	小	低					1) 発芽期の防除を実施することで、その後の発生を抑えることができます。 2) 新葉に病斑が見られる圃場では、その後果実へ感染しますので、幼果期の防除を計画してください。
	かいよう病	―	温州 平年並 中晩柑 平年並	温州 小 中晩柑 中	温州 低 中晩柑 普通					1) 越冬病斑が見られる圃場では、新葉や幼果へと感染していくので、初期の予防散布がポイントです。 2) 越冬病斑が多い圃場では、伝染源となる発病葉及び発病枝は除去し、圃場外で処分してください。 3) 3～4 月に防除を実施していない圃場では、5 月に防除を実施してください。
	ミカンハダニ	―	平年並	中	普通					1) 冬期にマシン油乳剤を散布していない圃場では、新梢伸長期に発生が急増することがあるので注意してください。 2) 発生量は圃場によるばらつきがあるので、発生状況をよく観察してください。 3) 成虫が 1 葉当り 0.5～1.0 頭になったら防除を計画してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						4 月	5 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
ナシ	黒星病	－	平年並	小	普通					1) 昨年の発生が多かった圃場では、天気予報の降雨の情報に注意し、防除適期を逃さないようにしてください。 2) 発病が確認されたら追加防除を行ってください。
	赤星病	－	平年並	小	普通					1) カイヅカイブキ等の枝葉に生成された病原菌が 4 月頃の雨滴によって飛散し、ナシに感染します。 2) 例年発生する圃場や発生が確認された圃場では早めに防除してください。
	ハダニ類	－	平年並	小	普通					1) 発生が見られる圃場では、低密度のうちに防除してください。
	アブラムシ類	－	平年並	小	普通					1) 初期の寄生を見つけることが重要です。 2) 寄生葉付近はアリが活発に活動していることがあるので、発見の目安になります。
果樹共通	カメムシ類	－	平年並	小	低					1) 本年は平年より早く誘殺が確認されています。 2) 山林に近い圃場や過去に多数飛来があった圃場では、飛来に注意してください。 3) 果樹カメムシ類は、4 月はウメ、5 月はナシ、ビワ、モモに飛来します。 4) 防除は圃場及び圃場周辺（街灯への夜間飛来など）への果樹カメムシ類の飛来を確認して行ってください。 5) 一旦飛来すると連続して飛来することが多いので、防除実施後も注意してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						4 月	5 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
チャ	カンザワハダニ	－	やや多	中	普通					1) 一番茶摘採後圃場を確認して、多発状況であれば摘採前日数に注意して防除してください。 2) 葉裏に生息していますので、葉裏に十分かかる様に薬剤をていねいに散布してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。 4) 天敵への影響が小さい薬剤を選択してください。
	チャノホソガ	－	平年並	小	普通					1) 新芽に産卵します。若齢幼虫の多発が認められた圃場では防除しましょう。 2) 病害虫防除所のホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。
	チャノキイロアザミウマ	－	やや少	小	低					1) 新芽の葉柄基部や未展開葉の内側などを吸汁加害します。 2) 新芽の伸長と共に発生量が増加します。
	クワシロカイガラムシ	－	やや少	小	普通					1) 4 月 9 日現在の有効積算温度による予測式では、孵化最盛日は 5 月 17 日で平年並（亀山 10 年平年値 5 月 16 日）、防除適期は 5 月第 4～5 半旬頃と予想されます。なお、今後の温度変化により防除適期は変化しますので、ご注意ください。 2) 天敵保護のために、天敵への影響が小さい薬剤を選択してください。 3) 孵化時期に散水により枝幹を濡らすことで歩行型幼虫の固着を防ぐ効果があります。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						4 月	5 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
チャ	チャノコカクモンハマキ	―	平年並	小	普通					1) 幼虫は孵化数日後に葉を 2～3 枚綴るようになるので、薬が効きにくくなります。孵化直後の若齢幼虫を対象に防除してください。 2) 例年、越冬世代成虫の発生最盛期は 5 月第 2 半旬です。この 7～15 日後の幼虫孵化期(5 月中下旬頃)が防除適期です。 3) 病害虫防除所のホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載しているので参考にしてください。
イチゴ	ハダニ類	―	平年並	中	普通					1) 圃場によって発生にばらつきがあります。こまめに圃場を観察し、発生状況を確認してください。 2) 薬液がかかりやすくなるよう、不要な下葉を除去し、葉裏にもかかるよう丁寧に散布してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。 4) 薬剤散布の際は、収穫前日数と総使用回数を遵守するとともに、天敵やミツバチに対する影響も十分考慮して、薬剤の選択を行ってください。

3. 発生時期･発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
イネ	イネミズゾウムシ	早	平年並	要因 1) 1 か月予報(4 月 21 日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (±) 2) 予察灯(水田･松阪市)初飛来は 4 月 14 日(平年 4 月 29 日)と早 (発生時期－) 3) 予察灯(水田･松阪市、昨年 7 月第 1 半旬～9 月第 2 半旬)では、誘殺数は 123 頭(平年 118 頭)と平年並 (±) 4) 巡回調査圃場(昨年 8 月)では、発生圃場率 0.9%(平年 8.6%)と少、払い落し虫数は 0.01 頭(平年 0.15 頭)と少 (－) 考察: 予察灯における飛来状況から、発生時期は早と考えます。また、昨年の予察灯の調査結果を重視して、越冬成虫の予想発生量は平年並と考えます。
コムギ	赤かび病	―	やや多	要因 1) 1 か月予報(4 月 21 日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (＋) 2) 作況試験田(11 月 12 日播種･品種あやひかり･松阪市)では、出穂期は 4 月 5 日(平年 4 月 9 日)とやや早 (±) 3) 一般圃場では、出穂期がやや早～平年並の状況(概してやや早) (±) 考察: 今後の気象条件から、予想発生量はやや多と考えます。
カンキツ	そうか病	―	平年並	要因 1) 1 か月予報(4 月 21 日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (＋) 2) 巡回調査圃場(4 月第 2～3 週)では、旧葉発病度 0(平年 0.006)と平年並に少 (±) 3) 一般圃場での発生量は少～平年並(概してやや少) (－) 考察:今後の気象条件、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	かいよう病	―	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1) 1 か月予報(4 月 21 日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (＋) 2) 巡回調査圃場(4 月第 2～3 週)では、温州みかんでは旧葉発病度 0.06(平年 0.02)とやや多の傾向、中晩柑類では旧葉発病度 7.7(平年 2.6)と多 (＋) 3) 一般圃場での発生量は少～平年並(概して平年並) (±) 考察:一般圃場の発生状況を重視して、予想発生量は温州みかん、中晩柑類ともに平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	ー	平年並	要因 1）1か月予報（4月21日発表）によると、気温は高く、降水量は多い予想 （±） 2）県予察圃（4月上旬）では、100葉当り雌成虫寄生頭数は、無防除区10.0頭（平年30.9頭）、慣行防除区0頭（平年0.2頭）とともに少 （－） 3）巡回調査圃場（4月第2～3週）では、寄生葉率4.9%（平年4.8%）と平年並、寄生虫数/葉は0.18頭（平年0.26頭）と平年並の傾向 （±） 4）一般圃場では、発生量は少～平年並（概してやや少） （－） 考察： 今後の気象条件、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。
ナシ	黒星病	ー	平年並	要因 1）1か月予報（4月21日発表）によると、気温は高く、降水量は多い予想 （＋） 2）巡回調査圃場（4月第2～3週）では、発病芽率0%（平年0%）と平年並に少 （±） 3）一般圃場では、発生量は少 （－） 考察： 現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象条件を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。
	赤星病	ー	平年並	要因 1）1か月予報（4月21日発表）によると、気温は高く、降水量は多い予想 （＋） 2）巡回調査圃場（4月第2～3週）では、発病葉率0%（9年平均0%）と平年並に少 （±） 3）一般圃場では、発生量は平年並に少 （±） 考察： 巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	ハダニ類	ー	平年並	要因 1）1か月予報（4月21日発表）によると、気温は高く、降水量は多い予想 （±） 2）巡回調査圃場（4月第2～3週）では、寄生葉率0%（9年平均0%）と平年並に少 （±） 考察： 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	アブラムシ類	ー	平年並	要因 1）1か月予報（4月21日発表）によると、気温は高く、降水量は多い予想 （±） 2）巡回調査圃場（4月第2～3週）では、寄生枝率0%（平年0.2%）と平年並の傾向 （±） 3）一般圃場では、発生量はやや少 （－） 考察： 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
果樹共通	カメムシ類	ー	平年並	要因 1）予察灯（御浜町4月1日～10日）では、誘殺数はチャバネアオカメムシ4.0頭（平年4.5頭）と平年並、ツヤアオカメムシ6.0頭（平年36.5頭）と少 （－） 2）予察灯（畑・松阪市4月第1半旬～第3半旬）では、誘殺数はチャバネアオカメムシ2頭（平年0頭）と多の傾向、ツヤアオカメムシ0頭（平年0.1頭）とやや少 （±） 3） 県予察圃フェロモントラップ（御浜町4月1～10日）では、チャバネアオカメムシ誘殺数は0.9頭（平年2.0頭）、ツヤアオカメムシ0頭（平年2.0頭）と少 （－） 4）昨年度のフェロモントラップ（令和3年10月1日～11月30日）ではチャバネアオカメムシ誘殺数は山地（津市白山町川口）169.0頭（平年139.5頭）とやや多、中間地（津市白山町二本木）83.3頭（平年33.0頭）と多、平坦地（松阪市嬉野川北町）30.7頭（平年18.3頭）とやや多の傾向 （＋） 5）フェロモントラップ（4月2週）では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地（津市白山町川口）3.7頭（平年5.1頭）とやや少、中間地（津市白山町二本木）15.3頭（平年8.6頭）と多、平坦地（松阪市嬉野川北町）2.4頭（平年0.1頭）と多 （＋） 6）チャバネアオカメムシの越冬量は、0.8頭/地点（平年4.1頭）と少、クサギカメムシの越冬量は、25頭/地点（平年54.9頭）と少 （－） 7）巡回調査圃場（4月第2～3週）では、カンキツ圃場への飛来は未確認 （－） 考察：昨年度秋以降の越冬世代の発生量はやや多と考えられますが、越冬量は少であることから一部で誘殺数が多いものの今後の圃場への飛来数の予想発生量は平年並と考えます。
チャ	カンザワハダニ	ー	やや多	要因 1）1か月予報（4月14日発表）によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）県予察圃（4月中旬）では、寄生葉率68.0%（平年12.9%）と多、寄生頭数5.62頭／葉（平年0.81頭／葉）と多 （＋） 3）巡回調査圃場（4月第2～3週）では、発生圃場率94.4%（平年50.4%）多、寄生葉率15.3%（平年5.5%）と多、寄生頭数0.96頭／葉（平年0.27頭／葉）と多 （＋） 4）一般圃場では、発生量は平年並 （±） 考察： 今後の気象条件、県予察圃、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや多と考えます。
	チャノホソガ	ー	平年並	要因 1）1か月予報（4月14日発表）によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）県予察圃では、萌芽日は4月2日（平年4月5日）とやや早、初飛来は3月13日（平年3月13日）と平年並、フェロモントラップ（3月第3半旬～4月第3半旬）では誘殺数2207.5頭（平年956.1頭）と多 （＋） 3）巡回調査圃場（4月第2～3週）では、巻葉数0.0枚／㎡（平年0.08枚／㎡）と少 （－） 4）一般圃場では、発生量は平年並 （±） 考察： 今後の気象条件、県予察圃、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	－	やや少	要因 1）1か月予報（4月14日発表）によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）県予察圃（4月第1～第3半旬）では、黄色粘着トラップ捕殺数72.5頭（9年平均73.4頭）と平年並の傾向 （±） 3）巡回調査圃場（4月第2～3週）では、叩き落とし虫数0.0頭（平年0.95頭）とやや少 （－） 4）一般圃場では、発生は未確認 （－） 考察： 今後の気象条件、県予察圃、巡回調査圃場、一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや少と考えます。
	クワシロカイガラムシ	－	やや少	要因 1）1か月予報（4月14日発表）によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）巡回調査圃場（4月第2～3週）では、雌成虫寄生株率9.8％（平年15.8％）と少の傾向 （－） 3）一般圃場では、発生量は未確認 （－） 考察： 今後の気象状況、巡回調査圃場、一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや少と考えます。
	チャノコカクモンハマキ	－	平年並	要因 1）1か月予報（4月14日発表）によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）県予察圃フェロモントラップ（4月第1～第3半旬）では、誘殺数114.0頭（平年160.0頭）と平年並 （±） 3）巡回調査圃場（4月第2～3週）では、ハマキムシ類巻葉数0.0枚／㎡（平年1.64枚／㎡）と少 （－） 4）一般圃場では、ハマキムシ類の発生量は未確認 （－） 考察： 現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象状況と県予察圃フェロモントラップの状況を考慮すると予想発生量は平年並と考えます。
イチゴ	ハダニ類	－	平年並	要因 1）1か月予報（4月21日発表）によると、気温は高く、降水量は多い予想 （±） 2）巡回調査圃場（4月第2～3週）では、寄生株率0.7％（平年13.2％）と少、寄生程度0.3％（平年6.9％）と少 （－） 3）一般圃場では、発生量は少～やや多 （概して平年並）（±） 考察： 全体としての現状の発生量は平年並と考えられ、一般圃場の発生状況を重視して引き続き予想発生量は平年並と考えます。

4. 予察項目の見方

1）「作物別の状況」の見方

発生時期（平年比）： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数		-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早				平年並				やや遅			遅	

発生量（平年比）： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多，多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

平年値

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

発生量（程度）： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量（平年比）」と比べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きいが平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚

要防除圃場率（平年比）： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除などが必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2）「発生時期・発生量（平年日）の予察根拠」の見方

（±）：平年並の要因

（＋）：発生量増加または発生時期遅延の要因

（－）：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方 1 か月予報（令和 4 年 4 月 21 日　名古屋地方気象台発表）

暖かい空気が流れ込みやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。

気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は多く、日照時間は少ないでしょう。

1 週目 4 月 23 日 ～29 日	気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
2 週目 4 月 30 日 ～5 月 6 日	天気は数日の周期で変わりますが、気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
3～4 週目 5 月 7 日 ～20 日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

東海地方週間天気予報（令和 4 年 4 月 22 日　名古屋地方気象台発表）

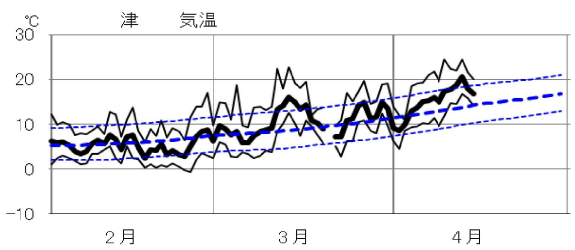
予報期間　4 月 23 日から 4 月 29 日まで

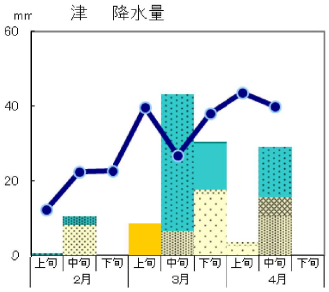
向こう一週間は、前線や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、雨の降る日が多いでしょう。

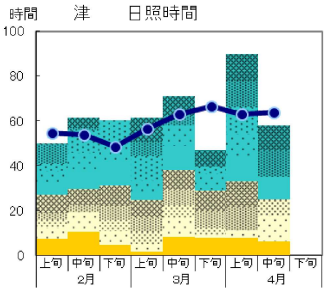
最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より高く、かなり高い日もある見込みです。

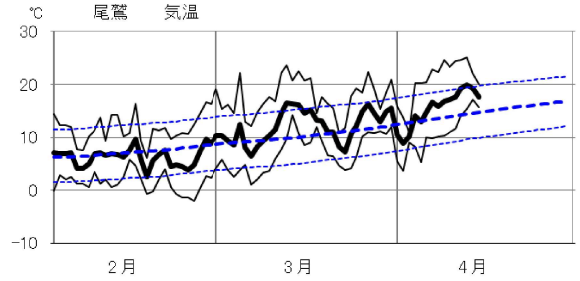
降水量は、平年より多いでしょう。

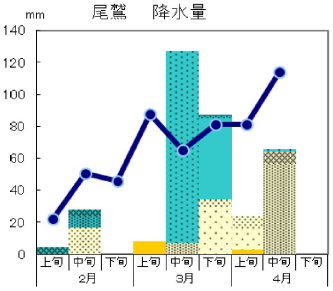
気象の日別推移（気象庁発表データ　http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php　から作成）（4 月 10 日まで）

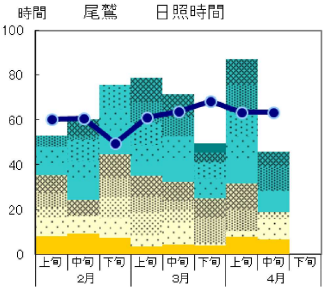


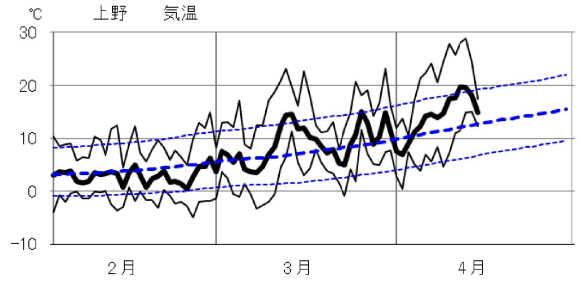


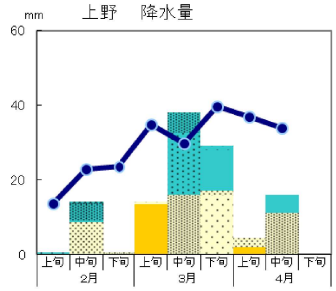


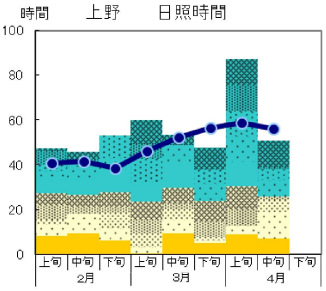












凡例
平均
最高
最低
平年平均
平年最高
平年最低

凡例
31日
旬10日目
旬9日目
旬8日目
旬7日目
旬6日目
旬5日目
旬4日目
旬3日目
旬2日目
旬1日目
旬平年値

凡例
31日
旬10日目
旬9日目
旬8日目
旬7日目
旬6日目
旬5日目
旬4日目
旬3日目
旬2日目
旬1日目
旬平年値

6. おしらせ （前回と異なる項目には NEW の印があります）

1）記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2）発表日 NEW

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

第 1 回 4 月 27 日（水）（今回）	第 2 回 5 月 26 日（木）
第 3 回 6 月 23 日（木）	第 4 回 7 月 28 日（木）
第 5 回 8 月 25 日（木）	第 6 回 10 月 27 日（木）
第 7 回 3 月 23 日（木）	

3）利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

https://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただけると幸いです。

4）本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアドレスからお入りください。

http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf

5）メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたことを「掲載通知」として電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm

6）農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

三重県農薬情報システム

https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7）IPM（総合的病害虫・雑草管理）実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全・流通課ホームページ内

http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm

防 除 第 14 号
令和 4 年 5 月 26 日

各 位

三重県病害虫防除所長

令和4年度病害虫発生予報第2号

このことについて、下記のとおり発表します。

目 次

	ページ
1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量（平年比）の予察根拠	7
4. 予察項目の見方	12
5. 気象のデータ	13
6. おしらせ	15

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1）作物

イネでは、葉いもちの発生時期は**平年並**、発生量は**やや多**と予想されます。発生を見かけたら速やかに防除してください。イネクロカメムシの発生量は**平年並**と予想されます。イネミズゾウムシの発生時期は**早**、発生量は**平年並**と予想されます。

2）果樹

カンキツでは、そうか病、黒点病、かいよう病、チャノキイロアザミウマの発生量は**平年並**と予想されます。ミカンハダニの発生量は**やや少**と予想されます。

ナシでは、黒星病の発生量は**平年並**、ハダニ類の発生量は**やや少**と予想されます。

ブドウでは、べと病の発生量は**平年並**と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。発生が認められた場合は、速やかに防除を実施してください。

3）茶

チャでは、炭疽病、もち病、カンザワハダニ、チャノホソガの発生量は**平年並**、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマの発生量は**やや少**と予想されます。

4）野菜

イチゴでは、炭疽病の発生量は**平年並**、うどんこ病の発生量は**やや少**と予想されます。

ネギでは、ネギコガの発生量は**平年並**と予想されます。

野菜共通では、コナガの発生量は**やや少**と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530
TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568
ホームページhttp://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

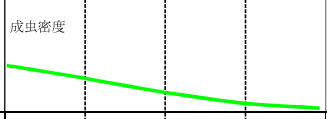
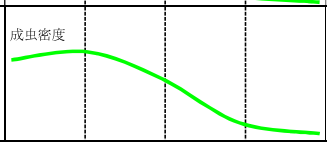
2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						5 月	6 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
イネ	葉いもち	平年並	やや多	小	普通	置苗で発生		本田で発生		1) 補植用置苗は発生源となるので、速やかに除去し、枯死させてください。 2) 本田粒剤による予防は、初発前に行ってください。 3) いもち病発生予測支援システム（ブラスタム）において、感染好適条件の現れた 7～10 日後に初発が予測されます。 4) ブラスタムの最新情報は、病害虫防除所ホームページで随時更新しています。
	イネクロカメムシ	―	平年並	小	普通		成虫誘殺数		被害量	1) 常発地で薬剤散布する場合は、越冬成虫の発生量がピークになる 6 月下旬に実施してください。
	イネミズゾウムシ	早	平年並	小	低	成虫誘殺数				1) 株当り 0.5 頭以上の成虫が発生していれば、防除してください。
カンキツ	そうか病	―	平年並	小	普通	葉・枝		果実		1) 梅雨明けまで幼果に感染します。 2) 6 月以降は新芽や幼果の病斑から二次感染するので、予防散布が重要です。
	黒点病	―	平年並	小	普通	発病程度				1) 生理落果盛期～後期に予防散布を実施してください。 2) 上記薬剤散布後、積算で 200mm 以上の降雨があったら次の防除を実施してください。 3) 枯枝が伝染源です。梅雨時期の枯枝発生に注意し、樹冠内や圃場内の枯枝を除去してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						5 月	6 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
カンキツ	かいよう病	―	温州 平年並 中晩柑 平年並	温州 小 中晩柑 中	温州 低 中晩柑 普通	発病程度				1) 旧葉で越冬病斑が見られる圃場では、感染を助長する降雨等の気象条件に注意し、ボルドー剤による予防防除を実施してください。 2) 越冬病斑が見られない圃場でも、本病に弱い品種（カラ、セミノールなど）では、幼果への感染防止対策として予防散布を実施してください。 3) 中晩柑類では、梅雨期頃から 10 月中下旬頃まで果実への感染が起こります。
	ミカンハダニ	―	やや少	中	普通	雌ダニ密度				1) 梅雨期は薬剤散布のタイミングが取りにくい時期です。マシン油乳剤等を有効に利用する散布を計画して下さい。 2) 発生密度が高い圃場では、散布ムラのないように十分に薬剤散布してください。 3) 薬剤抵抗性発達を回避するため、同一系統薬剤使用は年 1 回としてください。
	チャノキイロアザミウマ	―	平年並	小	普通	成虫密度				1) 例年被害の多い圃場では 6 月上旬～中旬に防除し、その後は 30 日間隔を目安に次回の防除を行ってください。
ナシ	黒星病	―	平年並	小	普通	発病程度				1) 圃場内をよく観察し、発病が認められる場合は速やかに防除を実施してください。 2) 発病葉は発見次第取り除き、圃場外へ持ち出して処分してください。 3) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため同一系統薬剤の連用を避けてください。
	ハダニ類	―	やや少	小	普通	雌ダニ密度				1) 防除の目安は成虫の 1 葉当り寄生頭数が 1 頭以上の時です。 2) 薬剤抵抗性発達を回避するため、同一系統薬剤使用は年 1 回としてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						5 月	6 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
ブドウ	べと病	―	平年並	小	普通	発病程度				1) 雨が続くと急激に発生が広がります。降雨が予想される時は、早めに予防散布を行ってください。 2) 葉裏をよく観察し、病斑を認めたら直ちに防除を実施してください。 3) 被害葉、被害果穂は発見次第取り除き、圃場外に持ち出し処分してください。
果樹共通	カメムシ類	―	やや多	中	普通			チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	1) 病害虫防除技術情報第 3 号(5 月 13 日発表) 2) 降雨がなく気温の高い夜に飛来が多いので、夜間の街灯に注意したり、圃場を見回るなどして、早期発見に努めてください。 3) 山林に近い圃場では特に注意が必要です。 4) 薬剤散布はカメムシ類の飛来を確認してから実施してください。 5) 夕刻から活発に飛翔するので朝夕の薬剤散布が効果的です。 6) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布すると、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。
チャ	炭疽病	―	平年並	小	普通	発病	感染		発病	1) 気温が 25℃前後で降雨時間が長く湿潤であると多発します。 2) 6 月上中旬頃の気象によっては感染が助長されるので注意してください。 3) 旧葉に病斑葉が多いところでは注意してください。 4) 開葉初期に防除してください。
	もち病	―	平年並	小	低	発病	感染		発病	1) 気温が低い(15～22℃)と多発します。 2) 山間地など日陰になりやすいところでは、降雨により感染が多くなります。 3) 萌芽期が防除適期です。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						5 月	6 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
チャ	カンザワハダニ	―	平年並	中	普通	雌ダニ密度				1) 世代交代が早く、急増することがあるので、発生密度の低い時期に防除してください。 2) 葉裏に生息していますので丁寧に散布してください。 3) 天敵への影響の小さい薬剤を選択してください。 4) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	チャノホソガ	―	平年並	中	普通	成虫密度				1) 防除適期は孵化直後の潜葉期(幼虫による絵描き状態)です。 2) 成虫の飛来状況と新芽への産卵状況(水滴状の卵)に注意してください。 3) 成虫の飛来状況は、病害虫防除所のホームページを参考にしてください。
	チャノミドリヒメヨコバイ	―	やや少	小	普通	成虫密度				1) 成虫で越冬し、新芽の伸長とともに発生が増加します。 2) 新芽を加害し、先端から褐変して落葉することもあります。 3) 二番茶の萌芽期～開葉初期に防除してください。
	チャノキイロアザミウマ	―	やや少	小	低	成虫密度				1) 成虫で越冬し、新芽の葉の組織内に産卵し、加害します。 2) 二番茶の萌芽前～開葉初期に防除してください。
イチゴ	うどんこ病	―	やや少	中	普通		親株 発病程度			1) 今後 1 か月は感染しやすい時期です。圃場をよく観察し、早期発見に努め、発病葉は適切に処分してください。 2) 育苗圃で発生が多いと本圃でも多発するため、親株の時期から薬剤防除を徹底し、健全苗を育成してください。特にハウスで発生が多くなることがあるので注意して下さい。 3) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため、同一系統薬剤の連用は避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						5月	6月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
イチゴ	炭疽病	―	平年並	中	普通					1)高温・多湿条件で発生しやすいため、今後の梅雨・高温期にかけては注意が必要です。 2)薬剤による予防防除を徹底してください。 3)罹病株は感染源となります。見つけ次第速やかに除去し、圃場外に持ち出して処分してください。 4)水滴の跳ね返りによって病原菌が広がります。潅水時は、跳ね返った水滴が茎葉に当たらないよう注意してください。
ネギ	ネギコガ	―	平年並	小	普通					1)春から秋にかけて4～5回発生します。 2)幼虫が葉の内部に潜り、表皮を残して食害するため、潜入防止のための早期防除が重要です。
野菜共通	コナガ	―	やや少	小	普通					1)中・老齢幼虫は殺虫効果が低くなるので、若齢のうちに防除してください。 2)薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用は避けてください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
イネ	葉いもち	平年並	やや多	要因 1)1か月予報(5月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 (＋) 2)巡回調査圃場(5月第1～2週)では、置き苗での発生率2.1%(平年0%)、本田での発生圃場率0%(平年0%)とやや多の傾向 (＋) 3)一般圃場では、発生量は無で平年並 (±) 考察:今後の気象条件、巡回調査結果から予想発生量はやや多と考えます。
	イネクロカメムシ	―	平年並	要因 1) 予察灯の誘殺数は松阪市・昨年8月第2半旬～10月第6半旬の水田位置10頭(平年14.3頭)と平年並の傾向、畑位置415頭(平年485頭)と平年並の傾向 (±) 2) 予察灯の誘殺数は松阪市・本年4月第1半旬～5月第2半旬の水田位置2頭(平年0頭)、畑位置8頭(平年0頭)と多の傾向 (＋)。発生時期は早。 考察:予想発生量は平年並と考えます。
	イネミズゾウムシ	早	平年並	要因 1)予察灯(水田位置・松阪市:4月第1半旬～5月第2半旬)では、越冬成虫の初飛来日は4月13日(平年4月29日)と早、誘殺数は46頭(平年9.1頭)と多 (発生時期ー、発生量＋) 2)巡回調査圃場(5月第1～2週)では、発生圃場率57.9%(平年41.9%)と多、被害株率17.5%(平年11.9%)と多、株当り虫数0.01頭(平年0.03頭)と少 (±) 3)一般圃場での発生量は無～少(概して少) (ー) 考察:予察灯の状況から幼虫の予想発生時期は早、巡回調査結果、一般圃場の状況から、予想発生量は平年並と考えます。
カンキツ	そうか病	―	平年並	要因 1)1か月予報(5月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 (＋) 2)県予察圃(5月16日、興津早生、無防除)では、新葉発病率100.0%(平年71.2%)と多、発病果率11.7%(平年9.8%)と平年並 (＋) 3)巡回調査圃場(5月第1～2週)では、旧葉発病度0(平年0.02)とやや少 (ー) 4)一般圃場では、発生量はやや少～平年並(概して平年並) (±) 考察:現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	黒点病	－	平年並	要因 1）1か月予報（5月19日発表）によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 （＋） 2）県予察圃（興津早生、無防除）では、昨年10月上旬の果実発病度は82.6（平年82.6）で平年並 （±） 3）巡回調査圃場では、昨年10月上旬の果実発病度7.8（平年9.9）とやや少 （－） 4）感染源となる枯枝は平年並 （±） 考察：平年と比べて大きな増減の要因はなく、予想発生量は平年並と考えます。
	かいよう病	－	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1）1か月予報（5月19日発表）によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 （＋） 2）県予察圃（5月16日、新甘夏、無防除）では、新葉発病率0%（平年0%）と平年並に少 （±） 3）巡回調査圃場（5月第1～2週）では、旧葉発病度は温州みかんでは0.3（平年0.01）と多、中晩柑類では0.5（平年1.8）と少 （±） 4）一般圃場では、発生量はやや少 （－） 考察：温州みかんでは、一般圃場を重視して現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。中晩柑類では、現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。
	ミカンハダニ	－	やや少	要因 1）1か月予報（5月19日発表）によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）県予察圃（5月16日、興津早生）では、寄生頭数は、無防除区7.8頭／100葉（平年27.9頭）と少、慣行防除区0頭／100葉（平年1.1頭）と少 （－） 3）巡回調査圃場（5月第1～2週）では、旧葉寄生率6.3%（平年5.2%）と平年並、寄生頭数0.22頭／葉（平年0.35頭／葉）とやや少 （－） 4）一般圃場では、発生量は少～平年並（概してやや少） （－） 考察：発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	チャノキイロアザミウマ	－	平年並	要因 1）1か月予報（5月19日発表）によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）県予察圃（ネーブル、無防除）における5月上旬の黄色粘着トラップ誘殺数0.5頭/日（平年値0.9頭/日）とやや少 （－） 3）一般圃場では、発生量は少～平年並（概して平年並） （±） 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ナシ	黒星病	－	平年並	要因 1）1か月予報（5月19日発表）によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 （＋） 2）巡回調査圃場（5月第2週）では、発病葉率0%（平年0.4%）と平年並の傾向 （±） 3）一般圃場では、発生量は平年並 （±） 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	ハダニ類	－	やや少	要因 1）1か月予報（5月19日発表）によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）巡回調査圃場（5月第2週）では、寄生葉率0%（平年0.02%）とやや少 （－） 3）一般圃場では、発生量は少 （－） 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
ブドウ	べと病	－	平年並	要因 1）1か月予報（5月19日発表）によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 （＋） 2）巡回調査圃場（5月第2週）では、発病葉率は0%（平年0%）と平年並に少 （±） 3）一般圃場では、発生量は少 （－） 考察：現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
果樹共通	カメムシ類	－	やや多	要因 1）予察灯（御浜町・5月1日～10日）では、誘殺数はチャバネアオカメムシ280頭（平年298.0頭）と平年並、ツヤアオカメムシ1041頭（平年1329.1頭）と平年並の傾向 （±） 2）予察灯（畑・松阪市：5月第1半旬～第3半旬）では、誘殺数はチャバネアオカメムシ378頭（平年536.5頭）と平年並、ツヤアオカメムシ12頭（平年37.4頭）と少 （±） 3）フェロモントラップ（5月第2週）では、チャバネアオカメムシ誘殺数は、山地（津市白山町川口）で10.7頭（平年50.5頭）と少、中間地（津市白山町二本木）で26.9頭（平年100.0頭）と少、平坦地（松阪市嬉野川北町） で20.1頭（平年49.8頭）とやや少 （－） 4）フェロモントラップ（5月第2週）では、ツヤアオカメムシ誘殺数は、山地（津市白山町川口）で0.15頭（平年4.4頭）と少、中間地（津市白山町二本木）で0頭（平年3.6頭）と少、平坦地（松阪市嬉野川北町） で1.1頭（平年5.5頭）と少 （－） 5）巡回調査圃場（5月第1～2週、カンキツ圃場）では、叩き落し虫数0.4頭（平年0.2頭）とやや多 （＋） 6）一般圃場では、発生量は平年並～やや多（概してやや多） （＋） 考察：巡回調査と一般圃場の結果を重視して、現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
チャ	炭疽病	－	平年並	要因 1）1 か月予報（5 月 19 日発表）によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 （＋） 2）県予察圃（一番茶期）では、発生は未確認 （±） 3）巡回調査圃場（5 月第 1～2 週）では、新葉発病葉数 0 葉／㎡（平年 0.04 葉／㎡）と平年並 （±） 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	もち病	－	平年並	要因 1）1 か月予報（5 月 19 日発表）によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 （＋） 2）県予察圃（一番茶期）では、発生は未確認 （±） 3）巡回調査圃場（5 月第 1～2 週）では、新葉発病枚数 0 枚（平年 0 枚）と平年並に少 （±） 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	カンザワハダニ	－	平年並	要因 1）1 か月予報（5 月 19 日発表）によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）県予察圃（5 月上旬～中旬）では、寄生葉率 22.0％（平年 5.0％）と多、寄生頭数 0.58 頭／葉（平年 0.18 頭／葉）と多 （＋） 3）巡回調査圃場（5 月第 1～2 週）では、発生圃場率 44.4％（平年 41.4％）と平年並、寄生葉率 2.4％（平年 4.2％）と平年並、寄生頭数 0.04 頭／葉（平年 0.09 頭／葉）とやや少 （－） 4）一般圃場では、発生量は平年並 （±） 考察：巡回調査圃場、一般圃場を重視し現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	チャノホソガ	－	平年並	要因 1）1 か月予報（5 月 19 日発表）によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）県予察圃（4 月第 4 半旬～5 月第 3 半旬）では、フェロモントラップ誘殺数 101.0 頭（平年 153.1 頭）と少 （－） 3）巡回調査圃場（5 月第 1～2 週）では、巻葉数 0.0 枚／㎡（平年 0.59 枚／㎡）と少 （－） 4）一般圃場では、発生量は平年並 （±） 考察：一般圃場を重視し現状の発生量は平年並と考えられ、予想発生量は引き続き平年並と考えます。
	チャノミドリヒメヨコバイ	－	やや少	要因 1）1 か月予報（5 月 19 日発表）によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）県予察圃（4 月第 4 半旬～5 月第 3 半旬）では、黄色粘着トラップ捕殺数 11.0 頭（9 年平均 10.9 頭）と平年並の傾向 （±） 3）巡回調査圃場（5 月第 1～2 週）では、叩き落とし虫数 0.5 頭（平年 0.7 頭）とやや少 （－） 4）一般圃場では、発生量は少 （－） 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、予想発生量は引き続きやや少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	－	やや少	要因 1）1 か月予報（5 月 19 日発表）によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）県予察圃（4 月第 4 半旬～5 月第 3 半旬）では、黄色粘着トラップ捕殺数 82.8 頭（9 年平均 114.6 頭）とやや少の傾向 （－） 3）巡回調査圃場（5 月第 1～2 週）では、叩き落とし虫数 0 頭（平年 1.4 頭）と少 （－） 4）一般圃場では、発生量は平年並 （±） 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
イチゴ	うどんこ病	－	やや少	要因 1）1 か月予報（5 月 19 日発表）によると、平年に比べ平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）一般圃場では、発生量は少～平年並（概してやや少） （－） 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	炭疽病	－	平年並	要因 1）1 か月予報（5 月 19 日発表）によると、平年に比べ平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 （＋） 2）一般圃場では、発生量は平年並に少 （±） 考察：現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
ネギ	ネギコガ	－	平年並	要因 1）1 か月予報（5 月 19 日発表）によると、平年に比べ平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）巡回調査圃場（5 月第 1～2 週）では、被害葉率 0％（平年 0％）と平年並に無 （±） 3）県予察圃（無防除園 5 月第 1～2 週）では被害葉率 6.7％（平年 0.3％）と多 （＋） 4）一般圃場では、発生量は平年並に無 （±） 考察：一般圃場の状況から現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
野菜共通	コナガ	－	やや少	要因 1）1 か月予報（5 月 19 日発表）によると、平年に比べ平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）県予察圃フェロモントラップ（1 月第 1 半旬～5 月第 4 半旬）では、誘殺数 9 頭（平年 64.7 頭）と少 （－） 3）一般圃場では、発生量は少～平年並（概してやや少） （－） 考察：現状の発生量はやや少と考えられる、引き続き予想発生量はやや少と考えます。

4. 予察項目の見方

1)「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の 5 段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数		-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早					平年並				やや遅			遅

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の 5 段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

平年値

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の 4 段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きいが平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の 3 段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除などが必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高

発生消長の一例： 発生予報は向こう 1 か月の予報ですが、その前後を合わせて 40 日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう 1 か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±)：平年並の要因

(＋)：発生量増加または発生時期遅延の要因

(－)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方 1 か月予報(令和 4 年 5 月 19 日 名古屋地方気象台発表)

・暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は平年並か高いでしょう。

・前線や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込みです。

1 週目 5 月 21 日 ～27 日	天気は数日の周期で変わるでしょう。
2 週目 5 月 28 日～ 6 月 3 日	天気は数日の周期で変わるでしょう。
3～4 週目 6 月 4 日～ 17 日	前線や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

東海地方週間天気予報 (令和 4 年 5 月 19 日 名古屋地方気象台発表)

予報期間 5 月 21 日から 6 月 20 日まで

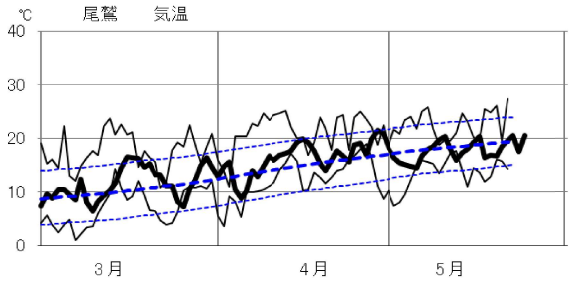
期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

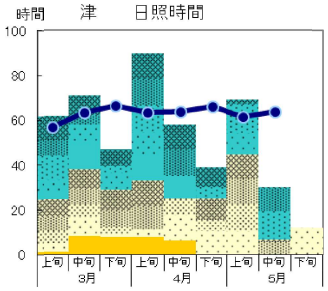
平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

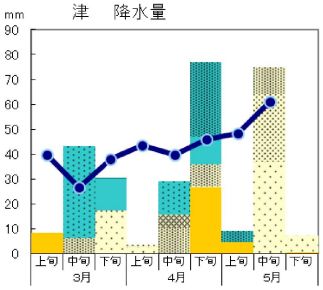
降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

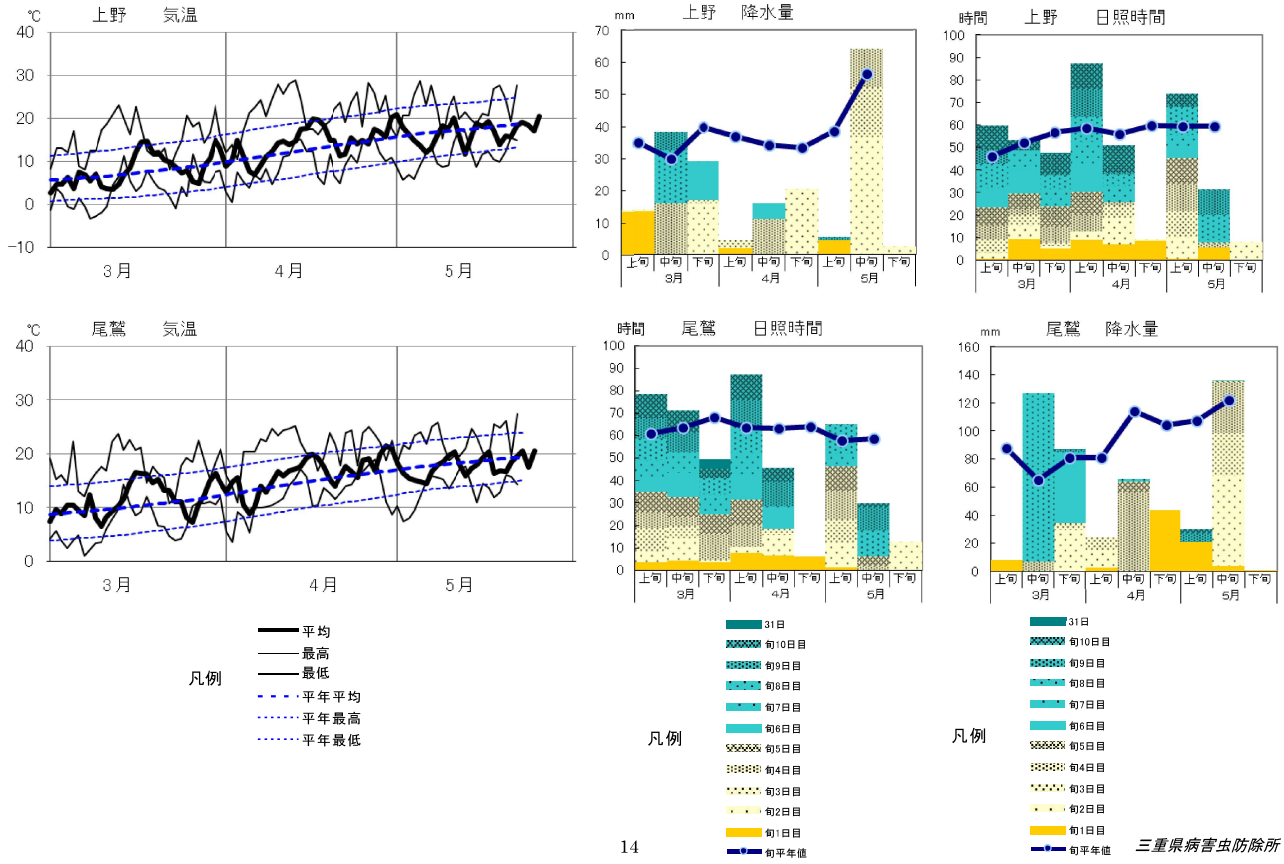
日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

気象の日別推移(気象庁発表データ http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php から作成) (5 月 22 日まで)









6. おしらせ （前回と異なる項目には NEW の印があります）

1）記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2）発表日 NEW

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

第 1 回 4 月 27 日（水）（済み）　第 2 回 5 月 26 日（木）（今回）
第 3 回 6 月 23 日（木）　第 4 回 7 月 28 日（木）
第 5 回 8 月 25 日（木）　第 6 回 10 月 27 日（木）
第 7 回 3 月 23 日（木）

3）利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただけると幸いです。

4）本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアドレスからお入りください。

http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf

5）メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたことを「掲載通知」として電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm

6）農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

三重県農薬情報システム

https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7）IPM（総合的病害虫・雑草管理）実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全・流通課ホームページ内

http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm

防 除 第 18 号
令和 4 年 6 月 23 日

各 位

三重県病害虫防除所長

令和4年度病害虫発生予報第３号

このことについて、下記のとおり発表します。

目　次

	ページ
1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量（平年比）の予察根拠	8
4. 予察項目の見方	15
5. 気象のデータ	16
6. おしらせ	18

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1）作物

イネでは、葉いもちの発生時期、発生量は**平年並**、穂いもちの発生時期、発生量は**平年並**と予想されます。紋枯病の発生時期および発生量は**平年並**、白葉枯病の発生量は**平年並**と予想されます。セジロウンカ、トビイロウンカの発生時期、発生量は**平年並**と予想されます。斑点米カメムシ類、イネクロカメムシの発生量は**平年並**、ツマグロヨコバイの発生量は**少**と予想されます。

2）果樹

カンキツでは、そうか病の発生量は**やや多**と予想されます。今後の発生状況に注意し適期防除に努めてください。黒点病、かいよう病（温州みかん・中晩柑）、ミカンハダニ、チャノキイロアザミウマの発生量は**平年並**と予想されます。

ナシでは、黒星病、ハダニ類の発生量は**平年並**と予想されます。

ブドウでは、べと病の発生量は**平年並**と予想されます。

果樹共通では、果樹カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。今後の発生状況に注意し適期防除に努めてください。

3）茶

チャでは、チャノホソガ、チャノコカクモンハマキの発生量は**やや多**と予想されます。今後の発生状況に注意し適期防除に努めてください。クワシロカイガラムシの発生時期は**早**、発生量は**平年並**と予想されます。カンザワハダニ、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマの発生量は**平年並**と予想されます。炭疽病の発生量は**やや少**と予想されます。

4）野菜

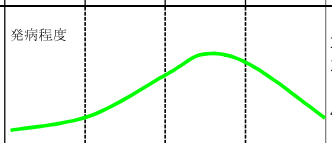
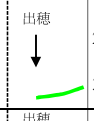
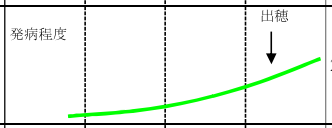
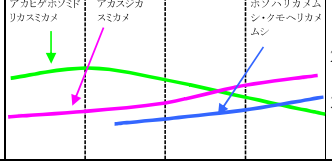
イチゴでは、炭疽病の発生量は**平年並**と予想されます。ハダニ類の発生量は**やや少**と予想されます。うどんこ病の発生量は**少**と予想されます。

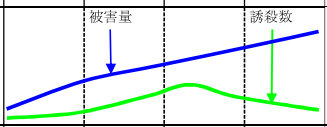
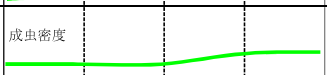
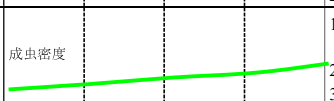
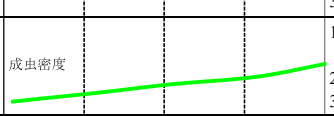
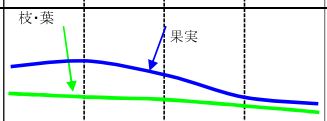
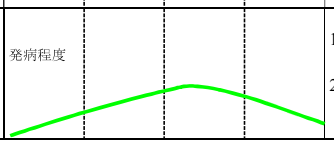
ネギ共通では、ネギコガの発生量は、**やや少**と予想されます。

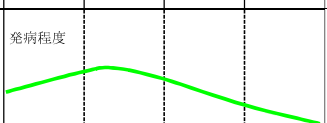
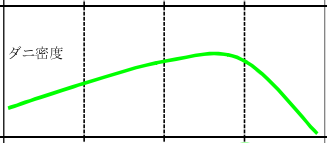
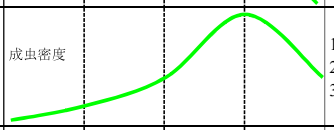
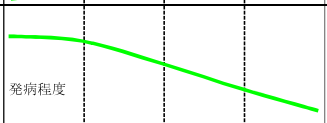
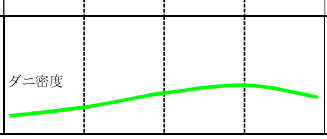
515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530
TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568
ホームページhttp://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm

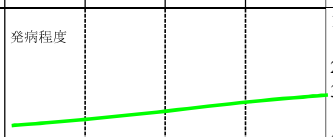
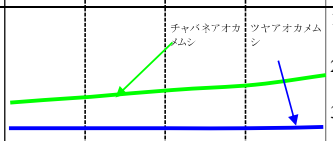
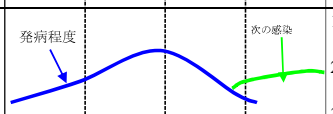
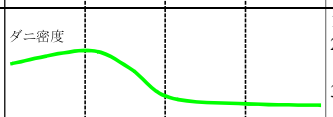
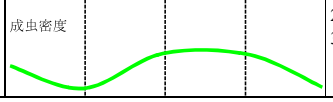
農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

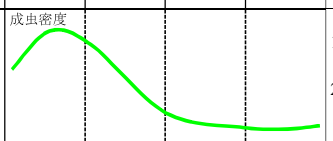
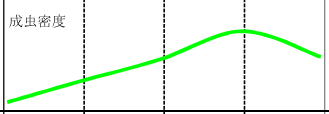
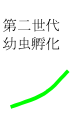
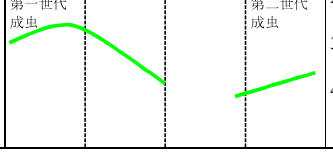
2. 作物別の状況

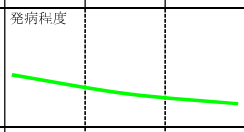
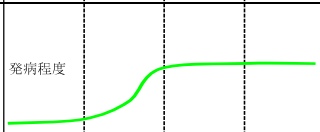
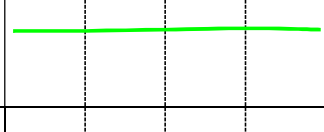
作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						6 月	7 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
イネ	葉いもち	平年並	平年並	中	普通					1）圃場を見回り、早期発見、早期防除に努めてください。 2）補植用置苗は発生源となるので、速やかに取り除いてください。 3）感染適温は 24℃で、葉身の「ぬれ」時間が長いほど感染量が多くなります。 4）雨天が続いた場合、天気予報を参考にしながら、雨の合間を見計らって防除をしてください。
	穂いもち	平年並	平年並	中	普通					1）上位葉の葉いもち病斑が伝染源となります。 2）圃場および周辺圃場での葉いもちの発生状況に注意してください。 3）薬剤散布は出穂始めから穂揃い期に予防的に行ってください。
	紋枯病	平年並	平年並	小	普通					1）幼穂形成期頃（穂肥時期）から発生が目立つようになります。 2）水面に近い茎から茎へ感染します。薬剤散布によって病斑の上位葉への進展を阻止してください。
	白葉枯病	－	平年並	小	低					1）深水、冠水、台風によって感染や発病が助長されます。 2）予防的な薬剤散布が効果的です。常発地では台風直後に薬剤散布をしましょう。 3）「みえのゆめ」は耐病性の弱い品種なので注意してください。
	斑点米カメムシ類	－	平年並	小	普通					1）畦畔などのイネ科雑草で増殖します。草刈りをこまめに行い、イネ科雑草の穂がつかないように管理してください。 2）水田内で雑草が多発すると、水田への侵入を助長するため、早めに除去しましょう。 3）出穂2～3週間前と出穂期の2回除草が効果的です。 出穂2～3週間前の 1 回除草だけでは、水稲の出穂期に、再び畦畔のイネ科雑草の穂がでてカメムシが本田に飛来します。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						6月	7月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
イネ	イネクロカメムシ	―	平年並	小	普通					1)常発地で薬剤散布する場合は、越冬成虫の発生量がピークとなる6月下旬に実施してください。 2)日中は株元に潜んでいるので、夕方や曇天の日に薬剤散布を行うと効果的です。
	ツマグロヨコバイ	―	少	小	低					1)萎縮病を媒介しますが、本県での発生は少ないとされています。 2)当面、防除が必要な密度には達しないと思われます。
	セジロウンカ	平年並	平年並	小	低					1)例年、6月末から7月にかけて海外から飛来します。九州以北では越冬できないとされています。 2)被害の発生は局所的であることが多いです。 3)多発時は発生予察情報に従い防除してください。
	トビイロウンカ(参考)	平年並	平年並	―	―					1)例年、6月末から7月にかけて海外から飛来します。九州以北では越冬できないとされています。 2)被害の発生は局所的であることが多いです。 3)多発時は発生予察情報に従い防除してください。
カンキツ	そうか病	―	やや多	小	普通					1)常発圃場や昨年多発した圃場、幼木園、高接ぎ更新園の温州みかんでは、発生に注意してください。 2)果実への感染は梅雨末期頃までと言われています。
	黒点病	―	平年並	小	普通					1)枯枝が伝染源です。梅雨時期の枯枝発生に注意し、樹冠内や圃場内の枯枝を除去してください。 2)追加の薬剤散布は前回の散布後に積算降水量が200～300mmに達した時を目安に実施してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						6月	7月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
カンキツ	かいよう病	―	温州 平年並 中晩柑 平年並	温州 小 中晩柑 中	温州 低 中晩柑 普通					1)降雨があると急速に感染が広がるので、発生圃場では雨の合間に防除してください。 2)発病枝葉、果実は、見つけ次第剪除し処分してください。 3)幼木や高接樹ではミカンハモグリガの被害部に発病しやすいので、ミカンハモグリガの防除を実施してください。 4)中晩柑類では、梅雨期頃から10月中下旬頃まで果実への感染が起こります。
	ミカンハダニ	―	平年並	中	普通					1)発生密度が高くなると防除が困難になります。1 葉当りの雌成虫発生数が0.5～1.0頭程度を目安に防除してください。 2)薬剤は葉裏にもかかるように散布してください。 3)同一系統薬剤の連用は避けてください。
	チャノキイロアザミウマ	―	平年並	中	普通					1)寄生果率10%を目安に防除してください。 2)7月になり果実肥大が進むと果頂部で加害します。 3)圃場周辺のイヌマキ・サンゴジュ等が発生源となります。
ナシ	黒星病	―	平年並	小	普通					1)発病果及び発病葉は除去して、圃場外に持ち出し処分してください。 2)発病が確認される圃場では、すみやかに防除を計画してください。 3)薬剤散布を実施するときは、ていねいに散布し、同一系統薬剤の連用を避けてください。
	ハダニ類	―	平年並	中	普通					1)1葉当り寄生数が1～2頭で防除を実施してください。 2)7～8 月に密度が高くなります。徒長枝での発生にも注意してください。 3)同一系統薬剤の連用は避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						6 月	7 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
ブドウ	べと病	―	平年並	小	普通					1) 降雨が連続すると病徴が急速に進展するので、葉裏に病斑を認めたら直ちに薬剤を散布してください。 2) 降雨の合間に防除を計画してください。 3) 被害葉及び被害落葉は感染源となるので圃場外に持ち出して処分してください。 4) 同一系統薬剤の連用を避けてください。
果樹共通	カメムシ類	―	やや多	中	普通					1) 7 月後半以降で飛来数が増加する可能性がありますので注意が必要です。 2) ナシ(無袋栽培)、カキでまとまった飛来を確認したら、防除を実施してください。 3) 中山間地や以前多発したことがある地域では、圃場への飛来に注意してください。
チャ	炭疽病	―	やや少	小	普通					1) 旧葉の病斑が感染源です。新葉の展葉までに毛茸の脱落部分から感染します。 2) 新芽の 1 葉期前後に感染し易く、15～20 日の潜伏期間を経て発病します。 3) 二番茶摘採後に整剪枝を行うことによって、発生が抑制できます。
	カンザワハダニ	―	平年並	中	普通					1) 葉裏に産卵するので、丁寧に散布してください。 2) 発生時期は、天敵が増加する時期なので、天敵に影響が少ない薬剤を選択してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	チャノホソガ	―	やや多	小	普通					1) 年間 6～7 世代発生します。 2) 防除適期は孵化直後の潜葉期(絵描き状態)です。 3) ハマキムシ類の間接暴露による薬剤抵抗性の発達を避けるため、ジアシルヒドラジン系 IGR 剤(虫 18)、ジアミド剤(虫 28)の使用回数は最大年 1 回までとしてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						6 月	7 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
チャ	チャノミドリヒメヨコバイ	―	平年並	小	普通					1) 年間 5～8 回発生し、新芽を加害します。葉先が褐変し、ひどくなると落葉します。 2) 萌芽期～開葉初期に防除してください。
	チャノキイロアザミウマ	―	平年並	中	普通					1) 年間 7～8 回発生し、新芽を加害します。萌芽初期に芽の芯から加害し、条痕となります。 2) 萌芽期～開葉初期に防除してください。
	クワシロカイガラムシ	早	平年並	小	普通					1) 病害虫防除技術情報第 4 号(5 月 13 日発表) 2) 年 3 回発生します。孵化最盛期の 2～5 日後が防除適期です。 3) 有効積算温度による発生消長予測式では、第 2 世代幼虫の孵化最盛期は平年より早いと予測されます。 4) 歩行型幼虫の発生状況をルーペ等で実際に確認して防除してください。 5) 孵化開始から 2 週間程度の断続的な散水により孵化抑制及び孵化幼虫の生存率を低下できます。 6) 天敵に影響の少ない薬剤を選択してください。
	チャノコカクモンハマキ	―	やや多	小	普通					1) 年間 4 世代発生します。防除適期は誘殺ピークの 7～10 日後です。 2) 病害虫防除所ホームページにフェロモントラップの誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。 3) 交信かく乱剤をまとまった面積に実施することにより、次世代以降の密度を下げることができます。 4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐためジアシルヒドラジン系 IGR 剤(虫 18)、ジアミド剤(虫 28)の使用回数は最大年 1 回までとしてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						6 月	7 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
イチゴ	うどんこ病	－	少	小	低					1）育苗期の防除を徹底してください。 2）薬剤防除は予防散布に努めます。葉裏から発生しやすいので、薬液が葉裏に十分かかるよう丁寧に散布してください。 3）発病を認めたときは、集中的に散布して感染拡大を防いでください。
	炭疽病	－	平年並	中	普通					1）病原菌は高温多湿を好み、梅雨時期以降に発生が多くなるため、十分な注意が必要です。 2）病原菌（胞子）を含む水の跳ね返りで感染が拡大します。頭上潅水は避け、株を濡らさないようにしてください。 3）発病株は感染源となるため、周辺株を含めて直ちに除去し、処分してください。 4）薬剤防除は、薬液が株元まで十分かかるよう丁寧に散布してください。
	ハダニ類	－	やや少	小	普通					1）作物残渣から歩行して移動します。葉かき後の残渣は圃場外に持ち出し、速やかに処分してください。 2）多発すると防除が困難になります。早期発見に努め、発生初期に防除を行ってください。 3）散布は葉裏を中心に丁寧に行ってください。 4）薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用は避けてください。
ネギ共通	ネギコガ	－	やや少	小	普通					1）春から秋にかけて 4～5 回発生します。 2）幼虫は葉の内部に潜り、表皮を残して食害します。潜入防止のため、発生初期から防除を行うことが重要です。

3. 発生時期･発生量（平年比）の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
イネ	葉いもち	平年並	平年並	要因 1）1 か月予報（6 月 16 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （±） 2）ブラスタム(6 月 17 日現在)によると、感染好適条件は、6 月 12 日以降断続的に出現 （＋） 3）巡回調査圃場（6 月第 1～2 週）では、本田における発生圃場率 0%（平年 0%）と平年並に少 （±） 4）置苗での発生圃場率は、巡回調査圃場（6 月第 1～2 週）では 2.4%(平年 0.3%) と多 （＋） 5）一般圃場では、発生量は平年並に少 （±） 考察：巡回調査結果および一般圃場の発生状況から現状の発生量は平年並と考えられ、予想発生量も平年並と考えます。
	穂いもち	平年並	平年並	要因 1）1 か月予報（6 月 16 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （±） 2）農業研究所作況試験田（4 月 25 日移植コシヒカリ、移植 50 日目）によると、葉齢の進展は平年並 （発生時期±） 3）一般圃場では、生育は概ね平年並 （発生時期±） 4）葉いもち発生量は平年並の予想 （±） 考察：水稲の生育状況を考慮して予想発生時期は平年並、葉いもちの予想発生量を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
	紋枯病	平年並	平年並	要因 1）1 か月予報（6 月 16 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）農業研究所作況試験田（4 月 25 日移植コシヒカリ、移植 50 日目）によると、葉齢の進展は平年並、茎数も平年並（発生時期±、発生量±） 3）昨年 8 月の巡回調査圃場では、発生圃場率 11.8%（平年 27.4%）と少、発病度は 0.5（平年1.4）と少 （－） 4）一般圃場では、生育は概して平年並 （発生時期±、発生量±） 考察：水稲の生育状況を考慮して予想発生時期は平年並、気象条件と感染源となる越冬菌核量を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。
	白葉枯病	－	平年並	要因 1）1 か月予報（6 月 16 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （±） 2）県内では 4 月以降、激しい風を伴う大雨はなし （－） 考察：これまでのところ、激しい風雨による冠水の機会は少ないため、予想発生量は平年並に少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	斑点米カメムシ類	－	平年並	要因 1）1か月予報（6月16日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）水田位置予察灯（4月第1半旬～6月第2半旬）では、誘殺数はアカスジカスミカメ1頭（平年12.6頭）と少、アカヒゲホソミドリカスミカメ0頭（平年17.2頭）と少 （－） 3）巡回調査圃場（6 月第1～2 週）では、畦畔イネ科雑草すくい取りによる発生地点率は、ホソハリカメムシで 4.1％（平年6.8％）と少、クモヘリカメムシで0％（平年0.3％）とやや少、シラホシカメムシ類で2.4％（平年4.0％）と少、アカスジカスミカメで29.3％（平年38.3％）と少、アカヒゲホソミドリカスミカメで9.7％（平年10.4％）と平年並 （－） 考察：巡回調査結果から、現状の発生量はやや少と考えられ、今後の気象条件を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。
	イネクロカメムシ	－	平年並	要因 1)予察灯（4月第1半旬～6月第2半旬）では、誘殺数は水田位置3頭（平年6.1頭）と少、畑位置13頭（平年96.7頭）と少 （－） 2）巡回調査圃場（6月第1～2週）では、発生圃場率0％（平年1.4％）と少、25株当り成虫数0頭（平年0.005頭）と少 （－） 3）一般圃場では、発生量は中～少、概して少 （±） 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、一般圃場での発生を重視して予想発生量は平年並と考えます。
	ツマグロヨコバイ	－	少	要因 1)予察灯（4月第1半旬～6月第2半旬）では、誘殺数は松阪市・水田位置0頭（平年0.3頭）と少、松阪市・畑位置10頭（平年34.4頭）と少、伊賀市（5月第1半旬～6月第2半旬）0頭（平年0.2頭）はやや少 （－） 2）巡回調査圃場（6月第1～2週）では、払い落とし成幼虫数0.09頭（平年0.16頭）と少 （－） 3）一般圃場では、発生量は少 （－） 考察：予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、現状の発生量は少と考えられ、予想発生量は少と考えます。
	セジロウンカ	平年並	平年並	要因 1）予察灯（松阪市、紀北町、御浜町、伊賀市）では6月17日現在、未飛来（予察灯・松阪市水田位置、平年初飛来7月13日、昨年初飛来6月13日）（発生時期±） 2）巡回調査圃場（6月第1～2週）では、払い落とし成虫数は0.014頭（平年0.002頭）と多 （＋） 3）一般圃場では、発生量は平年並に少 （±） 考察：誘殺状況から発生時期は平年並、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	トビイロウンカ(参考)	平年並	平年並	要因 1）予察灯（松阪市、紀北町、御浜町、伊賀市）では6月17日現在、未飛来（予察灯・松阪市畑位置、昨年初飛来6月11日）（発生時期±） 2）巡回調査圃場（6月第1～2週）では、払い落とし成虫数は0頭（平年0頭）と平年並 （±） 3）一般圃場では確認されていない （±） 4）中国大陸では本年発生が多い （±） 5）6月17日現在 、三重県に飛来した可能性が2日ある。 考察：誘殺状況から発生時期は平年並、誘殺状況、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から予想発生量は平年並と考えます。
カンキツ	そうか病	－	やや多	要因 1）1か月予報（6月16日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）県予察圃（6月中旬、興津早生、無防除）では、春葉発病率100％（平年80.2％）と多、発病果率23.2％（平年76.9％）と少 （±） 3）巡回調査圃場（6月第1～2週）では、春葉発病度0.03（平年0.03）と平年並 （±） 4）一般圃場では、発生量は平年並～やや多（概してやや多） （＋） 考察：現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。
	黒点病	－	平年並	要因 1）1か月予報（6月16日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）県予察圃（6月中旬、興津早生、無防除）では、果実発病率20.8％（平年27.5％）とやや少 （－） 3）巡回調査圃場（6月第1～2週）では、春葉発病度0.5（平年0.6）と平年並 （±） 4）一般圃場では、発生量はやや少～平年並（概して平年並） （±） 5）感染源となる枯枝量は平年並 （±） 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	かいよう病	－	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1）1か月予報（6月16日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）県予察圃（6 月中旬、新甘夏、無防除）では、春葉発病率 0％（平年 1.3％）と少、発病果率 0％（平年 0.2％）とやや少 （－） 3）巡回調査圃場（6月第1～2週）では、春葉発病率は温州みかんでは0％（平年0.1％）とやや少、中晩柑では1.3％（平年2.7％）と少 （－） 4）一般圃場では、発生量は平年並 （±） 考察：温州みかんおよび中晩柑類では、一般圃場の結果を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	－	平年並	要因 1）1か月予報（6月16日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）県予察圃（6月中旬、興津早生）では、寄生頭数は無防除区6.7頭／100葉（平年76.6頭／100葉）と少、慣行防除区51.1頭／100葉（平年22.2頭／100葉）と多 （±） 3）巡回調査圃場（6月第1～2週）では春葉寄生率5.1％（平年10.1％）と平年並の傾向、寄生頭数0.12頭/葉（平年0.38頭/葉）と平年並の傾向 （±） 4）一般圃場では、発生量はやや少 （－） 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	チャノキイロアザミウマ	－	平年並	要因 1）1か月予報（6月16日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）県予察圃黄色粘着トラップ（6 月上旬、ネーブル、無防除）では、誘殺数 1.7 頭／日（平年 2.9 頭／日）と平年並の傾向 （±） 3）県予察圃（6月中旬、ネーブル、無防除）では、寄生虫数0頭／100果（平年0.6頭／100果）と平年並の傾向 （±） 4）巡回調査圃場（6月第1～2週）では、被害果率0％（平年0.5％）と平年並の傾向 （±） 5）一般圃場では、発生量は平年並 （±） 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
ナシ	黒星病	－	平年並	要因 1）1か月予報（6月16日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）巡回調査圃場（6月第1～2週）では、発病葉率0.3％（平年1.7％）と少 （－） 3）一般圃場では、発生量は平年並 （±） 考察：一般圃場の発生状況を考慮して現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	ハダニ類	－	平年並	要因 1）1か月予報（6月16日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）巡回調査圃場（6月第1～2週）では、寄生葉率0.3％（平年0.06％）と多、寄生頭数0.03頭／葉（平年0.0006頭／葉）と多 （＋） 3）一般圃場では、発生量はやや少 （－） 考察：一般圃場の発生状況を考慮して現状の発生量はやや少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
ブドウ	べと病	－	平年並	要因 1）1か月予報（6月16日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）巡回調査圃場（6月第1～2週）では、発病葉率0％（平年0％）と平年並 （±） 3）一般圃場では、発生量はやや少 （－） 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。
果樹共通	カメムシ類	－	やや多	要因 1）予察灯（御浜町 6 月上旬）では、誘殺数はツヤアオカメムシ 66 頭（平年 69.1 頭）と平年並、チャバネアオカメムシは 801 頭（平年 647.5 頭）と平年並 （±） 2）予察灯（畑・松阪市：6 月第 2 半旬）では、誘殺数はツヤアオカメムシ 24 頭（平年 49.4 頭）と平年並の傾向、チャバネアオカメムシ 21 頭（平年 96.9 頭）と平年並の傾向 （±） 3）フェロモントラップ（6月第2週）では、チャバネアオカメムシ誘殺数は、平坦地（松阪市嬉野川北町）で25頭（平年25.6頭）と平年並、中間地（津市白山町二本木）で154頭（平年285.8頭）と平年並の傾向、山地（津市白山町川口）で84頭（平年162.1頭）と平年並の傾向 （±） 4）巡回調査圃場（6 月第 1～2 週、カンキツ圃場）では、叩き落としまたは見取り調査による飛来は 0 頭（平年 0.03 頭）と平年並の傾向 （±） 5）一般圃場では、発生量はやや多 （＋） 考察：現状の発生量は、一般圃場の状況を重視してやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。
チャ	炭疽病	－	やや少	要因 1）1か月予報（6月16日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）巡回調査圃場（6月第1～2週）では、発生圃場率0％（平年8.4％）、発病葉数0枚／㎡（平年0.2枚／㎡）とともに平年並に少 （－） 3）一般圃場では、発生量は少 （－） 考察：現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。
	カンザワハダニ	－	平年並	要因 1）1か月予報（6月16日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）県予察圃（6 月中旬）では、寄生頭数 0 頭／葉（平年 0.02 頭／葉）、寄生葉率 0％（平年 1.2％）とともにやや少の傾向 （－） 3）巡回調査圃場（6月第1～2週）では、発生圃場率72.2％（平年48.1％）と多、寄生葉率2.8％（平年4.7％）とやや少の傾向、寄生頭数0.07頭／葉（平年0.1頭／葉）とやや少の傾向 （±） 4）一般圃場では、発生量は平年並 （±） 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
チャ	チャノホソガ	－	やや多	要因 1）1 か月予報（6 月 16 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）県予察圃フェロモントラップ（5 月第 4 半旬～6 月第 3 半旬）では、誘殺数 5,579 頭（平年 3,516 頭）と多 （＋） 3）巡回調査圃場（6 月第 1～2 週）では、巻葉数 0.39 枚／㎡（平年 0.25 枚／㎡）とやや多 （＋） 4）一般圃場では、発生量は少 （－） 考察：現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。
	チャノミドリヒメヨコバイ	－	平年並	要因 1）1 か月予報（6 月 16 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）県予察圃黄色粘着トラップ（5 月第 4 半旬～6 月第 3 半旬）では、捕殺数 38.8 頭（9 年平均 51.9 頭）とやや少 （－） 3）巡回調査圃場（6 月第 1～2 週）では、叩き落とし虫数 0.3 頭（平年 2.3 頭）と少 （－） 4）一般圃場では、発生量はやや少 （－） 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。
	チャノキイロアザミウマ	－	平年並	要因 1）1 か月予報（6 月 16 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）県予察圃黄色粘着トラップ（5 月第 4 半旬～6 月第 3 半旬）では、捕殺数 286.8 頭（9 年平均 759.7 頭）と少 （－） 3）巡回調査圃場（6 月第 1～2 週）では、叩き落とし虫数 0 頭（平年 7.3 頭）とやや少 （－） 4）一般圃場では、発生量はやや少 （－） 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。
	クワシロカイガラムシ	早	平年並	要因 1）1 か月予報（6 月 16 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）有効積算温度による予測式では、第 2 世代幼虫孵化最盛日は 7 月 12 日頃（平年 7 月 20 日頃） （発生時期－） 3）巡回調査圃場（6 月第 1～2 週）では、雌寄生株率 5.6％（平年 8.4％）、雄繭発生株率 7.1％（平年 11.2％）とともにやや少の傾向 （－） 4）一般圃場では、発生量は平年並 （±） 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。予想発生時期は早と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
チャ	チャノコカクモンハマキ	－	やや多	要因 1）1 か月予報（6 月 16 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）県予察圃フェロモントラップ（5 月第 4 半旬～6 月第 3 半旬）では、誘殺数 1,522 頭（平年 215.2 頭）と多 （＋） 3）巡回調査圃場（6 月第 1～2 週）では、ハマキムシ類巻葉数 1.67 枚／㎡（平年 1.39 枚／㎡）とやや多 （＋） 4）一般圃場では、ハマキムシ類の発生量は平年並 （±） 考察：現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。
イチゴ	うどんこ病	－	少	要因 1）1 か月予報（6 月 16 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （－） 2）巡回調査圃場（6 月第 1～2 週）では、発病株率 0.0％（平年 4.1％）と少 （－） 3）一般圃場では、発生量は少 （－） 考察：現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮して引き続き予想発生量は少と考えます。
	炭疽病	－	平年並	要因 1）1 か月予報（6 月 16 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）巡回調査圃場（6 月第 1～2 週）では、発病株率 0％（平年 0％）と平年並に少 （±） 3）一般圃場では、発生量は少 （－） 考察：現状の発生量は平年並に少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。
	ハダニ類	－	やや少	要因 1）1 か月予報（6 月 16 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）巡回調査圃場（6 月第 1～2 週）では、寄生株率 0.5％（平年 5.6％）と少 （－） 3）一般圃場では、発生量は少 （－） 考察：一般圃場の状況から現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。
ネギ	ネギコガ	－	やや少	要因 1）1 か月予報（6 月 16 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）巡回調査圃場（6 月第 1～2 週）では、被害葉率 0％（平年 0.05％）とやや少 （－） 3）一般圃場では、発生量は無～少 （概して少） （－） 考察：一般圃場の状況から現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。

4. 予察項目の見方

1)「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の 5 段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数		-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早					平年並				やや遅			遅

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の 5 段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

平年値

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の 4 段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きいが平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の 3 段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除などが必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高

発生消長の一例： 発生予報は向こう 1 か月の予報ですが、その前後を合わせて 40 日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう 1 か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±)：平年並の要因

(＋)：発生量増加または発生時期遅延の要因

(－)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方 1 か月予報(令和 4 年 6 月 16 日 名古屋地方気象台発表)

暖かい空気に覆われやすいため、向こう 1 か月の気温は高いでしょう。

1 週目 6 月 18 日～24 日	前線や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
2 週 6 月 25 日～7 月 1 日	前線や湿った空気の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。
3～4 週目 7 月 2～15 日	前線や湿った空気の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

東海地方週間天気予報

(令和 4 年 6 月 20 日 10 時 36 分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 6 月 21 日～6 月 27 日まで

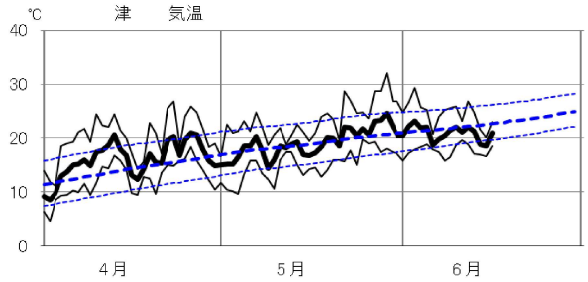
向こう一週間は、前線や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、期間のはじめは雨の降る日があるでしょう。

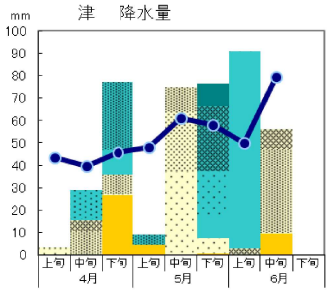
最高気温は、平年並か平年より高い見込みです。

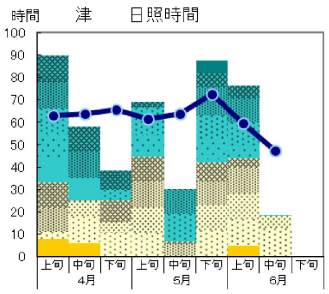
最低気温は、平年より高く、かなり高い所もあるでしょう。

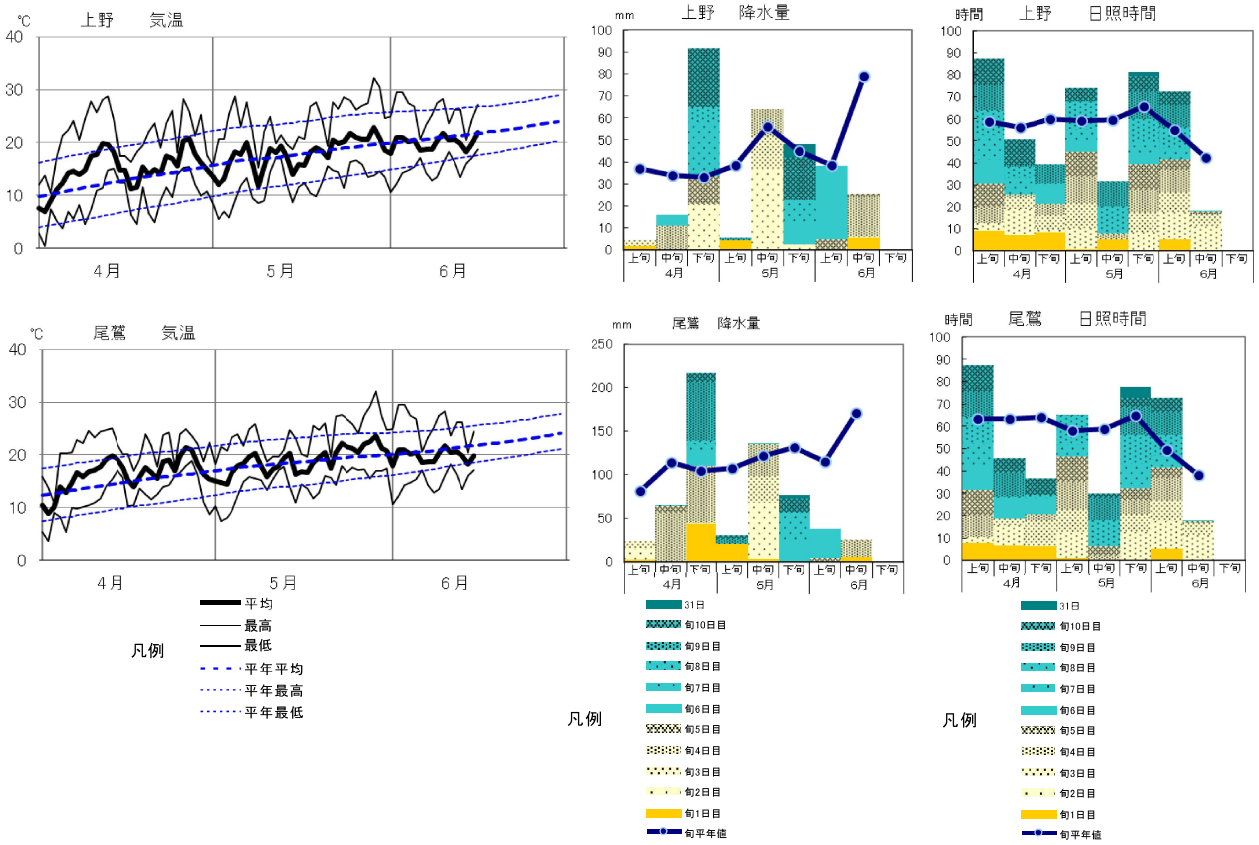
降水量は、平年並の見込みです。

気象の日別推移(気象庁発表データ http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php から作成) (6 月 16 日まで)









6. おしらせ （前回と異なる項目には NEW の印があります）

1）記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2）発表日 NEW

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

第 1 回 4 月 27 日（水）（済み）　第 2 回 5 月 26 日（木）（済み）
第 3 回 6 月 23 日（木）（今回）　第 4 回 7 月 28 日（木）
第 5 回 8 月 25 日（木）　第 6 回 10 月 27 日（木）
第 7 回 3 月 23 日（木）

3）利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただけると幸いです。

4）本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアドレスからお入りください。

http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf

5）メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm

6）農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

三重県農薬情報システム

https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7）IPM（総合的病害虫・雑草管理）実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全・流通課ホームページ内

http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm

防 除 第 24 号

令和 4 年 7 月 28 日

各 位

三重県病害虫防除所長

令和4年度病害虫発生予報第4号

このことについて、下記のとおり発表します。

目　次

	ページ
1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量（平年比）の予察根拠	7
4. 予察項目の見方	13
5. 気象のデータ	14
6. おしらせ	16

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1）作物

イネでは、穂いもち、斑点米カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。防除を行ってください。紋枯病、白葉枯病、セジロウンカ、トビイロウンカの発生は**平年並**と予想されます。イネクロカメムシ、ツマグロヨコバイの発生量は**やや少**と予想されます。

ダイズでは、吸実性カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。今後の発生状況に注意して防除してください。ハスモンヨトウの発生量は**平年並**、紫斑病、コガネムシ類の発生量は**やや少**と予想されます。

2）果樹

カンキツでは、黒点病、かいよう病（温州、中晩柑）、ミカンハダニの発生量は**平年並**と予想されます。チャノキイロアザミウマの発生量は**やや少**と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量は**多**と予想されます。発生が認められる場合は速やかに防除を実施してください。

3）茶

チャでは、チャノコカクモンハマキの発生量は**やや多**と予想されます。今後の発生状況に注意してください。カンザワハダニの発生量は**平年並**と予想されます。炭疽病、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマの発生量は**やや少**と予想されます。

4）野菜

イチゴでは炭疽病の発生量は**平年並**と予想されます。

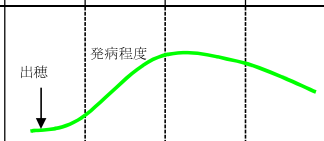
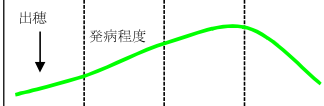
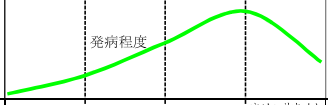
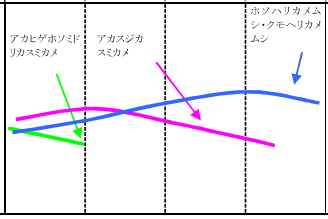
515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm

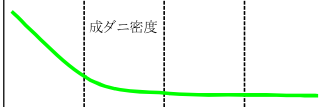
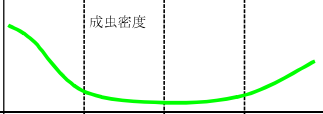
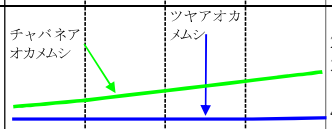
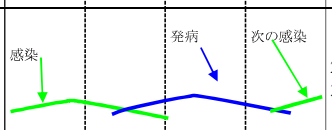
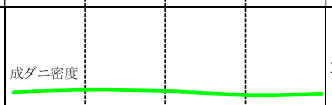
農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

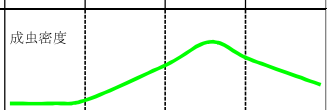
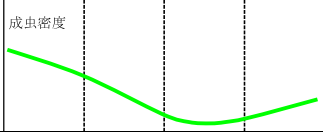
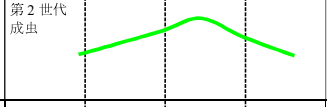
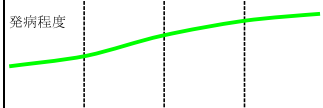
2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						7 月	8 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
イネ	穂いもち	－	やや多	大	高					1）病害虫防除技術情報第 9 号（7 月 15 日発表）。 2）葉いもちが上位葉で発生している圃場では、感染の恐れがあります。発生状況に注意してください。 3）これから出穂期となる圃場において、薬剤散布する場合は、出穂始めから穂揃い期に実施してください。 4）特に作期のおそい圃場や、いもち病に弱い品種は、適期防除を徹底してください。
	紋枯病	－	平年並	中	普通					1）高温多湿条件で発病が助長されます。 2）多肥、過繁茂の圃場では発生しやすくなります。 3）薬剤散布は出穂 7～10 日前に実施してください。
	白葉枯病	－	平年並	小	低					1）常発地では、台風や集中豪雨の直後に薬剤散布してください。 2）「みえのゆめ」は耐病性の弱い品種なので注意が必要です。
	斑点米カメムシ類	－	やや多	中	普通					1）病害虫防除技術情報第7号（7 月 1 日発表）。 2）薬剤散布は穂揃い期に実施してください。広域での一斉防除が効果的です。 3）中山間など山沿いの地域では、穂揃い期防除の7～10 日後に2 回目の防除をしてください。 4）平坦地域においても、防除後に発生が確認された場合は、2 回目の防除を実施してください。 5）周囲よりも出穂の早い水田および遅い水田では、被害が集中するので防除を徹底してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						7月	8月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
イネ	イネクロカメムシ	―	やや少	小	低	被害量 誘殺密度				1)発生圃場では、今後出すくみ穂や白穂被害が目立つようになります。 2)常発地で薬剤散布する場合は、株元までかかるように行ってください。
	ツマグロヨコバイ	―	やや少	中	低	成虫密度				1)9月上旬までに収穫する圃場では、実害はほとんどありません。
	セジロウンカ	―	平年並	小	低	成虫密度				1)病害虫防除技術情報第6号(7月1日発表)。 2)本年は6月22日(松阪市)と飛来時期が早いことから、普通期水稲だけでなく、早期水稲でも被害が発生する可能性があります。 3)株元を注意して観察しましょう。葉鞘が黄変したり、成虫や幼虫が多発している場合は、被害が発生する可能性があるので、早急に防除してください。
	トビイロウンカ	―	平年並	小	低	成虫密度				1)病害虫防除技術情報第6号(7月1日発表)。 2)本年は6月24日(松阪市)と飛来時期が早いことから、普通期水稲だけでなく、早期水稲でも被害が発生する可能性があります。 3)株元を注意して観察しましょう。葉鞘が黄変したり、成虫や幼虫が多発している場合は、被害が発生する可能性があるので、早急に防除してください。
ダイズ	紫斑病	―	やや少	小	普通			発病程度		1)これから播種する圃場では、種子消毒を徹底してください。 2)莢が形成され始めたら、薬剤散布をしてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						7月	8月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
ダイズ	コガネムシ類	―	やや少	中	普通	成虫密度				1)通常は防除の必要はありませんが、多発する場合は加害初期に防除してください。 2)ヒメコガネとドウガネブイブイは夜行性の種のため、夕方に薬剤散布すると効果的です。
	ハスモンヨトウ	―	平年並	小	普通			被害量		1)白変葉を目印に早期発見に努め、若齢幼虫期に防除して下さい。 2)発生量が急増することがありますので、防除所ホームページにおいて、フェロモントラップでの誘殺状況に注意してください。
	吸実性カメムシ類	―	やや多	中	普通				開花	1)近年、ミナミアオカメムシによる被害粒の多発や、青立ち症状が増加しています。 2)薬剤散布は、9月中旬(開花20日後・莢伸長期)と10月上旬(開花40日後・子実肥大中期)の2回散布が効果的です。 3)遅くとも、9月下旬(開花30日後・子実肥大初期)までに1回目の薬剤散布をしてください。 4)移動性が高いため、広域一斉防除が効果的です。 5)エチプロール剤およびジノテフラン剤は、ミナミアオカメムシの殺虫効果が高いことが確認されています。
カンキツ	黒点病	―	平年並	小	普通	発病程度				1)薬剤散布を定期的に実施し、8月下旬まで感染防止に努めてください。 2)枯枝は感染源となるので、切除に努めてください。 3)薬剤散布後、積算で200mm以上の降雨があれば2回目の防除を実施してください。
	かいよう病	―	温州 平年並 中晩柑 平年並	温州 小 中晩柑 中	温州 低 中晩柑 普通	発病程度				1)果実・夏枝に病斑が見られる圃場では、発病した枝・葉・果実を除去し、薬剤防除を行ってください。 2)防風対策に努め、台風の接近が予想される場合には、直前に防除してください。 3)高接樹や幼木については、ミカンハモグリガの防除も徹底してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						7月	8月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
カンキツ	ミカンハダニ	―	平年並	中	普通					1) 1 葉当りの雌成虫寄生数が 0.5～1.0 頭程度を目安に防除してください。 2) 高温により活動が停滞する時期ですが、圃場での発生状況をよく確認し、多発している場合は防除してください。 3) 薬剤散布は葉裏にかかるよう、丁寧に散布してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統の薬剤の連用を避けてください。
	チャノキイロアザミウマ	―	やや少	中	普通					1) 寄生果率 10%になった時を防除の目安にしてください。 2) 7 月以降は寄生部位が果頂部に移ります。
果樹共通	カメムシ類	―	多	大	高					1) 病害虫防除技術情報第 5 号(6 月 23 日発表)。 2) 圃場内を観察し、飛来が認められたら防除を実施してください。 3) 圃場(特にナシ、カキ)によっては局所的に飛来してくることがあります。過去に発生が多かった圃場周辺では注意してください。 4) ナシ、ブドウの有袋栽培では、袋と果実が密着すると袋の上から加害されることがあります。
チャ	炭疽病	―	やや少	小	普通					1) 感染源は旧葉、感染するのは新芽の上位葉で、新芽生育期に降雨が続くと発生が多くなります。 2) 防除時期は 1～2葉展開期です。 3) 整枝による病斑葉の刈り落としも防除効果があります。ただし、葉層の確保充実も考慮してください。 4) 薬剤耐性菌が出現しやすいため同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	カンザワハダニ	―	平年並	小	普通					1) 発生が少なければ防除の必要はありません。 2) 薬剤抵抗性の発達を避けるため、同一系統の薬剤の連用は避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						7月	8月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
チャ	チャノミドリヒメヨコバイ	―	やや少	小	普通					1) 新芽の先が褐変し、ひどいときは芽が硬化し発育が停止します。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 新芽の開葉初期に防除してください。 4) 一斉防除が効果的です。
	チャノキイロアザミウマ	―	やや少	小	普通					1) 萌芽期に加害されると芽の成長が止まり、褐変枯死する場合があります。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 新芽の萌芽～開葉初期に防除してください。 4) 一斉防除が効果的です。
	チャノコカクモンハマキ	―	やや多	小	普通					1) 若齢幼虫期に防除してください。防除適期は成虫発生ピークから 7 日～10 日後頃です。 2) 病害虫防除所ホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。
イチゴ	炭疽病	―	平年並	中	普通					1) 発病株は感染源となるため、周辺株も含めて速やかに除去し、圃場外に持ち出して適切に処分してください。 2) 薬剤による予防防除を徹底してください。降雨、台風等の前後は特に重点的に防除してください。 3) 耐性菌が出現しやすいため同一系統薬剤の連用は避けてください。 4) 病原菌を含む水滴の跳ね返りによって感染が拡大します。水滴が跳ね返らないよう、丁寧に灌水を行ってください。

3. 発生時期･発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
イネ	穂いもち	－	やや多	要因 1)1か月予報(7月21日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (－) 2)巡回調査圃場(7月第2～3週)では、葉いもちの発生圃場率23.8%(平年8.3%)、発病度1.22(平年0.49)でいずれも多 (＋) 3)一般圃場では、葉いもちの発生量は少～やや多(概して平年並) (±) 考察:巡回調査圃場、一般圃場の調査結果を重視して、予想発生量はやや多と考えます。
	紋枯病	－	平年並	要因 1)1か月予報(7月21日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (＋) 2)昨年8月の巡回調査結果から、圃場残存菌核数は少と予想 (－) 3)巡回調査圃場(7月第2～3週)では、発生圃場率0.5%(平年3.4%)、発病株率0.02%(平年0.29%)といずれも平年並の傾向 (±) 4)一般圃場では、発生量は無～やや少(概して少) (－) 考察:巡回調査圃場、一般圃場の調査結果から現状の発生量はやや少と考えられますが、気象条件を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。
	白葉枯病	－	平年並	要因 1)巡回調査圃場(7月第2～3週)では、発生圃場率0%(平年0%)と平年並に少 (±) 2)一般圃場では、発生量は無 (－) 考察:現状の発生量は平年並に少と考えられ、予想発生量は平年並と考えます。
	斑点米カメムシ類	－	やや多	要因 1)1か月予報(7月21日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (＋) 2)予察灯の誘殺数(松阪市･水田位置4月第1半旬～7月第2半旬)は、イネカメムシ12頭(平年1.7頭)と多、ミナミアオカメムシ27頭(平年19.5頭)とやや多、アカスジカスミカメ17頭(平年94.5頭)と少、アカヒゲホソミドリカスミカメ7頭(平年75.1頭)と少 (＋) 3)巡回調査圃場(7月第2～3週)では、すくい取りによる発生圃場率はホソハリカメムシ20.2%(平年15.5%)と多、クモヘリカメムシ8.1%(平年7.0%)とやや多、アカヒゲホソミドリカスミカメ8.8%(平年11.2%)とやや少、アカスジカスミカメ20.2%(平年32.3%)と少。すくい取り成虫数は、アカヒゲホソミドリカスミカメ0.34頭(平年0.35頭)と平年並、クモヘリカメムシ0.36頭(平年0.43頭)、ミナミアオカメムシ0.03頭(平年0.06頭)といずれもやや少、アカスジカスミカメ0.74頭(平年2.8頭)と少、(＋) 4)一般圃場では、発生量は少～多(概してやや多) (＋) 考察:現状の発生量はやや多と考えられますが、予察灯の誘殺数、巡回調査圃場、一般圃場の調査結果から引き続き予想発生量はやや多と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
イネ	イネクロカメムシ	－	やや少	要因 1)予察灯(松阪市･4月第1半旬～7月第2半旬)では、誘殺数は水田位置6頭(平年9.1頭)、畑位置44頭(平年176頭)といずれも少 (－) 2)巡回調査圃場(7月第2～3週)では、発生圃場率5.6%(平年12.3%)、被害株率0.23%(平年1.02%)といずれも少 (－) 3)一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少) (－) 考察:現状の発生量はやや少と考えられ、予察灯、巡回調査圃場、一般圃場の調査結果から、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	ツマグロヨコバイ	－	やや少	要因 1)予察灯(6月第1半旬～7月第2半旬)では、誘殺数は、伊賀市10頭(平年14.9頭)とやや少、松阪市･水田位置0頭(平年4.7頭)、松阪市･畑位置121頭(平年2,329頭)、紀北町3頭(平年7.3頭)、御浜町1頭(平年14.9頭)といずれも少 (－) 2)巡回調査圃場(7月第2～3週)では、発生圃場率28.5%(平年24.3%)とやや多、払い落とし成幼虫数0.8.頭(平年1.0頭)とやや少 (±) 3)一般圃場では、発生量は少～やや少 (概して少) (－) 考察:現状の発生量はやや少と考えられ、予察灯、巡回調査圃場、一般圃場の調査結果から、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	セジロウンカ	－	平年並	要因 1)予察灯(6月第1半旬～7月第2半旬)での誘殺数は、伊賀市4頭(平年1.4頭)と多、松阪市･水田位置0頭(平年0.9頭)、紀北町0頭(平年4.8、頭)、御浜町1頭(平年14.9頭)といずれも少 (±) 2)巡回調査圃場(7月第2～3週)の払い落とし調査では、紀州地域の成虫の発生圃場率0%(平年6.5%)と少、県全体の発生圃場率0.5%(平年1.1%)とやや少 (－) 3)一般圃場では、発生量は無～少(概して少) (－) 考察:予察灯の調査結果を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
	トビイロウンカ	－	平年並	要因 1)予察灯(6月第1半旬～7月第2半旬)では、松阪市･畑位置では4頭(平年1.4頭)と多、伊賀市では1頭(平年0.6頭)とやや多、紀北町0頭(平年1.3頭)、 御浜町0頭(平年0.6頭)といずれも少 (±) 考察:予察灯の飛来状況から、予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ダイズ	紫斑病	－	やや少	要因 1）1 か月予報（7 月 21 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （±） 2）巡回調査圃場（昨年 11 月）では、紫斑粒の発生率 0%（平年 0.3%）と少 （－） 考察：昨年の紫斑粒発生状況は少と考えられ、今後の気象条件を考慮し、予想発生量はやや少と考えます。
	コガネムシ類	－	やや少	要因 1）1 か月予報（7 月 21 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）畑位置予察灯（松阪市･4 月第 1 半旬～7 月第 4 半旬）では、誘殺数はドウガネブイブイ 86 頭（平年 131 頭）と少、ヒメコガネ 125 頭（平年 106 頭）とやや多、アオドウガネ 495 頭（平年 651.3 頭）と少 （±） 3）県予察圃フェロモントラップ（5 月上旬～7 月中旬）では、誘殺数はマメコガネ 39 頭（平年 120 頭）と少、ドウガネブイブイ 15 頭（平年 40 頭）と少、ヒメコガネ 3 頭（平年 12.5 頭）と少 （－） 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、予想発生量はやや少と考えます。
	ハスモンヨトウ	－	平年並	要因 1）1 か月予報（7 月 21 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）県予察圃フェロモントラップで 6 月第 3 半旬～7 月第 4 半旬では、誘殺数は 343 頭（平年 457.4 頭）とやや少 （－） 考察：フェロモントラップの誘殺状況から現状の発生量はやや少と考えられるが、今後の気条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。
	吸実性カメムシ類	－	やや多	要因 1）1 か月予報（7 月 21 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）畑位置予察灯（松阪市･6 月第 2 半旬～7 月第 4 半旬）では、ミナミアオカメムシの誘殺数は 105 頭（平年 118.5 頭）と平年並、イチモンジカメムシは 76 頭（平年 64 頭）とやや多、クサギカメムシは 195 頭（平年 187 頭）と平年並 （＋） 考察：現状の発生量は平年並と考えられるが、今後の気象条件を考慮して、予想発生量はやや多と考えます。
カンキツ	黒点病	－	平年並	要因 1）1 か月予報（7 月 21 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （±） 2）県予察圃（7 月上旬、興津早生、無防除）では、果実発病度 25.4（平年 37.5）とやや少の傾向 （－） 3）巡回調査圃場（7 月第 2～3 週）では、果実発病度 1.2（平年 1.1）とやや多 （＋） 4）一般圃場では、発生量は無～平年並（概して平年並） （±） 5）感染源となる枯枝は平年並 （±） 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	かいよう病	－	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1）1 か月予報（7 月 21 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （±） 2）県予察圃（7 月上旬、新甘夏、無防除）では、発病葉率 0.5%（平年 2.2%）とやや少の傾向、発病果率 0.8%（平年 2.2%）と平年並の傾向 （－） 3）巡回調査圃場（7 月第 2～3 週）では、温州みかんは発病葉率 0%（平年 0.03%）とやや少、発病果率 0%（平年 0%）と平年並に少、中晩柑は発病葉率 4.0%（平年 5.8%）と平年並の傾向、発病果率 0.33%（平年 0.73%）と平年並の傾向 （温州±、中晩柑±） 4）一般圃場では、発生量は平年並 （±） 考察：現状の発生量は温州みかん、中晩柑ともに平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	ミカンハダニ	－	平年並	要因 1）1 か月予報（7 月 21 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）県予察圃（7 月上旬、興津早生）では、100 葉当り寄生頭数は無防除区で 15.6 頭（平年 11.9 頭）と平年並の傾向、慣行防除区で 0 頭（平年 7.7 頭）とやや少の傾向 （±） 3）巡回調査圃場（7 月第 2～3 週）では、新葉における寄生葉率 3.7%（平年 7.8%）と平年並の傾向、寄生頭数 0.07 頭／葉（平年 0.33 頭／葉）とやや少の傾向 （－） 4）一般圃場では、平年並 （±） 考察：現状の発生量は一般圃場を重視して平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	チャノキイロアザミウマ	－	やや少	要因 1）1 か月予報（7 月 21 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）県予察圃黄色粘着トラップ（7 月上旬、ネーブル、無防除）では、誘殺 1.7 頭／日（平年 1.9 頭／日）と平年並の傾向 （±） 3）県予察圃（7 月上旬、ネーブル、無防除）では、100 果当り寄生虫数 0 頭（平年 2.9 頭）と少 （－） 4）巡回調査圃場（7 月第 2～3 週）では、被害果率 0%（平年 0.9%）と少 （－） 5）一般圃場では、発生量はやや少～平年並（概して平年並） （±） 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
果樹共通	カメムシ類	－	多	要因 1）予察灯（御浜町：7 月 1 日～7 月 10 日）では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 19,970 頭（平年 1415.3 頭）と多、ツヤアオカメムシ 42 頭（平年 10.7 頭）と多 （＋） 2）予察灯（畑・松阪市：6 月第 4 半旬～7 月第 3 半旬）では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 3346 頭（平年 679.9 頭）と多、ツヤアオカメムシ 1153 頭（平年 279.6 頭）と多、クサギカメムシ 155 頭（平年 101.6 頭）とやや多 （＋） 3）フェロモントラップ（6 月第 2 週～7 月第 1 週）では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地（津市白山町川口）で 2346.6 頭（平年 901.9 頭）、中間地（津市白山町二本木）で 3524.2 頭（平年 1,289.6 頭）、平坦地（松阪市嬉野川北町）で 800.6 頭（平年 145.4 頭）といずれも多 （＋） 4）巡回調査圃場（7 月第 2～3 週）では、カンキツ圃場での叩き落とし虫数 0 頭（平年 0.02 頭）とやや少 （－） 考察：現状の発生量は多と考えられ、引き続き予想発生量は多と考えます。
チャ	炭疽病	－	やや少	要因 1）1 か月予報（7 月 21 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （－） 2）県予察圃では、二番茶期の発病葉数 0 枚／㎡（平年 0.5 枚／㎡）と少 （－） 3）巡回調査圃場（7 月第 2～3 週）では、発病葉数 0.0 枚／㎡（平年 0.7 枚／㎡）と少 （－） 4）一般圃場では、発生量はやや少 （－） 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	カンザワハダニ	－	平年並	要因 1）1 か月予報（7 月 21 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）県予察圃（6 月中旬~7 月上旬）では、寄生葉率 3.0％（平年 2.2％）とやや多、寄生頭数 0.04 頭／葉（平年 0.04 頭／葉）と平年並 （＋） 3）巡回調査圃場（7 月第 2～3 週）では、寄生葉率 3.1％（平年 1.3％）とやや多、寄生頭数 0.09 頭／葉（平年 0.08 頭／葉）と平年並、発生圃場率 72.2%（平年 17.3％）と多 （＋） 4）一般圃場では、発生量は少 （－） 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	チャノミドリヒメヨコバイ	－	やや少	要因 1）1 か月予報（7 月 21 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （±） 2）県予察圃黄色粘着トラップ（6 月第 2 半旬～7 月第 1 半旬）では、捕殺数 67.8 頭（9 年平均 77.5 頭）と平年並 （±） 3）巡回調査圃場（7 月第 2～3 週）では、叩き落とし虫数 0.7 頭（平年 2.5 頭）と少 （－） 4）一般圃場では、発生量はやや少 （－） 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	－	やや少	要因 1）1 か月予報（7 月 21 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （±） 2）県予察圃黄色粘着トラップ（6 月第 2 半旬～7 月第 1 半旬）では、捕殺数 386.5 頭（9 年平均 1,033.8 頭）と少 （－） 3）巡回調査圃場（7 月第 2～3 週）では、叩き落とし虫数 0 頭（平年 12.9 頭）と少 （－） 4）一般圃場では、発生量はやや少 （－） 考察：現状の発生量は少と考えられ、一般圃場の発生量を重視して予想発生量はやや少と考えます。
	チャノコカクモンハマキ	－	やや多	要因 1）1 か月予報（7 月 21 日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 （＋） 2）県予察圃黄色粘着トラップ（6 月第 2 半旬～7 月第 1 半旬）では、誘殺数 4,901 頭（平年 840 頭）と多 （＋） 3）巡回調査圃場（7 月第 2～3 週）では、ハマキムシ類巻葉数 0.44 枚／㎡（平年 0.97 枚／㎡）とやや少 （－） 4）一般圃場では、ハマキムシ類の発生量はやや多 （＋） 考察：現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。
イチゴ	炭疽病	－	平年並	要因 1）1 か月予報（7 月 21 日発表）によると、気温は平年より高く、降水量は平年並の予想 （±） 2）巡回調査圃場（7 月第 2～3 週、親株）では、発病株率 0%（平年 0.02%）と平年並にやや少 （±） 3）一般圃場では、発生量は無～やや少（概してやや少） （－） 考察：現状の発生量は平年並にやや少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

4. 予察項目の見方

1)「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の 5 段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数		-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早					平年並				やや遅			遅

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の 5 段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

平年値

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の 4 段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きいが平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の 3 段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除などが必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高

発生消長の一例： 発生予報は向こう 1 か月の予報ですが、その前後を合わせて 40 日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう 1 か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±)：平年並の要因

(＋)：発生量増加または発生時期遅延の要因

(－)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方 1 か月予報 (2022 年 07 月 21 日 名古屋地方気象台発表)

向こう 1 か月は、平年と同様に晴れの日が多く、平均気温は高い確率50%です。

1 週目 7 月 23 日～29 日	1週目は、平年並の確率50%です。
2 週目 7 月 30 日～8 月 5 日	2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。
3～4 週目 8 月 6 日～8 月 19 日	3～4週目は、高い確率50%です。

予報期間 7月22日から7月28日まで

向こう一週間は、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、前線や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、22日は雨が降るでしょう。

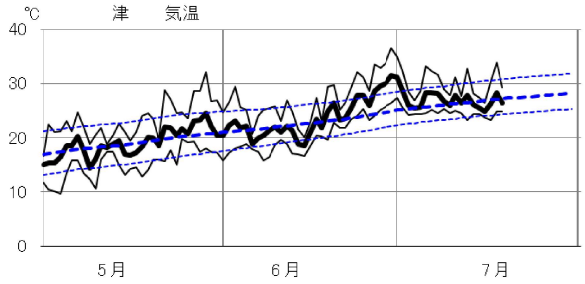
最高気温は、平年並か平年より低い日が多い見込みです。

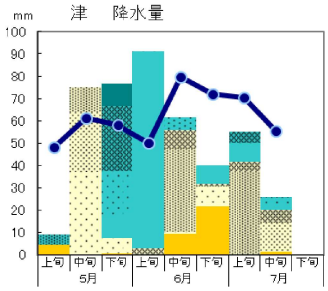
最低気温は、平年並か平年より高い日が多い見込みですが、期間の前半に平年より低い所があるでしょう。

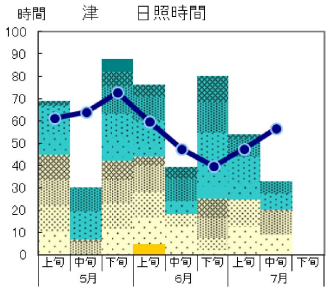
降水量は、平年並の見込みです。

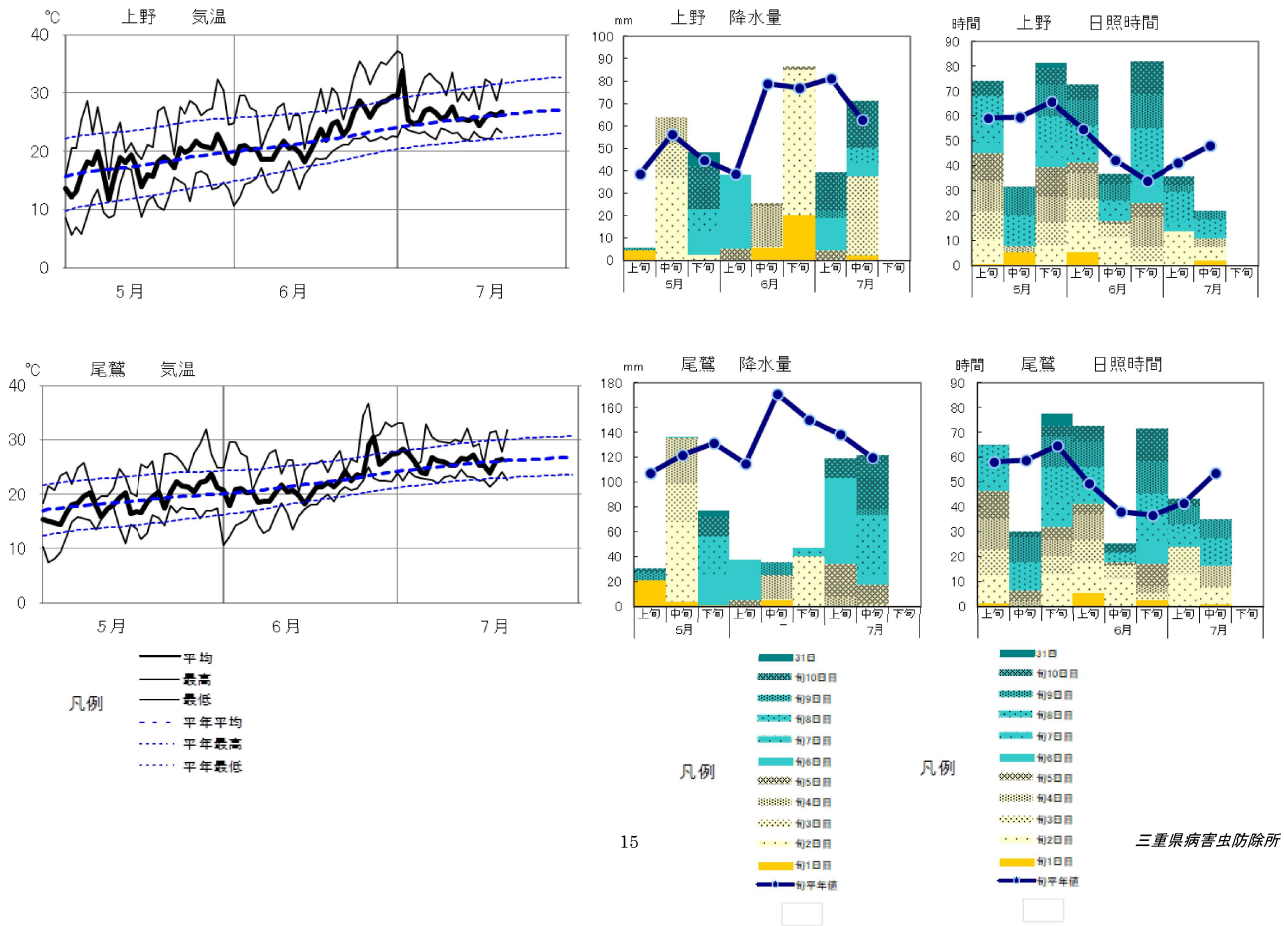
東海地方週間天気予報(2022 年 07 月 21 日 10 時 35 分名古屋地方気象台発表)

気象の日別推移(気象庁発表データ http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php から作成) (7 月 20 日まで)









6. おしらせ （前回と異なる項目には NEW の印があります）

1）記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2）発表日 NEW

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

第 1 回 4 月 27 日（水）（済み）　第 2 回 5 月 26 日（木）（済み）
第 3 回 6 月 23 日（木）（済み）　第 4 回 7 月 28 日（木）（今回）
第 5 回 8 月 25 日（木）　第 6 回 10 月 27 日（木）
第 7 回 3 月 23 日（木）

3）利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただけると幸いです。

4）本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアドレスからお入りください。

http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf

5）メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたことを「掲載通知」として電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm

6）農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

三重県農薬情報システム

https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7）IPM（総合的病害虫・雑草管理）実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全・流通課ホームページ内

http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm

防 除　第 27 号
令和 4 年 8 月 25 日

各 位

三重県病害虫防除所長

令和4年度病害虫発生予報第5号

このことについて、下記のとおり発表します。

目　次

	ページ
1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期･発生量（平年比）の予察根拠	6
4. 予察項目の見方	11
5. 気象のデータ	12
6. おしらせ	14

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1）作物

イネ（普通期）では、斑点米カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。周辺圃場の収穫状況に注意しながら、防除を行ってください。トビイロウンカの発生量は**平年並**と予想されます。ツマグロヨコバイの発生量は**やや少**と予想されます。

ダイズでは、吸実性カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。今後の発生状況に注意して防除してください。ハスモンヨトウの発生量は**平年並**と予想されます。

2）果樹

カンキツでは、黒点病、かいよう病（温州、中晩柑）、ミカンハダニ、チャノキイロアザミウマの発生量は**平年並**と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量は**多**と予想されます。発生が認められる場合は速やかに防除を実施してください。

3）茶

チャでは、炭疽病、カンザワハダニ、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマの発生量はいずれも**平年並**と予想されます。チャノホソガの発生時期は**やや早**、発生量は**平年並**と予想されます。クワシロカイガラムシの発生時期は**やや遅**、発生量は**平年並**と予想されます。

4）野菜

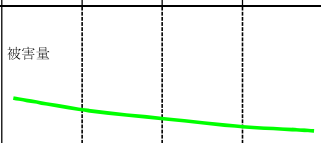
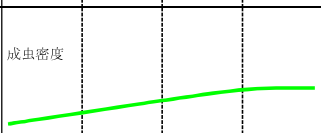
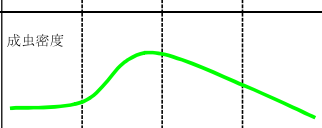
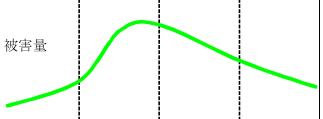
イチゴでは、炭疽病の発生量は**やや多**と予想されます。圃場をよく観察し、早期発見、早期防除に努めてください。

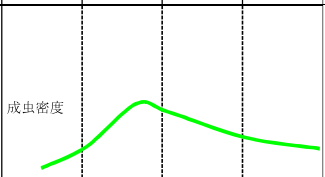
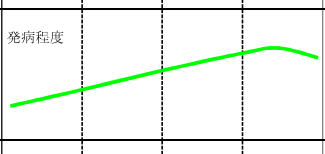
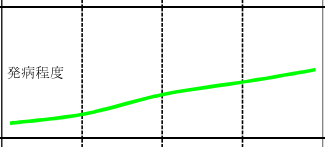
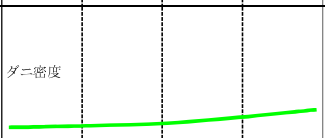
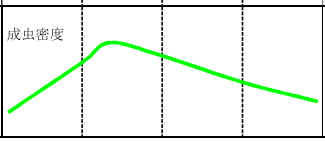
ネギでは、シロイチモジヨトウの発生量は**平年並**と予想されます。

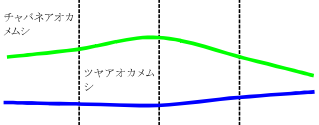
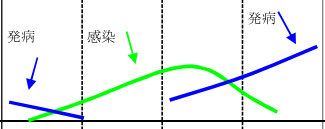
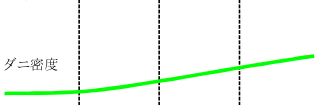
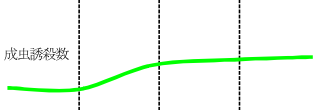
515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530
TEL 0598-42-6365　Fax 0598-42-7568
ホームページhttp://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm

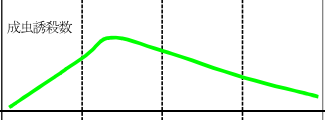
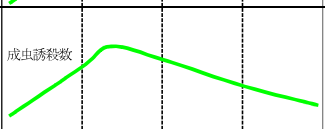
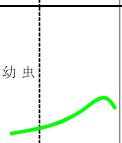
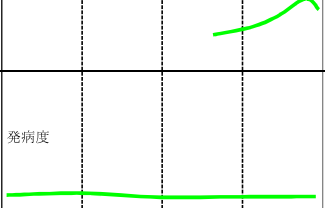
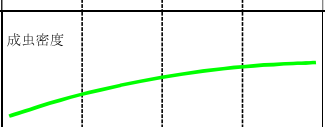
農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						8 月	9 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
イネ（普通期）	斑点米カメムシ類	－	やや多	中	普通					1）病害虫防除技術情報第 7 号（7 月 1 日発表）。 2）周辺で収穫作業がある時は圃場への侵入に注意し、穂揃い期に薬剤散布を実施してください。 3）防除後も侵入が確認される場合は、穂揃い期防除の 7～10 日後に 2 回目の防除をしてください。 4）薬剤散布する場合は、周辺圃場の収穫状況を考慮してドリフトに注意してください。
	ツマグロヨコバイ	－	やや少	中	低					1）発生量が少ないので、実害は少ないと思われます。
	トビイロウンカ	－	平年並	小	低					1)病害虫防除技術情報第 6 号（7 月 1 日発表） 2)発生が確認された場合には速やかに防除を行ってください。
ダイズ	ハスモンヨトウ	－	平年並	中	普通					1）圃場を見回り、白変葉を目印として、早期発見、早期防除に努めてください。 2）薬剤散布は若齢幼虫期に行ってください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						8 月	9 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
ダイズ	吸実性カメムシ類	―	やや多	中	普通					1)近年、ミナミアオカメムシによる被害粒の多発や、青立ち症状が増加しています。 2)薬剤散布は、9 月中旬(開花 20 日後・莢伸長期)と 10 月上旬(開花 40 日後・子実肥大中期)の 2 回散布が効果的です。 3)1 回散布の場合は、9 月下旬頃(開花 30 日後・子実肥大初期)に散布してください。 4)移動性が高いため、広域一斉防除が効果的です。 5)エチプロール剤およびジノテフラン剤は、ミナミアオカメムシの殺虫効果が高いことが確認されています。
カンキツ	黒点病	―	平年並	中	普通					1)乾燥が続くと樹勢の衰弱により枯枝が増加します。感染源となる枯枝の除去に努めてください。 2)9 月は後期感染の時期なので、果実への感染防止に努めてください。
	かいよう病	―	温州 平年並 中晩柑 平年並	温州 小 中晩柑 中	温州 低 中晩柑 普通					1)発病した夏秋梢や果実等の除去に努めてください。 2)防風対策を行うとともに、台風の接近が予想される場合は防除をしてください。 3)ミカンハモグリガの被害痕から菌が侵入しやすいため、高接樹や幼木はミカンハモグリガの防除も実施してください。
	ミカンハダニ	―	平年並	中	普通					1)秋になって急増することがあるので、発生状況をよく観察してください。 2)1 葉当りの雌成虫寄生数が 0.5～1.0 頭程度を目安に防除してください。 3)薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用を避けてください。
	チャノキイロアザミウマ	―	平年並	中	普通					1)この時期の被害発生部位は果頂部で、果実肥大が緩慢になり被害が判りにくくなるため、丁寧な観察が必要です。 2)イヌマキ、サンゴジュ等の防風垣に隣接した樹で、被害が多くなることがあります。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						8 月	9 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
果樹共通	カメムシ類	―	多	大	高					1)病害虫防除技術情報第 3、5 号(5 月 13 日、6 月 23 日発表)。 2)病害虫発生予察注意報第 2 号(8 月 2 日発表)。 3)例年飛来が多く見られる圃場では、圃場内の観察をきめ細かく行ってください。 4)大雨、強風などの後に、急に圃場へ多数飛来することがあります。カンキツやカキ圃場等では、発生状況に十分に注意してください。 5)ナシ、ブドウの有袋栽培では、袋と果実が密着すると、袋の上から加害されることがあるので注意してください。
チャ	炭疽病	―	平年並	小	普通					1)防除時期は秋芽 1～2 葉開葉期です。 2)三番茶期から秋番茶期にかけて増加します。 3)降雨が続くと感染しやすくなります。降雨の前は予防剤で、降雨の後は治療剤で防除してください。 4)治療剤(EBI 剤など)は耐性菌が出現しやすいため、同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	カンザワハダニ	―	平年並	小	普通					1)薬剤がかかりにくい葉裏に生息しています。 2)寄生葉率が高い場合は丁寧に薬剤散布してください。 3)薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	チャノホソガ (第4世代幼虫)	やや早	平年並	小	普通					1)新芽開葉初期の孵化幼虫(潜葉期、絵描き状態)を対象に防除してください。 2)本年の発生時期は、平年よりやや早いと予想されます。病害虫防除所のホームページにフェロモントラップによる誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。 3)ハマキムシ類の間接暴露による薬剤抵抗性の発達を避けるため、ジアシルヒドラジン系 IGR 剤(虫 18)、ジアミド剤(虫 28)の使用回数は年 1 回までとしましょう。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						8 月	9 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
チャ	チャノミドリヒメヨコバイ	―	平年並	小	普通					1)新芽の先が褐変し、ひどいときは芽が硬化し発育停止します。 2)晴天が続くと発生が多くなります。 3)秋芽の開葉初期に防除してください。一斉防除が効果的です。
	チャノキイロアザミウマ	―	平年並	中	普通					1)萌芽期に加害されると芽の成長が止まり、褐変枯死する場合があります。 2)晴天が続くと発生が多くなります。 3)秋芽の萌芽期～開葉初期に防除してください。一斉防除が効果的です。
	クワシロカイガラムシ	やや遅	平年並	小	普通					1)病害虫防除技術情報第 8 号(7 月 1 日発表) 2)第 2 世代幼虫孵化最盛期による予測では第 3 世代幼虫孵化最盛期は遅と予想されます。 3)防除適期は孵化最盛日から 2～4 日後頃です。 4)この時期はばらつきが大きくなるため圃場で幼虫の孵化を確認してから防除してください。 5)天敵に影響の少ない薬剤を選択してください。
イチゴ	炭疽病	―	やや多	中	普通					1)発病株は感染源となるため、周辺株も含めて速やかに除去し、圃場外に持ち出して適切に処分してください。 2)病原菌を含む水滴の跳ね返りによって感染が拡大します。水滴が跳ね返らないよう丁寧に潅水を行ってください。 3)薬剤による予防防除を徹底してください。葉かき作業後や降雨、台風等の前後は特に重点的に防除してください。 4)薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
ネギ	シロイチモジヨトウ	―	平年並	中	普通					1) 幼虫の発生は 8～10 月に多くなります。 2)幼虫は老齢になるに従って薬剤の効果が低下します。早期発見に努め、若齢のうちに防除してください。 3)薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。

3. 発生時期･発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
イネ(普通期)	斑点米カメムシ類	―	やや多	要因 1)1 か月予報(8 月 18 日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 (±) 2)予察灯(7 月第 4 半旬～8 月第 3 半旬･松阪市)では、水田位置でイネカメムシ誘殺数は 115 頭(平年 11.6 頭)と多、クモヘリカメムシの誘殺数は 19 頭(平年 9.4 頭)と多 (＋) 3)巡回調査圃場(8 月第 1～2 週･早期水稲))では、すくい取り調査による斑点米カメムシ類の発生圃場率は 56.8%(平年 44.5%)と多、虫数は 1.9 頭(平年 2.1 頭)と平年並の傾向 (＋) 4)一般圃場では、発生量はやや少～やや多(概して平年並) (±) 考察:現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。
	ツマグロヨコバイ	―	やや少	要因 1)1 か月予報(8 月 18 日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 (±) 2)予察灯(7 月第 3 半旬～8 月第 2 半旬･松阪市)では、誘殺数は水田位置で 1 頭(平年 2.4 頭)と少、畑位置で 524 頭(平年 2044 頭)と少 (－) 3)巡回調査圃場(8 月第 1～2 週)では、払い落とし調査による発生圃場率は 39.4%(平年 35.6%)と多、成幼虫数は 6.9 頭(平年 3.4 頭)と多 (＋) 4)一般圃場では、発生量は少～やや少(概して少) (－) 考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	トビイロウンカ	―	平年並	要因 1)1 か月予報(8 月 18 日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 (±) 2)予察灯(7 月第 3 半旬～8 月第 2 半旬)の誘殺数は松阪市の水田位置で 0 頭(平年 1.5 頭)と少、畑位置で 3 頭(平年 3.8 頭)と平年並、紀北町 0 頭(平年 6.1 頭)とやや少、御浜町 0 頭(平年 2.2 頭)と少 (－) 3)巡回調査圃場(8 月第 1～2 週)では、発生圃場率 0%(平年 0%)、払い落とし成虫数 0 頭(平年 0 頭)とともに平年並に少 (±) 4)一般圃場では、発生量は少 (－) 考察:現状の発生量は平年並と考えられ、予察灯、飛来時期から予想発生量は平年並と考えます。
ダイズ	ハスモンヨトウ	―	平年並	要因 1)1 か月予報(8 月 18 日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 (±) 2)フェロモントラップ(7 月第 2 半旬～8 月第 3 半旬)では、松阪市嬉野川北町で 501 頭(平年 554 頭)と平年並の傾向 (±) 3)巡回調査圃場(8 月第 1～2 週)では、葉食害度 0.07(平年 0.27)と少、白変か所数 0 か所/a(平年 0.5 か所/a)と少 (－) 4)一般圃場では、発生量は少～平年並 (概して平年並) (±) 考察:現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ダイズ	吸実性カメムシ類	－	やや多	要因 1）1 か月予報（8 月 18 日発表）によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）予察灯（7 月第 3 半旬～8 月第 3 半旬・松阪市）では、畑位置でミナミアオカメムシ 78 頭（平年 91.3 頭）とやや少、イチモンジカメムシ 80 頭（平年 55.4 頭）と多、ホソヘリカメムシ 42 頭（平年 43.1 頭）と平年並 （±） 3）大豆巡回調査圃場（8 月第 1～2 週）では、25 株当り寄生虫数 0 頭（平年 0.004 頭）とやや少 （－） 4）水稲巡回調査圃場（8 月第 1～2 週）では、ミナミアオカメムシ発生圃場率 7.5％（平年 2.3％）と多、すくい取り虫数 0.12 頭（平年 0.05 頭）と多 （＋） 5）一般圃場では、発生量は、少～平年並（概して平年並） （±） 考察：水稲巡回調査圃場のミナミアオカメムシの発生状況を重視して現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。
カンキツ	黒点病	－	平年並	要因 1）1 か月予報（8 月 18 日発表）によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 （＋） 2）県予察圃（8 月上旬、興津早生、無防除）では、果実発病度 55.0（平年 61.1）と平年並の傾向 （±） 3）巡回調査圃場（8 月第 1～2 週）では、果実発病度 2.6（平年 2.4）と平年並 （±） 4）一般圃場では、発生量はやや少 （－） 5）感染源となる枯枝の量は平年並 （±） 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
カンキツ	かいよう病	－	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1）1 か月予報（8 月 18 日発表）によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 （＋） 2）県予察圃（8 月上旬、新甘夏、無防除）では、発病葉率 0.5％（平年 3.0％）と少、発病果率 11.7％（平年 16.8％）とやや少 （－） 3）巡回調査圃場（8 月第 1～2 週）のうち、温州みかんでは春葉発病度 0（平年 0.03）と平年並の傾向、果実発病度 0（平年 0.006）とやや少 （±） 4）巡回調査圃場（8 月第 1～2 週）のうち、中晩柑では春葉発病度 2.1（平年 1.9）と平年並の傾向、果実発病度 0.5（平年 1.6）と少 （－） 5）一般圃場では、発生量は平年並 （±） 考察：温州みかんの現状の発生量は、平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。中晩柑類の現状の発生量は、一般圃場を重視して平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	－	平年並	要因 1）1 か月予報（8 月 18 日発表）によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）県予察圃（8 月上旬、興津早生）では、100 葉当り寄生頭数は慣行防除区で 10 頭（平年 14.9 頭）と平年並の傾向、無防除区で 3.3 頭（平年 4.9 頭）と平年並の傾向 （±） 3）巡回調査圃場（8 月第 1～2 週）では、春葉における寄生葉率 4.0％（平年 4.8％）と平年並の傾向、寄生虫数 0.069 頭／葉（平年 0.31 頭／葉）と平年並の傾向 （±） 4）一般圃場では、発生量はやや少 （－） 考察：現在の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
カンキツ	チャノキイロアザミウマ	－	平年並	要因 1）1 か月予報（8 月 18 日発表）によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）県予察圃黄色粘着トラップ（8 月上旬、ネーブル、無防除）では、誘殺数 6.7 頭／日（平年 9.8 頭）と平年並の傾向 （±） 3）県予察圃（8 月上旬、ネーブル、無防除）では、100 果当り寄生虫数 0 頭（平年 2.9 頭）と少 （－） 4）巡回調査圃場（8 月第 1～2 週）では、被害果率 0.31％（平年 0.8％）と少 （－） 5）一般圃場では、発生量は平年並 （±） 考察：現状の発生量は、一般圃場を重視して平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
果樹共通	カメムシ類	－	多	要因 1）1 か月予報（8 月 18 日発表）によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）予察灯（御浜町：8 月上旬）では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 5,498 頭（平年 855.6 頭）と多、ツヤアオカメムシ 59 頭（平年 18.0 頭）と多 （＋） 3）予察灯（松阪市：7 月第 3 半旬～8 月第 2 半旬）では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 2,768 頭（平年 947.6 頭）と多、ツヤアオカメムシ 134 頭（平年 120.4 頭）と平年並 （＋） 4）フェロモントラップ（7 月第 3 週～8 月第 2 週）では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地（津市白山町川口）で 2,846.1 頭（平年 1,028.1 頭）と多、中間地（津市白山町二本木）で 4,521.2 頭（平年 1,743.4 頭）と多、平坦地（松阪市嬉野川北町）で 2,238.1 頭（平年 475.3 頭）と多 （＋） 5）一般圃場では、発生量はやや少～やや多（概してやや多） （＋） 考察：現在の発生量は多と考えられ、引き続き予想発生量は多と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
チャ	炭疽病	－	平年並	要因 1）1か月予報（8月18日発表）によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 （＋） 2）県予察圃では、二番茶期の発病葉数0枚／㎡（平年0.5枚／㎡）と少 （－） 3）巡回調査圃場（8月第1～2週）では、発病葉数0.06枚／㎡（平年1.2枚／㎡）と少 （－） 4）一般圃場では、発生量はやや少 （－） 考察：現在の発生量は一般圃場の状況を重視してやや少と考えられますが、今後の気象の状況を考慮し、予想発生量は平年並と考えます。
	カンザワハダニ	－	平年並	要因 1）1か月予報（8月18日発表）によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）県予察圃（7月中旬～8月上旬）では、寄生葉率24.0%（平年5.5%）と多、寄生頭数1.0頭／葉（平年0.14頭／葉）と多 （＋） 3）巡回調査圃場（8月第1～2週）では、寄生葉率2.4%（平年0.8%）と多、寄生頭数0.06頭／葉（平年0.02頭／葉）と多 （＋） 4）一般圃場では、発生量は平年並 （±） 考察：現状の発生量は一般圃場の状況を重視して平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	チャノホソガ（第4世代幼虫）	やや早	平年並	要因 1）1か月予報（8月18日発表）によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）県予察圃では、第2世代成虫のフェロモントラップ誘殺ピークは7月第2半旬（平年7月第3.0半旬）とやや早 （発生時期－） 3）県予察圃フェロモントラップ（7月第3半旬～8月第2半旬）では、誘殺数2,139頭（平年1,241.7頭）と多 （＋） 4）巡回調査圃場（8月第1～2週）では、巻葉数0枚／㎡（平年0.8枚／㎡）と少 （－） 5）一般圃場では、発生量は平年並 （±） 考察：発生時期はやや早、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	チャノミドリヒメヨコバイ	－	平年並	要因 1）1か月予報（8月18日発表）によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）県予察圃黄色粘着トラップ（7月第3半旬～8月第2半旬）では、捕殺数63.0頭（9年平均44.4頭）とやや多の傾向 （＋） 3）巡回調査圃場（8月第1～2週）では、叩き落とし虫数1.3頭（平年1.4頭）と平年並 （±） 4）一般圃場では、発生量は平年並 （±） 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	－	平年並	要因 1）1か月予報（8月18日発表）によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）県予察圃黄色粘着トラップ（7月第3半旬～8月第2半旬）では、捕殺数1,365頭（9年平均842.7頭）とやや多の傾向 （＋） 3）巡回調査圃場（8月第1～2週）では、叩き落とし虫数0頭（平年6.6頭）と少 （－） 4）一般圃場では、発生量は平年並 （±） 考察：現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	クワシロカイガラムシ	やや遅	平年並	要因 1）1か月予報（8月18日発表）によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）県予察圃場（亀山市）の第2世代幼虫孵化最盛期は7月22日（平年7月17日）とやや遅 （発生時期＋） 3）巡回調査圃場（8月第1～2週）では、雄繭寄生株率8.4%（平年8.9%）と平年並、雌成虫寄生株率7.8%（平年8.3%）と平年並 （±） 4）一般圃場では、発生量は平年並 （±） 考察：第2世代幼虫孵化最盛期から、予想発生時期はやや遅と考えます。現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
イチゴ	炭疽病	－	やや多	要因 1）1か月予報（8月18日発表）によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 （＋） 2）巡回調査圃場（8月第1～2週、育苗床）では、発病株率0.4%（平年0.09%）と多 （＋） 3）一般圃場では、やや少～やや多 （概してやや多）（＋） 考察：現状の発生量は一般圃場の状況からやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。
ネギ	シロイチモジヨトウ	－	平年並	要因 1）1か月予報（8月18日発表）によると、気温は高く、降水量は平年並か多い予想 （±） 2）県予察圃フェロモントラップ（松阪市：7月第4半旬～8月第3半旬）では、誘殺数は98頭（平年62.1頭）と多 （＋） 3）巡回調査圃場（8月第1～第2週）では、青ネギの被害株率0%（平年0.3%）と平年並の傾向 （±） 4）一般圃場では、少～平年並 （概してやや少） （－） 考察：現状の発生量は一般圃場の状況からやや少と考えられますが、フェロモントラップの状況を考慮して予想発生量は平年並と考えます。

4. 予察項目の見方

1)「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の 5 段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数		-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早					平年並				やや遅			遅

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の 5 段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

平年値

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の 4 段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きいが平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の 3 段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除などが必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高

発生消長の一例： 発生予報は向こう 1 か月の予報ですが、その前後を合わせて 40 日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう 1 か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±)：平年並の要因

(＋)：発生量増加または発生時期遅延の要因

(－)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方 1 か月予報(令和 4 年 8 月 18 日名古屋地方気象台発表)

暖かい空気が流れ込みやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。

気圧の谷や湿った空気の影響を受ける時期があるため、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。

1 週目 8 月 20 日～26 日	気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
2 週目 8 月 27 日～9 月 2 日	湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
3～4 週目 9 月 3 日～16 日	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

東海地方週間天気予報(令和 4 年 8 月 22 日名古屋地方気象台発表)

予報期間 8 月 23 日～8 月 29 日まで

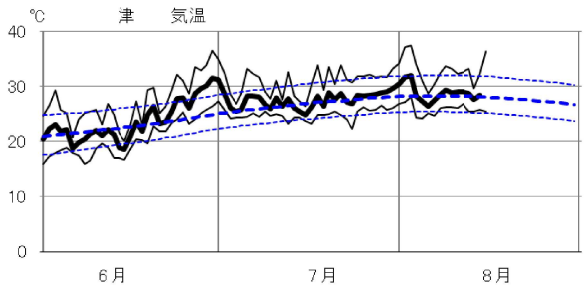
向こう一週間は、気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、期間の後半は雨の降る日が多いでしょう。

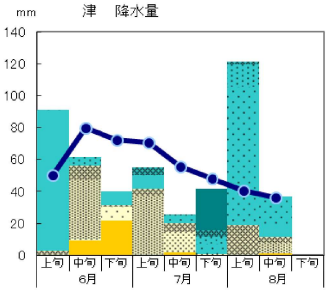
最高気温は、期間の前半は平年並か平年より高いですが、後半は平年並か平年より低い見込みです。

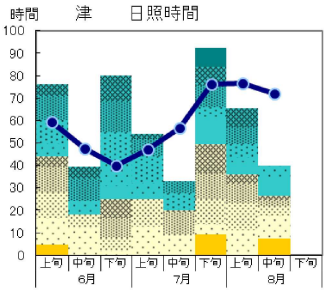
最低気温は、平年並か平年より高いでしょう。

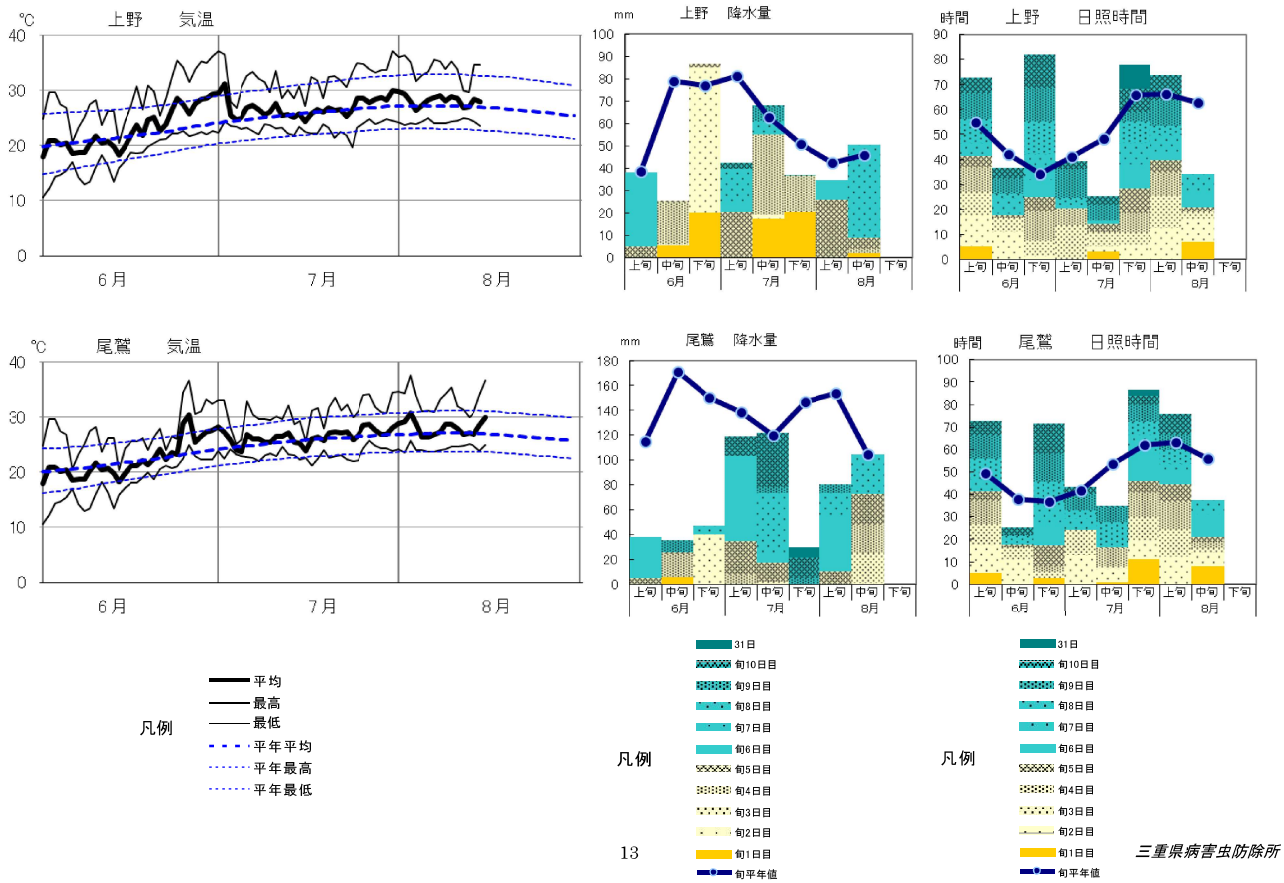
降水量は、平年並か平年より多い見込みです。

気象の日別推移(気象庁発表データ http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php から作成) (8 月 16 日まで)









6. おしらせ　（前回と異なる項目には NEW の印があります）

1）記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2）発表日 NEW

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

第 1 回 4 月 27 日（水）（済み）　第 2 回 5 月 26 日（木）（済み）
第 3 回 6 月 23 日（木）（済み）　第 4 回 7 月 28 日（木）（済み）
第 5 回 8 月 25 日（木）（今回）　第 6 回 10 月 27 日（木）
第 7 回 3 月 23 日（木）

3）利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただけると幸いです。

4）本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアドレスからお入りください。

http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf

5）メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm

6）農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

三重県農薬情報システム

https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7）IPM（総合的病害虫・雑草管理）実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全・流通課ホームページ内

http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm

防 除 第 34 号
令和 4 年 10 月 27 日

各 位

三重県病害虫防除所長

令和4年度病害虫発生予報第6号

このことについて、下記のとおり発表します。

目　次

	ページ
1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量（平年比）の予察根拠	5
4. 予察項目の見方	8
5. 気象のデータ	9
6. おしらせ	11

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1）果樹

カンキツでは、ミカンハダニの発生量は**やや少**と予想されます。

2）茶

チャでは、カンザワハダニの発生量は**平年並**と予想されます。

3）野菜

トマトでは、疫病の発生量は**平年並**と予想されます。

イチゴでは、炭疽病の発生量は**平年並**と予想されます。うどんこ病、ハダニ類の発生量は**やや少**と予想されます。

ハクサイでは、白斑病の発生量は**やや少**と予想されます。

キャベツでは、黒腐病の発生量は**やや少**と予想されます。

ネギでは、ネギコガ、シロイチモジヨトウの発生量は**やや少**と予想されます。

野菜共通では、ハスモンヨトウの発生量は**平年並**、コナガの発生量は**やや少**と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530
TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568
ホームページhttp://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						10 月	11 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
カンキツ	ミカンハダニ	－	やや少	中	普通	成ダニ密度				1）1 葉当りのハダニ成虫数が、0.5～1.0 頭程度確認されたら、薬剤防除してください。 2）中晩柑類で袋かけをする品種では、作業前に必ず発生状況を確認し、必要に応じて防除を行ってください。 3）薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
チャ	カンザワハダニ	－	平年並	小	普通	成ダニ密度				1）薬剤がかかりにくい葉裏に生息しているので、丁寧に薬剤散布をしてください。 2）薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
トマト	疫病	－	平年並	小	普通	発病程度				1）病徴の進展が非常に早いので、発生を確認した場合には集中的に薬剤散布をしてください。 2）20℃ぐらいの温度で多湿条件の時に発生が多くなります。 3）病原菌は被害植物の残渣とともに土中に残り、伝染源となります。発病株は圃場外に持ち出して適切に処分してください。
イチゴ	うどんこ病	－	やや少	小	普通	発病程度				1）ビニールの被覆後、発生が増加します。 2）予防防除に重点をおいて薬剤散布をしてください。 3）発病を認めたときは、葉裏に薬液がかかるよう、下葉を除去して丁寧に防除してください。
	炭疽病	－	平年並	小	普通	発病程度				1）感染した苗は、本圃定植後に発病します。 2）発病株は圃場外へ持ち出して適切に処分してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						10 月	11 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
イチゴ	ハダニ類	―	やや少	小	普通	成ダニ密度				1) 天敵を利用する場合は、発生密度の低いうちに導入し、農薬は天敵への影響を考慮して使用してください。 2) 薬剤防除では、発生を確認したら、できるだけ早期に防除してください。 3) 薬剤がかかりやすくするため下葉を除去し、葉裏まで丁寧に散布してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
ハクサイ	白斑病	―	やや少	小	普通	発病程度				1) 秋から初冬にかけて、雨が多いと多発する傾向があります。 2) 肥料切れすると発病を助長します。 3) 発病初期の薬剤防除を徹底してください。
キャベツ	黒腐病	―	やや少	小	普通	発病程度				1) 土壌中の病原菌が雨滴で葉に飛散し、感染します。大雨後や特に冠水したときは、速やかに薬剤防除をしてください。 2) 翌年の伝染源となるので、発病株は圃場外に持ち出して適切に処分してください。
ネギ	ネギコガ	―	やや少	小	普通	幼虫密度				1) 幼虫が葉の内部に潜るので、潜入防止のため、発生初期から防除をしてください。
	シロイチモジヨトウ	―	やや少	小	普通	幼虫密度				1) 若齢幼虫から葉の内部に侵入し、内側から表皮を残して食害します。 2) 老齢幼虫ほど薬剤の効果が劣るので、若齢幼虫のうちに防除してください。 3) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						10 月	11 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
野菜共通	コナガ	―	やや少	小	普通	幼虫密度				1) 冬でも生育を続けて加害します。 2) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
	ハスモンヨトウ	―	平年並	中	普通	幼虫密度				1)病害虫防除技術情報第 13 号発表（令和 4 年 9 月 26 日） 2) 老齢幼虫は防除効果が劣るので、若齢幼虫のうちに防除を行ってください。 3) 新芽部を食害されると、生育や収量への影響が大きいので、適期防除に努めてください。 4) 施設ではハウスのパイプや換気口周辺などの資材にも産卵するので、注意してください。

3. 発生時期･発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	－	やや少	要因 1)1か月予報(10月20日発表)によると、気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並の予想 (±) 2)県予察圃(10月中旬、興津早生)では、100葉当り寄生頭数は慣行防除区で1.1頭(平年50.8頭)と少 (－) 3)県予察圃(10月中旬、興津早生)では、100葉当り寄生頭数は無防除区0頭(平年15.9頭)と少 (－) 4)巡回調査圃場(10月第2～3週)では、寄生葉率0.6%(平年5.6%)と少、寄生頭数0.01頭／葉(平年0.18頭／葉)と少 (－) 5)一般圃場では、発生量は少～やや少(概してやや少) (－) 考察:一般圃場の発生状況を重視して現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
チャ	カンザワハダニ	－	平年並	要因 1)1か月予報(10月20日発表)によると、気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並の予想 (±) 2)県予察圃(10月上旬)では、寄生葉率0%(平年5.0%)、寄生頭数0頭／葉(平年0.2頭／葉)と少 (－) 3)巡回調査圃場(10月第2～3週)では、寄生葉率3.3%(平年1.8%)と多、寄生頭数0.04頭／葉(平年0.04頭／葉)と平年並 (＋) 4)一般圃場では、発生量はやや少 (－) 考察:現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
トマト	疫病	－	平年並	要因 1)巡回調査圃場(10月第2～3週)では、発病株率0%(平年0%)と平年並に少 (±) 2)一般圃場では、発生量は無～少 (概して無) (－) 考察:現状の発生量は平年並に少と考えられ、大きな増加要因がないので、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
イチゴ	うどんこ病	－	やや少	要因 1)1か月予報(10月20日発表)によると、気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並の予想 (±) 2)巡回調査圃場(10月第2～3週)では、発病株率0%(平年0.1%)と少 (－) 3)一般圃場では、発生量は無～少 (概して無) (－) 考察:現状の発生量は少と考えられますが、ビニール被覆後の増加を考慮して、予想発生量はやや少と考えます。
	炭疽病	－	平年並	要因 1)1か月予報(10月20日発表)によると、気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並の予想 (±) 2)巡回調査圃場(10月第2～3週)では、発病株率0%(平年0.1%)と平年並の傾向 (±) 3)一般圃場では、発生量は少～平年並 (概して平年並) (±) 考察:現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
イチゴ	ハダニ類	－	やや少	要因 1)1か月予報(10月20日発表)によると、気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並の予想 (±) 2)巡回調査圃場(10月第2～3週)では、寄生株率0.4%(平年5.1%)と少、寄生程度0.1(平年1.7)と少 (－) 3)一般圃場では、発生量は少～やや少(概してやや少) (－) 考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
ハクサイ	白斑病	－	やや少	要因 1)1か月予報(10月20日発表)によると、気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並の予想 (±) 2)巡回調査圃場(10月第2～3週)では、発病株率0%(平年0.6%)とやや少、発病程度0(平年0.2)とやや少 (－) 3)一般圃場では、発生量は無～少 (概して無) (－) 考察:現状の発生量は巡回調査圃場の結果を重視してやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
キャベツ	黒腐病	－	やや少	要因 1)1か月予報(10月20日発表)によると、気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並の予想 (±) 2)巡回調査圃場(10月第2～3週)では、発病株率6.3%(平年0.9%)と多、発病程度3.1(平年0.2)と多 (＋) 3)一般圃場では、発生量は無～やや少(概してやや少) (－) 考察:現状の発生量は一般圃場の状況を重視してやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
ネギ	ネギコガ	－	やや少	要因 1)1か月予報(10月20日発表)によると、気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並の予想 (±) 2)巡回調査圃場(10月第2～3週)では、被害葉率0.5%(平年0.2%)とやや多の傾向 (＋) 3)一般圃場では、発生量は無～少 (概して少) (－) 考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	シロイチモジヨトウ	－	やや少	要因 1)1か月予報(10月20日発表)によると、気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並の予想 (±) 2)県予察圃フェロモントラップ(9月第4半旬～10月第3半旬)では、誘殺数44頭(平年65.5頭)と平年並の傾向 (±) 3)巡回調査圃場(10月第2～3週)では、被害葉率0.8%(平年5.4%)と少 (－) 4)一般圃場では、発生量は無～やや少(概して少) (－) 考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
野菜共通	コナガ	ー	やや少	要因 1）1か月予報（10月20日発表）によると、気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並の予想 （±） 2）巡回調査圃場（10 月第 2～3 週）では、ハクサイの寄生株率 0%（平年 0.1%）と少、キャベツの寄生株率 0.3%（平年 0.5%）と少 （－） 3）一般圃場では、発生量は少～平年並（概してやや少） （－） 考察：現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	ハスモンヨトウ	ー	平年並	要因 1）1か月予報（10月20日発表）によると、気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並の予想 （±） 2）県予察圃フェロモントラップ（9月第4半旬～10月第3半旬）では、誘殺数3,030頭（平年1,866頭）とやや多の傾向 （＋） 3）巡回調査圃場（10月第2～3週）では、イチゴの寄生株率0%（平年1.6%）と少、ハクサイの寄生株率0.6%（平年0.2%）と多、キャベツの寄生株率0.5%（平年2.1%）と平年並の傾向 （±） 4）一般圃場では、発生量は少～平年並（概して平年並） （±） 考察：現状の発生量は、作物によって発生に偏りがあるが概して平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

4. 予察項目の見方

1）「作物別の状況」の見方

発生時期（平年比）： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の 5 段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数		-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早				平年並				やや遅			遅	

発生量（平年比）： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多，多」の 5 段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

平年値 ↓

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

発生量（程度）： 発生程度を「小、中、大、甚」の 4 段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量（平年比）」と比べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きいが平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚

要防除圃場率（平年比）： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の 3 段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除などが必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高

発生消長の一例： 発生予報は向こう 1 か月の予報ですが、その前後を合わせて 40 日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう 1 か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2）「発生時期・発生量（平年日）の予察根拠」の見方

（±）：平年並の要因

（＋）：発生量増加または発生時期遅延の要因

（－）：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方１か月予報（令和４年 10 月 20 日 名古屋地方気象台発表）

向こう１か月の気温はほぼ平年並ですが、２週目の気温は寒気の影響を受けにくいため平年並か高いでしょう。

1 週目 10 月 22 日～ 28 日	天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
2 週目 10 月 29 日～ 11 月 4 日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
3～4 週目 11 月 5 日～ 11 月 18 日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

東海地方週間天気予報（令和４年 10 月 24 日 10 時 37 分 名古屋地方気象台発表）

予報期間 10 月 25 日から 10 月 31 日まで

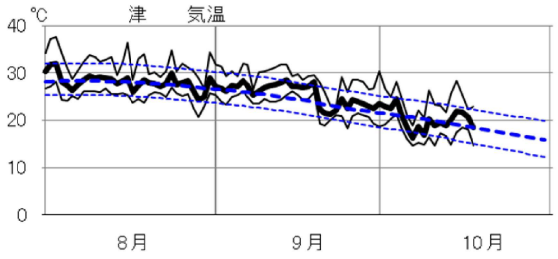
向こう一週間は、気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がる日もありますが、高気圧に覆われて晴れる日が多いでしょう。

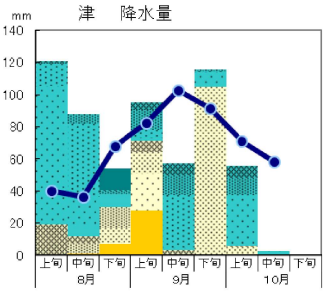
最高気温は、期間のはじめは平年並か平年より低く、かなり低い所もありますが、その後は平年並か平年より高い見込みです。

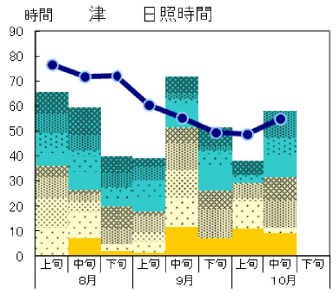
最低気温は、平年並か平年より低く、期間のはじめはかなり低い所もあるでしょう。

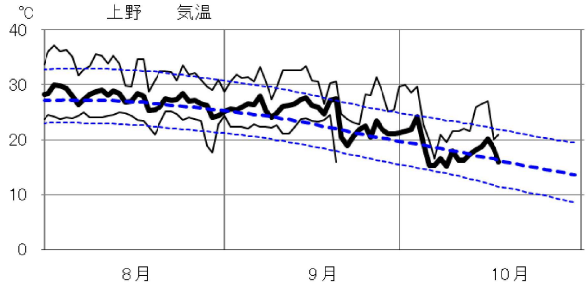
降水量は、平年並か平年より少ない見込みです。

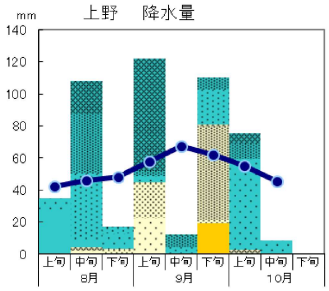
気象の日別推移（気象庁発表データ http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php から作成）（10 月 19 日まで）

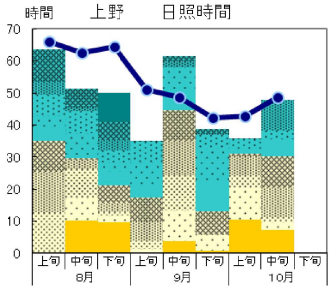


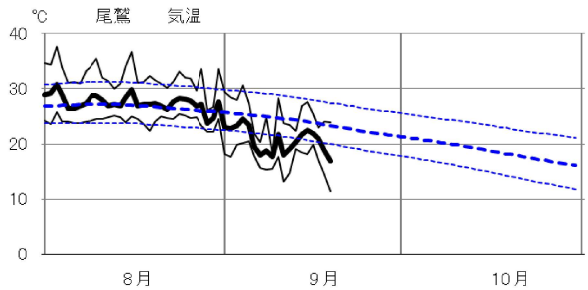


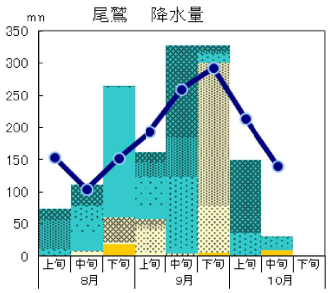


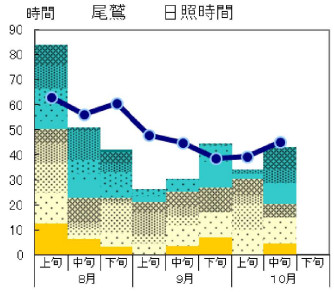












凡例
- 平均
- 最高
- 最低
- 平年平均
- 平年最高
- 平年最低

凡例
- 31日
- 旬10日目
- 旬9日目
- 旬8日目
- 旬7日目
- 旬6日目
- 旬5日目
- 旬4日目
- 旬3日目
- 旬2日目
- 旬1日目
- 旬平年値

凡例
- 31日
- 旬10日目
- 旬9日目
- 旬8日目
- 旬7日目
- 旬6日目
- 旬5日目
- 旬4日目
- 旬3日目
- 旬2日目
- 旬1日目
- 旬平年値

6. おしらせ （前回と異なる項目には NEW の印があります）

1）記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2）発表日 NEW

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

第 1 回 4 月 27 日（水）（済み）　第 2 回 5 月 26 日（木）（済み）
第 3 回 6 月 23 日（木）（済み）　第 4 回 7 月 28 日（木）（済み）
第 5 回 8 月 25 日（木）（済み）　第 6 回 10 月 27 日（木）（今回）
第 7 回 3 月 23 日（木）

3）利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただけると幸いです。

4）本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアドレスからお入りください。

http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf

5）メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm

6）農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

三重県農薬情報システム

https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7）IPM（総合的病害虫・雑草管理）実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全・流通課ホームページ内

http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm

防 除 第 54 号
令和 5 年 3 月 23 日

各 位

三重県病害虫防除所長

令和 4 年度病害虫発生予報第 7 号

このことについて、下記のとおり発表します。

目　次

	ページ
1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量（平年比）の予察根拠	5
4. 予察項目の見方	8
5. 気象のデータ	9
6. おしらせ	11

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1）作物

イネ（注 1）では、イネミズゾウムシの発生量は**平年並**と予想されます。

コムギ（注 2）では、赤かび病の発生量は**やや多**と予想されます。気象条件に注意し、開花の状況を確認して防除に努めてください。

注 1：4 月中旬までに移植する圃場を対象。

注 2：11 月下旬までに播種した圃場を対象。

2）果樹

カンキツでは、そうか病の発生量は**やや多**と予想されます。今後の発生状況に注意し、早期防除に努めてください。かいよう病（温州、中晩柑）、ミカンハダニの発生量は**平年並**と予想されます。

ナシでは、赤星病の発生量は**やや多**と予想されます。今後の発生状況に注意し、早期防除に努めてください。黒星病の発生量は**平年並**と予想されます。

3）茶

チャでは、カンザワハダニの発生量は**やや多**と予想されます。今後の発生状況に注意し、早期防除に努めてください。チャノホソガの発生時期は**やや早**と予想されます。

4）野菜

イチゴでは、灰色かび病の発生量は**平年並**と予想されます。うどんこ病、ハダニ類の発生量は**やや少**と予想されます。

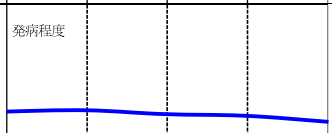
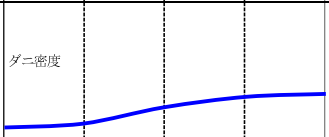
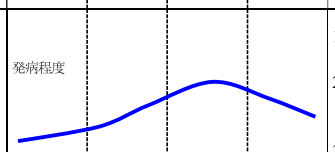
キャベツでは、菌核病の発生量は**やや少**と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						3 月	4 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
イネ	イネミズゾウムシ	―	平年並	小	普通				成虫誘殺数	1) 近年、実害は少ないので、移植後の発生状況に応じて防除してください。 2) 常発圃場では、箱施用剤による予防を行ってください。
コムギ	赤かび病	―	やや多	小	普通		出穂期	開花期 感染 発 病		1) 病害虫防除技術情報第 16 号(3 月 23 日発表)。 2) 圃場ごとに出穂及び開花状況を把握し、開花始めから開花盛期に予防散布してください。 3) 開花期に雨が多く多発生が予想される場合には開花期防除の 7～10 日後に追加防除を行ってください。
カンキツ	そうか病	―	やや多	小	普通	葉枝の発病		発芽		1) 昨年に果実での発病がみられた圃場では、発芽期防除を実施してください。 2) 春葉が感染する期間は発芽直後から伸長停止期までです。 3) 越冬病斑の見られる枝葉は剪除して、圃場外に持ち出し適切に処分してください。
	かいよう病	―	温州 平年並 中晩柑 平年並	温州 小 中晩柑 小	温州 低 中晩柑 普通				発病程度	1) 越冬病斑が認められる中晩柑圃場では、発芽前防除を実施してください。 2) 夏秋梢等の発病枝葉は早く剪除し、圃場外に持ち出し適切に処分してください。 3) ボルドー液とマシン油乳剤の近接散布による薬害に注意してください。
	ミカンハダニ	―	平年並	中	普通		成ダニ密度			1) 成虫が 1 葉当り 1 頭前後になったら防除してください。 2) マシン油乳剤を散布していない圃場や現在発生が認められる圃場では、今後の増加に注意してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						3 月	4 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
ナシ	黒星病	―	平年並	小	普通	発病程度				1) りん片や新梢基部に発病が確認されたら、すぐに防除を実施してください。なお、発病したりん片は、基部から切除して圃場外で処分してください。 2) 例年発生が多い圃場では、早くから樹体の観察を怠らないようにしてください。
	赤星病	―	やや多	中	普通		ビャクシン類の冬胞子発芽			1) 赤星病の防除時期は、黒星病の防除適期と重なります。 2) 特に開花期前後の防除が重要なので、各薬剤の特性を理解して両方に登録のある薬剤を使用してください。
チャ	カンザワハダニ	―	やや多	中	普通		成ダニ密度			1) 病害虫防除技術情報第 15 号(3 月 13 日発表)。 2) 例年、2 月下旬～3 月上旬に産卵を確認しますが、本年は、2 月 6 日に産卵を確認しています。 3) 裾葉裏に生息しているので、薬剤が付着するよう丁寧に散布してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統の薬剤使用は年 1 回としてください。
	チャノホソガ	やや早	―	―	―		成虫密度			1) 新芽の葉裏に産卵します。 2) 萌芽は例年 4 月上旬です。萌芽後は新芽への産卵や幼虫発生に注意してください。
イチゴ	灰色かび病	―	平年並	小	普通	発病程度				1) 病勢が進行すると防除が困難になります。圃場をよく観察し、早期発見・早期防除に努めてください。 2) 20℃前後の温度と多湿条件で発生が多くなります。ハウス内の温度・湿度管理に注意してください。 3) 発病部位は伝染源となるため、こまめに取り除いて圃場外に持ち出し適切に処分してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						3 月	4 月			
		平年比	平年比	程度	平年比	下旬	上旬	中旬	下旬	
イチゴ	うどんこ病	－	やや少	小	普通					1）軟弱徒長すると発生が多くなります。適切な温湿度管理、潅水管理に努めてください。 2）発病部位は伝染源となるため、見つけ次第速やかに取り除いてください。 3）薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
	ハダニ類	－	やや少	小	普通					1）薬液がかかりやすくなるよう下葉を除去し、葉裏までしっかりと散布してください。 2）薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。また、抵抗性の発達しにくい気門封鎖剤や天敵製剤を活用してください。 3）薬剤散布では、天敵やミツバチに対する影響も十分考慮して薬剤の選択を行ってください。
キャベツ	菌核病	－	やや少	小	普通					1）発病株は伝染源となるため、菌核が形成される前に抜き取って圃場外に持ち出し適切に処分してください。 2）葉の傷口や生育の衰えた下葉から病原菌が感染し、結球期頃から発生が目立ち始めます。結球始期の予防散布を基本としてください。 3）薬剤散布は、初発部位である株元を中心に丁寧に行ってください。

3. 発生時期･発生量（平年比）の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
イネ	イネミズゾウムシ	－	平年並	要因 1）1 か月予報（3 月 16 日発表）によると、気温は高く、降水量は多い予想 （＋） 2）予察灯（令和 4 年 7 月第 1 半旬～9 月第 2 半旬 松阪市水田位置）では、誘殺数は 98 頭（平年 122 頭）と平年並の傾向（±） 3）巡回調査圃場（令和 4 年 8 月）では、発生圃場率 1.9%（平年 7.5%）と少、払い落とし虫数 0.03 頭（平年 0.13 頭）と少（－） 考察： 昨年の予察灯の誘殺数を重視して、越冬虫数、予想発生量ともに平年並と考えます。
コムギ	赤かび病	－	やや多	要因 1）1 か月予報（3 月 16 日発表）によると、気温は高く、降水量は多く、日照時間は少ない予想 （＋） 2）農業研究所作況試験田（11 月 11 日播種･あやひかり）によると、葉齢の進展は 3 月 17 日時点で平年並 （±） 3）生育予測システム（11 月 11 日播種･あやひかり･松阪市嬉野。3 月 16 日現在）によると、予想出穂期は 4 月 6 日頃（平年 4 月 12 日）と早 （出穂時期－） 考察： 現在の生育状況および今後の気象条件から、予想発生量はやや多と考えます。
カンキツ	そうか病	－	やや多	要因 1）1 か月予報（3 月 16 日発表）によると、気温は高く、降水量は多い予想 （＋） 2）県予察圃（無防除圃場）では、昨年 7 月上旬の春葉発病率 100%（平年 85.4%）と多 （＋） 3）一般圃場では、昨年 8 月の発生量はやや多 （＋） 4）巡回調査圃場（3 月第 1～2 週）では、旧葉での発病葉率 0%（平年 0.03%）と平年並に少、発病度 0（平年 0.006）と平年並に少 （±） 考察： 巡回調査結果は平年並であったが、昨年の発生状況を考慮して、予想発生量はやや多と考えます。
	かいよう病	－	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1）1 か月予報（3 月 16 日発表）によると、気温は高く、降水量は多い予想 （＋） 2）県予察圃（無防除圃場、中晩柑、2 月 21 日調査）では、越冬病斑の発病葉率 21.3%（平年 30.3%）と少、発病度 3.46（平年 7.3）と少 （－） 3）巡回調査圃場（3 月第 1～2 週）では、温州みかん旧葉での発病葉率 0%（平年 0.1%）と平年並に少、発病度 0（平年 0.05）と平年並に少 （±）、中晩柑類旧葉での発病葉率 12.3%（平年 4.8%）と多、発病度 6.7（平年 2.0）と多 （＋） 4）一般圃場では、発生量はやや少 （－） 考察： 温州みかんでは、現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。中晩柑類では、現状の発生量は一般圃場の結果を重視してやや少と考えられますが、今後の気象条件を考慮して発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	－	平年並	要因 1)1か月予報(3月16日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (±) 2)県予察圃(3月上旬)では、寄生頭数は無防除区7.8頭／葉(平年14.9頭／葉)と平年並の傾向、慣行防除区8.9頭／葉(平年1.1頭／葉)と多 (＋) 3)巡回調査圃場(3月第1～2週)では、寄生頭数0.19頭／葉(平年0.28頭／葉)と平年並の傾向、寄生葉率3.8%(平年3.7%)と平年並 (±) 4)一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
ナシ	黒星病	－	平年並	要因 1)1か月予報(3月16日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (＋) 2)巡回調査圃場では、昨年9月の発病葉率0.3%(平年0.6%)と平年並の傾向 (±) 3)一般圃場では、昨年10月の発生量は平年並 (±) 考察: 昨年秋の調査結果は平年並であり、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	赤星病	－	やや多	要因 1)1か月予報(3月16日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (＋) 2)巡回調査圃場では、昨年6月の発病葉率1.7%(平年0.2%)と多 (＋) 3)一般圃場では昨年5月の発生量はやや多 (＋) 考察: 昨年の状況を考慮して、予想発生量はやや多と考えます。
チャ	カンザワハダニ	－	やや多	要因 1)1か月予報(3月16日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (±) 2)県予察圃(3月中旬)では、産卵確認は2月6日(8年平均3月4日)と早、寄生葉率24.0%(平年7.2%)と多、寄生虫数1.88頭／葉(平年0.38頭／葉)と多 (＋) 3)巡回調査圃場(3月第2週)では、発生圃場率77.8%(平年43.9%)と多、寄生葉率7.3%(平年2.5%)と多、寄生虫数0.35頭／葉(平年0.07頭／葉)と多 (＋) 4)一般圃場では、発生量はやや多 (＋) 考察: 一般圃場の結果を重視して、現状の発生量はやや多と考えられ、予想発生量はやや多と考えます。
	チャノホソガ	やや早	－	要因 1)県予察圃フェロモントラップでは、初飛来は3月4日(平年の初飛来は3月13日) と早 (発生時期－) 2)巡回調査圃場(3月第2週)では、成虫は未確認 (発生時期±) 考察: 県予察圃、巡回調査の結果から、予想発生時期はやや早と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期平年比	発生量平年比	予察根拠
イチゴ	灰色かび病	－	平年並	要因 1)1か月予報(3月16日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (＋) 2)巡回調査圃場(3月第1～2週)では、発病株率0%(平年1.7%)と少、発病果率0%(平年0.7%)と少 (－) 3)一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少) (－) 考察: 現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。
	うどんこ病	－	やや少	要因 1)1か月予報(3月16日発表)によると、 気温は高く、降水量は多い予想 (±) 2)巡回調査圃場(3月第1～2週)では、発病果率0%(平年0.03%)と平年並の傾向 (±) 3)一般圃場では、発生量は少 (－) 考察: 現状の発生量は巡回調査の結果と一般圃場の状況からやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	ハダニ類	－	やや少	要因 1)1か月予報(3月16日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (±) 2)巡回調査圃場(3月第1～2週)では、寄生株率0.4%(平年12.4%)と少、発生程度0.3(平年6.0)と少 (－) 3)一般圃場では、発生量はやや少 (－) 考察: 一般圃場での状況を重視して、予想発生量はやや少と考えます。
キャベツ	菌核病	－	やや少	要因 1)1か月予報(3月16日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (＋) 2)巡回調査圃場(3月第1～2週)では、発病株率1.0%(平年0.8%)と平年並 (±) 3)一般圃場では、発生量は無～少 (概して少) (－) 考察: 現状の発生量は一般圃場での状況を重視して少と考えられますが、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。

4. 予察項目の見方

1)「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比): 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の 5 段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数		-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早				平年並				やや遅			遅	

発生量(平年比): 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の 5 段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

平年値

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

発生量(程度): 発生程度を「小、中、大、甚」の 4 段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きいが平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚

要防除圃場率(平年比): 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の 3 段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除などが必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高

発生消長の一例: 発生予報は向こう 1 か月の予報ですが、その前後を合わせて 40 日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項: 向こう 1 か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±):平年並の要因

(+):発生量増加または発生時期遅延の要因

(−):発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方 1 か月予報(令和 5 年 3 月 16 日 名古屋地方気象台発表)

暖かい空気に覆われるとともに、南から暖かい空気が流れ込みやすいため、向こう 1 か月の気温は高いでしょう。特に、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。

期間の前半を中心に低気圧や前線の影響を受けやすいため、向こう 1 か月の降水量は多く、日照時間は少ないでしょう。

1 週目 3 月 18 日 〜24 日	天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
2 週目 3 月 25 日 〜31 日	天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
3〜4 週目 4 月 1 日 〜14 日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

東海地方週間天気予報

(令和 5 年 3 月 16 日 10 時 38 分 名古屋地方気象台発表)

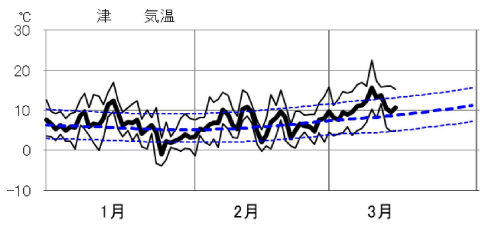
予報期間 3 月 17 日〜3 月 23 日

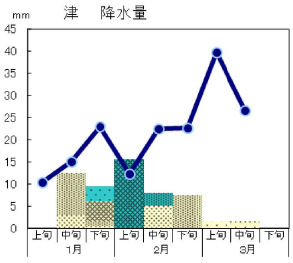
向こう一週間は、低気圧や湿った空気の影響により雲が広がりやすく、期間のはじめと終わりに雨が降るでしょう。期間の中頃は高気圧に覆われて晴れる日がある見込みです。

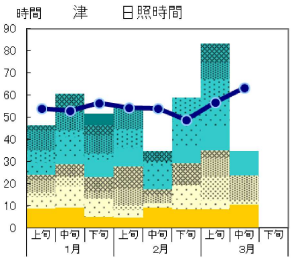
最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より高く、期間のはじめや終わりにかなり高い日もあるでしょう。

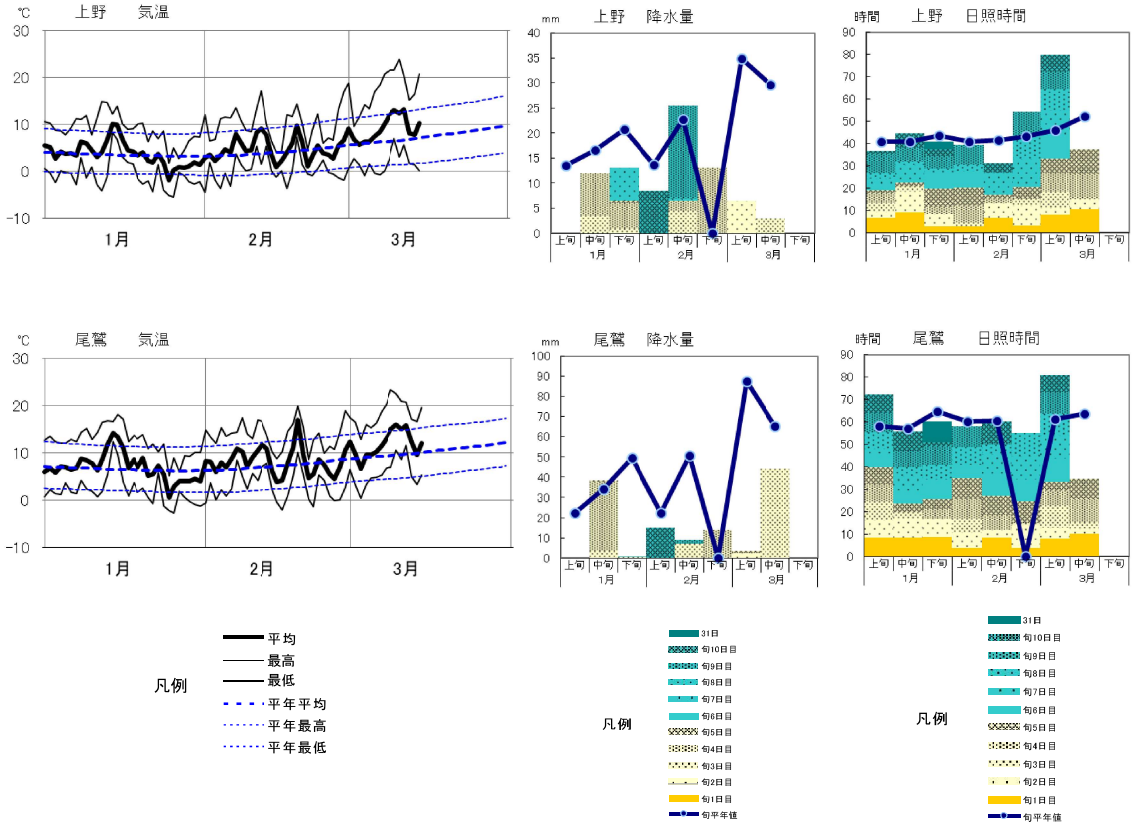
降水量は、平年より多い見込みです。

気象の日別推移(気象庁発表データ http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php から作成) (3 月 15 日まで)









6. おしらせ　（前回と異なる項目には NEW の印があります）

1）記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2）発表日 NEW

本年度の病害虫発生予報は次の日程で発表しています。

第 1 回　4 月 27 日（水）（済み）　　第 2 回 5 月 26 日（木）（済み）
第 3 回　6 月 23 日（木）（済み）　　第 4 回 7 月 28 日（木）（済み）
第 5 回　8 月 25 日（木）（済み）　　第 6 回 10 月 27 日（木）（済み）
第 7 回　3 月 23 日（木）(今回)

3）利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただけると幸いです。

4）本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアドレスからお入りください。

http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf

5）メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm

6）農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

三重県農薬情報システム

https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7）IPM（総合的病害虫・雑草管理）実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産物安全・流通課ホームページ内

http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm

(3)注意報

病害虫発生予察注意報第 1 号

令和 4 年 4 月 21 日
三重県病害虫防除所

1. 対象作物　：　ムギ類

2. 対象病害虫名　：　赤かび病

3. 発生地域　：　県内全域

4. 発生時期　：　5 月上旬以降(感染は、4 月中旬以降)

5. 発生量　：　やや多

6. 注意報発令の根拠
1)本年のコムギの出穂期は平年並からやや早く、伊勢平坦部で 4 月中旬以降開花が始まっています。
2)コムギの開花始めに当たる 4 月中旬は、曇雨天が続き、平均気温は 16.6℃と平年の 14.0℃より高く推移しました。
3)1か月予報(4 月 14 日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう 1 ヶ月の平均気温は高くなる見込み、降水量は平年並か多い見込みです。
4)ムギ類では開花から 10 日前後の間が赤かび病に最も感染しやすく、この間に降雨があって、気温が 20～27℃の時に感染が激しくなります。
5)このような気象状況は、赤かび病発生の好適条件となることから、多発することが予想されるため注意が必要です。

7. 防除上の注意事項
1)防除適期は開花始めから開花盛期です。開花前、あるいは開花後の薬剤散布では防除効果が劣ります。薬剤は三重県農薬情報システム https://www.nouyaku sys.com/noyaku/user/top/mie で検索できます。
2)圃場をよく観察して、播種時期ごとに出穂および開花状況を把握し、薬剤散布を行ってください。
3)開花期以後に降雨が続き、気温が高く推移した場合は、開花期防除の 7～10 日後に追加防除を行ってください。
4)追加防除を行う場合は、系統の異なる薬剤をローテーション散布し、感受性の低下を防止しましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！

病害虫発生予察注意報第２号

令和４年８月２日
三重県病害虫防除所

果樹カメムシ類が、継続して多く誘殺されています。
圃場で飛来を確認したら防除を実施してください

１．対象作物　：　ナシ、カキ、カンキツ等
２．対象病害虫名　：　果樹カメムシ類
３．発生地域　：　県内全域
４．発生時期　：　６月中旬以降
５．発生量　：　多
６．注意報発令の根拠
（１）予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数（６月第５半旬～７月第４半旬）は、松阪市嬉野川北町で 2,726 頭（平年 729.3 頭）、南牟婁郡御浜町で 67,926 頭(平年 9564.3 頭)と多い状況です(図１)。
（２）フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシ誘殺数は、松阪市嬉野川北町(６月４週～７月３週)で 1,368.7 頭(平年 332.8 頭)、南牟婁郡御浜町(６月下旬～７月中旬)で 3,413.5 頭(平年 643.2 頭)と多い状況です（図２)。

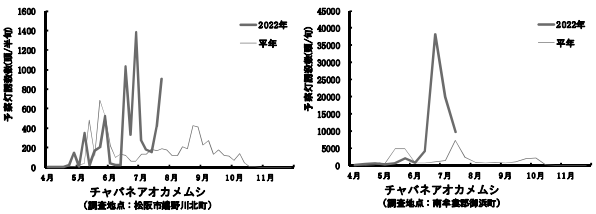


図１．予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数
左図：松阪市　　右図：御浜町

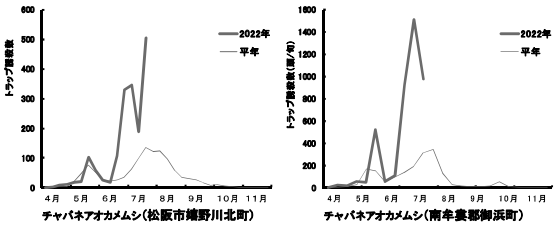


図２．フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺数
左図：松阪市　　右図：御浜町

７．防除の注意事項
（１）飛来数は、圃場による差が大きい傾向があります。気象の変動をきっかけに飛来する可能性も考えられますので、今後の発生動向に注意してください。
（２）夜間の照明等への飛来を参考にし、圃場で飛来を確認したら防除を実施してください。
（３）過去に飛来が多かった圃場では特に注意してください。
（４）近隣圃場と散布日を合わせるなど、広域で一斉防除すると効果が高くなります。
（５）合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布することで、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。
薬剤は三重県農薬情報システム
(https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie) で検索することができます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！

(4)特殊報

病害虫発生予察特殊報第 1 号

令和 4 年 4 月 27 日
三重県病害虫防除所

本県のオリーブにおいて、オリーブ立枯病が確認されました。

1 病害虫名　：オリーブ立枯病
病原体名　：*Ralstonia solanacearum*

2 発生確認作物 ：オリーブ

3 発生確認地域 ：三重県

4 発生確認の経過
令和4年1月および2月に、三重県内の複数のオリーブほ場において、葉が退色した後に萎凋・枯死する症状の報告がありました(写真1、2)。
枯死した枝および幹からイムノクロマトによる簡易診断を行ったところ *Ralstonia solanacearum* 陽性反応が確認されました。また、三重県農業研究所において、病徴部から分離した菌株を遺伝子解析した結果、*Ralstonia solanacearum*(Phylotype Ⅰ)と同定されたため、オリーブ立枯病であることが判明しました。
国内での本病の発生は、平成 30 年に香川県で初めて確認され、その後、鹿児島県、宮崎県、広島県、静岡県で報告されています。

5 本病の特徴および被害状況
(1) 本病菌である *Ralstonia solanacearum* は、日本においてもジャガイモ、トマトなどのナス科植物をはじめ、ダイコン、イチゴなど多くの作物に青枯病を引き起こす事が知られている多犯性の土壌伝染性細菌です。
(2) オリーブにおける感染経路は明らかにされていませんが、一般的には土壌中に生息する本細菌が植物根部の傷より侵入し、維管束部で増殖することで水分の移動を阻害し、植物体を萎凋させると考えられています。

写真1. 枯死した樹

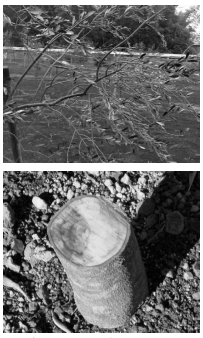


写真2. 葉の退色（上）、幹の褐変（下）

6 防除対策及び注意事項

(1) オリーブにおける本病の登録農薬はなく、加えて本病原菌を土壌から完全に除去することは困難であるため、耕種的防除が基本となります。

(2) 発病した樹は伝染源となるので、速やかに抜根・除去し、残渣はほ場外に持ち出して適切に処分してください。

(3) ほ場への出入りする際には、本病または青枯病の感染ほ場に由来する植物残渣や土を、衣服や靴から十分に落とし、靴や手袋等は消毒（70%エタノールや次亜塩素酸ナトリウム水溶液）を行ってください。

(4) 管理作業によって、病原菌が樹液とともにハサミやノコギリなどの道具に付着し、健全株に二次伝染する危険があります。そのため、使用した道具の消毒を徹底してください。また、感染が疑われる樹は剪定等の作業を最後に行ってください。

(5) 本病害の既発生地より苗の導入をする場合は、十分に注意するとともに、過去にナス科作物等での青枯病や本菌を原因とする病害が発生したほ場での栽培は避けてください。

7 問い合わせ先

三重県病害虫防除所　　電話番号:0598－42－6365

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫発生予察特殊報第2号

令和4年 12 月 23 日
三重県病害虫防除所

本県のサツマイモにおいて、サツマイモ基腐病が確認されました。

1 病害虫名　サツマイモ基腐病（もとぐされびょう）
病原体名　*Diaporthe destruens*（Harter）Hirooka,Minosh.＆Rossman

2 発生確認作物　サツマイモ

3 発生確認地域　三重県中勢地域

4 発生確認の経過

令和4年 10 月、三重県中勢地域のサツマイモほ場において、葉が赤色になり、地際部が黒変し枯死する症状の報告がありました（写真1）。

枯死した茎には、黒い粒状の柄子殻（へいしかく）が形成されており（写真2）、塊根（かいこん）には、「なり首」（茎のつけ根側）からの腐敗が確認されました（写真3、4）。

そのため、農林水産省名古屋植物防疫所に同定依頼をしたところ、令和4年 12 月に本県未発生のサツマイモ基腐病と判明しました。

本病は、平成 30 年に沖縄県で初めて発生が確認され、その後、計 29 都道府県で報告されており、隣県では岐阜県、和歌山県で確認されています。

5 本病の特徴および被害状況

(1) 本病原菌である *Diaporthe destruens* に感染し発病すると、葉が赤変・黄変し生育不良となり、株の地際部が暗褐色から黒色に変色し進行すると茎葉が枯れ上がります。さらに進行すると塊根のなり首側から腐敗が広がります。また、収穫時には健全に見えた塊根が貯蔵中や輸送中に腐敗することもあります。

(2) 本菌の第一次伝染源は、感染した種苗や土壌中の罹病残さとされています。また、生育適温は 28～30℃であり、降雨の多い時期に風雨やほ場の停滞水によって、畝や畝間に沿って発病株から周囲の株に広がります。葉が繁茂する時期は、発生に気づきにくいため注意が必要です。

(3) 本病は、罹病したつるや塊根で伝搬します。また、植物残さ上で越冬し、翌年の伝染源になります。

写真1. 黒変し枯れ上がった茎葉

写真2. 茎に形成された柄子殻

写真3. なり首側からの腐敗（外観）

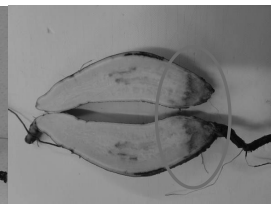


写真4. なり首側からの腐敗（断面）

6 防除対策及び注意事項

(1) ほ場に本病原菌を「持ち込まない」ことが重要です。未発生ほ場で生産された健全種苗を利用してください。

(2) 苗消毒されていない場合は、植え付け前に本病に登録のある薬剤で苗消毒してください。

(3) 栽培期間中に発病を確認した場合は、発病株の除去と薬剤散布を実施してください。また、二次伝染防止のため、発病株を除去した跡に補植することは控えてください。収穫後は、ほ場から残さを除去してください。

(4) 発病が見られたほ場で使用した資材や機械、長靴を別ほ場で使用する場合、十分に消毒や洗浄を行ってください。

(5) 本病害の発生が疑われる場合は、三重県病害虫防除所へ情報提供をお願いします。

(6) 対策等の詳細は、農業・食品産業技術総合研究機構からマニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」が公表されていますので、以下のホームページ（URL）を参考にしてください。
（https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/151859.html）

(7) 防除薬剤は三重県農薬情報システムで作物等の名称「かんしょ」、病害虫雑草名「基腐病」で検索することができます。
（https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie）

(8) 家庭菜園向けの防除対策用チラシは以下のホームページ（URL）をご覧ください。
（https://www.maff.go.jp/kyusyu/syohianzen/nouchiku/pdf/2022.6.3_motogusare_kateisaien.pdf）

7 問い合わせ先

三重県病害虫防除所　　電話番号:0598－42－6365

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

(5)技術情報

病害虫防除技術情報第 1 号

令和 4 年 4 月 4 日
三重県病害虫防除所

本年はムギ類の開花が平年並の予想です。ムギ赤かび病の防除は、適期を逃さず、開花始めから開花盛期に行いましょう！

1. 対象作物: ムギ類

2. 対象病害虫名: ムギ類赤かび病

3. 生育と気象の状況

(1) 本年のムギ類の生育は昨年秋から気温が平年並に推移し、3 月中旬に高い日があったことから、**出穂期は平年並からやや早く、開花始めは伊勢平坦部で 4 月中～下旬頃となる見込みです。**

(2) 農業研究所(松阪市)11 月 12 日播種の「あやひかり」では 4 月上～中旬に出穂の予想です。開花始めは通常出穂の 7～10 日後ですが気温の推移によって前後します。圃場の観察を行い防除の準備をしてください。

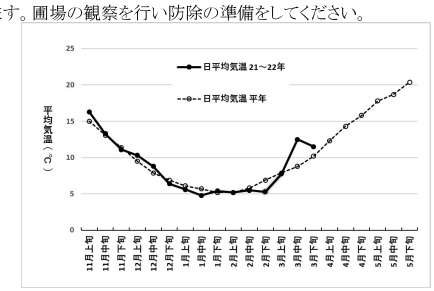


図 アメダスポイント津における旬平均気温の推移(2021.11～)

(3) ムギ類では開花から 10 日前後の間が赤かび病に最も感染しやすく、この間に降雨があって気温が 20～27℃の時に感染が激しくなります。1 か月予報(3 月 31 日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう 1 か月の気温は、平年より高くなる予報です。降水量、日照時間は、ともに平年並の見込みです。出穂および開花の時期を把握するとともに、今後の天候に注意してください。

赤かび病は、開花期に降雨があり、気温が高いと感染し発生しやすくなります。

4. 防除対策

(1) **防除適期は開花始めから開花盛期です。開花前、あるいは開花後の薬剤散布では防除効果が劣ります。**薬剤は三重県農薬情報システム(https://www.nouyaku sys.com/noyaku/user/top/mie)で検索することができます。

(2) 圃場をよく観察して、播種時期ごとに出穂および開花状況を把握し、薬剤散布を行ってください。

(3) 開花期以後に降雨が続き、気温が高く推移した場合は、開花期防除の 7～10 日後に追加防除を行いましょう。

(4) 散布薬剤は、系統の異なる薬剤をローテーション散布し、感受性の低下を防止しましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第 2 号

令和 4 年 4 月 11 日

三重県病害虫防除所

越冬期間の気温は、平年並に推移したため、スクミリンゴガイの越冬生存率は平年並と予想されます。移植後の気温に注意して適期に対策を行ってください。

1. 対象作物: 水稲

2. 対象病害虫名: スクミリンゴガイ

3. 発生状況

(1) 近年、伊賀地域を除く県内全域でスクミリンゴガイの発生が増加しています。その発生区域は海岸近くから内陸に拡がっています。

(2) 昨年 6 月のスクミリンゴガイの被害発生圃場率は 8.5%(平年 4.9%)と高い状況でした。

(3) 津のアメダスデータにおける 2021 年 12 月～2022 年 2 月の平均気温は 6.4℃(平年 6.6℃)と平年並で、圃場内の越冬生存率は平年並と考えられます。

(4) 1 か月予報(4 月 7 日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう 1 か月の平均気温は平年より高くなる予報です。

4. 防除対策

1)薬剤による防除

(1) 4 月移植では、スクミリンゴガイの活動を確認次第散布しましょう。目安は移植から 3 週間までで、この時期の水温が 17℃を超えると被害が発生する恐れがあります。スクミリンゴガイが活動していることを確認してから使用基準に従い実施して下さい。

(2) 5 月移植では、水温が概ね 17℃以上となり移植直後から被害が発生するため移植時の散布で効果が高くなります。

(3) 5 月後半以降の移植では、水温が 20℃以上であり、湛水すると貝が水中に現れるため植え代前の石灰窒素散布が有効です。(ただし、基肥量の調整が必要です)

(4) 薬剤は三重県農薬情報システムhttps://www.nouyaku sys.com/noyaku/user/top/mieで 検索することができます。

(5) 薬剤は湛水状態(水深 3～5cm)で処理し、7 日間は落水やかけ流しをしないでください。用水路など水田以外の場所には散布できません。

(6) 殺貝剤と食害防止剤を併用する場合は、殺貝剤を散布後 7 日以降に食害防止剤を散布しましょう。殺貝剤を散布する前に、食害防止剤を散布することは控えてください。

2) 耕種的防除

(1) スクミリンゴガイは水深が浅いと活動が制限されるため、水深 4cm 以下の浅水で管理すると被害が少なくなります。薬剤散布後 7 日間の止水期間終了後に開始し、被害を受けにくい 5～6 葉期になるまで行いましょう。

(2) 入水口、出水口に約 9mm 以下の目合いの網を張り、水路からの侵入を防ぎましょう。

(3) 例年発生が見られる水田で使用した農業機械は、作業後に十分洗浄し、未発生水田に貝を持ち込まないように注意しましょう。

スクミリンゴガイ防除対策マニュアルが、以下の URL で公開されていますので参考にしてください。

https://nouyaku-sys.com/noyaku/user/haishinfile/list/mie

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第３号

令和４年５月 13 日
三重県病害虫防除所

果樹カメムシ類の誘殺数が増えています
圃場で飛来を確認したら防除を実施してください

１．対象作物：ナシ、ウメ、カンキツ、カキ等
２．対象病害虫名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
３．発生状況
（１）予察灯（松阪市嬉野川北町）における誘殺数（４月第５半旬～５月第２半旬）は、チャバネアオカメムシで 519 頭（平年 57.4 頭）、ツヤアオカメムシで 27 頭（平年 14.9 頭）と多い状況です。
（２）予察灯（南牟婁郡御浜町）における誘殺数（４月中下旬）は、チャバネアオカメムシで 934 頭（平年 112.8 頭）、ツヤアオカメムシで 6,476 頭（平年 566.2 頭）と多い状況です（図１）。
（３）一般圃場では、ナシ園、カンキツ園などで圃場への飛来が確認されています。

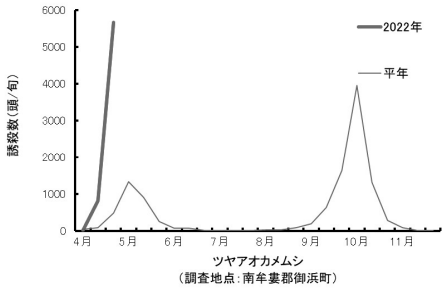


図１．予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺数（御浜町）

４．防除の注意事項
（１）飛来数は、圃場による差が大きい傾向があります。気温の上昇など気象の変動をきっかけに飛来する可能性も考えられますので、今後の発生動向に注意してください。
（２）夜間の照明等への飛来を参考にし、圃場で飛来を確認したら防除を実施してください。
（３）過去に飛来が多かった圃場では特に注意してください。
（４）近隣圃場と散布日を合わせるなど、広域で一斉防除すると効果が高くなります。
（５）合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布することで、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。薬剤は三重県農薬情報システム（https://www.nouyaku sys.com/noyaku/user/top/mie）で検索することができます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！

病害虫防除技術情報第４号

令和４年５月 13 日
三重県病害虫防除所

クワシロカイガラムシの第一世代孵化時期となっています。

1 対象作物：チャ
2 対象病害虫名：クワシロカイガラムシ
3 孵化最盛期：やや早
4 発生状況：やや少～少
1) 本年４月の巡回調査圃場では、雌成虫寄生株率 9.8%（平年 15.8%）とやや少～少の状況です（図）。
2) 有効積算温度による予測（計算日５月 11 日）では、孵化最盛期はやや早と予想されます（表）。

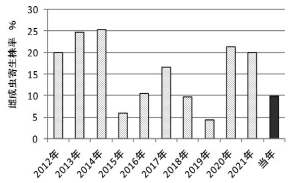


図 巡回調査圃場におけるクワシロカイガラムシ雌成虫寄生株率（4月）

表 有効積算温度による第一世代幼虫の孵化最盛期予測日と防除適期（計算日5月11日）

地点名		標高 m	予測日	防除適期
亀山市	椿世町（茶業花植木研究室）	81	5月10日	5月12日～14日
松阪市	飯南町粥見	117	5月13日	5月15日～17日
亀山市実測値（10年平均）			5月16日	

*武田（2002）の発育零点、有効積算温度を用い、農業機構メッシュ農業気象データにより、予測日を算出しました。

5 防除対策
1) 防除適期は孵化幼虫歩行～定着直後です。定着後、白色糸状のろう物質に覆われると、薬剤の効果が低下します。
2) 防除適期は孵化最盛日の 2～3 日後ですが、薬剤の特性によっては防除適期が異なる場合があるため注意してください。
3) 枝幹に発生するため、葉層があると薬液がかかりにくいです。専用ノズルや鉄砲ノズルで枝幹に充分かかるよう丁寧に散布してください。
4) 防除の実施にあたっては、周辺の一番茶未摘採園へのドリフトに十分注意して行ってください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第５号

令和４年６月 23 日
三重県病害虫防除所

果樹カメムシ類の誘殺数が急増しています
圃場で飛来を確認したら防除を実施してください

１．対象作物：ナシ、カキ、ブドウ、カンキツ等

２．対象病害虫名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
３．発生状況
（１）松阪市嬉野川北町に設置した予察灯におけるカメムシの誘殺状況
誘殺数は、直近５日間（６月第４半旬）では、チャバネアオカメムシで 1,032 頭（過去 10 年平均 120.6 頭）、（図１）、ツヤアオカメムシで 650 頭（過去 10 年平均 73.2 頭）、（図２）と、いずれも過去 10 年間で最も多い状況です。

誘殺数の推移

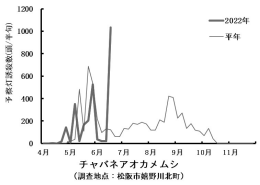


図１　チャバネアオカメムシ

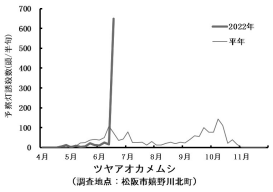


図２　ツヤアオカメムシ

（２）御浜町志原に設置した予察灯におけるカメムシの誘殺状況
誘殺数は、直近 10 日間（６月中旬）では、チャバネアオカメムシで 4,193 頭（過去 10 年平均 630.3 頭）、（図３）、ツヤアオカメムシで 91 頭（過去 10 年平均 75.4 頭）、（図４）と、前者は過去 10 年間で最も多

い状況です。

誘殺数の推移

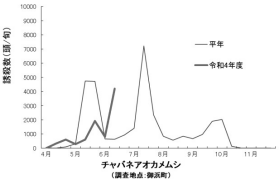


図３　チャバネアオカメムシ

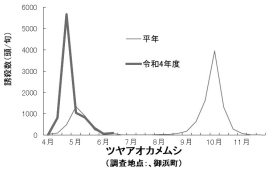


図４　ツヤアオカメムシ

４．防除の注意事項

（１）圃場を見回り飛来を確認したら防除を実施してください。

（２）特に過去に飛来が多かった圃場では注意してください。

（３）近隣圃場と散布日を合わせるなど、広域で一斉防除すると効果が高くなります。

（４）合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布することで、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。薬剤は三重県農薬情報システム（https://www.nouyaku_sys.com/noyaku/user/top/mie）で検索することができます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！

病害虫防除技術情報第６号

令和４年７月１日
三重県病害虫防除所

トビイロウンカ、セジロウンカの初誘殺を確認しました。
水田での定着状況や関係機関からの情報に注意してください。

1. 対象作物　　水稲（早期、普通期）

2. 対象病害虫名　　ウンカ類（トビイロウンカ、セジロウンカ）

3. 発生状況

(1) 松阪市嬉野川北町の予察灯(100w水銀灯)では、6 月 22 日にセジロウンカ(1 頭)、同 24 日にトビイロウンカ(3 頭)の初誘殺を確認しました。セジロウンカの初誘殺は平年 7 月 2 日であることから本年のウンカ類の飛来時期は早い状況です。

(2) 日本植物防疫協会提供のウンカの飛来解析によると、三重県には 6 月 6 日、15 日、22 日、23 日、25 日に飛来した可能性があります(6 月 30 日現在)。

(3) 近県では静岡県、奈良県でトビイロウンカの誘殺が確認されており、三重県でも広い範囲で飛来したと推察されます。

4. 防除対策

(1) 本年は飛来時期が早いため普通期水稲だけでなく早期水稲でも被害が発生する可能性があります。今後、圃場での定着状況や関係機関からの情報に注意しましょう。
（三重県病害虫防除所https://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm）

(2) 以下のとおり作期ごとに防除を行いましょう。

①早期水稲
◎穂ぞろい期にカメムシ類防除を兼ねた農薬散布を行いましょう。

②普通期水稲
◎移植時にウンカ類を対象とした箱施用剤などで防除を行っていない場合は、7 月後半に農薬散布を行いましょう。
◎出穂期以降にはカメムシ類防除を兼ねた農薬散布を行いましょう。

(3) 本種は株元に生息するので、液剤・粉剤を散布する場合は株元に十分かかるよう散布してください。

(4) 感受性低下が報告されている下表の剤は使用を避けるようにしてください。

表　ウンカ類において感受性低下が報告されている農薬成分

虫種	農薬成分名
トビイロウンカ	イミダクロプリド、チアメトキサム、クロチアニジン、ブプロフェジン
セジロウンカ	フィプロニル

図　トビイロウンカ成虫（左：長翅型、右：短翅型）

(5) 薬剤は三重県農薬情報システム https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mieで検索することができます。

農薬(薬剤)はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第７号

令和４年７月１日
三重県病害虫防除所

斑点米カメムシ類の増加が懸念されます。
出穂期の防除に努めましょう。

1. 対象作物：　水稲（早期、普通期）

2. 対象病害虫名：　斑点米カメムシ類（クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、シラホシカメムシ類、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ）

3. 発生状況

(1) 6月上中旬以降、畦畔のイネ科雑草で斑点米カメムシ類の発生が確認されています。

(2)過去17年の斑点米カメムシ類の発生圃場率は増加傾向にあります（図）。

(3) 1か月予報（名古屋地方気象台6月30日発表）によると、気温は高く晴れの日が多いことから、斑点米カメムシ類の活動に好適です。

4. 防除対策

(1)畦畔のイネ科雑草は斑点米カメムシ類の繁殖源になりますので、畦畔の草刈りを実施しましょう。

(2)ただし、出穂直前および出穂後の草刈りは、斑点米カメムシ類を水田内へ追い込み、加害を助長するので避けましょう。やむを得ず出穂前後に草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除に合わせて実施しましょう。

(3)周囲よりも出穂の早い水田では、被害が集中するので防除を徹底しましょう。

(4)薬剤防除は穂揃い期に実施しましょう。斑点米カメムシ類は移動性が高いため、広域での一斉防除が効果的です。

5．その他

(1)本年は平年より早くトビイロウンカの誘殺が確認されています。なるべく斑点米カメムシ類とウンカ類の両方に登録のある薬剤を用い、同時防除を行ってください。

薬剤は三重県農薬情報システム https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mieで検索することができます。

今後の発生の動向に注意して下さい。

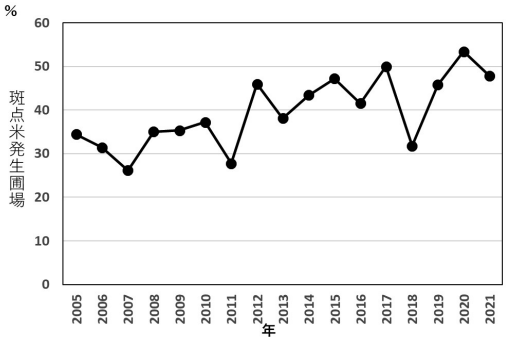


図　過去17年における防除所8月調査時の斑点米カメムシ類発生圃場率

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第９号

令和４年７月15日

三重県病害虫防除所

水稲いもち病の発生が確認されています。
葉いもちの発生状況を確認し、適期防除を徹底してください。

1. 対象作物　　：　水稲

2. 対象病害虫名　：　いもち病（葉いもち・穂いもち）

3. 発生状況

(1) いもち病発生予測支援システム（ブラスタム）によると、6 月中下旬に感染好適日が断続的に出現しています。その後 7 月上旬には、準感染好適日が出現してきています。

(2) 7 月の早期水稲を主体とした巡回調査では、発生圃場率は 23.8%、（平年 8.3%）、発病株率は 4.7%（平年 1.8%）となり、平年に比べ高くなっています。

(3) 1 か月予報（7 月 14 日・名古屋地方気象台発表）によると、期間前半の気温は平年並、降水量は期間を通してやや多いとされています。

(4)松阪市における 4 月 25 日移植のコシヒカリの出穂期は、7 月 14 日となりました。葉いもちの発生が多い場合は、穂いもちの発生リスクが高くなります。

(5) 特に中山間部の水田や、業務用米等の多肥栽培を行う品種（特にいもち病に対し罹病性の高い品種）での発生が多くなると予想されます。

4. 防除対策

(1) 葉いもちが発生している圃場では発見次第、防除を徹底しましょう。穂いもち防除は予防散布が原則です。出穂前および穂揃期に薬剤散布しましょう。

(2) 薬剤散布をする時は、天気予報を参考に、カメムシのとの同時防除を考慮し、周囲に飛散しないよう防除を行いましょう。

(3) 追加防除を行う場合は、農薬使用回数に注意しましょう。

(4) 薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。
https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie

(5) 飼料用水稲や業務用米などの普通期水稲は、これから最も葉色が濃くなり、発病しやすい時期となるので注意しましょう。

(6) QoI 剤（ストロビルリン系殺菌剤）の使用は最大年 1 回とし、耐性菌の発生を未然に防ぎましょう。

(7) QoI 剤を使用したにもかかわらず、ずり込み症状などの病徴があれば、病害虫防除所、農業研究所、農業改良普及センター等へ速やかにご連絡ください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！

病害虫防除技術情報第８号

令和４年７月１日

三重県病害虫防除所

クワシロカイガラムシ第2世代幼虫の発生時期は早いです。
適期防除に努めましょう。

1. 対象作物：　チャ

2. 対象病害虫名：　クワシロカイガラムシ第2世代幼虫

3. 発生状況

有効積算温度による第2世代幼虫孵化最盛予測日（6月30日予測）は、四日市市では7月15日（平年7月20日）、亀山市では7月11日（平年7月20日）、松阪市飯南町粥見では7月14日（平年7月23日）と予想されます（表）。

4. 防除対策

⑴ 孵化最盛日から2日～4日後頃が防除適期です。枝幹につく歩行型幼虫を確認して防除してください。

⑵ この時期は土着天敵の活動が盛んになる時期です。天敵に対し影響の小さい薬剤を選択してください。

表　クワシロカイガラムシ第2世代幼虫孵化最盛予測日と防除適期（6月30日予測）

	孵化最盛予測日	平年比（日）	防除適期
四日市	7月15日	−5	7月17～19日
亀　山	7月11日	−9	7月13～15日
粥　見	7月14日	−9	7月16～18日

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第10号

令和４年８月３０日
三重県病害虫防除所

イネカメムシの発生が過去10年で最も多くなっています
出穂期以降の防除に努めましょう。

１．対象作物：　水稲（普通期）

２．対象病害虫名：　斑点米カメムシ類（主にイネカメムシ）

３．発生状況
(１)予察灯（松阪市嬉野川北町）におけるイネカメムシの誘殺数（７月第５半旬～８月第５半旬）は、222頭（平年20.6頭）と過去10年間で最も多い状況です（図１）。
(２)早期水稲の収穫が進んでおり、イネカメムシの加害が普通期水稲へ集中することが懸念されます。

４．防除対策
(１)イネカメムシを含む斑点米カメムシ類は移動性が高く、水田に侵入する機会が多いことから、効果的に被害を防ぐためには、出穂期以降に複数回防除が必要です。
(２)イネカメムシによる不稔や斑点米の被害を抑制するには出穂直後と出穂2週間後の2回防除が有効です。

５．その他
(１) 斑点米カメムシ類の防除を行う場合には、隣県でトビイロウンカの注意報が発出され、三重県においても誘殺が確認されていることから、ウンカ類にも登録のある薬剤を用い、同時防除を行ってください。
薬剤は三重県農薬情報システム
https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mieで検索することができます。
今後の発生の動向に注意して下さい。

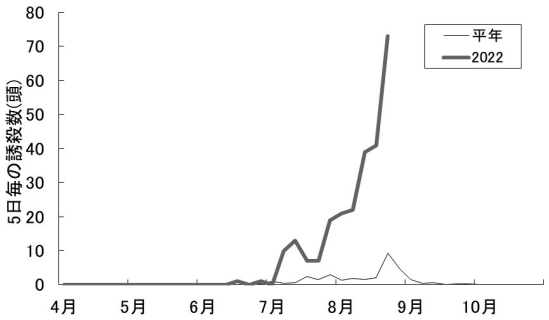


図１．水田の予察灯におけるイネカメムシの誘殺数
（松阪市嬉野川北町　60W白熱灯）

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第11号

令和４年９月２０日
三重県病害虫防除所

ウンカ類の被害が近県で報告されています。
斑点米カメムシの発生は多い状況です。
圃場の状況を確認し、同時防除に努めましょう。

１．対象作物：　水稲（普通期）

２．対象病害虫名：　ウンカ類、斑点米カメムシ類

３．発生状況
(１)大阪府で9月13日にトビイロウンカの坪枯れが確認されました。愛知県、岐阜県では本田調査で、トビイロウンカの長翅型成虫、短翅型成虫が確認されています。
(２)三重県では、本田調査では確認されていないものの、予察灯（松阪市、伊賀市）で６月下旬から断続的に誘殺されています（図１）。
(３) １か月予報（名古屋地方気象台９月１５日発表）によると、気温は高いと予想され、特に期間の前半はかなり高くなると予想されています。そのため、トビイロウンカの活動に好適な状況は続くと予想されます。
(４)また、斑点米カメムシ発生圃場率が高い状態です。早期水稲の収穫が進んでおり、普通期水稲へカメムシの加害が集中することが懸念されます。

４．防除対策
(１)株元でトビイロウンカが1株に1頭以上確認される場合や、坪枯れもしくは坪状の黄化症状が認められる場合には、防除対策が必要です。
(２)薬剤による防除を行う場合は、水稲の収穫期にあたるため周辺の圃場への飛散がないように、また、収穫前日数に留意するなど安全使用基準を遵守してください。
(３)トビイロウンカは株元に生息するので、液剤・粉剤を散布する場合は株元に十分かかるよう散布してください。
(４) 斑点米カメムシ類は移動性が高く、水田に侵入する機会が多いことから、効果的に被害を防ぐためには、出穂期以降に複数回防除が必要です。
(５)収穫時期が近づいている場合は、適期の範囲内で早めに収穫し、刈り遅れによる被害拡大を防ぎましょう。

５．その他
(１)防除を行う場合には、ウンカ類、斑点米カメムシ類に登録のある薬剤を用いてください。
薬剤は三重県農薬情報システム
https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mieで検索することができます。

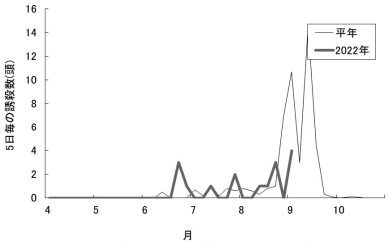


図１　畑地の予察灯におけるトビイロウンカの誘殺数
（松阪市嬉野川北町　100W水銀灯）

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第１２号

令和４年９月２０日
三重県病害虫防除所

大豆の吸実性カメムシ類の発生が過去10年で3番目に多くなっています。
莢伸長期と子実肥大期の2回防除に努めましょう。

１．対象作物：　大豆

２．対象病害虫名：吸実性カメムシ類（ミナミアオカメムシ、イチモンジカメムシ、ホソヘリカメムシ）

３．発生状況

(１)予察灯（松阪市嬉野川北町）におけるミナミアオカメムシの誘殺数（８月第３半旬～９月第１半旬）は、1,685頭（平年867頭）と過去10年間で3番目に多い状況です（図１）。

(２)予察灯（松阪市嬉野川北町）におけるホソヘリカメムシの誘殺数（８月第３半旬～９月第１半旬）は、63頭（平年18頭）と過去10年間で最も多い状況です（図２）。

(３)1か月予報（名古屋地方気象台９月１５日発表）によると、気温は高いと予想され、特に期間の前半はかなり高くなると予想されています。そのため、吸実性カメムシ類の活動に好適な状況は続くと予想されます。

４．防除対策

(１)本年は、ほ場によりダイズの生育にかなりばらつきがありますが、吸実性カメムシ類については、子実被害を抑制するためには莢伸長期と子実肥大期の2回防除に努めましょう。

(２)吸実性カメムシ類は移動性が高いため、無人ヘリなどによる広域一斉防除がより効果的です。

５．その他

(１) 薬剤は三重県農薬情報システム
https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mieで検索することができます。

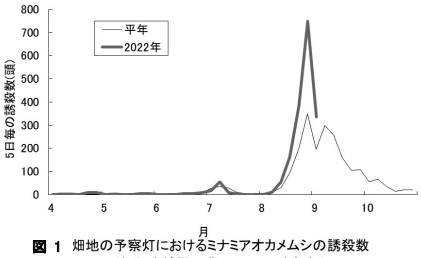


図１ 畑地の予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数
（松阪市嬉野川北町　100W水銀灯）

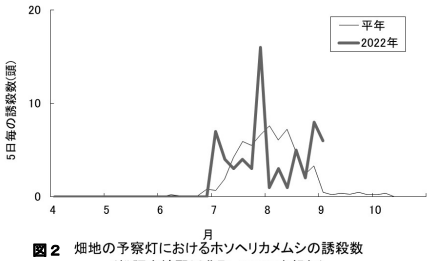


図２ 畑地の予察灯におけるホソヘリカメムシの誘殺数
（松阪市嬉野川北町　100W水銀灯）

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第13号

令和４年９月２６日
三重県病害虫防除所

ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺数が急増しました

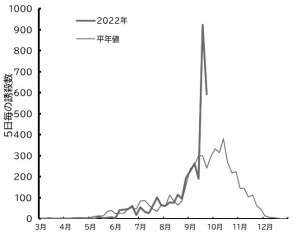
1．対象作物：野菜類（アブラナ科野菜、イチゴなど）、花き類（キクなど）、ダイズ

2．対象病害虫名：　ハスモンヨトウ

3．発生状況と今後の予測

県予察圃（松阪市嬉野川北町）におけるフェロモントラップ誘殺数は、9月第4半旬で922頭（平年299.0頭）、第5半旬で592頭（平年241.7頭）と急増しました（図）。

1か月予報（9月22日・名古屋地方気象台発表）によると、気温は高い予想です。このため、ハスモンヨトウの発生に好適条件であると考えられます。



（図）フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長
（調査場所：松阪市嬉野川北町）

（写真）ハスモンヨトウ幼虫

4．防除対策

(1)　こまめにほ場を見回り、発生初期の防除に努めてください。

(2)　老齢になるにしたがって薬剤の効果が劣ります。若齢幼虫のうちに防除してください。

(3)　防除薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。
（https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie）

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第14号

令和４年１２月６日
三重県病害虫防除所

12～2月は、耕起によるスクミリンゴガイ対策の好適期です。
越冬量を減らし来春以降の被害軽減につなげましょう。

１．対象作物　　水稲

２．対象病害虫名　　スクミリンゴガイ

３．発生状況
(1)病害虫防除所の６月の巡回調査圃場ではスクミリンゴガイの発生圃場率は9.6%（過去8か年平均5.4%）と多い状況が続いています。
(2)３か月予報（１１月２２日名古屋地方気象台発表）では、１２～２月の気温は平年並か低く、晴れの日が多いとされています。晴れの日が多いことから耕起の機会が増えると考えられます。
(3)この時期は気温が低いことから、この冬期間のスクミリンゴガイの死亡率は高くなると予想されます。

４．防除対策
(1) 耕起防除は２回以上行いましょう。
(2) 耕起１回目は、①厳冬期前（稲刈り後～１２月）の田面が硬いときに、②ピッチを小さくし低速で土壌を細かく砕くようにすることがポイントです。深さ６㎝程度の浅耕で効果が高いです。
(3) 耕起２回目は、①厳冬期（１～２月）に、②慣行の設定で走行し、作土深の確保に努めましょう。
(4)レーザーレベラーなどを用いて田面を均平にすると、移植後の浅水管理の効果が高くなります。
(5) 春以降の対策とセットで体系的に防除を行うことで一層効果を高めることができます。
(6) スクミリンゴガイ防除対策マニュアルが、以下の URL の技術資料ページで公開されていますので参考にしてください。
https://nouyaku-sys.com/noyaku/user/haishinfile/list/mie

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第 15 号

令和 5 年 3 月 13 日
三重県病害虫防除所

茶園においてカンザワハダニが多い状況です。
圃場を確認し防除を行ってください。

１　対象作物：　チャ
２　対象病害虫名：　カンザワハダニ
３　発生状況：　やや多
(1) 1か月予報（３月９日発表）によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想です。
(2)県予察圃（亀山市）では、2023年2月中旬以降、寄生葉率が平年を上回っている状況です（図）。また、平年より早期に発生している状況です。
(3)巡回調査圃場（県内18圃場、3月第2週）では、発生圃場率 77.8%（平年 43.9%）、寄生葉率 7.3%（平年 2.5%）および寄生虫数 0.35 頭／葉（平年 0.07 頭／葉）で、いずれも多い状況です。

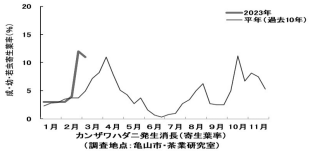


図　県予察圃（亀山市）におけるカンザワハダニの寄生葉率

４ 防除対策
(1)低密度の状況で防除しましょう。
(2)圃場を確認して、多発状況であれば適宜防除しましょう。
(3)葉裏に生息しているため、薬剤は丁寧に散布してください。
(4)世代交代が早く、薬剤抵抗性を獲得しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
(5)カブリダニ類やハダニアザミウマなどの土着天敵が活動している圃場では、これらに影響の小さい薬剤で防除して下さい。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第 16 号

令和 5 年 3 月 23 日
三重県病害虫防除所

本年はムギ類の開花が早くなる予想です。ムギ類赤かび病の防除は、適期を逃さず、開花始めから開花盛期に行いましょう！

1. 対象作物：ムギ類

2. 対象病害虫名：ムギ類赤かび病

3. 生育と気象の状況
(1) 本年のムギ類の生育は昨年秋から気温が寒暖を繰り返し、3 月上旬以降に高い日があったことから、**出穂期はやや早く、開花始めは伊勢平坦部で 4 月上旬頃からとなる見込みです。**
(2) 農業研究所（松阪市）11 月 11 日播種の「あやひかり」では 4 月上旬頃に出穂の予想です。開花始めは通常出穂の 7～10 日後ですが気温の推移によって前後します。圃場の観察を行い防除の準備をしてください。

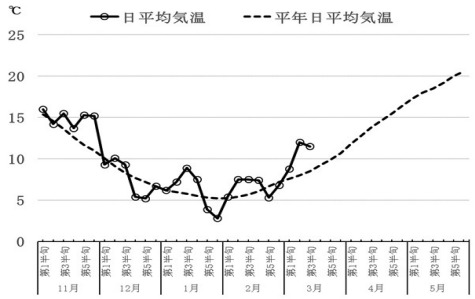


図　アメダスポイント津における半旬平均気温の推移（2022.11～）

(3)ムギ類では開花から 10 日前後の間が赤かび病に最も感染しやすく、この間に降雨があって気温が 20～27℃の時に感染が激しくなります。
(4) 1 か月予報（3 月 16 日・名古屋地方気象台発表）によると、向こう 1 か月の気温は、平年より高くなる予報です。降水量は多く、日照時間は少ない見込みです。出穂および開花の時期を把握するとともに、今後の天候に注意してください。
赤かび病は、開花期に降雨があり、気温が高いと感染し発生しやすくなります。

4. 防除対策
(1) 防除適期は開花始めから開花盛期です。（開花前、あるいは開花後のみの薬剤散布では防除効果が劣ります。）
(2) 圃場をよく観察して、播種時期ごとに出穂および開花状況を把握し、薬剤散布を行ってください。
(3) 開花期防除以後に降雨が続き、気温が高く推移した場合は、防除の 7～10 日後に追加防除を行いましょう。
(4) 薬剤は三重県農薬情報システム
(https://nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie) で検索することができます。
系統の異なる薬剤をローテーション散布し、感受性の低下を防止しましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

Ⅳ　事業関係の試験成績

1.　診断対策

(1)灰色カビ病の薬剤感受性検定

灰色かび病菌に対する殺菌剤感受性検定　2022年度調査結果
採取作物　トマト、イチゴ、ナス

三重県農業研究所農産物安全安心研究課

耐性菌発生リスク	FRACコード	農薬名	検定結果	検定方法	防除効果	備考
高	11	アゾキシストロビン剤 （QoI-殺菌剤）	耐性菌 61.0% 感受性菌 39.0%	100ppmの薬剤とSHAM1mMを添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20℃72時間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	耐性菌が高頻度で検出されたので、防除には注意が必要である。	9地域42地点における果実・茎・葉の標徴部から分離した164菌株の検定結果
中～高	2	イプロジオン剤 （ジカルボキシイミド系）	高度耐性菌 6.7% 中程度耐性菌 25.0% 感受性菌 68.3%	5ppmの薬剤を添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20℃48時間培養後に菌そう生育がある菌株を中程度耐性菌と判定した。菌そう生育がある菌株について生物検定を行い、実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を高度耐性菌と判定した。	感受性菌が多いものの、高度耐性菌、中程度耐性菌が検出されたので、防除には注意が必要である。	
	7	ペンチオピラド剤 （SDHI系）	耐性菌 49.4% 感受性菌 50.6%	1ppmの薬剤を添加したYBA培地に、供試菌株の胞子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃7日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。無処理においても発病が見られなかった菌株を判定不能とした。	耐性菌率が高まっている状況であり、注意が必要である。系統の異なる薬剤のローテーション散布を行う必要がある。	
		ピラジフルミド剤 （SDHI系）	耐性菌 42.1% 感受性菌 57.9%		耐性菌率が高まっている状況であり、注意が必要である。系統の異なる薬剤のローテーション散布を行う必要がある。	
		イソフェタミド剤 （SDHI系）	耐性菌 10.4% 感受性菌 87.8% 判定不能 1.8%		耐性菌が確認されたことから、注意が必要である。系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられるが、同系統剤では耐性菌率が高まっていることから注意が必要である。	
中	9	メパニピリム剤 （アニリノピリミジン系）	耐性菌 17.7% 感受性菌 81.7% 判定不能 0.6%	3ppmの薬剤を添加したFGA培地に、供試菌株の胞子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃4日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。無処理においても発病が見られなかった菌株を判定不能とした。	耐性菌が確認されたことから注意が必要であるが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	
低～中	12	フルジオキソニル剤 （フェニルピロール系）	感受性低下菌 6.1% 感受性菌 93.3% 判定不能 0.6%	0.2ppmの薬剤を添加したPDA培地に、供試菌株の胞子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃3日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度での病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌、1/10濃度での病斑抑制率が60%未満の菌株を感受性低下菌として判定した。無処理においても発病が見られなかった菌株を判定不能とした。	わずかに感受性低下菌が検出されたが、即座に防除効果への影響はないと考えられる。	
	17	フェンヘキサミド剤 （ヒドロキシアニリド系）	耐性菌 6.1% 感受性菌 93.9%	1ppmの薬剤を添加したFGA培地に、供試菌株の胞子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20℃4日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	耐性菌が確認されたことから注意が必要であるが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	

野菜類灰色かび病菌に対する各種殺菌剤の感受性検定
2022 年度試験結果

農業研究所　農産物安全安心研究課

表 1　地域毎の感受性検定の結果（2022）

耐性菌発生リスク	FRACコード	供試薬剤	判定	木曽岬	長島	いなべ	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	全体	2021年検定結果
高	11	アゾキシストロビン剤	R	72.7%	53.3%	75.0%	50.0%	58.3%	0%	50.0%	79.2%	25.0%	61.0%	60.6%
			S	27.3%	46.7%	25.0%	50.0%	41.7%	100%	50.0%	20.8%	75.0%	39.0%	39.4%
中～高	2	イプロジオン剤	HR	4.5%	3.3%	0%	0%	41.7%	0%	5.9%	4.2%	0%	6.7%	0%
			MR	27.3%	6.7%	12.5%	100%	16.6%	0%	26.5%	45.8%	0%	25.0%	19.2%
			S	68.2%	90.0%	87.5%	0%	41.7%	100%	67.6%	50.0%	100%	68.3%	80.8%
	7	ペンチオピラド剤	R	50.0%	30.0%	25.0%	50.0%	66.7%	0%	55.9%	70.8%	50.0%	49.4%	21.6%
			S	50.0%	70.0%	75.0%	50.0%	33.3%	100%	44.1%	29.2%	50.0%	50.6%	78.4%
		ピラジフルミド剤	R	45.5%	43.3%	0%	25.0%	16.7%	0%	44.1%	70.8%	25.0%	42.1%	7.2%
			S	54.5%	56.7%	100%	75.0%	83.3%	100%	55.9%	29.2%	75.0%	57.9%	92.8%
		イソフェタミド剤	R	0%	10.0%	0%	0%	0%	0%	14.7%	37.5%	0%	10.4%	-
			S	100%	90.0%	100%	100%	100%	100%	82.4%	54.2%	100%	87.8%	-
			-	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2.9%	8.3%	0%	1.8%	-
中	9	メパニピリム剤	R	15.9%	0%	12.5%	0%	0%	0%	32.4%	41.7%	0%	17.7%	13.0%
			S	84.1%	100%	87.5%	100%	100%	100%	64.7%	58.3%	100%	81.7%	87.0%
			-	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2.9%	0%	0%	0.6%	0%
低～中	12	フルジオキソニル剤	LS	13.6%	6.7%	0%	25.0%	0%	0%	2.9%	0%	0%	6.1%	0.5%
			S	86.4%	93.3%	100%	75.0%	100%	100%	94.2%	100%	100%	93.3%	99.5%
			-	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2.9%	0%	0%	0.6%	0%
	17	フェンヘキサミド剤	R	0%	0%	25.0%	0%	0%	0%	14.7%	0%	0%	6.1%	10.6%
			S	100%	100%	75.0%	100%	100%	100%	85.3%	100%	100%	93.9%	89.4%
		検定菌株数		44	30	8	4	12	4	34	24	4	164	208

※HR：高度耐性菌　R：耐性菌　MR：中程度耐性菌　LS：感受性低下菌　S：感受性菌　-：判定不能
HR、R、MRは防除効果が劣る恐れあり。LSは実用上問題ないが注意が必要。Sは問題なし。
-は、培地検定で菌生育が見られたが、生物検定で判定できず。

表２　作目毎の感受性検定の結果（2022）

耐性菌発生リスク	FRACコード	供試薬剤	判定	トマト ミニトマト	イチゴ	ナス	全体	2021年検定結果
高	11	アゾキシストロビン剤	R	68.0%	53.6%	25.0%	61.0%	53.6%
			S	32.0%	46.4%	75.0%	39.0%	46.4%
中～高	2	イプロジオン剤	HR	8.0%	5.4%	0.0%	6.7%	0%
			MR	19.0%	32.1%	50.0%	25.0%	18.2%
			S	73.0%	62.5%	50.0%	68.3%	81.8%
	7	ペンチオピラド剤	R	44.0%	55.4%	75.0%	49.4%	17.1%
			S	56.0%	44.6%	25.0%	50.6%	82.9%
		ピラジフルミド剤	R	34.0%	51.8%	75.0%	42.1%	7.2%
			S	66.0%	48.2%	25.0%	57.9%	92.8%
		イソフェタミド剤	R	3.0%	25.0%	0%	10.4%	-
			S	97.0%	69.6%	100%	87.8%	-
			-	0%	5.4%	0%	1.8%	-
中	9	メパニピリム剤	R	7.0%	39.3%	0%	17.7%	12.2%
			S	93.0%	58.9%	100%	81.7%	87.8%
			-	0%	1.8%	0%	0.6%	0%
低～中	12	フルジオキソニル剤	LS	9.0%	1.8%	0%	6.1%	1.1%
			S	91.0%	96.4%	100%	93.3%	98.9%
			-	0%	1.8%	0%	0.6%	0%
	17	フェンヘキサミド剤	R	2.0%	14.3%	0%	6.1%	7.2%
			S	98.0%	85.7%	100%	93.9%	92.8%
		検定菌株数		100	56	8	164	208

※HR：高度耐性菌　R：耐性菌　MR：中程度耐性菌　LS：感受性低下菌　S：感受性菌　-：判定不能
HR、R、MRは防除効果が劣る恐れあり。LSは実用上問題ないが注意が必要。Sは問題なし。
-は、培地検定で菌生育が見られたが、生物検定で判定できず。

(2)ミカンハダニの薬剤感受性検定

担　当:三重県農業研究所紀南果樹研究室

ミカンハダニ雌成虫の薬剤感受性

供試薬剤名	一般名	希釈倍率	補正死虫率(%)	
			紀南果樹	金山P
スターマイトプラスフロアブル	シエノピラフェン・ピリダベン水和剤	× 1,000	97	97
カネマイトフロアブル	アセキノシル水和剤	× 1,000	100	100
バロックフロアブル	エトキサゾール水和剤	× 2,000	56	67
ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン水和剤	× 2,000	68.2	42
ダニコングフロアブル	ピフルブミド水和剤	× 2,000	100	100
オマイト水和剤	BPPS水和剤	× 750	100	95
ニッソラン水和剤	ヘキシチアゾクス水和剤	× 2,000	72	75
コロマイト水和剤	ミルベメクチン水和剤	× 2,000	100	100
サンマイト水和剤	ピリダベン水和剤	× 2,000	87	63

ミカンハダニ卵の薬剤感受性

供試薬剤名	一般名	希釈倍率	補正死卵率(%)	
			紀南果樹	金山P
スターマイトプラスフロアブル	シエノピラフェン・ピリダベン水和剤	× 1,000	98	97
カネマイトフロアブル	アセキノシル水和剤	× 1,000	96	100
バロックフロアブル	エトキサゾール水和剤	× 2,000	97	100
ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン水和剤	× 2,000	97	100
ダニコングフロアブル	ピフルブミド水和剤	× 2,000	100	100
オマイト水和剤	BPPS水和剤	× 750	93	48
ニッソラン水和剤	ヘキシチアゾクス水和剤	× 2,000	99	72
コロマイト水和剤	ミルベメクチン水和剤	× 2,000	79	98
サンマイト水和剤	ピリダベン水和剤	× 2,000	46	45

※補正死虫率＝(蒸留水区の生存虫率−処理区の生存虫率)/蒸留水区の生存虫率×100

補正死卵率＝(蒸留水区のふ化卵率−処理区のふ化卵率)/蒸留水区のふ化卵率×100

※調査日

＜紀南果樹研究室場内＞

雌成虫試験;6/9、6/17(薬剤処理 48 時間後、2 回に分けて試験を行った)

殺卵試験;6/14、6/23(6/7、6/16 に産卵された卵に薬剤処理し、7 日後)

＜金山パイロット＞

成虫試験;6/23(処理 48 時間後)

殺卵試験;6/30(6/23 に産卵された卵に薬剤処理し、7 日後)

＜試験方法概要＞

サンプル採取場所	紀南果樹研究室圃場　11 号圃（新甘夏、慣行防除） 金山パイロット　恩ノ字地区（不知火、慣行防除）
方　　法	成虫感受性 　寒天培地の上に、約 3cm 角に切ったカンキツの葉（無防除区）を乗せ、周囲に逃亡防止の蒸留水を薄く撒いた。そこに、露地慣行防除区から採取した雌成虫を約 20 頭接種して薬剤を散布し、25℃、16 時間明期・8 時間暗期で飼育した。48 時間後に生存および死亡虫数（苦悶虫数を含む）を調査した。 卵感受性 　成虫感受性試験と同様にディスクを作り、露地慣行区から採取した雌成虫を約 20 匹接種して 25℃、16 時間明期・8 時間暗期で飼育し産卵させた。24 時間後に雌成虫を取り除いて薬剤を散布し、同様の条件下で飼育した。7 日後に幼虫数と死卵数を調査した。

Ⅴ　農薬の指導に関する業務

1. 農薬危害防止対策

農薬の危害防止、農薬使用の適正指導、総合防除の推進を図るため、農薬の最新の登録情報については、「三重県農薬情報システム」によりインターネットを通じて情報提供を行なった。正確かつ適正な情報を、農薬使用の指導者向けに提供するため、指導機関向けに発行している「三重県病害虫防除の手引き」の内容について検討・修正を行ない関係機関等に発出した。

農薬取扱業者に対しては、農薬管理指導士の育成と資質向上を図るため、農薬管理指導士特別研修会を開催し農薬を取り巻く法律、情勢、安全使用の基本的事項について解説した。また、県内外農薬関係者、農業者等を対象として、植物防疫技術研修会等を開催し、三重県農業における病害虫発生に関するトピックスを講演し、農薬使用を含めた効率防除について啓発を行った。

農薬の適正な使用を促すとともに使用に係る事故を防止するため、農薬危害防止運動の実施と農薬取締法に基づきゴルフ場等農薬使用者に対して農薬安全使用パトロール等を実施し、農薬の適正使用と使用簿、施錠、保管管理の徹底等について指導した。

(1) 農薬危害防止運動の実施

①実施期間　令和 4 年 6 月 1 日～8 月 31 日までの 3 か月間

②実施内容　「三重県農薬適正使用啓発強化運動」として、各市町等の関係機関に「農薬の適正使用」についてのパンフレット等を配布し、本運動の啓発宣伝を行った。農薬取扱者へは農薬の保管管理方法及びポジティブリスト制度に伴う危被害防止について、研修会、講習会で啓発した。

(2) 農薬安全使用講習会の開催状況

項　目	時期　開催場所	内　　容	対象者
ゴルフ場農薬安全使用・指導	令和 4 年 11 月 21,22,28,29 日 各ゴルフ場	農薬の使用状況、帳簿、農薬管理庫等の確認を行い、農薬安全使用を指導	ゴルフ場（11 か所）
農薬管理指導士特別研修（新規）	令和 4 年 12 月 20～21 日 津市	関係法令、農薬安全使用、危害防止等	農薬販売者、農薬使用者、農薬管理責任者
植物防疫技術研修会	令和 5 年 1 月 23 日 松阪市・Web	園芸作物の生物的防除技術における新知見	各市町、JA、病害虫防除員、農業関連会社、農薬販売者等（62 名、うち会場参加者 37 名、Web 参加者 25 名）

(3)ゴルフ場の調査点検実施状況

ゴルフ場の維持管理に関する指導要綱及びゴルフ場の調査・点検パトロール実施要領に基づき、下記ゴルフ場における農薬使用状況や保管管理状況等について、調査・点検を行った。

調査・点検年月日	ゴ ル フ 場 名	所 在 地
令和4年11月21日	阿山カンツリー倶楽部 ジャパンクラシックカントリー倶楽部 バードウィングカントリークラブ	伊賀市円徳院字中熊谷 1636 伊賀市槙山字下田 17-1 伊賀市槙山 1321
令和4年11月22日	COCOPA RESORT CLUB 白山ヴィレッジゴルフコース COCOPA RESORT CLUB 三重白山ゴルフコース 伊勢中川カントリークラブ	津市白山町川口 6262 津市白山町川口 4907 津市一志町井生 1743-2
令和4年11月28日	名松ゴルフクラブ 松阪カントリークラブ	津市一志町波瀬 5992-2 松阪市下村町 2160
令和4年11月29日	名阪チサンカントリークラブ 西日本セブンスリーゴルフクラブ COCOPA RESORT CLUB 三重フェニックスゴルフコース	伊賀市田中 1029 松阪市嬉野島田町 1242-1 松阪市嬉野滝之川町 354

（調査・点検項目）

1.帳簿（作業日報、農薬台帳等）の整理状況

2.農薬の使用状況

3.危害防止対策

4.病害虫雑草安全防除指針の遵守状況

5.農薬の保管管理の状況

（調査・点検結果の概要）

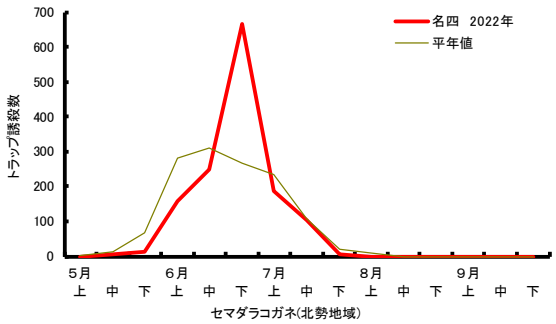
調査・点検の結果、問題となったゴルフ場では、1）病害虫雑草安全防除指針の内容の理解が不十分であったこと、2）農薬の保管管理において毒劇物の管理ができていなかったこと、3）作業日報・在庫管理台帳の記入漏れがあったこと、が見受けられた。

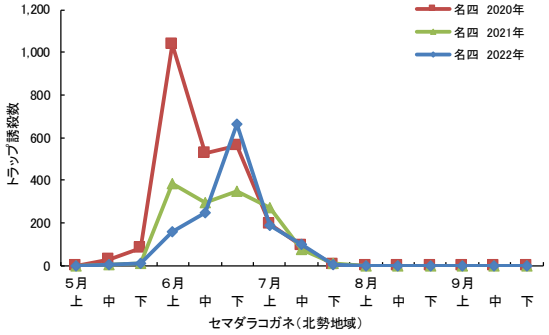
そこで、1）病害虫雑草安全防除指針の内容、2）毒劇物の保管管理の徹底、3）記帳時の注意喚起について指導した。

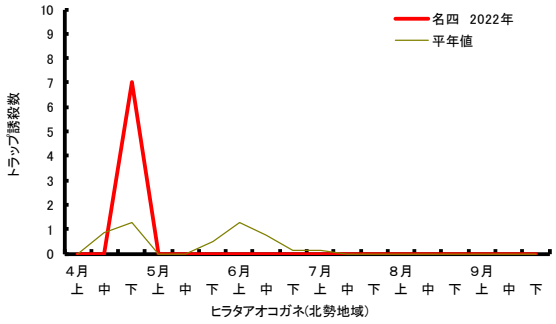
その他の項目については、概ね適正に管理されていた。

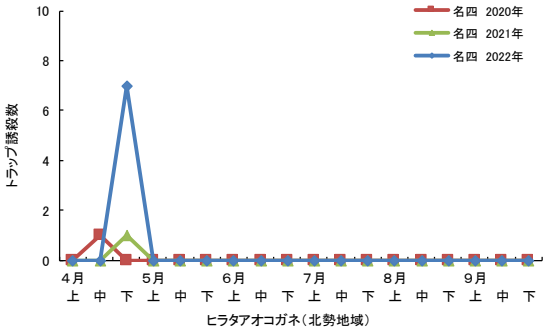
（4）ゴルフ場におけるコガネムシ類発生状況

北勢地域

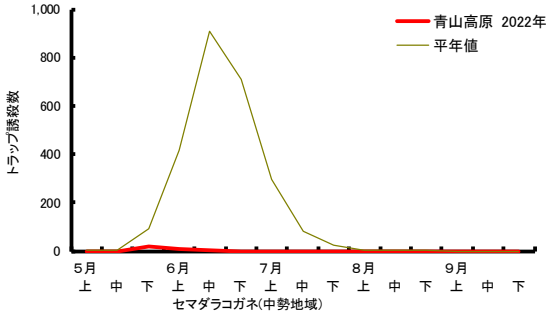


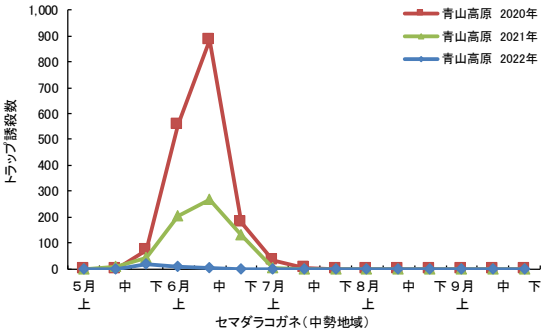


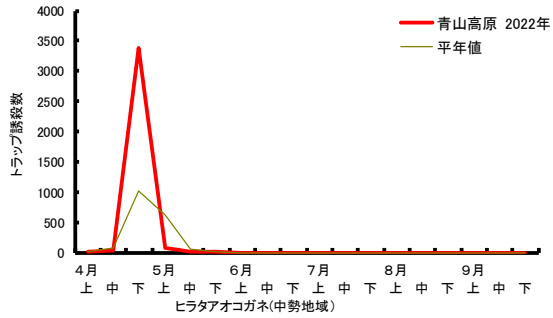


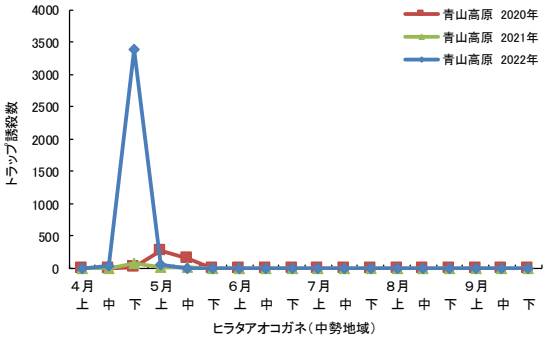


中勢地域









2. 令和 3 年度　無人航空機による空中散布の実施状況

防除内容	総散布面積（ha）	
水稲	合　　計	8,738
	前年実績	8,902
	前年対比（%）	98.2
麦類	合　　計	2,164
	前年実績	2,169
	前年対比（%）	99.8
大豆	合　　計	820
	前年実績	677
	前年対比（%）	121.1
その他	合　　計	153
	前年実績	114
	前年対比（%）	134.5
合計	合　　計	11,875
	前年実績	11,863
	前年対比（%）	100.1

Ⅵ 各種データ

1.トラップ等データ

(1)予察灯

a 県予察灯・水田設置（松阪市嬉野川北町； 60ワット白熱灯）

水田 2022年	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	ツヤアオカメムシ
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	36	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2022年	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	ツヤアオカメムシ
5月1日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	1
18日	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
29日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2022年	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	ツヤアオカメムシ
7月1日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0		0	1	0	0	1	0	0
7日	0	0	0	0	4	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
8日	0	0	0	0	8	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
9日	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
10日	0	0	0	0	15	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	14	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
12日	0	0	0	0	6	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	8	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
16日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
20日	0	0	0	0	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
21日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	2	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
28日	0	0	0	0	4	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
31日	0	0	0	0	4	0	0	6	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
8月1日	0	0	0	0	2	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	1	1	0	1	0	1	6	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
6日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	12	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	1	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	25	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	1	0	0	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	1	0	0	0	0	0	9	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
17日	0	1	0	0	0	0	0	7	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	1	0	0	22	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	30	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	10	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	2	0	0	0	0	12	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
30日	0	2	6	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2022年	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソヘリカメムシ	ツヤアオカメムシ
9月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
6日	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

b 県予察灯・畑地設置（松阪市嬉野川北町； 100ワット水銀灯）

畑地 2022年	アオクサカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ドウガネブイブイ	ヒメコガネ	アオドウガネ	イチモンジカメムシ	ホソヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネクロカメムシ	ミナミアオカメムシ	イネカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
13日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	10
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
23日	0	9	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2	0	0	0	28
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	6	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
26日	0	136	8	0	0	0	0	0	0	1	0	0	8	0	0	0	1	5	0	0	0	65
27日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5月1日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
5日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	335	8	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
8日	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
19日	0	144	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
20日	0	18	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2
21日	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
22日	0	110	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	9	0	0	0	0	3
23日	0	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0
24日	0	46	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	5	0	0	0	0	1
25日	0	36	13	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
26日	0	6	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0
27日	0	9	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	405	5	0	0	0	4	0	0	0	0	1	2	0	0	0	9	0	0	0	0	1
29日	0	99	3	1	0	0	16	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	1
30日	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

畑地2022年	アオクサカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ドウガネブイブイ	ヒメコガネ	アオドウガネ	イチモンジカメムシ	ホソヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネクロカメムシ	ミナミアオカメムシ	イネカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ
6月1日	0	4	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
2日	0	11	4	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	2	0	1	0	0	2
3日	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	20	5	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
5日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	1	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
8日	0	1	7	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0		0	1	0	0	0	0	0
9日	0	5	7	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
10日	0	14	10	0	1	0	3	0	0	0	0	5	0	0	0	1	2	1	2	0	0	4
11日	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
13日	0	19	14	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	23	13	4	1	0	0	1
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0
16日	0	120	41	0	7	0	5	2	0	0	1	3	1	0	0	6	5	5	0	0	0	0
17日	0	223	35	0	5	0	7	4	0	1	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	3	21	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0
19日	0	536	213	0	6	1	7	4	0	1	1	12	1	0	0	10	52	20	0	0	0	0
20日	0	150	340	1	5	0	0	3	0	0	0	4	0	0	0	6	47	4	0	0	0	0
21日	0	7	8	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
22日	0	63	11	0	7	1	6	1	0	0	0	1	0	0	0	14	48	11	2	1	0	0
23日	0	38	202	2	7	0	8	1	0	0	1	0	4	0	0	3	6	15	0	0	0	0
24日	0	31	41	2	12	0	3	0	0	0	0	8	0	0	0	3	22	0	0	0	3	0
25日	1	191	20	1	9	1	7	4	0	1	0	2	1	0	1	0	71	7	0	0	0	0
26日	1	688	27	11	7	2	5	3	0	2	0	4	1	0	0	3	34	4	1	1	0	0
27日	0	309	51	17	5	6	7	3	0	0	0	2	3	1	0	3	53	3	3	0	0	1
28日	0	132	19	8	10	5	15	4	0	0	0	4	1	1	0	2	33	1	1	0	0	0
29日	0	140	11	8	15	4	16	1	0	0	0	2	4	0	0	2	29	1	5	0	0	0
30日	0	117	10	8	20	5	17	0	0	2	0	0	0	0	0	4	14	0	1	0	1	0
7月1日	2	104	8	10	19	6	23	3	2	4	1	1	4	0	2	8	67	9	6	0	0	0
2日	0	57	13	8	18	3	24	2	0	0	0	0	1	2	0	0	16	0	1	0	0	0
3日	0	36	6	2	3	0	20	3	0	0	0	0	0	0	0	20	16	0	8	0	0	0
4日	0	9	0	5	4	2	19	0	5	0	0	0	7	0	0	21	27	3	49	0	0	0
5日	0	65	11	2	4	4	38	0	0	0	0	0	6	0	0	7	11	5	7	0	0	0
6日	0	37	22	9	6	4	20	5	2	4	0	1	13	7	2	16	50	9	4	0	0	93
7日	0	23	8	8	7	5	11	2	0	0	0	0	4	4	0	2	20	0	14	0	0	27
8日	0	44	17	15	9	4	16	2	1	2	0	0	13	7	0	11	17	9	23	1	0	22
9日	0	17	1	2	4	3	12	1	0	1	0	0	5	0	0	17	17	1	42	1	0	5
10日	0	56	6	3	2	2	17	6	1	0	0	0	21	0	0	3	6	6	25	1	0	3
11日	0	27	1	12	6	7	9	2	0	0	0	0	4	3	0	7	23	63	58	1	1	249
12日	0	44	6	12	3	7	6	3	2	0	0	1	0	0	0	7	13	24	31	0	0	133
13日	0	33	0	4	3	6	12	3	1	3	0	0	2	1	1	4	6	15	5	0	0	63
14日	0	22	1	3	5	3	15	1	0	2	0	0	0	0	0	18	56	68	46	2	0	19
15日	0	24	3	2	4	4	22	1	0	0	0	1	3	0	0	2	6	11	5	0	0	4
16日	0	13	0	5	3	4	12	0	1	0	0	0	0	0	0	4	4	8	7	0	0	15
17日	0	40	2	7	5	8	23	0	0	1	0	0	0	4	0	1	7	12	4	0	0	5
18日	0	106	5	14	10	6	29	3	2	4	0	2	0	9	0	1	6	150	9	0	0	40
19日	0	198	10	10	2	6	14	4	0	0	0	0	1	1	0	1	6	10	5	1	0	39
20日	0	55	1	4	10	15	8	5	1	1	0	2	1	3	0	1	34	7	2	1	0	22
21日	0	470	6	38	10	19	18	13	1	0	0	1	0	1	0	9	44	73	8	1	0	24
22日	0	13	0	2	6	6	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	3	3	0	0	8
23日	0	24	3	2	2	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	2	1	0	0	0
24日	0	69	2	3	6	12	17	2	1	0	0	0	1	21	0	0	23	5	2	0	0	1
25日	0	326	6	12	10	12	18	2	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	2	0	0	0
26日	0	20	4	0	3	23	24	4	0	0	0	0	0	4	0	3	8	1	4	0	0	0
27日	0	35	4	30	0	14	20	2	0	0	0	0	0	23	1	5	46	2	23	0	2	34
28日	0	71	4	16	6	15	16	7	2	0	0	1	0	23	3	0	31	11	264	0	0	43
29日	0	27	3	20	4	22	13	2	1	0	0	2	0	23	6	3	55	7	159	0	0	29
30日	0	33	6	11	2	20	11	1	2	0	0	0	0	13	0	7	31	3	106	0	0	7
31日	0	300	5	45	11	21	17	0	11	1	1	0	1	14	10	8	57	17	319	1	0	10

畑地2022年	アオクサカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ドウガネブイブイ	ヒメコガネ	アオドウガネ	イチモンジカメムシ	ホソヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネクロカメムシ	ミナミアオカメムシ	イネカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ
8月1日	0	200	7	32	11	32	15	3	0	5	0	0	0	13	17	6	6	4	102	0	0	16
2日	0	68	2	2	10	33	21	0	0	2	0	1	0	6	2	5	16	0	56	0	0	3
3日	0	117	4	8	20	25	20	2	1	3	2	3	0	9	1	5	30	0	75	0	0	5
4日	0	12	17	4	4	10	14	0	0	0	0	0	0	0	2	1	6	0	69	0	0	1
5日	0	83	9	25	5	21	6	1	0	1	0	0	0	3	7	1	8	0	204	0	0	1
6日	0	27	0	4	2	7	10	0	1	0	0	0	2	0	3	1	9	1	350	1	0	0
7日	0	66	9	12	6	21	6	2	1	2	0	0	1	6	8	3	23	15	294	1	0	9
8日	0	120	4	18	1	25	10	4	0	24	0	0	0	2	4	8	37	3	249	0	0	0
9日	0	70	5	14	2	24	6	3	0	3	0	0	0	4	11	5	47	3	86	0	0	2
10日	0	55	5	7	4	19	6	3	1	2	0	0	7	10	8	5	47	6	133	1	0	4
11日	0	58	2	4	11	17	3	3	0	1	0	0	4	22	11	0	29	9	202	0	0	1
12日	0	74	2	3	5	8	10	0	0	1	0	0	3	7	16	1	25	2	89	0	0	1
13日	0	86	6	5	5	16	3	2	1	3	0	0	16	17	19	0	26	4	43	15	0	0
14日	0	122	7	15	5	17	7	2	0	6	0	1	15	40	36	12	43	19	185	40	0	3
15日	0	42	5	3	12	39	10	0	0	4	0	2	17	27	26	4	37	12	98	5	1	2
16日	0	50	14	1	10	18	10	3	1	18	0	0	51	15	24	18	97	7	463	15	0	0
17日	0	76	12	4	4	18	21	1	1	4	0	1	19	22	9	7	33	10	77	11	0	1
18日	0	24	17	1	4	10	18	0	0	1	0	1	12	9	5	0	8	2	7	1	0	0
19日	0	40	15	4	10	19	20	0	0	3	0	0	35	54	18	5	31	0	38	7	0	1
20日	0	18	9	1	6	14	29	1	3	43	1	41	44	272	56	17	92	24	55	46	1	2
21日	0	50	2	2	5	12	21	1	0	25	0	14	39	89	16	10	62	35	102	49	2	0
22日	0	45	1	3	5	9	16	0	0	6	0	3	51	17	9	4	34	35	59	23	0	0
23日	0	31	3	1	10	10	15	2	0	10	0	5	56	45	3	4	6	2	3	2	1	0
24日	0	35	5	1	10	10	23	1	2	6	0	0	199	78	37	6	45	3	42	15	0	0
25日	0	21	0	1	4	10	18	1	0	10	0	1	40	14	46	8	15	7	7	2	0	0
26日	0	20	1	2	6	14	16	1	0	1	0	22	116	13	28	5	23	15	31	7	0	0
27日	0	0	0	1	3	6	16	0	1	0	0	0	160	17	13	6	52	30	55	4	0	0
28日	0	2	1	0	1	2	5	0	0	0	0	0	38	1	4	0	4	1	2	11	0	0
29日	0	4	0	0	1	3	18	0	4	0	0	0	52	3	27	11	30	17	227	32	0	0
30日	0	10	1	1	1	5	17	2	2	1	0	0	31	2	29	45	237	101	845	29	0	0
31日	0	7	1	1	3	2	8	3	1	2	0	27	352	16	12	8	26	44	189	2	0	0
9月1日	0	6	1	0	2	1	9	0	0	1	0	0	73	1	12	10	69	43	72	5	2	0
2日	0	5	0	0	0	0	10	0	2	0	0	0	84	2	11	6	50	23	88	1	0	0
3日	0	42	11	2	8	2	17	1	3	0	1	22	39	3	20	9	112	160	238	13	1	0
4日	0	28	1	0	2	2	10	2	0	0	0	5	59	0	18	9	77	68	71	6	1	0
5日	0	31	0	0	1	1	5	1	1	2	0	13	80	1	8	3	6	30	123	2	0	0
6日	0	6	0	2	0	1	9	1	0	4	0	22	161	3	3	15	106	34	261	3	0	0
7日	0	0	0	0	4	0	7	0	0	0	1	1	68	0	0	0	0	3	3	0	0	0
8日	0	7	0	0	0	0	7	0	0	3	0	4	70	0	1	7	71	38	124	17	1	0
9日	1	10	0	0	0	1	5	2	0	2	0	43	160	2	3	14	96	50	60	1	0	0
10日	0	28	0	1	2	0	5	0	2	0	0	55	49	3	3	2	26	53	24	3	0	0
11日	0	10	0	0	6	0	6	0	0	0	0	29	12	1	0	2	13	12	11	3	0	0
12日	0	42	0	0	2	0	1	0	0	0	0	57	53	9	12	4	48	44	32	3	2	0
13日	0	11	0	0	0	3	2	0	1	0	0	74	109	2	16	4	67	28	11	1	1	0
14日	0	14	0	0	3	0	6	1	0	2	0	44	127	2	22	4	44	18	5	2	3	0
15日	0	2	0	0	0	0	2	2	1	1	0	2	152	1	8	4	24	11	5	0	4	0
16日	0	2	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	84	0	1	0	1	1	1	0	0	0
17日	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	1	0	0	0	0	0
19日	0	6	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	395	0	7	3	10	3	7	5	15	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	5	5	0	7	5	3	0
21日	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	129	0	0	0	3	1	2	4	1	0
22日	0	3	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	11	1	5	3	37	0	0	0	0	0
23日	0	4	1	0	0	0	9	0	0	0	0	0	43	0	5	2	13	0	1	2	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	1	1	0	0	0	0
25日	0	20	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	118	1	12	1	55	0	0	1	0	0
26日	0	30	22	0	1	0	2	0	0	0	0	13	536	1	11	3	22	5	0	5	3	0
27日	0	1	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	43	0	1	4	13	0	2	4	0	0
28日	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	80	1	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	3	2	16	0	0	2	1	0
30日	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	1	1	0	7	0	0	1	0	0

8/22～8/24の誘殺数

畑地 2022年	アオクサカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ドウガネブイブイ	ヒメコガネ	アオドウガネ	イチモンジカメムシ	ホソヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネクロカメムシ	ミナミアオカメムシ	イネカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ
10月1日	0	3	4	0	0	0	1	0	0	1	0	0	72	1	0	0	9	0	0	0	0	0
2日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	61	0	2	0	5	0	0	1	0	0
3日	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	131	0	0	1	3	0	0	1	0	0
4日	0	9	2	0	0	0	2	0	0	0	0	3	189	0	1	3	20	0	1	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	9	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0
9日	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	1	1	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	1	0	1	2	0	0	0	0	0
13日	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	2	1	0	0	0	0
14日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	0	12	0	0	2	0	0
15日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	2	0	0	0	0	0
16日	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	1	20	0	2	0	0	0
17日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6	5	0	1	0	0	0
18日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										

c 地区予察灯（60ワット白熱灯）

地区	ウンカ・ヨコバイ類												カメムシ類											
	紀北町				御浜町				伊賀市				紀北町				御浜町				伊賀市			
2022年	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
2日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
3日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
4日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
5日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
6日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
7日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
8日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
9日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
10日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
11日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
12日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
13日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
14日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
15日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
16日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
17日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
18日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
19日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
20日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
21日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
22日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
23日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
24日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
25日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
26日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
27日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
28日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
29日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
30日	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0				
5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

地区 2022年	ウンカ・ヨコバイ類												カメムシ類											
	紀北町				御浜町				伊賀市				紀北町				御浜町				伊賀市			
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
6月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
19日	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
20日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
26日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
29日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
7月1日	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	11
2日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	1	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	1	0	0	15	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	11	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	36	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	1	16	0	0	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	5	3	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
17日	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
18日	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	18	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
20日	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	20	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
21日	0	0	0	0	1	0	0	4	1	0	1	9	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
22日	0	0	1	0	3	0	0	11	0	0	1	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	2	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	8	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
26日	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	7
28日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	0	6
29日	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	8
30日	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	12	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	0	23
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	11

地区 2022年	ウンカ・ヨコバイ類												カメムシ類											
	紀北町				御浜町				伊賀市				紀北町				御浜町				伊賀市			
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
8月1日	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	4	0	0	0	2	0	0	0	3	0	0
2日	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	9	10	0	3	0	0	0	10	0	0	0	3	0	0
4日	0	0	2	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	15	0	0	0	1	0	0
5日	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	5	0	0	1	0	0	13
6日	0	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	17	0	0	0	1	0	0
7日	0	0	0	0	1	0	3	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	14	0	0	0	2	0	0
8日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	12	0	0	1	0	0	0
9日	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	2	0	0	0	0	0	8	0	0	1	0	0	0
14日	2	0	8	0	27	0	0	1	3	0	3	0	0	2	0	0	0	8	0	0	0	1	0	0
15日	1	0	4	0	2	0	1	2	0	0	1	9	0	3	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0
16日	2	0	6	0	1	0	0	1	0	0	1	2	0	6	0	0	0	10	0	0	0	2	0	0
17日	1	0	3	1	0	0	0	0	1	0	2	3	0	4	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0
18日	1	0	4	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
19日	2	0	6	0	5	0	0	1	0	0	0	4	0	3	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0
20日	0	0	5	0	0	0	1	0	24	4	7	22	0	8	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0
21日	2	0	13	1	27	0	2	0	6	0	0	1	0	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
22日	1	0	19	0	2	0	0	1	0	0	3	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	8	1	2	0	0	1	0	0	6	5	0	3	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0
24日	1	0	9	0	5	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	13	0	2	0	1	0	11	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	1	0	6	0	2	0	0	1	3	0	3	1	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	7	0	0	0	1	2	1	0	0	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	1	0	7	0	34	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	1	0	3	0	24	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	2	0	41	0	9	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
31日	0	0	2	0	5	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
9月1日									0	0	0	0									0	0	0	18
2日									1	0	0	0									0	0	0	4
3日									0	0	0	6									0	0	0	45
4日									0	0	0	0									0	0	0	0
5日									0	0	1	0									0	0	0	1
6日									1	0	1	0									0	0	0	14
7日									1	0	1	0									0	0	0	3
8日									0	0	3	0									0	0	0	12
9日									0	0	0	0									0	0	0	12
10日									0	0	0	1									0	0	0	5
11日									0	0	1	0									0	0	0	5
12日									0	0	2	0									0	0	0	5
13日									0	0	0	0									0	0	0	11
14日									0	0	0	0									0	1	0	8
15日									0	0	0	0									0	0	0	0
16日									0	0	0	1									0	1	0	1
17日									1	0	0	0									0	0	0	0
18日									6	0	0	0									0	0	0	5
19日									0	0	0	0									0	0	0	0
20日									0	1	0	0									0	0	0	1
21日									0	0	0	0									0	0	0	2
22日									1	0	0	0									0	0	0	1
23日									1	0	0	0									0	0	0	0
24日									0	0	0	0									0	0	0	0
25日									0	0	0	0									0	0	0	1
26日									4	0	0	0									0	0	0	2
27日									0	0	0	0									0	0	0	2
28日									0	0	0	0									0	0	0	4
29日									1	0	0	0									0	0	0	1
30日									0	0	0	0									0	0	0	1

d 県予察灯・畑地設置（南牟婁郡御浜町農業研究所紀南果樹研究室； 100ワット水銀

畑地 2022年	アオクサカメムシ	ミナミアオカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	コカクモンハマキ	チャハマキ	アカエグリバ	ヒメエグリバ
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	1	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	3	3	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	20	0	0	0	0	0
12日	0	0	12	70	1	0	0	0	0
13日	0	0	292	348	1	0	0	0	0
14日	0	0	7	101	0	0	0	0	0
15日	0	0	7	44	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	3	0	0	0	0	0
17日	0	0	4	38	0	0	0	0	0
18日	0	0	1	131	0	0	0	0	0
19日	0	0	1	21	0	0	1	0	0
20日	0	0	6	36	0	1	0	0	0
21日	0	0	0	74	6	1	0	0	0
22日	0	0	46	196	0	0	0	0	0
23日	0	0	109	1,202	0	0	0	0	0
24日	0	0	9	244	0	0	0	0	0
25日	0	0	155	547	1	0	0	0	0
26日	0	0	61	821	0	0	0	0	0
27日	0	0	211	2,208	3	0	0	0	0
28日	0	0	13	345	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	10	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	17	0	0	0	0	0
5月1日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	7	37	0	0	0	0	0
5日	0	0	46	316	1	0	0	0	0
6日	0	0	17	161	0	0	2	0	0
7日	0	0	137	328	0	0	0	0	0
8日	0	0	56	82	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	5	0	0	1	0	0
10日	0	0	17	110	1	0	0	0	0
11日	0	0	31	105	0	0	0	0	0
12日	0	0	10	51	0	0	1	0	0
13日	0	0	359	388	3	1	0	0	1
14日	0	0	111	179	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	8	0	0	0	0	0
16日	0	0	2	14	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	10	13	0	0	0	0	0
20日	0	0	84	65	0	0	0	0	0
21日	0	0	19	19	0	0	1	0	0
22日	0	0	132	109	0	0	0	0	0
23日	0	0	350	66	2	0	0	0	0
24日	0	0	178	18	0	0	0	0	0
25日	0	0	110	5	0	0	0	0	0
26日	0	0	9	10	0	0	0	0	0
27日	0	0	378	19	2	0	0	0	0
28日	0	0	334	28	0	0	0	0	0
29日	0	0	256	54	3	0	0	0	0
30日	0	0	11	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	145	11	1	0	0	0	0

畑地 2022年	アオクサカメムシ	ミナミアオカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	コカクモンハマキ	チャハマキ	アカエグリバ	ヒメエグリバ
6月1日	0	0	12	5	0	0	0	0	0
2日	0	0	29	35	1	0	0	0	0
3日	0	0	495	7	2	0	0	0	0
4日	0	0	83	6	0	0	1	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
6日	0	0	10	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	11	3	0	0	0	0	0
8日	0	0	4	0	0	0	2	0	0
9日	0	0	71	3	0	0	1	0	0
10日	0	0	86	7	2	0	0	0	0
11日	0	0	4	0	0	0	1	0	0
12日	0	0	257	9	2	0	0	0	0
13日	0	0	39	2	0	0	0	0	0
14日	0	0	1	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	15	3	0	0	2	0	0
16日	0	0	192	13	1	0	1	0	0
17日	0	0	731	11	1	0	0	0	0
18日	0	0	246	4	2	0	0	0	0
19日	0	0	930	19	4	0	0	0	0
20日	0	0	1,778	30	24	0	0	0	0
21日	0	0	500	2	0	0	0	0	0
22日	0	0	1,709	65	30	0	1	0	0
23日	0	0	1,792	18	9	0	0	0	0
24日	0	0	1,269	4	28	0	1	0	0
25日	0	0	1,065	8	10	0	0	0	0
26日	0	0	2,517	5	31	0	0	0	0
27日	0	0	2,959	5	28	0	0	0	0
28日	0	0	2,750	3	44	0	0	0	0
29日	0	0	1,753	1	22	0	1	0	0
30日	0	0	21,886	14	152	0	0	0	0
7月1日	0	0	5,322	4	95	0	0	0	0
2日	0	0	2,460	6	37	0	0	0	0
3日	0	0	426	1	28	0	0	0	0
4日	0	0	312	1	2	2	2	0	0
5日	0	0	211	0	13	0	0	0	0
6日	0	0	4,167	11	87	0	0	0	0
7日	0	0	1,930	4	32	0	1	0	0
8日	0	0	2,932	9	37	0	0	0	0
9日	0	0	1,060	1	27	0	0	0	0
10日	0	0	1,150	5	45	0	1	0	0
11日	0	0	449	4	23	0	0	0	0
12日	0	0	985	7	49	0	0	0	0
13日	0	0	1,016	11	26	0	0	0	0
14日	0	0	120	1	0	0	0	0	0
15日	0	0	894	5	18	0	0	0	0
16日	0	0	206	1	3	0	0	0	0
17日	0	0	1,417	5	31	0	0	0	0
18日	0	0	1,215	1	6	0	0	0	0
19日	0	0	1,677	7	44	0	0	0	0
20日	0	0	1,777	2	20	0	0	0	0
21日	0	0	1,916	2	32	0	0	0	0
22日	0	0	897	8	20	0	0	0	0
23日	0	0	686	2	23	0	0	0	0
24日	0	0	526	1	26	0	0	0	0
25日	0	0	1,369	9	47	0	0	0	0
26日	0	0	538	3	23	0	0	0	0
27日	0	0	575	2	37	0	0	0	0
28日	0	0	547	1	25	0	1	0	0
29日	0	0	673	1	28	1	2	0	0
30日	0	0	551	2	30	0	0	0	0
31日	0	0	592	1	57	0	0	0	0

畑地2022年	アオクサカメムシ	ミナミアオカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	コカクモンハマキ	チャハマキ	アカエグリバ	ヒメエグリバ
8月1日	0	0	521	3	13	0	0	0	0
2日	0	0	514	1	16	0	0	0	0
3日	0	0	1,240	13	58	0	0	0	0
4日	0	0	1,084	10	35	1	3	0	0
5日	0	0	173	9	12	0	0	0	0
6日	0	0	235	4	16	0	0	0	0
7日	0	0	336	7	24	0	0	0	0
8日	0	0	536	2	27	0	1	0	0
9日	0	0	383	5	24	2	1	0	0
10日	0	0	476	5	20	0	3	0	0
11日	0	0	357	0	13	0	0	0	0
12日	0	1	86	1	2	0	0	0	0
13日	0	0	318	3	9	0	0	0	0
14日	0	0	85	0	3	0	0	0	0
15日	0	0	44	4	7	1	0	0	0
16日	0	0	211	12	13	0	0	0	0
17日	0	0	129	4	6	1	1	0	0
18日	0	2	38	2	4	0	0	0	0
19日	0	1	132	4	2	0	0	0	0
20日	0	0	78	7	1	0	0	0	0
21日	0	1	25	6	1	0	0	0	0
22日	0	0	31	7	4	0	0	0	0
23日	0	0	14	2	0	0	0	0	0
24日	0	0	29	4	4	2	0	0	0
25日	0	1	29	5	2	0	0	0	0
26日	0	0	7	5	1	0	0	0	0
27日	0	0	9	1	0	0	2	0	0
28日	0	1	38	4	2	0	1	0	0
29日	0	1	12	3	0	0	0	0	0
30日	0	2	27	0	0	0	1	0	0
31日	0	7	17	0	3	1	2	0	0
9月1日	0	1	32	1	1	0	0	0	0
2日	0	0	12	2	0	0	2	0	0
3日	0	1	27	0	2	0	1	0	0
4日	0	3	28	1	0	1	1	0	0
5日	0	2	25	1	2	1	0	0	0
6日	0	0	5	0	1	1	2	0	0
7日	0	4	24	2	0	0	1	0	0
8日	0	0	12	1	0	1	1	0	0
9日	0	5	18	1	1	0	0	0	0
10日	0	3	21	0	1	1	0	0	0
11日	0	5	12	0	0	0	0	0	0
12日	0	2	16	0	0	0	0	0	0
13日	0	2	13	3	0	2	0	0	0
14日	0	1	27	1	4	0	0	0	0
15日	0	1	2	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	4	0	0	0	0	0	0
17日	0	3	6	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	1	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	9	0	0	0	1	0	0
21日	0	0	5	1	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	5	5	0	1	4	0	0
24日	0	1	1	2	0	0	0	0	0
25日	0	2	2	5	0	1	1	0	0
26日	0	3	13	10	2	0	0	0	0
27日	0	0	0	4	0	0	1	0	0
28日	0	1	0	2	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
30日	0	1	1	2	0	0	1	0	0

畑地2022年	アオクサカメムシ	ミナミアオカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	コカクモンハマキ	チャハマキ	アカエグリバ	ヒメエグリバ
10月1日	0	1	0	5	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	12	0	0	1	0	0
3日	0	3	1	28	0	1	0	0	0
4日	0	0	1	2	0	0	0	0	0
5日	0	1	0	1	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	1	2	0	0	0	0	0
8日	0	1	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	1	38	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
11日	0	2	0	0	1	0	2	0	0
12日	0	2	2	18	0	0	0	0	0
13日	0	1	2	24	0	1	0	0	0
14日	0	0	0	1	0	1	0	0	0
15日	0	1	4	11	0	0	0	0	0
16日	0	0	1	4	0	2	0	0	0
17日	0	0	2	2	0	0	1	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
22日	0	1	0	3	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月1日	0	0	0	3	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	2	0	0	1	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	1	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) フェロモントラップ

a ガ類（フェロモントラップ） ハスモンヨトウ以外は粘着板式 2022年

月	半旬	ハスモンヨトウ(箱式)	コナガ	オオタバコガ	シロイチモジヨトウ	トマトキバガ	チャノコカクモンハマキ	チャハマキ	ナシヒメシンクイ
1月	1		1						
	2		0						
	3		0						
	4		0						
	5		0						
	6		2						
2月	1		1						
	2		0						
	3		0						
	4		0						
	5		0						
	6		0						
3月	1	0	0						0
	2	0	2						0
	3	3	0						0
	4	0	0						1
	5	0	0						1
	6	0	0						7
4月	1	1	0	0	0		3	0	5
	2	1	0	1	0	0	5	11	23
	3	2	1	0	1	0	14	16	8
	4	2	1	0	0	0	12	11	10
	5	2	0	0	0	0	35	9	6
	6	0	0	1	0	0	20	5	1
5月	1	0	1	3	0	0	14	4	0
	2	1	0	0	0	0	5	4	4
	3	9	0	2	0	0	3	5	0
	4	2	0	0	0	0	3	6	1
	5	5	0	1	1	0	0	2	10
	6	6	0	0	2	0	2	1	18
6月	1	3	0	0	0	0	1	0	15
	2	42	1	0	0	0	12	0	6
	3	43	0	0	3	0	13	0	9
	4	45	1	0	0	0	13	0	4
	5	60	2	21	3	0	10	1	4
	6	18	0	4	2	0	9	4	9
7月	1	55	0	6	11	0	1	2	23
	2	33	0	6	1	0	0	1	9
	3	26	0	1	6	0	1	0	8
	4	63	0	1	19	0	0	0	18
	5	101	0	1	16	0	3	0	10
	6	65	0	0	7	0	2	0	8
8月	1	60	0	1	3	0	4	0	33
	2	77	0	2	14	0	3	0	17
	3	76	0	13	39	0	2	0	15
	4	114	0	5	18	0	1	0	14
	5	96	0	3	19	0	2	0	19
	6	193	0	1	40	0	1	1	25
9月	1	229	0	5	11	0	1	0	7
	2	262	0	5	18	0	2	0	13
	3	189	0	6	20	0	0	1	23
	4	922	0	23	18	0	12	1	15
	5	592	0	26	11	0	3	0	11
	6	314	0	17	9	0	10	1	7
10月	1	499	0	29	9	0	18	1	3
	2	316	0	10	3	0	20	2	0
	3	387	0	14	11	0	24	3	1
	4	221	1	9	1	0	12	0	2
	5	215	1	36	2	0	7	2	1
	6	151	3	29	0	0	9	4	1
11月	1	176	5	41	1	0	7	5	0
	2	106	1	11	2	0	5	4	0
	3	222	2	4	0	0	7	4	0
	4	90	2	1	0	0	10	3	0
	5	159	1	1	1	0	4	2	0
	6	195	0	2	0	0	7	2	0
12月	1	8	1	0	0	0	0		
	2	1	0	0	0	0	1		
	3	12	0	0	0	0	1		
	4	0	0	0	0	0	0		
	5	0	3	0	0	0	0		
	6	0	0	0	0	0	0		

b コガネムシ類（フェロモントラップ）

		ヒメコガネ		マメコガネ		ドウガネブイブイ	
		2022年	平年値	2022年	平年値	2022年	平年値
5月	上旬	0	0	0	0	0	0.3
	中旬	0	0.1	0	0.2	0	1.3
	下旬	0	0	2.0	2.5	4.0	8.8
6月	上旬	0	0.1	8.3	14.3	2.3	11.0
	中旬	0	0.4	3.7	52.0	4.7	10.4
	下旬	1.0	1.7	13.0	23.0	4.0	8.2
7月	上旬	1.0	2.8	7.0	13.5	0	5.2
	中旬	1.0	7.4	5.0	14.5	0	2.1
	下旬	0	21.0	14.0	31.6	0	1.3
8月	上旬	1.1	25.1	12.1	22.5	0	0.8
	中旬	1.7	17.3	2.5	22.4	0	0.2
	下旬	0.2	7.3	2.4	12.5	0	0
9月	上旬	1.0	1.6	2.0	8.8	0	0
	中旬	0	0.5	0	3.2	0	0
	下旬	0	0	0	2.1	0	0
10月	上旬	0	0.1	0	2.3	0	0
	中旬	0	0	0	0	0	0
	下旬	0	0	0	0	0	0
11月	上旬	0	0	0	0	0	0
	中旬	0	0	0	0	0	0
	下旬	0	0	0	0	0	0
合計		7	85.5	72	225.4	15	49.7

c　果樹カメムシ類（フェロモントラップ誘殺数）

チャバネアオカメムシ

月・週	津市白山町川口		津市白山町二本木		松阪市嬉野川北町		多気郡多気町矢田	
	平年	2022年	平年	2022年	平年	2022年	平年	2022年
4月.1	3.6	2.7	2.8	4.0	0	1	3.7	5.7
2	5.1	3.7	8.6	15.3	0.1	2	7.1	6.9
3	20.0	31.8	30.6	35.5	2.4	8.3	24.7	20.0
4	33.0	28.7	36.8	37.3	3.1	11.9	27.3	30.9
5月.1	51.7	36.9	83.6	54.2	21.3	18.9	51.1	49.8
2	50.5	10.7	99.9	26.9	49.7	20.1	91.2	34.2
3	57.3	200.6	127.4	197.4	74.9	100.9	120.7	215.4
4	107.0	270.9	166.5	283.5	51.7	58.6	198.5	325.1
6月.1	88.1	168.4	159.4	202.0	25.6	25.0	100.6	161.4
2	162.1	84.0	285.8	154.0	21.0	18.0	133.7	112.0
3	172.5	481.4	288.9	582.7	26.7	107.0	137.0	424.9
4	212.5	800.5	302.7	1306.0	34.9	330.0	168.1	665.5
7月.1	354.8	980.7	412.2	1481.6	62.8	345.6	277.7	765.6
2	407.8	836.3	423.5	1048.6	100.9	188.3	260.4	644.0
3	297.6	807.4	443.2	1523.9	134.2	505	248.0	881
4	249.0	775.9	443.2	1060.0	120.4	658	271.7	775
8月.1	275.6	848.1	487.3	1109.6	124.1	617.0	249.9	733.5
2	206.0	458.8	369.6	916.5	96.5	458.0	183.4	593.3
3	101.5	352.7	233.8	666.1	58.0	301.6	114.2	383
4	58.2	312.7	115.0	314.2	34.4	200.4	41.6	216.1
9月.1	70.2	271.7	79.7	326.9	29.9	62.0	27.6	90.9
2	73.6	190.5	52.2	173.8	25.9	17.3	23.9	19.6
3	79.6	129.0	30.2	105.2	16.0	12.2	17.9	27.4
4	69.2	68.7	20.9	46.0	8.0	5.1	15.8	22.2
10月.1	68.5	63.2	20.9	36.5	9.4	5.1	24.1	12.0
2	46.0	19.7	12.4	17.2	5.8	4.3	13.5	3.1
3	15.6	16.9	3.0	10.3	2.8	1	3.2	1.8
4	10.0	1.6	1.5	1.1	1.6	0.5	3.4	0
11月.1	8.4	1.4	1.6	0.9	1.2	0.6	2.5	0
2	4.0	0	0.9	0	0.5	0.7	1.1	0
3	0.5	0	0.3	0	0.1	0	0.1	0
4	0.2	0	0.1	0	0.1	0	0	0

ツヤアオカメムシ

月・週	津市白山町川口		津市白山町二本木	
	平年	2022年	平年	2022年
4月.1	0	0	0.1	0
2	0.1	0	0.2	0.8
3	0.1	0	1.2	0.3
4	0.6	0.6	1.3	0
5月.1	2.5	1.2	2.2	0
2	4.4	0.2	3.6	0
3	1.9	10.1	4.4	2.4
4	1.9	7.7	6.9	2.8
6月.1	3.0	8.2	7.7	5.8
2	6.6	1.0	9.0	6.0
3	4.8	3.1	3.9	0.3
4	2.3	6.5	1.6	1.5
7月.1	2.3	7.5	1.1	1.7
2	1.7	5.5	0.8	1.2
3	1.6	6.5	0.4	1.2
4	1.7	3.6	0.3	1.1
8月.1	0.7	3.2	0.6	1.1
2	0.9	0	0.4	0
3	0.5	0.9	0.8	0.3
4	1.2	6.2	0.3	2.3
9月.1	2.2	1.9	0.9	0.3
2	3.7	3.6	0.8	1.5
3	4.6	8.4	1.2	2.5
4	5.2	8.0	1.3	2.3
10月.1	6.5	5.5	1.4	2.4
2	6.9	1.2	1.3	1.8
3	3.5	2.3	0.7	0.5
4	2.4	0	0.5	0.5
11月.1	2.6	0	0.5	0.5
2	1.2	0	0.2	0
3	0.1	0	0.1	0
4	0.1	0	0.1	0

ツヤアオカメムシ

月・週	松阪市嬉野川北町		多気郡多気町矢田	
	平年	2022年	平年	2022年
4月.1	0	0	0.9	1.7
2	0.2	0.8	2.0	1.5
3	0.5	1.8	8.8	4.1
4	0.6	1.1	10.4	6.5
5月.1	2.7	1.1	46.4	10.5
2	5.5	1.1	75.5	30.2
3	6.9	7.1	119.0	143.0
4	5.5	7.0	106.5	125.2
6月.1	2.2	0	57.7	43.9
2	1.1	0	18.0	4.0
3	0.3	0.1	6.8	0
4	0.3	0.5	3.4	0
7月.1	0.2	0.6	2.5	0
2	0.2	0.6	0.6	0
3	0.4	1.0	0.1	0
4	0.5	0.1	0.1	0
8月.1	0.4	0	0.3	0
2	1.0	0	0.1	0
3	1.2	1.3	0.4	0
4	1.1	1.8	0.4	0
9月.1	1.0	0	1.4	0
2	1.5	0	2.1	0
3	4.5	3.1	6.0	1.5
4	5.3	4.1	7.5	1.7
10月.1	9.4	1.5	12.5	1.5
2	7.9	1.9	14.2	1.8
3	9.0	1.5	8.5	1.5
4	5.0	0	8.8	1.1
11月.1	3.7	0	5.9	0.9
2	1.6	0	2.5	0
3	0.1	0	0.3	0
4	0	0	0	0

クサギカメムシ

月・週	津市白山町川口		津市白山町二本木		松阪市嬉野川北町		多気郡多気町矢田	
	平年	2022年	平年	2022年	平年	2022年	平年	2022年
4月.1	0.1	0	0	0	0	0	0.1	0.6
2	0.03	0	0	0.8	0.01	0	0.2	0.3
3	0.2	0	0.4	0.3	0.1	0	0.4	0
4	0.7	0.9	2.0	0.9	0.01	0	0.8	1.2
5月.1	4.6	1.8	11.7	1.8	0.02	0	3.6	2.5
2	5.5	0.2	24.1	0.2	0.2	0	9.3	1.2
3	5.3	5.4	32.9	20.4	0.1	0	30.3	19.3
4	7.4	9.8	42.5	23.8	0.2	0	39.8	29.6
6月.1	7.9	12.8	47.3	14.8	0.1	0	38.0	11.2
2	11.8	2.0	68.3	3.0	0.2	0	24.3	2.0
3	4.6	12.8	31.7	7.7	0.3	0	14.0	2.6
4	2.4	10.5	11.1	4.0	2.1	0	7.8	3.8
7月.1	3.3	10.1	8.9	3.6	1.4	0	8.4	3.1
2	7.5	3.7	7.9	0.6	0.4	0	6.2	1.1
3	6.9	1.8	5.8	2.7	0.9	0	5.2	0.3
4	4.0	1.1	2.8	0.9	1.1	0	6.1	0
8月.1	2.9	1.2	1.7	0.9	0.6	0.3	2.3	0.3
2	1.3	1.3	1.2	2.6	0.2	0.7	1.1	0.7
3	1.3	4.3	1.0	0.4	0.1	0	0.6	1.0
4	2.3	11.7	0.8	3.1	0.1	0	0.5	0
9月.1	3.2	11.7	1.0	5.4	0.1	0	0.9	2.0
2	4.1	7.3	0.9	2.9	0.1	0	0.7	2.2
3	6.9	6.2	1.4	2.1	0.1	0	0.9	1.8
4	9.5	4.0	1.7	1.2	0.1	0	1.2	1.2
10月.1	24.9	2.7	1.8	0.8	0.2	0	3.1	0.8
2	22.3	0.6	1.3	0	0.1	0	1.9	0
3	6.2	0.2	0.3	0	0.1	0	0.3	5.0
4	3.5	0	0.2	0	0.05	0	0.2	0
11月.1	0.7	0	0.03	0	0	0	0.2	0
2	0.1	0	0	0	0	0	0.1	0
3	0.1	0	0	0	0	0	0	0
4	0.03	0	0	0	0	0	0	0

(3)ウメ輪紋ウイルス(PPV)に関する調査

平成 21 年 4 月、東京都青梅市でウメにおいて、ウメ輪紋ウイルス(以下 PPV)の感染が確認された。PPV は我が国のモモやスモモなどの果樹に重大な被害を与えるウイルスとして、これまでも特に侵入を警戒していたものである。このことから、全国的な発生状況調査が実施されることとなった。

三重県では、観光ウメ園地で平成 25 年 6 月に感染が確認され、以降 28 年まで発生した。感染樹と周囲の樹は伐採され、その後 3 年間、園地周辺一定範囲における全ての宿主植物について感染の有無を調査した。感染の再発・広がり等が確認できなかったため、令和 2 年度より県内産地での目視による調査に切り替えた。

a 調査方法

宿主植物のなかで、本県に産地があるウメについて、主要な 3 産地にそれぞれ 1～2 か所ずつ調査地を設定した。

PPV の症状について、目視により葉および果実を確認した。

b 調査樹種および地点

○ウメ(五ケ所小梅、白加賀、南高)

調査圃場	調査樹数
津市片田田中町	13
南伊勢町五ケ所浦	12
御浜町中立	30
紀宝町大里	25

c 調査結果

対象病害の発生は確認されなかった。

(4)キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統に関する調査

キウイフルーツかいよう病 Psa3系統は、2014 年 5 月に国内で最初の発生が確認され、2022 年 12 月時点で 16 都県において発生が確認されている。

本病は、国内にまん延した場合に有用な植物に重大な損害を与えるおそれがある重要病害虫に該当することから、全国的な発生状況調査が実施されることとなった。三重県においても、県内のキウイフルーツ生産園地を対象に発生状況を把握するため 2014 年～2019 年に調査を実施した。発生は確認できなかったことから、栽培園地での調査は終了した。

本年度は、苗出荷を行う事業者に対し、苗の調査を行った。

a 調査方法

出荷予定のキウイフルーツ苗を対象とし、6 月 29 日に 1 事業者に対し目視にて感染によると思われる病徴の有無を確認した。

b 調査地点

津市苗出荷業者 1 地点

c 調査結果

調査した 2 品種において、感染を疑う症状は確認されなかった。

(5)ミバエ類等侵入警戒調査

ミカンコミバエ種群、ウリミバエ、チチュウカイミバエは、果樹、果菜類の重要害虫である。海外からの侵入防止に万全を期するため、都道府県と農林水産省植物防疫所では、地域を分担協力し、侵入警戒調査を実施している。三重県では、ミカンコミバエ種群、ウリミバエ、チチュウカイミバエを対象に、県内6か所にミバエ類誘引トラップを設置し、侵入警戒調査を実施した。

a 調査方法

スタイナー型トラップにミバエ類誘引用資材（メドフライコールあるいはユーゲルア）を装填し、2022年4月7日に桑名市多度町小山、4月8日に紀北町道瀬および紀南果樹研究室（御浜町志原）、4月12日に津市大里窪田、4月13日に多気町五桂および南伊勢町船越に各1器ずつ設置した。1か月に2回程度(原則として、第2週及び第4週)、11月1日まで調査した。

b 調査結果

対象種の侵入は確認されなかった。

誘引頭数

調査月	桑名市多度町小山						津市大里窪田町						多気町五桂						南伊勢町船越						紀北町道瀬						御浜町志原					
	ユーゲルア			メドフライコール			ユーゲルア			メドフライコール			ユーゲルア			メドフライコール			ユーゲルア			メドフライコール			ユーゲルア			メドフライコール			ユーゲルア			メドフライコール		
	ミカンコミバエ群	ウリミバエ	ミスジミバエ	チチュウカイミバエ	ミスジミバエ	その他	ミカンコミバエ群	ウリミバエ	ミスジミバエ	チチュウカイミバエ	ミスジミバエ	その他	ミカンコミバエ群	ウリミバエ	ミスジミバエ	チチュウカイミバエ	ミスジミバエ	その他	ミカンコミバエ群	ウリミバエ	ミスジミバエ	チチュウカイミバエ	ミスジミバエ	その他	ミカンコミバエ群	ウリミバエ	ミスジミバエ	チチュウカイミバエ	ミスジミバエ	その他	ミカンコミバエ群	ウリミバエ	ミスジミバエ	チチュウカイミバエ	ミスジミバエ	その他
4月			1						3						9						3						0						0		0	
5月			3						3						39						0						0						1		0	
6月			0						2						9						0						0						0		0	
7月			0						4						10						2						0						0		0	
8月			25						53						80						25						7						0		0	
9月			13						67						16						45						13						7		1	
10月			0						0						0						0						0						0		0	
合計			42						132						163						75						20						8		1	

(6) 火傷病侵入警戒調査

りんご、なしなどに被害をもたらす火傷病は、国内で発生・まん延した場合に農業生産に与える影響が極めて大きく、また、その宿主植物の輸入時における発見が困難であることから、植物防疫法で輸入禁止植物の対象病害として取り扱われている重要病害である。三重県においても、火傷病防疫指針に従い、侵入警戒調査を実施している。

a 調査方法

宿主植物のなかで、本県の果樹・花木を生産する目的で栽培される主要な植物として「日本なし」、「かなめもち」を選定し、調査対象植物とした。「日本なし」については主要な 5 産地にそれぞれ 1～2 か所ずつ調査地を設定した。また、「かなめもち」については農業研究所鈴鹿市駐在（旧花植木センター）に 1 か所の調査地を設定した。

火傷病の症状について、枝、葉、果実等で目視により確認した。

日本なしについては、2022 年 4 月から 9 月まで、1 か月に 1 回（第 2～3 週）調査した。

かなめもちについても、2022 年 4 月から 9 月まで、1 か月に 1 回（第 2～3 週）調査した。

b 調査樹種および地点

○日本なし（幸水、豊水）

調査圃場	調査樹数
四日市市下海老町	60
津市久居小野辺町	63
津市香良洲町	60
松阪市嬉野川北町	30
玉城町富岡	60
伊賀市羽根 1	33
伊賀市羽根 2	55

○かなめもち（レッドロビン）

調査圃場：鈴鹿市高塚町　農業研究所鈴鹿市駐在圃場

調査本数：40 本(植栽本数 6 本、34 本の 2 か所)

c 調査結果

対象病害の発生は確認されなかった。

2. 巡回等データ

(1) 水稲

a ブラスタムによる葉いもちの感染好適条件判定結果

●　:好適条件　(いもち病発生の好条件が全て満たされた。)
◎　:準好適条件(湿潤時間の平均気温が比較的低いが湿潤時間10時間以上)
○　:準好適条件(湿潤時間の平均気温は15～25℃でないが湿潤時間10時間以上)
▲　:準好適条件(前5日の平均気温は25℃以上だが湿潤時間10時間以上)
△　:準好適条件(前5日の平均気温は20℃未満だが湿潤時間10時間以上)
－　:好適条件・準好適条件は満たされなかった。

2022年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿	新宮(参考)	備考
5/01	－	○	○	－	－	－	○	◎	－	－	○	－	◎	
5/02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/03	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/04	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/05	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/06	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/07	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/08	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/09	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	
5/11	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	△	－	
5/12	－	－	－	△	－	－	－	－	－	－	◎	◎	－	
5/13	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/14	－	－	－	◎	－	△	△	－	－	△	－	－	－	
5/15	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/16	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	◎	◎	◎	
5/17	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/18	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/19	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/20	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/21	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/22	◎	－	－	－	－	△	○	△	△	－	－	－	－	
5/23	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/24	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/25	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/26	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/27	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/28	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/29	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/30	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
5/31	●	－	－	－	－	－	－	●	●	－	－	－	－	
6/01	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6/02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6/03	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6/04	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	
6/05	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6/06	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6/07	－	－	－	－	－	－	－	－	－	△	△	●	－	
6/08	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6/09	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6/10	－	－	－	－	－	－	－	－	◎	－	◎	－	－	東海地方梅雨入り
6/11	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	△	
6/12	●	－	●	●	●	－	◎	－	●	◎	－	●	－	
6/13	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6/14	－	△	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	△	
6/15	●	●	－	－	－	●	△	－	△	△	－	－	－	
6/16	－	－	－	－	－	●	◎	◎	－	●	●	－	－	
6/17	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6/18	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6/19	－	●	●	－	●	●	◎	●	●	－	●	－	－	
6/20	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6/21	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	－	
6/22	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6/23	－	●	－	●	●	●	－	－	－	●	●	－	－	
6/24	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6/25	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6/26	－	●	－	▲	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6/27	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6/28	－	－	－	－	－	－	－	?	－	－	－	－	－	
6/29	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6/30	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	いもち病注意報発出

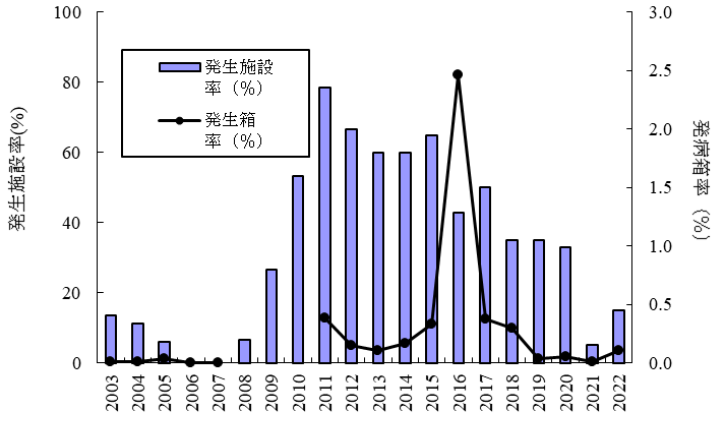
2022年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿	新宮(参考)	備考
7/01	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
7/02	?	?	－	?	－	?	?	?	－	?	－	?	－	
7/03	?	?	－	?	－	?	?	－	－	?	－	?	－	
7/04	○	▲	▲	▲	－	▲	?	▲	▲	▲	－	?	－	
7/05	▲	－	－	－	－	▲	－	▲	▲	▲	－	－	－	
7/06	○	－	▲	－	－	▲	－	▲	▲	－	▲	▲	－	
7/07	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
7/08	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
7/09	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
7/10	－	▲	▲	▲	－	○	▲	－	－	－	▲	－	○	
7/11	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
7/12	－	－	－	－	－	－	－	－	?	－	－	－	－	
7/13	－	－	▲	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
7/14	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
7/15	－	－	▲	－	－	－	－	－	－	▲	－	▲	－	
7/16	▲	－	－	－	▲	－	▲	－	－	▲	▲	－	－	
7/17	▲	●	▲	－	▲	－	●	－	▲	－	－	－	－	
7/18	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
7/19	－	○	▲	▲	○	－	－	－	－	－	－	▲	－	
7/20	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	
7/21	－	－	－	－	－	?	－	－	－	－	－	－	－	
7/22	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
7/23	－	▲	▲	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
7/24	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
7/25	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
7/26	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
7/27	－	○	－	－	○	－	○	－	－	－	－	－	－	
7/28	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
7/29	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
7/30	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	
7/31	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	
8/01	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	東海地方梅雨明け
8/02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
8/03	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
8/04	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
8/05	－	－	－	－	－	▲	－	－	－	－	－	－	－	
8/06	○	－	－	－	－	－	?	－	－	－	－	－	－	
8/07	－	－	▲	－	－	－	－	▲	－	－	－	－	－	
8/08	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	
8/09	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
8/10	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
8/11	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
8/12	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	
8/13	○	－	○	－	－	－	○	－	○	－	－	－	－	
8/14	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
8/15	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
8/16	－	－	－	－	○	○	－	－	○	－	－	－	－	
8/17	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	
8/18	－	－	－	－	－	－	▲	○	－	?	－	－	－	
8/19	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
8/20	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
8/21	－	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	
8/22	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	○	－	－	－	
8/23	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
8/24	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
8/25	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	
8/26	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
8/27	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
8/28	－	－	－	－	－	－	▲	▲	－	－	○	－	－	
8/29	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
8/30	－	－	▲	－	－	▲	●	▲	－	▲	－	－	▲	
8/31	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	○	－	

b 5月データ

水稲育苗施設巡回調査における、ばか苗病の発生状況（2022年4月）

調査日	JA育苗施設		コシヒカリ 発生箱率（%）	コシヒカリ 発生箱数	コシヒカリ 調査箱数	その他の品種 発生箱数	その他の品種 調査箱数	その他の品種 品種	種子消毒 床土消毒 播種時散布粒剤	培土
4/11	伊勢	紀宝	0.0	0	800	0	780	三重23号	温湯消毒 ナエファインフロアブル （前半タチガレエースM液）	クリーン2号
		御浜	0.6	3	500				紀宝で実施、播種翌日移動 ナエファインフロアブル （前半タチガレエースM液）	クリーン2号
		熊野	0.0	0	1000				温湯消毒 ナエファインフロアブル （前半タチガレエースM液）	クリーン2号
			–							
		紀北	0.0	0	1000				エコホープDJ ナエファインフロアブル	クリーン2号
			–							
4/12	伊勢	阿児	0.0	0	1,000	0	220	あきたこまち	温湯消毒 タチガレンM液剤	クリーン2号
			–			0	450	あゆみもち		
		北部	0.2	1	600	0	980	かぐらもち	エコホープDJ ナエファインフロアブル	クリーン2号
	多気郡	多気	0.0	0	1,000				温湯消毒 タチガレエースM液剤	軽量サンバイド（床土） サンバイド（覆土）
	みえなか	大足	0.0	0	1,000				温湯消毒 ナエファインフロアブル	粒状サンバイド 伊勢グリーン軽量培土
		多目的	0.0	0	1,000	0	1,000	三重23号	温湯消毒 タチガレエース液 ナエファインフロアブル	サンバイド
4/14	津安芸	櫛形	1.5	3	200				温湯消毒 ナエファインフロアブル	クリーン2号（床土） グリーンソイル（覆土）
	鈴鹿	南部	0.0	0	1,000	0	1,000	あきたこまち	テクリードC・スミチオン タチガレエースM液剤	クリーン2号
	みえきた	南部	0.0	0	1,000	0	450	キヌヒカリ	モミガードC・スミチオン ナエファインフロアブル	クリーン2号
		東員	0.0	0	300	2	600	キヌヒカリ	温湯消毒 テクリードC・スミチオン ナエファインフロアブル	クリーン2号 覆土三菱軽量
		桑名	0.0	0	600	0	240	なついろ	温湯消毒 テクリードC・スミチオン ナエファインフロアブル	クリーン2号
4/15	いが ふるさと	阿山	0.0	0	1,000	0	1000	キヌヒカリ	温湯消毒 ナエファインフロアブル	クリーン2号 一部城南培土
		上野南	0.0	0	1,000	0	1000	キヌヒカリ	温湯消毒 ナエファインフロアブル	クリーン2号
		名張	0.0	0	1,000				温湯消毒 ナエファインフロアブル	クリーン2号
	みえなか	白山	0.0	0	1,000				種子消毒：強酸性水 床土消毒：強酸性水	クリーン2号 サンバイド
		嬉野	0.0	0	1,000				温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号
		三雲	0.0	0	1,000				温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号

県全体平均（コシヒカリ）　0.11　（昨年0.01%）　発生施設率　3/20＝15%　（昨年5%）



JA育苗施設におけるばか苗病の発生状況の推移（2002年～2021年。
巡回調査結果。コシヒカリのみ。2008～2010年は発生箱率未調査）

水稲病害虫の発生状況（2022年5月）

地区	調査月日	調査圃場数	葉いもち発生圃場率(%)	補植苗確認圃場率(%)	イネミズゾウムシ 被害発生圃場率（%）	被害程度別圃場割合(%) 甚	多	中	少	無	株当たり成虫数（頭）	被害株率(%)	被害度	イネドロオイムシ発生圃場率%
桑名	5/6	17	0	47.1	47.1	0	0	0	47.1	52.9	0.01	14.8	3.7	0
四日市鈴鹿	5/10,5/11	39	0	41.0	66.7	0	0	0	66.7	33.3	0.02	12.0	3.3	0
津	5/11	32	0	53.1	71.9	0	0	3.1	68.8	28.1	0.02	15.4	3.8	0
松阪	5/6,5/12	32	0	43.8	56.3	0	0	0	56.3	43.8	0.00	7.8	1.9	0
伊勢志摩	5/6,5/9,5/10	32	0	21.9	71.9	0	0	3.1	68.8	28.1	0.02	23.3	5.9	0
伊賀	5/12	22	0	22.7	9.1	0	0	0	9.1	90.9	0.00	0.9	0.2	0
紀州	5/9	16	0	6.3	62.5	0	0	6.3	56.3	37.5	0.03	25.3	6.3	0
平均		190	0	35.8	57.9	0	0	2.1	55.8	42.1	0.01	17.5	3.6	0
前年		194	0	35.6	30.0	0	0	0.5	29.5	70.0	0.01	8.0	1.7	0
平年（10年平均）			0	36.9	41.9	0.1	0.7	2.8	38.3	58.1	0.03	11.9	3.2	0.1

定点におけるイネミズゾウムシ発生状況（2022年5月）

地区	調査場所	品種	移植（予定）日	移植時の殺虫剤・殺菌剤施用等	被害株率(‰)	被害度	被害程度	株当たり成虫数（頭）
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	コシヒカリ	5/2	なし	0	0	無	0
四日市鈴鹿	四日市市下海老町	ミルキークィーン	5/15	ヨーバルプライム箱粒剤	0	0	無	0
	菰野町千草	コシヒカリ	4/19	ルーチンエキスパート種子粉衣	4	1	少	0
	鈴鹿市矢橋町		5/中旬以降		未定植のため調査不能			
	鈴鹿市御薗町	コシヒカリ	4/23	Csオリゼディア箱粒剤	4	1	少	0
	亀山市山下町	コシヒカリ	4/23	ダントツ箱粒剤	0	0	無	0
津	津市安東町	コシヒカリ	4/23	なし	8	2	少	0
	津市安濃町草生	コシヒカリ	4/30	ブイゲットバリアード箱粒剤	40	10	少	0.08
	津市一志町井生	コシヒカリ	4/25	なし	40	10	少	0
松阪	松阪市美濃田町	コシヒカリ	4/27	バリアード箱粒剤	4	1	少	0
	多気町兄国	コシヒカリ	4/25	ルーチンエキスパート箱粒剤	0	0	無	0
	明和町坂本	コシヒカリ	4/25	ルーチンエキスパート箱粒剤	16	4	少	0.04
伊勢志摩	伊勢市円座町	コシヒカリ	4/18	オリゼメートオンコル粒剤	0	0	無	0
	玉城町蚊野	みえのえみ		なし	未定植のため調査不能			
	志摩市磯部町迫之郷	コシヒカリ	4/13	なし	60	15	少	0.16
伊賀	伊賀市大野木	コシヒカリ	5/5	ツインターボ箱粒剤	0	0	無	0
	伊賀市甲野	コシヒカリ	5/5	ツインターボ箱粒剤	0	0	無	0
紀州	紀北町赤羽	コシヒカリ	4/24	ファーストオリゼプリンス箱粒剤	4	1	少	0
	熊野市飛鳥町	コシヒカリ	4/29	ツインターボ箱粒剤	0	0	無	0
県試察圃	農業研究所	コシヒカリ	4/25	なし	84	21	中	0.17
定点平均		－	－	－	10.6	2.6	少	0.02
平年値（10年平均）		－	－	－	11.7	3.0		0.02

※イネミズゾウムシ被害度に対する被害程度：0（無）、1～20（少）、21～40（中）、41～70（多）、71以上（甚）

c 6月データ

本田および置き苗における葉いもちの発生状況（2022年6月）

地区	調査月日	調査圃場数	本田調査 発生程度別圃場割合（%） 発生有 計	甚	多	中	少	発生無	発病度	置き苗調査 放置率（置き苗のある圃場／調査圃場 %）	発生圃場率（置き苗に発病がある圃場/調査圃場 %）
桑名	6/6	28	0	0	0	0	0	100	0	17.9	3.6
四日市鈴鹿	6/3,6/7	40	0	0	0	0	0	100	0	10.0	0
津	6/3	32	0	0	0	0	0	100	0	21.9	9.4
松阪	6/2,6/6	32	0	0	0	0	0	100	0	12.5	3.1
伊勢志摩	6/2,6/8	33	0	0	0	0	0	100	0	9.1	0
伊賀	6/8	28	0	0	0	0	0	100	0	7.1	0
紀州	6/7	16	0	0	0	0	0	100	0	12.5	0
平均		209	0	0	0	0	0	100	0	12.9	2.4
前年		212	0	0	0	0	0	100	0	20.3	0.5
10年平均			0	0	0	0	0	100	0	13.1	0.3

表2　広域病害虫防除員によるいもち病初発調査（2022年6月）　畦畔から2条の100mを10圃場見歩き調査。

地区 調査月日	調査場所	本田調査 発生圃場率(%)	置き苗調査 放置率（置き苗が放置されていたほ場の割合%）	置き苗調査 発生圃場率（全調査圃場に対するいもち病の発生割合%）	備考
桑員 6/7,10	桑名市多度町小山	0	0	0	1圃場で藻が多発。3圃場でスクミリンゴガイの被害あり。
	東員町山田	0	0	0	イネミズゾウムシによる食害ほぼ無し。その他病害虫による症状特になし。
	いなべ市北勢町治田外面	0	0	0	イネミズゾウムシによる食害平年並みで小程度。その他病害虫による症状特になし。
四日市 6/24,27	四日市市北山町下野	0	0	0	葉色濃いがいもち発生なし。
	菰野町宿野	0	0	0	中干し頃、置き苗無し、本田で目立ったいもち病も無し。
鈴亀 6/4	鈴鹿市須賀町	0	10.0	0	畦畔雑草刈り取り良好。やや痛みのある苗が散見された。
	鈴鹿市算所町	0	0	0	タニシが多くみられたが卵塊や移動の跡がなくスクミリンゴガイでないと思われれる。
	鈴鹿市西富田町	0	30.0	0	圃場内の雑草が目立つ。圃場周辺部の欠株が多く、やや均平が悪い圃場もあった。
津市 6/2	津市森町	0	30.0	0	イネミズゾウムシの食害やや目立つ
	津市一志町井生	0	0	0	
	津市一志町八太	0	0	0	全体的に欠株がやや目立つ
松阪 飯多 6/4	松阪市美濃田町北蔵、八田	0	0	0	一部で雑草多コウキヤガラ、ヒエ、スクミリンゴガイ多数食害有。卵多数確認。
	松阪市岩内町東出	0	0	0	一部畦雑草多い。
	松阪市小野町字車	0	10.0	0	全体的にスクミリンゴガイ少々確認。乾田直は栽培2圃場含む。
伊勢 6/8	伊勢市上地町	0	20.0	0	
	玉城町上田辺	0	10.0	0	
	度会町大野木	0	0	0	
伊賀 6/2	伊賀市猪田	0	10.0	0	移植後7～10日
	伊賀市森寺	0	10.0	0	生育は良好。好天により藻が一部発生している。
	伊賀市下郡	0	40.0	0	雑草が一部で発生。
東紀州 6/9	熊野市金山	0	0	0	草丈：約45cm
	御浜町阿田和	0	10.0	0	草丈：約40cm
	紀宝町井田	0	0.0	0	草丈：45cm。
県全体		0	7.8	0	
県全体（前年）		0.4	9.1	0	
平年		0.04	15.2	0.3	

水稲の害虫発生状況（2022年6月）

地区	調査月日	調査圃場数	はらい落とし調査 セジロウンカ 成虫数/10株	ヒメトビウンカ 成虫数/10株）	ツマグロヨコバイ 成虫数/10株	ツマグロヨコバイ 幼虫数/10株	イネミズゾウムシ 成虫数/10株	フタオビコヤガ 発生圃場率(%)	イナゴ類 発生圃場率(%)	見取り調査 イネドロオイムシ 発生圃場率(%)	イネドロオイムシ 被害度	イネクロカメムシ 発生圃場率(%)	イネゾウムシ 被害発生圃場率(%)	その他病害虫（10株はらい落とし調査および10m見取り調査）
桑名	6/6	28	0.11	0.14	0.04	0	0.14	0	28.6	0	0	0	3.6	アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、ヒメトビウンカ
四日市鈴鹿	6/3,6/7	40	0	0.23	0.03	0.03	0.35	2.5	0	0	0	0	0	アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、ヒメトビウンカ
津	6/3	32	0	0.09	0.03	0.03	0.44	0	6.3	0	0	0	6.3	ヒメトビウンカ
松阪	6/2,6/6	32	0	0.13	0.06	0	0	0	6.3	0	0	0	0	ヒメトビウンカ
伊勢志摩	6/2,6/8	33	0	0.03	0.12	0.24	0.36	0	9.1	0	0	0	0	アカスジカスミカメ
伊賀	6/8	28	0	0.04	0	0	0	0	50.0	0	0	0	7.1	ヒメトビウンカ
紀州	6/7	16	0	0	0	0	0.31	0	31.3	0	0	0	6.3	アカスジカスミカメ
平均		209	0.01	0.11	0.04	0.05	0.23	0.5	16.3	0	0	0	2.9	
前年		212	0	0.04	0.04	0.004	0.34	0.9	24.5	1.9	0.02	1.4	2.8	
10年平均			0.002	0.04	0.06	0.10	0.39	0.8	28.6	3.6	0.10	0.2	12.5	

圃場周辺の雑草地における斑点米カメムシ類の発生状況（2022年6月）

地区	調査月日	調査地点数	ホソハリカメムシ成幼虫		クモヘリカメムシ成幼虫		シラホシカメムシ類成幼虫		アカスジカスミカメ成虫		アカヒゲホソミドリカスミカメ成虫		その他斑点米カメムシ成幼虫
			発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	
桑名	6/6	15	0	0	0	0	0	0	60.0	1.40	20.0	0.60	
四日市鈴鹿	6/3,6/7	25	4.0	0.04	0	0	4.0	0.04	28.0	0.60	8.0	0.20	
津	6/3	19	5.3	0.05	0	0	10.5	0.37	36.8	0.84	10.5	0.11	
松阪	6/2,6/6	19	5.3	0.05	0	0	0	0	31.6	0.84	10.5	0.11	
伊勢志摩	6/2,6/8	19	5.3	0.05	0	0	0	0	15.8	0.21	0	0	
伊賀	6/8	16	0	0	0	0	0	0	6.3	0.06	0	0	
紀州	6/7	10	10.0	0.10	0	0	0	0	30.0	0.80	10.0	0.10	
平均		123	4.1	0.04	0	0	2.4	0.07	29.3	0.66	9.8	0.15	
前年		124	6.5	0.09	3.2	0.06	4.8	0.05	14.5	0.56	1.6	0.03	
10年平均			6.8	0.10	0.3	0.01	4.0	0.07	38.3	2.41	10.4	0.27	

※畦畔、のり面、休耕地等における20回振りすくい取り調査

定点圃場（または畦畔、のり面）における病害虫発生状況（2022年6月）　※玉城町蚊野は未定植

地区	調査場所	葉いもち		はらい落とし調査（虫数/10株）					イネドロオイムシ		イネクロカメムシ		その他病害虫（見取り調査および圃場内（または畦畔、のり面）すくい取り虫数）
		発病度	発病程度	セジロウンカ成虫	ヒメトビウンカ成虫	ツマグロヨコバイ成虫	ツマグロヨコバイ幼虫	イネミズゾウムシ	被害度	発生程度	成虫数(/25株)	被害株率(%)	
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	アカスジカスミガメ成虫(1)、イナゴ類成虫(2)
四日市鈴鹿	四日市市下海老町	0	無	0	1	0	0	0	0	無	0	0	ヒメトビウンカ成虫(1)、ササキリ幼虫(3)
	菰野町千種	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫（1）、アカヒゲホソミドリカスミカメ成虫(1)
	鈴鹿市矢橋	0	無	0	0	0	0	2	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫（2）、アカヒゲホソミドリカスミカメ成虫(1)
	鈴鹿市御薗町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	イネヨトウ成虫（1）
	亀山市山下町	0	無	0	0	0	0	1	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫（4）
津	津市安東町	0	無	0	0	0	1	2	0	無	0	0	
	津市安濃町草生	0	無	0	0	0	0	1	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫（1）、シラホシカメ類幼虫(6)
	津市一志町井生	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫（1）
松阪	松阪市美濃田町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	ヒメトビウンカ成虫(3)
	多気町兄国	0	無	0	1	0	0	0	0	無	0	0	ヒメトビウンカ成虫(1)
	明和町坂本	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	ホソハリカメムシ成虫(1)
伊勢志摩	伊勢市円座町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
	玉城町蚊野	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	志摩市磯部町下之郷	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	カスミカメ類幼虫(1)
伊賀	伊賀市大野木	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	イナゴ類幼虫(5)
	伊賀市甲野	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	イナゴ類幼虫(7)、ヒメトビウンカ成虫(1)
紀州	紀北町赤羽	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(2)
	熊野市飛鳥町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
県予察圃	農業研究所	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	トゲシラホシカメムシ成虫(1)、アカスジカスミカメ成虫(7)、イナゴ類幼虫（2）,

葉いもち発病度（発病程度）;0（無）、1~20（少）、21~40（中）、41~70（多）、71以上（甚）。イネドロオイムシ被害度（発生程度）;0（無）、1~20（少）、21~50（中）、51~70（多）、71以上（甚）

スクミリンゴガイの発生状況（最近9年間）

地区	調査月日(2022年)	調査圃場数(2022年)	スクミリンゴガイの発生ほ場率(%)								
			2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
桑名	6/6	28	0	2.8	3.1	9.4	12.5	9.4	12.5	14.3	10.4
四日市鈴鹿	6/3,6/7	40	0	0	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	7.5	10.0
津	6/3	32	0	2.3	5.6	5.6	8.3	11.1	8.3	12.5	12.5
松阪	6/2,6/6	32	0	0	8.3	5.6	5.6	27.8	16.7	15.6	15.6
伊勢志摩	6/2,6/8	33	0	0	0	2.5	2.5	0	0	0	0
伊賀	6/8	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紀州	6/7	16	0	0	0	25.0	25.0	25.0	25.0	12.5	25.0
平均		209	0	0.6	3.4	5.9	6.8	9.7	8.1	8.5	9.6

d 7月データ

水稲病害発生状況（2022年7月）早期栽培

地区	調査月日	調査圃場数	葉いもち 程度別発生圃場率（%） 発生有 計	甚	多	中	少	発生無	発病度	発病株率(%)	上位葉進展率（発病株に対する割合%）	紋枯病 発生圃場率(%)	発病株率(%)
桑名	7/8	28	7.1	0	0	0	7.1	92.9	0.16	0.6	0	3.6	0.14
四日市鈴鹿	7/4.5	42	11.9	0	0	0	11.9	88.1	0.64	2.5	0	0	0
津	7/7	32	40.6	0	0	9.4	31.3	59.4	4.03	15.6	0	0	0
松阪	7/7.11.12	32	40.6	0	0	0	40.6	59.4	1.16	4.6	0	0	0
伊勢志摩	7/5.11.12	36	25.0	0	0	0	25.0	75.0	0.89	3.6	12.5	0	0
伊賀	7/8	28	21.4	0	0	0	21.4	78.6	0.29	1.1	0	0	0
紀州	7/12	16	18.8	0	0	0	18.8	81.3	1.44	5.8	0	0	0
県全体		214	23.8	0	0	1.4	22.4	76.2	1.22	4.7	1.6	0.5	0.02
前年		218	16.5	0	1	1.4	14.2	83.5	1.52	4.4	13.2	0.9	0.04
平年（10年平均）			8.3	0	0	0.5	7.7	91.7	0.49	1.8	4.8	3.4	0.29

水稲害虫発生状況（2022年7月）早期栽培

地区	調査月日	調査圃場数	はらい落とし調査（10株当たり） セジロウンカ 発生圃場率(%)	セジロウンカ 成虫数	トビイロウンカ 発生圃場率(%)	トビイロウンカ 成虫数	ヒメトビウンカ 発生圃場率(%)	ヒメトビウンカ 成虫数	ツマグロヨコバイ 発生圃場率(%)	ツマグロヨコバイ 成虫数	ツマグロヨコバイ 幼虫数	イネミズゾウムシ 発生圃場率(%)	イネミズゾウムシ 成虫数	フタオビコヤガ 発生圃場率(%)	フタオビコヤガ 成幼虫数	見取り調査 イネクロカメムシ 被害発生圃場率(%)	イネクロカメムシ 被害株率(%)	ニカメイガ 被害発生圃場率(%)	イネヨトウ 被害発生圃場率(%)	コブノメイガ 被害発生圃場率(%)
桑名	7/8	28	0	0	0	0	28.6	0.46	28.6	0.54	0.50	0	0	0	0	17.9	0.86	25.0	0	0
四日市鈴鹿	7/4.5	42	0	0	0	0	66.7	1.69	42.9	0.55	0.52	4.8	0.05	0	0	7.1	0.29	23.8	0	0
津	7/7	32	3.1	0.03	0	0	65.6	1.41	34.4	0.38	0.44	12.5	0.16	0	0	0	0	9.4	0	0
松阪	7/7.11.12	32	0	0	0	0	28.1	0.47	9.4	0.03	0.06	18.8	0.34	0	0	0	0	62.5	6.3	0
伊勢志摩	7/5.11.12	36	0	0	0	0	16.7	0.22	41.7	0.58	0.42	5.6	0.08	8.3	0.08	0	0	11.1	0	0
伊賀	7/8	28	0	0	0	0	7.1	0.07	0	0	0	3.6	0.04	7.1	0.11	10.7	0.43	25.0	0	3.6
紀州	7/12	16	0	0	0	0	18.8	0.19	37.5	1.00	1.44	0	0	0	0	6.3	0.25	31.3	0	0
県全体		214	0.5	0.005	0	0	36.0	0.73	28.5	0.41	0.42	7.0	0.10	2.3	0.03	5.6	0.24	26.2	0.9	0.5
前年		218	0	0	0	0	8.7	0.13	10.6	0.14	0.03	1.8	0.02	1.8	0.02	16.1	1.39	21.6	2.8	0.5
平年（10年平均）			1.1	0.01	0.04	0	12.7	0.21	24.3	0.22	0.78	4.9	0.07	3.0	0.03	12.3	1.02	12.1	1.1	0.5

虫数は調査圃場あたり

定点圃場における水稲病害虫発生状況（2022年7月）

地区	調査場所	葉いもち 発病株率(%)	発病度	発病程度	紋枯病 発病株率(%)	発病度	発病程度	すくい取り20回調査 ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ツマグロヨコバイ 成虫	ツマグロヨコバイ 幼虫	すくい取り調査・はらい落とし調査（斑点米カメムシ類・その他害虫）
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0		無	0		無	1	0	0	0	0	ウンカ類幼虫（2）
四日市鈴鹿	四日市市下海老町	0		無	0		無	7	0	0	0	0	ウンカ類幼虫(15)
	菰野町千草	0		無	0		無	0	0	0	0	0	ウンカ類幼虫（2）、ササキリ類幼虫（2）
	鈴鹿市矢橋町	0		無	0		無	0	0	0	0	0	アカスジ成虫(9)、アカヒゲ成虫(1)、ホソハリ幼虫(1)
	鈴鹿市御薗町	0		無	0		無	0	0	0	0	0	ウンカ類幼虫(1)、アカヒゲ成虫(1)
	亀山市山下町	0		無	0		無	0	0	0	0	0	クモヘリ幼虫(1)、ヒメトビ成虫（2）
津	津市安東町	0		無	0		無	0	0	0	0	0	ヒメトビウンカ成虫（2）、ツマグロ成虫(1)
	津市安濃町草生	100	27	中	0		無	0	0	0	0	0	ホソハリ成虫(4)、ヒメトビ成虫(1)
	津市一志町井生	0		無	0		無	0	0	0	0	0	クモヘリ成虫(1)、シラホシ成虫(1)
松阪	松阪市美濃田町	0		無	0		無	0	0	0	0	0	アカスジ成虫（2）、クモヘリ成虫(1)
	多気町兄国	0		無	0		無	0	0	0	0	0	ホソハリ成虫(1)、ヒメトビ成虫(2)
	明和町坂本	0		無	0		無	0	0	0	0	0	ホソハリ成虫(4)
伊勢志摩	伊勢市円座町	0		無	0		無	0	0	0	0	0	
	玉城町蚊野	48	12	少	0		無	0	0	0	0	0	トゲシラホシ成虫(1)、ツマグロ成虫(2)
	志摩市磯部町下之郷	0		無	0		無	0	0	0	0	0	クモヘリ成虫(1),イネカメ成虫(2)
伊賀	伊賀市大野木	0		無	0		無	0	0	0	0	0	イナゴ類幼虫(3)
	伊賀市甲野	0		無	0		無	0	0	0	0	0	ヒメトビ成虫(1)
紀州	紀北町赤羽	0		無	0		無	0	0	0	0	0	ササキリ類成虫(1)
	熊野市飛鳥町	0		無	0		無	0	0	0	0	0	クモヘリ成虫(2)、ツマグロ成虫(3)
県予察圃	農業研究所（無防除）	0		無	0		無	0	0	0	0	0	アカスジ成虫(1)、ヒメトビ成虫(1)

葉いもちおよび紋枯病発病度（発病程度）;0（無）、1~20（少）、21~40（中）、41~70（多）、71以上（甚）

斑点米カメムシ類の発生状況（20回振りすくい取り）（2022年7月）早期栽培

地区	調査月日	調査地点数	ホソハリカメムシ成幼虫		クモヘリカメムシ成幼虫		シラホシカメムシ類成幼虫		アカスジカスミカメ成虫		アカヒゲホソミドリカスミカメ成虫		ミナミアオカメムシ成幼虫		その他斑点米カメムシ類
			発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	発生地点率(%)	虫数	
桑名	7/8	15	40.0	1.00	6.7	0.13	20.0	0.20	60.0	2.00	33.3	0.73	6.7	0.07	
四日市鈴鹿	7/4.5	24	20.8	0.25	0	0	4.2	0.04	16.7	1.08	8.3	0.33	4.2	0.08	
津	7/7	18	31.6	0.53	26.3	0.79	21.1	0.21	21.1	0.95	5.3	0.74	5.3	0.05	
松阪	7/7.11.12	21	21.1	0.58	0	0	10.5	0.21	10.5	0.21	0	0	0	0	
伊勢志摩	7/5.11.12	20	9.5	0.14	9.5	1.10	14.3	0.14	9.5	0.10	4.8	0.05	0	0	イチモンジカメムシ
伊賀	7/8	16	0	0	0	0	0	0	12.5	0.31	0	0	0	0	イチモンジカメムシ
紀州	7/12	10	20.0	0.30	20.0	0.50	0	0	20.0	0.70	20.0	0.80	0	0	
県全体		124	20.2	0.39	8.1	0.36	10.5	0.12	20.2	0.74	8.9	0.34	2.4	0.03	
前年		124	6.5	0.12	3.2	0.04	6.5	0.10	17.7	1.29	4.8	0.10	0.8	0.01	
平年（10年平均）			15.5	0.34	7.0	0.43	9.0	0.13	32.3	2.83	11.2	0.35	1.6	0.06	

定点ほ場以外の畦畔、のり面等で調査したもの。

畦畔および圃場内における、斑点米カメムシ類（中型種成虫）の発生状況・広域病害虫防除員による調査（2022年7月）

地区	調査月日	調査場所	ホソハリカメムシ成虫数	クモヘリカメムシ成虫数	シラホシカメムシ類成虫数	備考
桑員	7/7	桑名市多度町小山	0	0	0	圃場2コナギ、チョウジタデ少々、圃場4ヤナム、チョウジタデ少々圃場8クログワイ、コナギ、アシカキ、ヤナギデデ多数圃場10ヤナム、クログワイ、コナギ多数
	7/1	東員町山田	3.4	0	0	中干時期で畦畔雑草も繁茂しておらず個体数は少なかった。
		いなべ市北勢町治田外面	0	0	0	出穂前のため畦畔で調査。除草されておりカメムシはほぼ見られなかった。
四日市	7/21	四日市市西坂部町	0.2	0.2	1.5	出穂期、品種コシヒカリ、圃場No1～9畦畔雑草は除草剤により管理されていた。ウンカ幼虫のような白い小さい虫が多く見られた。カスミカメNo1,4,9,10で合計22頭、No3ミナミアオ3頭、No5,6イナゴ各12頭。
	7/14	菰野町宿野	0	0	0	畦畔管理は適切。畦畔から捕獲調査を実施。幼虫も成虫も捕獲無し。
鈴亀	7/13	鈴鹿市須賀町	2.8	0	0.6	
		鈴鹿市算所	0.4	0	0.4	出穂前。畔草刈りに遭遇。
		鈴鹿市中富田町	0.2	0	2	梅雨の晴れ間、畔草刈りに遭遇することが多かった。出穂前。畔草で調査。
津市	7/4	津市森町	1.6	5.2	0.2	水稲出穂前、圃場4、5の畦畔雑草は50cm以上に繁茂。アカスジカスミカメ平均0頭/圃場。
		津市一志町井生	0.2	0	0	水稲出穂前、畦畔雑草は50cm以上に繁茂。一部にイナゴ、ササキリが散見。アカスジカスミカメ平均0.2頭/圃場。
		津市一志町八太	0.2	0	0	水稲出穂前、畦畔雑草はよく管理されている。アカスジカスミカメ平均1頭/圃場。
松阪飯多	7/6	松阪市美濃田町北蔵	0.6	0.0	0	圃場1,5シラホシ幼虫。圃場1,2,3ヒエ多い。圃場1～5スクミリンゴガイ卵多数確認。。
		松阪市岩内町東出	2.0	0.0	0	圃場1～3出穂始め。
		松阪市小野町字車	1	0.8	0	圃場2アオカメムシ4頭確認捕獲。スクミリンゴガイ稚貝多数確認。
伊勢	7/10	伊勢市上地町	2.4	0	1.2	全圃場出穂前。圃場1は草刈り未、畦畔イネ科雑草で調査。圃場2～5は畦畔除草済のため圃場内で調査。
		玉城町上田辺	0	0	0	全圃場出穂前であるが、畦畔草刈りされていたため、圃場内で調査。
		度会町大野木	0.4	1.4	0	圃場1,2は出穂前、圃場3,4,5は出穂初期。圃場1はイネ科雑草で調査。圃場2は畦畔草刈済。圃場2～5圃場内で調査。
伊賀	7/6	伊賀市猪田	0	0	0	いもち病が少発生。
	7/5	伊賀市森寺	0	0	0	ドロオイムシが一部で発生。イナゴ平均1．4頭/圃場。
		伊賀市下郡	0.2	0.2	0.2	イナゴが一部で発生。
東紀州	7/6	熊野市金山	2.4	2.4	0	草丈約70cm。圃場3は畦畔草刈り直後。
		御浜町下市木	1.2	0	0	草丈約75cm。
		紀宝町井田	0.8	0.4	0	草丈約80cm。
県全体			0.89	0.46	0.27	－
前年			0.66	1.74	0.18	－
平年値（10年平均）			0.41	0.46	0.09	－

すくいとり調査（各調査場所において、5ほ場×20回振り）、成虫数は1ほ場当りの頭数

スクミリンゴガイの発生状況（2022年7月）早期栽培

地区	調査月日	調査圃場数	スクミリンゴガイまたはその卵を確認したほ場の数	スクミリンゴガイまたはその卵を確認した圃場の割合（%）
桑名	7/8	28	3	10.7
四日市鈴鹿	7/4.5	42	4	9.5
津	7/7	32	4	12.5
松阪	7/7.11.12	32	3	9.4
伊勢志摩	7/5.11.12	36	0	0
伊賀	7/8	28	0	0
紀州	7/12	16	4	25.0
県全体		214	18	8.4

スクミリンゴガイの発生状況の推移（7月）

地区	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
桑名	18.8	12.5	12.5	6.3	10.7	10.7
四日市鈴鹿	8.3	8.3	6.3	8.3	9.5	9.5
津	11.1	11.1	11.1	11.1	9.4	12.5
松阪	11.1	11.1	27.8	22.2	15.6	9.4
伊勢志摩	0	0	0	0	0	0
伊賀	0	0	0	0	0	0
紀州	25	25.0	25.0	25.0	18.8	25
県全体	9.3	8.5	10.6	9.3	8.4	8.4

水稲病害発生状況（2022年7月）普通期栽培

地区	調査月日	調査圃場数	葉いもち									紋枯病	
			程度別発生圃場数						発病度	発病株率(%)	上位葉進展率（発病株に対する割合%）	発生圃場数	発病株率(%)
			発生有					発生無					
			計	甚	多	中	少						
桑名	7/8	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
四日市鈴鹿	7/4.5	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
津	7/7	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
松阪	7/11	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
伊勢志摩	7/11	3	3	0	0	1	2	0	17.3	64.0	79.2	0	0
県全体		16	3	0	0	1	2	13	2.6	10	79.2	0	0
前年		18	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0

水稲害虫発生状況（2022年7月）普通期栽培

地区	調査月日	調査圃場数	はらい落とし調査（10株当たり）													見取り調査				
			セジロウンカ		トビイロウンカ		ヒメトビウンカ		ツマグロヨコバイ			イネミズゾウムシ		フタオビコヤガ		イネクロカメムシ		ニカメイガ	イネヨトウ	コブノメイガ
			発生圃場数	成虫数	発生圃場数	成虫数	発生圃場数	成虫数	発生圃場数	成虫数	幼虫数	発生圃場数	成虫数	発生圃場数	成幼虫数	被害発生圃場数	被害株率(%)	被害発生圃場数	被害発生圃場数	被害発生圃場数
桑名	7/8	4	0	0	0	0	1	0.50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四日市鈴鹿	7/4.5	2	0	0	0	0	1	0.50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津	7/7	4	0	0	0	0	2	0.75	1	0.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松阪	7/11	3	0	0	0	0	2	2.33	1	0	0.33	0	0	0	0	0	0	2	0	0
伊勢志摩	7/11	3	0	0	0	0	0	0	1	0.33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県全体		16	0	0	0	0	6	0.81	3	0.13	0.06	0	0	0	0	0	0	2	0	0
前年		18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1.8	0	0	0

虫数は調査圃場あたり

e 8月データ

水稲病害発生状況（2022年8月）早期栽培

地区	調査月日	調査圃場数	葉いもち 発生圃場率(%)	葉いもち 発病株率(%)	葉いもち 上位葉進展率(発病株に対する割合%)	穂いもち 発生圃場率(%)	穂いもち 発病株率(%)	穂いもち 発病穂率(%)	紋枯病 程度別発生圃場率(%) 計	紋枯病 程度別発生圃場率(%) 甚	紋枯病 程度別発生圃場率(%) 多	紋枯病 程度別発生圃場率(%) 中	紋枯病 程度別発生圃場率(%) 少	紋枯病 発病度	紋枯病 発病株率(%)	白葉枯病 発生圃場率(%)	ごま葉枯病 発生圃場率(%)	(参考)縞葉枯病 発生圃場率(%)	(参考)ばか苗病 発生圃場率(%)	(参考)萎縮病 発生圃場率(%)	(参考)もみ枯細菌病 発生圃場率(%)	(参考)稲こうじ病 発生圃場率(%)
桑名	8/10	27	25.9	9.8	75.8	0	0	-	3.7	0	0	0	3.7	0.2	0.7	0	0	0	0	0	0	0
四日市鈴鹿	8/4.12	42	19.0	10.1	36.5	7.1	0.8	0.08	11.9	0	0	0	11.9	0.3	1.0	0	0	0	0	0	0	0
津	8/8.9	32	34.4	10.1	29.6	31.3	10.1	0.83	25.0	0	0	0	25.0	0.9	3.1	0	0	0	0	0	0	0
松阪	8/5.8.12	32	28.1	5.5	77.3	18.8	3.1	0.13	46.9	0	0	0	46.9	2.3	8.3	0	0	0	0	0	0	0
伊勢志摩	8/8.10.12	36	27.8	3.6	0	19.4	4.1	0.20	5.6	0	0	0	5.6	0.1	0.6	0	0	0	0	0	0	0
伊賀	8/9	28	21.4	5.6	0	7	0.3	0.01	18	0	0	0	17.9	0.9	2.7	0	0	0	0	0	0	0
紀州	8/4.12	16	0	0	-	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均		213	23.9	6.7	39.9	13.1	2.9	0.19	16.9	0	0	0	16.9	0.7	2.4	0	0	0	0	0	0	0
前年		211	28.0	5.5	16.7	9.0	3.2	0.16	11.8	0	0	0.5	11.4	0.5	1.9	0	0	0	0	0	0	0
平年値（10年平均）			9.6	1.7	24.8	4.3	0.7	0.07	24.6	0	0	0.6	24.0	1.2	3.4	0.03	2.1	0	0.16	0	0	0.07

穂いもち発生状況・広域病害虫防除員による調査（2022年8月）

地区	調査月日	調査場所	発病株率(%)[a]	発病穂率(%) 計	発病穂率(%) 穂首[a]	発病穂率(%) 枝梗[a]	備考
桑員	8/12	桑名市多度町小山	0	0	0	0	
	8/8	東員町山田	0	0	0	0	葉いもちが微発生。カメムシ昨年並み。
		いなべ市北勢町治田外面	0	0	0	0	葉いもちが微発生。カメムシ昨年並み。
四日市	8/18	四日市市西坂部町	6.40	0.23	0	0.23	倒伏ﾚﾍﾞﾙ4、葉いもちに感染した形跡はあるが、穂いもちは防除の効果も有り少ない。
	8/9	菰野町宿野	0	0	0	0	特にいもち病無し。ﾗｼﾞｺﾍﾘ実施圃場で虫も少ない。バッタ等は確認した。
鈴亀	8/10	鈴鹿市須賀町	0	0	0	0	傾穂期、湛水、褐変籾目立つ。
		鈴鹿市算所	0	0	0	0	傾穂期、湛水、褐変籾散見、ニカメイガらしき散見
		鈴鹿市中富田町	0	0	0	0	圃場4開花期、5傾穂期初め、褐変籾少、湛水。圃場1～3ニカメイガ散見
津市	8/2	津市森町	1.60	0.09	0	0.09	傾穂期～乳熟期、イナゴ一部発生、圃場4は葉いもちの病斑が見られる。
		津市一志町井生	0.80	0.04	0	0.04	傾穂期、イナゴ多い。
		津市一志町八太	0	0	0	0	傾穂期～乳熟期、イナゴ多い。
松阪飯多	8/4	松阪市美濃田町北蔵	0	0	0	0	圃場2～4ヒエ多し、
		松阪市岩内町東出	0	0	0	0	圃場1～3イナゴ多数発生。圃場5一部倒伏。
		松阪市小野町字車	0	0	0	0	圃場1生育肥料ムラ有、圃場5生育肥料ムラ有、一部倒伏。
伊勢	8/8	伊勢市上地町	4.00	0.20	0.20	0	
		玉城町上田辺	13.60	0.81	0.32	0.49	
		度会町大野木	8.80	0.45	0.30	0	
伊賀	8/6	伊賀市猪田	0	0	0	0	葉いもち少。
		伊賀市森寺	0	0	0	0	イナゴ多、紋枯中。
		伊賀市下郡	0	0	0	0	紋枯中。
東紀州	8/6	熊野市金山	0	0	0	0	イナゴ多数。
		御浜町下市木	1.60	0.08	0	0.08	カメムシ散見。
		紀宝町井田	0	0	0	0	
		平均	1.60	0.08	0.04	0.05	
		前年	3.20	0.16	0.08	0.07	
		平年(10年平均)	1.95	0.22	0.11	0.11	

水稲害虫発生状況（2022年8月）早期栽培

地区	10株払い落とし調査 セジロウンカ 発生圃場率(%)	セジロウンカ 成虫数	トビイロウンカ 発生圃場率(%)	トビイロウンカ 成虫数	ヒメトビウンカ 発生圃場率(%)	ヒメトビウンカ 成虫数	ウンカ類幼虫 発生圃場率(%)	ウンカ類幼虫 幼虫数	ツマグロヨコバイ 発生圃場率(%)	ツマグロヨコバイ 成虫数	ツマグロヨコバイ 幼虫数	イネミズゾウムシ 発生圃場率(%)	イネミズゾウムシ 成虫数	フタオビコヤガ 発生圃場率(%)	フタオビコヤガ 成幼虫数	見取り調査による被害発生圃場率(%) イネヨトウ	ニカメイガ	イチモンジセセリ	アワヨトウ	コブノメイガ	イネクロカメムシ	ササキリ類	イナゴ類
桑名	0	0	0	0	25.9	0.37	33.3	1.07	48.1	0.44	1.07	3.7	0.11	3.7	0.04	0	29.6	0	0	0	0	0	22.2
四日市鈴鹿	2.4	0.02	0	0	19.0	0.38	47.6	2.24	57.1	4.24	7.29	0	0	7.1	0.07	0	2.4	0	0	0	0	4.8	19.0
津	0	0	0	0	56.3	1.03	46.9	1.13	59.4	1.03	17.63	0	0	3.1	0.03	0	37.5	0	0	0	0	0	50.0
松阪	0	0	0	0	62.5	2.16	40.6	0.94	0	0	0	0	0	0	0	0	21.9	0	0	0	3.1	12.5	15.6
伊勢志摩	2.8	0.03	0	0	36.1	1.14	36.1	0.61	63.9	1.92	7.50	0	0	0	0	0	11.1	0	0	0	0	0	11.1
伊賀	0	0	0	0	21.4	0.25	32.1	0.61	14.3	0.07	0.32	0	0	0	0	0	10.7	3.6	0	0	0	0	42.9
紀州	0	0	0	0	6.3	0.13	18.8	0.19	12.5	0.13	0	18.8	0.25	0	0	0	6.3	0	0	0	0	0	12.5
平均	0.9	0.01	0	0	35.2	0.92	39.9	1.15	39.4	1.38	5.53	1.9	0.03	2.3	0.02	0	16.9	0.5	0	0	0.5	3.3	25.4
前年	1.9	0.03	0	0	45.0	1.52	34.1	1.36	40.3	1.33	2.10	0.9	0.01	0.9	0.02	0.5	15.6	0.9	0.5	0	5.2	5.7	43.6
平年値（10年平均）	4.5	0.08	0	0	24.0	0.44	41.8	1.93	35.6	1.11	2.27	7.5	0.12	11.3	0.22	0.8	13.1	0.4	3.1	4.3	2.0	7.1	18.7

圃場内の斑点米カメムシ類の発生状況（2022年8月、20回振りすくい取り調査、圃場内）早期栽培

地区	調査月日	調査圃場数	斑点米カメムシ類 発生程度別発生圃場率(%)					ホソハリカメムシ成幼虫		クモヘリカメムシ成幼虫		シラホシカメムシ類成幼虫		アカスジカスミカメ成虫		ミナミアオカメムシ成幼虫		イネカメムシ成幼虫		その他カメムシ類
			計	甚	多	中	少	発生圃場率(%)	虫数	発生圃場率(%)	虫数	発生圃場率(%)	虫数	発生圃場率(%)	虫数	発生圃場率(%)	虫数	発生圃場率(%)	虫数	
桑名	8/10	27	48.1	0	0	3.7	44.4	18.5	0.26	7.4	0.07	18.5	0.19	7.4	0.11	11.1	0.11	7.4	0.15	
四日市鈴鹿	8/4.12	42	52.4	0	0	14.3	38.1	7.1	0.12	16.7	0.45	4.8	0.07	21.4	0.48	16.7	0.24	2.4	0.02	
津	8/8.9	32	81.3	0	3	31.3	46.9	40.6	0.69	28.1	0.56	31.3	0.94	25.0	0.50	6.3	0.09	28.1	0.47	
松阪	8/5.8.12	32	56.3	0	0	21.9	34.4	21.9	0.25	21.9	0.44	15.6	0.31	25.0	0.47	3.1	0.13	21.9	0.44	
伊勢志摩	8/8.10.12	36	77.8	0	2.8	33.3	41.7	22.2	0.33	52.8	2.53	0	0	33.3	0.64	3	0.03	8.3	0.08	
伊賀	8/9	28	28.6	0	0	0	28.6	14.3	0.18	0	0	3.6	0.04	7.1	0.14	0	0	10.7	0.11	
紀州	8/4.12	16	37.5	0	0	12.5	25.0	18.8	0.25	18.8	0.25	0	0	0	0	13	0.25	12.5	0.19	
平均		213	56.8	0	0.9	17.8	38.0	20.2	0.30	22.1	0.69	10.8	0.23	19.2	0.38	7.5	0.12	12.7	0.20	
前年			47.9	1.9	2.8	8.1	35.1	12.3	0.24	16.1	2.41	5.7	0.06	19.0	0.44	3.8	0.06	13.3	0.28	
平年値（10年平均）			44.5	0.7	2.0	8.4	33.5	15.5	0.25	13.7	1.23	6.2	0.08	20.4	0.49	2.3	0.05	3.7	0.06	

発生程度別基準・すくい取り虫数（20回振）：（甚）31以上、（多）11～30、（中）4～10、（少）1～3、（無）0　虫数・頭/圃場

定点圃場における水稲病害虫発生状況（2022年8月）

地区	調査場所	穂いもち 発病穂率(%)	穂いもち 発病程度	紋枯病 発病度	紋枯病 発病程度	すくい取り虫数/20回 セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ウンカ類幼虫	ツマグロヨコバイ 成虫	ツマグロヨコバイ 幼虫	斑点米カメムシ類ほか	その他病害虫（払落し、見取り）
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	無	0	無	0	0	22	0	0	0	ｸﾓﾍﾘｶﾒﾑｼ	ｳﾝｶ類幼虫
四日市鈴鹿	四日市市下海老町	0	無	0	無	0	0	0	0	1	1		
	菰野町千種	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0	ｱｶｽｼﾞｶｽﾐｶﾒ	ﾋﾒﾄﾋﾞｳﾝｶ、ｳﾝｶ類幼虫
	鈴鹿市矢橋町	0	無	0	無	0	0	0	0	16	8	ｻｻｷﾘ類	ﾄｹﾞｼﾗﾎｼｶﾒﾑｼ
	鈴鹿市御薗町	0	無	2	少	0	0	0	0	0	0	ｸﾓﾍﾘｶﾒﾑｼ	
	亀山市山下町	0	無	0	無	0	0	0	0	4	0	ｻｻｷﾘ類	ｳﾝｶ類幼虫、ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ幼虫
津	津市安東町	0	無	0	無	0	0	1	0	5	8	ﾎｿﾊﾘｶﾒﾑｼ、ｱｶｽｼﾞｶｽﾐｶﾒ、ｻｻｷﾘ類	ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ
	津市安濃町草生	1.4	少	0	無	0	0	2	0	0	0	ﾎｿﾊﾘｶﾒﾑｼ、ｲﾈｶﾒﾑｼ、ﾄｹﾞｼﾗﾎｼ、ｲﾅｺﾞ類	ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ、ﾆｶﾒｲｶﾞ
	津市一志町井生	0	無	10	少	0	0	0	0	14	15	ｸﾓﾍﾘｶﾒﾑｼ	ﾋﾒﾄﾋﾞｳﾝｶ、ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ
松阪	松阪市美濃田町	0	無	0	無	0	0	3	0	0	0	ﾎｿﾊﾘｶﾒﾑｼ、ｲﾈｶﾒﾑｼ、ｱｶｽｼﾞｶｽﾐｶﾒ、ｲﾅｺﾞ類	
	多気町兄国	0	無	0	無	0	0	15	20	6	0	ﾎｿﾊﾘｶﾒﾑｼ	ﾋﾒﾄﾋﾞｳﾝｶ、ｳﾝｶ類幼虫、ﾆｶﾒｲｶﾞ、ｲﾅｺﾞ類
	明和町坂本	0	無	0	無	0	0	6	2	0	0		
伊勢志摩	伊勢市円座町	0	無	0	無	0	0	0	0	4	0	ﾎｿﾊﾘｶﾒﾑｼ、ｸﾓﾍﾘｶﾒﾑｼ	
	玉城町蚊野	1.3	少	0	無	0	0	1	0	3	0		ﾎｿﾊﾘｶﾒﾑｼ
	志摩市磯部町下之郷	0	無	0	無	0	0	2	0	0	0	ｸﾓﾍﾘｶﾒﾑｼ	
伊賀	伊賀市大野木	0	無	0	無	0	0	1	0	0	0		
	伊賀市甲野	0	無	0	無	2	0	1	1	0	0	ｲﾅｺﾞ類	ﾎｿﾊﾘｶﾒﾑｼ
紀州	紀北町島原	0	無	0	無	1	0	4	0	0	0	ﾎｿﾊﾘｶﾒﾑｼ、ｲﾈｶﾒﾑｼ	ﾄｹﾞｼﾗﾎｼｶﾒﾑｼ
	熊野市飛鳥町	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0		
平均		0.15		0.63		0.2	0	3.1	1.2	2.8	1.7		
前年		0.59		0.00		0	0	2.3	2.7	3.5	2		
平年値（10年平均）		0.08		1.25		0.6	0	2.5	8.4	6.4	4.1		
県予察圃	農業研究所（無防除）	0	無	0	無	0	0	0	0	1	0		

穂いもち発病穂率（発病程度）；0（無）、1~10（少）、11~30（中）、31~60（多）、61以紋枯病発病度（発病程度）；0（無）、1~20（少）、21~40（中）、41~70（多）、71以上（甚）

水稲病害発生状況（2022年8月）普通期栽培

地区	調査月日	調査圃場数	穂いもち 発生圃場数	穂いもち 発病株率(%)	穂いもち 発病穂率(%)	葉いもち 発生圃場数	葉いもち 発病株率(%)	葉いもち 上位葉進展率(発病株に対する割合%)	紋枯病 程度別発生圃場数 計	紋枯病 程度別発生圃場数 甚	紋枯病 程度別発生圃場数 多	紋枯病 程度別発生圃場数 中	紋枯病 程度別発生圃場数 少	紋枯病 発病度	紋枯病 発病株率(%)	白葉枯病 発生圃場数	ごま葉枯病 発生圃場数	(参考)縞葉枯病 発生圃場数	(参考)ばか苗病 発生圃場数	(参考)萎縮病 発生圃場数	(参考)もみ枯細菌病 発生圃場数	(参考)稲こうじ病 発生圃場数
桑名	8/10	4	0	0	0	4	29.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
四日市鈴鹿	8/4.12	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
津	8/8	4	0	0	0	4	19.0	52.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
松阪	8/8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
伊勢志摩	8/10	3	0	0	0	3	57.3	41.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
合計・平均		20	0	0	0	11	18.2	30.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
前年		22	0	0	0	5	13.6	9.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-

水稲害虫発生状況（2022年8月）普通期栽培

地区	調査圃場数	10株払い落とし調査 セジロウンカ 発生圃場数	セジロウンカ 成虫数	トビイロウンカ 発生圃場数	トビイロウンカ 成虫数	ヒメトビウンカ 発生圃場数	ヒメトビウンカ 成虫数	ウンカ類幼虫 発生圃場数	ウンカ類幼虫 幼虫数	ツマグロヨコバイ 発生圃場数	ツマグロヨコバイ 成虫数	ツマグロヨコバイ 幼虫数	イネミズゾウムシ 発生圃場数	イネミズゾウムシ 成虫数	フタオビコヤガ 発生圃場数	フタオビコヤガ 成幼虫数	見取り調査による被害発生圃場数 イネヨトウ	ニカメイガ	イチモンジセセリ	アワヨトウ	コブノメイガ	イネクロカメムシ	ササキリ類	イナゴ類
桑名	4	0	0	0	0	2	1.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	2
四日市鈴鹿	6	0	0	0	0	2	0.83	3	2.67	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
津	4	0	0	0	0	4	4.25	3	1.75	4	3.25	5.50	0	0	1	0.25	0	2	2	0	0	0	0	1
松阪	3	0	0	0	0	1	0.67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊勢志摩	3	2	0.67	0	0	2	2.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0
合計・平均	20	2	0.10	0	0	11	2.85	4	0.75	4	0.65	1.10	0	0	1	0.05	0	4	2	0	3	4	0	3
前年		1	0.05	0	0	7	1.05	0	0	6	0.45	0.32	2	0.18	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5

虫数・頭／調査圃場

圃場内の斑点米カメムシ類の発生状況（2022年8月、20回振りすくい取り調査、出穂前のため畦畔で実施）普通期栽培

地区	調査月日	調査圃場数	斑点米カメムシ類 発生程度別発生圃場数 計	甚	多	中	少	ホソハリカメムシ成幼虫 発生圃場数	虫数	クモヘリカメムシ成幼虫 発生圃場数	虫数	シラホシカメムシ類成幼虫 発生圃場数	虫数	アカスジカスミカメ成虫 発生圃場数	虫数	ミナミアオカメムシ成幼虫 発生圃場数	虫数	その他斑点米カメムシ類
桑名	8/10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
四日市鈴鹿	8/4.12	4	3	0	0	0	3	2	0.75	0	0	0	0	1	0.25	0	0	
津	8/8	2	1	0	0	0	1	1	0.50	0	0	0	0	0	0	0	0	
松阪	8/8	2	1	0	0	1	0	1	0.50	1	0.50	0	0	1	1.50	0	0	
伊勢志摩	8/10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計・平均		12	5	0	0	1	4	4	0.42	1	0.08	0	0	2	0.33	0	0	
前年		12	4	0	1	0	3	1	0.31	0	0	2	0.46	3	1.38	0	0	

発生程度別基準・すくい取り虫数（20回振）：（甚）31以上、（多）11～30、（中）4～10、（少）1～3、（無）0　虫数・頭／調査個所

f 9月データ

水稲（普通期）病害発生状況（2022年9月）

地区	調査月日	調査圃場数	葉いもち 発生圃場数	葉いもち 発病株率(%)	穂いもち 発生圃場数	穂いもち 発病株率(%)	穂いもち 発病穂率(%)	紋枯病 程度別発生圃場数 計	紋枯病 程度別発生圃場数 甚	紋枯病 程度別発生圃場数 多	紋枯病 程度別発生圃場数 中	紋枯病 程度別発生圃場数 少	紋枯病 発病度	紋枯病 発病株率(%)	ごま葉枯病 発生圃場数	ごま葉枯病 発病度	ごま葉枯病 発病株率(%)	白葉枯病 発生圃場数	稲こうじ病 発生圃場数
桑名	9/12	4	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2.8	11.0	0	0	0	0	1
四日市鈴鹿	9/7.9/9	6	4	9.3	0	0	0	2	0	0	0	2	0.8	3.3	0	0	0	0	2
津	9/13	4	2	20.0	1	7.0	0.7	2	0	0	0	2	1.0	4.0	0	0	0	0	2
松阪	9/9	3	3	53.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊勢志摩	9/8	3	3	40.0	3	50.7	8.4	2	0	0	0	2	5.0	14.7	3	22.0	77.3	0	0
合計・平均		20	12	20.8	4	9.0	1.5	8	0	0	0	8	1.8	6.2	3	3.3	11.6	0	5
前年		20	4	13.0	2	3.4	2.0	5	0	0	1	4	2.5	7.6	4	3.5	13.8	0	0

合計・平均欄の発生圃場数は合計、発病株率、発病穂率、発病度は平均

水稲（普通期）害虫発生状況（2022年9月）

地区	調査月日	調査圃場数	10株払い落とし調査 セジロウンカ 発生圃場数	セジロウンカ 成虫数	トビイロウンカ 発生圃場数	トビイロウンカ 成虫数	ヒメトビウンカ 発生圃場数	ヒメトビウンカ 成虫数	ウンカ類幼虫 発生圃場数	ウンカ類幼虫 幼虫数	ツマグロヨコバイ 発生圃場数	ツマグロヨコバイ 成虫数	ツマグロヨコバイ 幼虫数	フタオビコヤガ 発生圃場数	フタオビコヤガ 成幼虫数	見取り調査による被害発生圃場数 イネヨトウ	ニカメイガ	ササキリ類	イナゴ類	アワヨトウ	イチモンジセセリ	コブノメイガ
桑名	9/12	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.25	0	1	3	3	0	0	0
四日市鈴鹿	9/7.9/9	6	0	0	0	0	1	0.33	0	0	1	0.50	0	1	0.33	0	0	2	2	0	0	0
津	9/13	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松阪	9/9	3	0	0	0	0	2	1.33	1	0.33	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	1
伊勢志摩	9/8	3	0	0	0	0	1	0.33	2	5.33	2	0.67	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0
合計・平均		20	0	0	0	0	4	0.35	3	0.85	3	0.25	0	2	0.15	0	6	6	8	0	0	1
前年		20	3	0.20	0	0	11	2.50	5	0.45	7	1.10	0.20	0	0	0	2	1	7	0	2	7

合計・平均欄の発生圃場数は合計、成虫数、幼虫数は平均

圃場内の斑点米カメムシ類の発生状況（2022年9月、20回振りすくい取り調査）普通期栽培

地区	調査圃場数	ホソハリカメムシ成幼虫 発生圃場数	ホソハリカメムシ成幼虫 虫数	クモヘリカメムシ成幼虫 発生圃場数	クモヘリカメムシ成幼虫 虫数	シラホシカメムシ類成幼虫 発生圃場数	シラホシカメムシ類成幼虫 虫数	アカスジカスミカメ成虫 発生圃場数	アカスジカスミカメ成虫 虫数	ミナミアオカメムシ成幼虫 発生圃場数	ミナミアオカメムシ成幼虫 虫数	イネカメムシ成幼虫 発生圃場数	イネカメムシ成幼虫 虫数
桑名	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四日市鈴鹿	4	2	0.75	2	0.50	0	0	0	0	1	0.25	0	0
津	2	1	2.00	2	2.00	0	0	0	0	1	8.00	2	4.00
松阪	2	2	11.00	2	6.50	0	0	1	1.00	0	0	0	0
伊勢志摩	2	0	0	2	4.50	0	0	0	0	0	0	1	1.00
合計・平均	12	5	2.42	8	2.33	0	0	1	0.17	2	1.42	3	0.83
前年	20	8	1.25	10	8.25	3	0.30	6	1.50	8	2.50	13	2.20

合計・平均欄の発生圃場数は合計、虫数は平均

2022年　巡回調査結果・作物（水稲）

定点圃場における斑点米および斑点米カメムシ類発生状況（2022年）

地区	調査場所	品種	移植日	採取日	斑点米発生率(%) 精玄米調査(1.85mm) カメムシ被害粒発生率	斑紋型変色	くさび型加害	頂部の黒変	基部の黒変	側部加害・鉤合部の黒点	斑点米カメムシ類(8月) 20回振すくいとり虫数
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	コシヒカリ	5/2	8/23	1.7	0.0	0.1	0	0	1.6	クモヘリカメムシ成虫１
四日市鈴鹿	四日市市下海老町	ﾐﾙｷｰｸｲｰﾝ	5/15	8/23	0.5	0	0.2	0	0	0.3	アカスジカスミカメ成虫1
	菰野町千草	コシヒカリ	4/19	8/15	3.4	0	0.2	0	0.7	2.5	
	鈴鹿市矢橋町			9/7	6.2	3.2	0.1	1.0	1.0	0.9	
	鈴鹿市御薗町	コシヒカリ	4/23	8/15	0.6	0.1	0.1	0	0	0.4	ホソハリカメムシ成虫1
	亀山市山下町	コシヒカリ	4/23	8/15	3.6	0.1	1.8	0.1	0	1.6	
津	津市安東町	コシヒカリ	4/23	8/15	2.2	0	0.2	0.3	0	1.7	ホソハリカメムシ成虫1、クモヘリカメムシ幼虫1、アカスジカスミカメ成虫1
	津市安濃町草生	コシヒカリ	4/30	8/23	0.4	0.1	0	0	0.1	0.2	ホソハリカメムシ成虫2、トゲシラホシカメムシ成虫2幼虫2、イネカメムシ幼虫1
	津市一志町井生	コシヒカリ	4/25	8/15	3.7	1.1	0.2	0.0	0.1	2.3	クモヘリカメムシ成虫1
松阪	松阪市美濃田町	コシヒカリ	4/27	8/8	3.6	0.8	0.2	0.4	0	2.2	ホソハリカメムシ幼虫1、イネカメムシ成虫1、アカスジカスミカメ成虫1
	多気町兄国	コシヒカリ	4/25	8/15	0.5	0.2	0	0.1	0	0.2	ホソハリカメムシ幼虫1
	明和町坂本	コシヒカリ	4/25	8/15	2.5	0	0.1	0.3	0	2.1	
伊勢志摩	伊勢市円座町	コシヒカリ	4/18	8/23	3.2	0.8	0.1	0.3	0	2.0	ホソハリカメムシ幼虫1、クモヘリカメムシ幼虫2
	玉城町蚊野			9/22	26.5	17.0	0.6	4.1	0.9	3.9	未調査
	志摩市磯部町下之郷	コシヒカリ	4/13	8/10	2.9	0	0.1	0	0	2.8	クモヘリカメムシ成虫1
伊賀	伊賀市大野木	コシヒカリ	5/5	8/23	5.6	0.7	0	0.9	0.6	3.4	
	伊賀市甲野	コシヒカリ	5/5	8/23	2.2	0.2	0.1	0	0	1.9	ホソハリカメムシ成虫1、イネカメムシ幼虫1
紀州	紀北町赤羽	コシヒカリ	4/24	8/12	2.9	0.1	0	0	0	2.8	クモヘリカメムシ幼虫2、イネカメ幼虫2
	熊野市飛鳥町	コシヒカリ	4/29	8/15	0.7	0	0.1	0.1	0	0.5	
県予察圃	松阪市嬉野川北町・無防除	コシヒカリ	4/25	8/16	4.6	1.1	0.1	0	0.4	3.0	
定点平均			-		3.84	1.28	0.22	0.40	0.18	1.75	斑点米カメムシ類成幼虫数・定点平均1.5頭
前年			-		1.12	0.30	0.17	0.22	0.22	0.22	同前年1.4頭
平年値（10年平均）			-		0.65	0.32	0.09	0.17		0.08	同平年1.5頭

頂部の黒変、基部の黒変は令和3年より分けて調査。令和2年まではまとめて調査していたので、平年値は頂部、基部の合計。

(2) 麦類

コムギ病害虫の発生状況（2022年4月）

地区	調査地点	調査日	さび病類 発病程度	うどんこ病 発病程度	黒節病 発病茎率 (%)	縞萎縮病 発病茎率 (%)	アブラムシ類 寄生程度	ハモグリバエ類 寄生茎率(%)	品種	生育状況
桑名	いなべ市大安町片樋	4/8	0	0	0	0	0	0	あやひかり	草丈68cm（昨年83cm）、穂揃期
四日市鈴鹿	菰野町竹成・音羽	4/13	0	0	0	0	0	0	あやひかり	草丈68cm（昨年80cm）、止葉抽出期～穂ぞろい期、微発生アブラムシ
	鈴鹿市下大久保		0	0	0	0	0	0	あやひかり	草丈70cm（昨年95cm）、穂揃期
津	津市殿村	4/12	0	0	0	0	0	0	あやひかり	草丈64cm（昨年70cm）、出穂期
松阪	松阪市藤之木	4/11	0	0	0	0	0	0	あやひかり	草丈74cm（昨年85cm）、出穂期
	多気町兄国		0	0	0	0.2	0	0	ニシノカオリ	草丈79cm（昨年85cm）、穂揃い期（開花前）
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	4/7	0	0	0	0	0	0	ニシノカオリ	草丈68cm（昨年90cm）、止葉抽出期～穂ばらみ期
伊賀	伊賀市西之澤	4/11	0	0	0	0	0	0	タマイズミR	草丈44cm（昨年50cm）、穂ばらみ期
	伊賀市畑村		0	0	0	0	0	0	タマイズミR	草丈45cm（昨年55cm）、穂ばらみ期
県全体			0	0	0	0.02	0	0		―
前年			0	2.8	0	0	0	0		－
平年（10年平均）			0.2	0.3	0.1	0.3	0.1	0.2		－

各地点4圃場において、1圃場あたり25茎を調査。

コムギ病害虫の発生状況（2022年5月）

地区	調査地点	調査日	さび病類 発病程度	うどんこ病 発病程度	黒穂病 発病茎率 (%)	アブラムシ類 寄生程度	ムギアカタマバエ 寄生茎率 (%)	赤かび病 発生圃場率 (%)	赤かび病 発病穂率(%)	品種	備考
桑名	いなべ市大安町片樋	5/6	0	0	0	0	0	100	0.04	あやひかり	虫害粒と思われる被害粒有
四日市鈴鹿	菰野町竹成音羽	5/11	0	0	0	0	0	100	0.07	あやひかり	ホソハリカメムシ確認
	鈴鹿市下大久保	5/10	0	0	0	0	0	50	0.05	あやひかり	ホソハリカメムシ確認
津	津市殿村	5/11	0	0	0	0	0	100	4.37	あやひかり	赤かび病菌の分生子未確認を含む
								100	0.10		赤かび病菌の分生子未確認を含まない
松阪	松阪市藤之木	5/6	0	0	0	0	0	100	3.56	あやひかり	赤かび病菌の分生子未確認を含む
								100	0.30		赤かび病菌の分生子未確認を含まない
	多気町兄国	5/6	0	0	0	0	0	100	1.55	ニシノカオリ	株元からの枯れ上り有り 赤かび病菌の分生子未確認を含む
								100	0.08		赤かび病菌の分生子未確認を含まない
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	5/10	0	0	0	0	0	100	0.17	ニシノカオリ	ホソハリカメムシ多数確認、微発生：アブラムシ 赤かび病菌の分生子未確認含む
								0	0		赤かび病菌の分生子未確認を含まない
伊賀	伊賀市西之澤	5/10	0	0	0	0	0	0	0	タマイズミR	
	伊賀市畑村		0	0	0	0	0	0	0	タマイズミR	ホソハリカメムシ確認
県全体			0	0	0	0	0	72.2	0.93	―	赤かび病菌の分生子未確認を含む
								61.1	0.07		赤かび病菌の分生子未確認を含まない
県全体前年			0	2.8	0	0	0	22.2	0.02	－	－
平年値（10年平均）			0.1	0.4	0	0.5	0	16.0	0.05	―	―

各地点4圃場を調査。赤かび病：50m見取り調査。他は1圃場あたり25茎調査。

コムギ巡回調査圃場における赤かび病の発生状況（2022年）

地区	調査地点	品種	5月第2週 発生圃場率 (%)	5月第2週 発病穂率 (%)	5月第4週 発生圃場率 (%)	5月第4週 発病穂率 (%)	備考
桑名	いなべ市大安町片樋	あやひかり	100	0.04	100	0.79	
四日市鈴鹿	菰野町竹成	あやひかり	100	0.07	100	0.50	
	鈴鹿市下大久保	あやひかり	50	0.05	100	4.95	
津	津市殿村	あやひかり	100	4.37	100	7.87	
松阪	松阪市藤之木	あやひかり	100	3.56	100	13.20	
	多気町兄国	ニシノカオリ	100	1.55	100	0.19	
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	ニシノカオリ	100	0.17	100	2.72	
伊賀	伊賀市西之澤	タマイズミR	0	0	50	0.01	
	伊賀市畑村	タマイズミR	0	0	100	0.17	
平　均		―	72.2	0.93	94.4	3.23	
前　年		―	22.2	0.02	77.8	0.14	
平年（10年平均）		―	13.8	0.05	31.4	0.06	

各地点4圃場において50m見取り調査。（サーモンピンクの胞子が確認された穂のみカウント）

コムギを指標作物とした、斑点米カメムシ類の発生状況（1圃場あたりのすくい取り成虫数）（2022年5月）

地区	調査地点	ミナミアオカメムシ	アオクサカメムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ類	アカスジカスミカメ	アカヒゲ・ホソミドリカスミカメ	備考
桑名	いなべ市大安町片樋	0	0	0	0	0.75	0	
四日市鈴鹿	菰野町竹成	0	0	0.25	0	0.75	0.25	
	鈴鹿市下大久保	0	0	0	0	0.25	0.25	
津	津市殿村	0	0	0	0	0	0	
松阪	松阪市藤之木	0	0	0	0	0	0	
	多気町兄国	0	0	0	0	0.25	0	
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	0	0	0	0	11.00	0	
伊賀	伊賀市西之澤	0	0	0	0	0.25	0	
	伊賀市畑村	0	0	0	0	0	0	
平　均	発生圃場率（%）	0	0	2.78	0	27.78	5.56	
	すくい取り成虫数	0	0	0.03	0	1.47	0.06	
前　年	発生圃場率（%）	5.56	0	2.78	0	19.44	0	
	すくい取り成虫数	0.06	0	0.03	0	0.39	0	
平年（9年平均）	発生圃場率（%）	4.38	0	9.43	0.83	42.63	0.69	
	すくい取り成虫数	0.07	0	0.16	0.01	2.43	0.01	

すくい取り成虫数（頭/20回振・圃場）、各地点4圃場において調査。

コムギ縞萎縮病の発生状況（2023年3月）

地区	調査地点	調査日	被害茎率(%)	品種	草丈(cm)	備　考　（）内はR4草丈
桑名	いなべ市大安町片樋	3/3	0	あやひかり	40	（23cm）
四日市鈴鹿	菰野町千草	3/5	0	あやひかり	42	（21cm）
	鈴鹿市下大久保	3/3	0	あやひかり	30	（14cm）
津	津市殿村	3/2	0	あやひかり	20	（28cm）
松阪	松阪市藤之木	3/6	0	あやひかり	42	（20cm）
	多気町兄国		0	ニシノカオリ	40	（33cm）　縞萎縮：微発生
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	3/3	0	ニシノカオリ	17	（18cm）
伊賀	伊賀市西之澤	3/6	0	タマイズミR	21	（13cm）
	伊賀市畑村		0	タマイズミR	22	（20cm）
平均			0			
前年			0			
平年（10年平均）			0.2			

各地点4圃場にて、1圃場当り25茎を調査。

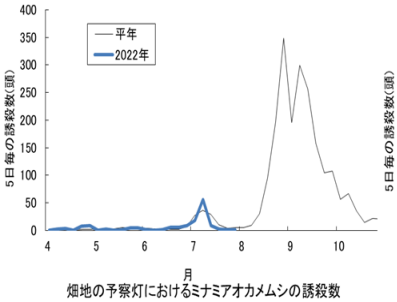
(3) 大豆

ダイズ虫害発生状況（2022年8月）

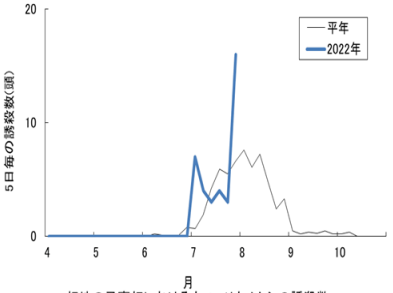
地区	調査地点	調査月日	アブラムシ類 寄生株率(%)	ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ 葉食害度	ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ 白変か所数(/a)	コガネムシ類 葉食害度	カメムシ類 寄生虫数(/25株)	草丈および備考
桑名	いなべ市大安町片樋	8/10	0	0	0	2.5	0	草丈：23㎝
四日市鈴鹿	菰野町音羽	8/12	0	0	0	1.8	0	草丈：12㎝
	鈴鹿市下大久保	8/4	-	-	-	-	0	未播種
津	津市白山町川口	8/9	0	0.5	0	2.5	0	草丈：22㎝、アサガオ有、オオタバコガ幼虫確認
松阪	松阪市藤之木町	8/9	0	0	0	0	0	草丈：27㎝　中耕後
	松阪市六根町	8/5	0	0	0	0	0	草丈：27㎝、オオタバコガ幼虫確認
伊賀	伊賀市木興	8/9	0	0	0	0	0	草丈：11㎝
	伊賀市千戸		0	0	0	0	0	草丈：19㎝、ハスモンヨトウ、コガネムシ微発生
平均		—	0	0.1	0	1.0	0	
前年		—	0	0.3	0.5	0.04	0	
平年（10年平均）		—	0	0.3	0.5	0.7	0.004	

フェロモントラップおよび予察灯におけるコガネムシ類誘殺数
（単位：頭/松阪市）

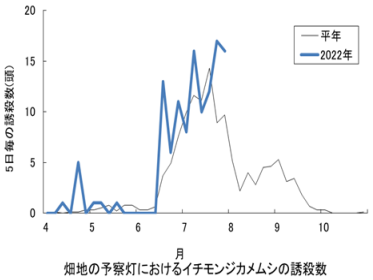
虫種	フェロモントラップ 7月上旬～下旬 2022年	フェロモントラップ 7月上旬～下旬 平年値	予察灯 7月第1半旬～第6半旬 2022年	予察灯 7月第1半旬～第6半旬 平年値
ドウガネブイブイ	0	8.7	187	254.1
ヒメコガネ	2	31.2	267	333.2
マメコガネ	26	59.6	—	—



畑地の予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数
（松阪市嬉野川北町　100W水銀灯）



畑地の予察灯におけるホソヘリカメムシの誘殺数
（松阪市嬉野川北町　100W水銀灯）



畑地の予察灯におけるイチモンジカメムシの誘殺数
（松阪市嬉野川北町　100W水銀灯）

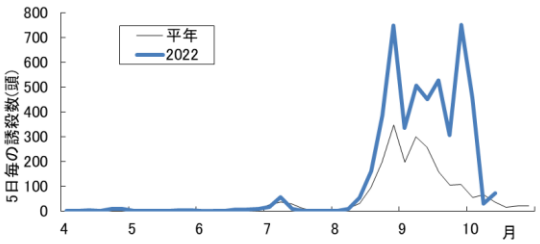
ハスモンヨトウ発生状況・広域病害虫防除員による調査（2022年9月）

地区	調査月日	調査場所	白変か所数(筆当たり)	備考
桑員	9/1	桑名市多度町下野代	0	
	9/5	東員町山田	0.6	天候不良のため、例年より生育がやや悪い。病害虫の被害はほとんど無し。
		いなべ市北勢町治田外面	1.8	天候不良のため、例年より生育が遅い。病害虫の被害もあまり見られない。
四日市	9/16	菰野町千草	0	8月上旬播種と推定され、生育量少く、病害虫も少ない。
	9/21	四日市市赤水町	2.2	アサガオの発生注意。防除2回の予定。
鈴亀	9/11	鈴鹿市須賀町	15.2	畦畔雑草多。一部被害程度のひどい所あり。
		鈴鹿市算所町	3.4	生育悪い。苗立ち悪い場所あり。
		鈴鹿市中富田町	0.6	畦畔雑草多。No4,5でアサガオ繁茂。被害は軽微で生育良。
津市	9/6	津市南河路	0	6葉期～開花期。一部に湿害が見られ、生育不揃い。
		津市一志町其村	0	開花期。
		津市安濃町荒木	0	開花期。雑草（アサガオ類）が一部で目立つ。
松阪飯多	9/6	松阪市曲町出曲	2.0	ヨトウムシ確認。排水不良で生育不良。
		松阪市美濃田町浦沖	4.8	圃場No3カナブン多少確認。
		松阪市深長町行歩田	1.4	管理良好、生育良好であるが、ヨトウ、カメムシ確認。
伊勢	9/12	伊勢市西豊浜	0.4	草高60～70cmで生育は良好である。ハスモンヨトウによる食害痕は多い。
		伊勢市小俣町	0	草高50～60cmで生育は良く揃っているが、生育量はやや少ない。食害痕は少ない。
		玉城町原	0	草高70～80cmで生育良好。ハスモンヨトウによる食害痕は多い。
伊賀	9/5	伊賀市猪田	0.2	鹿による食害有。
		伊賀市依那具	0	イナゴ少
		伊賀市比自岐	0	鹿による食害有。雑草多。
		平均	1.6	
		前年	2.3	
		平年（10年平均）	2.1	

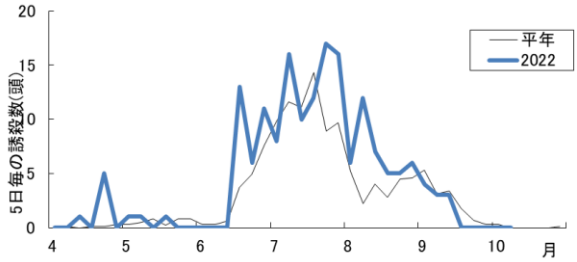
ダイズ病害虫発生状況（2022年10月）

地区	調査地点	調査月日	ダイズアブラムシ発生程度	ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ 白変か所数(a当たり)	ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ 葉食害度※	吸実性カメムシ類 寄生株率(%)	吸実性カメムシ類 寄生虫数（/25株）	吸実性カメムシ類 種類	その他
桑名	いなべ市大安町片樋	10/12	0	0.8	0	4.0	1.0	ホソヘリカメムシ成幼虫	マメドクガ、シャクガ類幼虫確認
四日市	菰野町音羽	10/5	0	0	0	0	0	ミナミアオカメムシ成幼虫	べと病確認、シカ食害、生育少（播種遅れ、湿害）
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	10/5	0	3.2	0	17.0	4.8	ミナミアオカメムシ成幼虫	シャクガ類幼虫確認、べと病確認
津	津市白山町川口	10/7	0	1.4	0	0	0		シャクガ類幼虫確認　ミナミアオ卵塊確認
松阪	松阪市藤之木町	10/6	0.5	6.8	7.3	35.0	14.5	ミナミアオカメムシ成幼虫 ホソヘリカメムシ成虫	
	松阪市六根町		0	10.3	9.8	28.0	8.5	ミナミアオカメムシ成幼虫 イチモンジカメムシ成虫	
伊賀	伊賀市木興	10/12	0	3.4	2	0	0		葉の食害目立つ。
	伊賀市千戸		0	2.5	0.5	2.0	0.5	イチモンジカメムシ成虫 ミナミアオカメムシ幼虫	
平均			0.06	3.5	2.4	10.8	3.7	—	
前年			0	1.0	0.03	2.4	2.2	—	
10年平均			1.3	0.6	0.4	12.8	9.1	—	

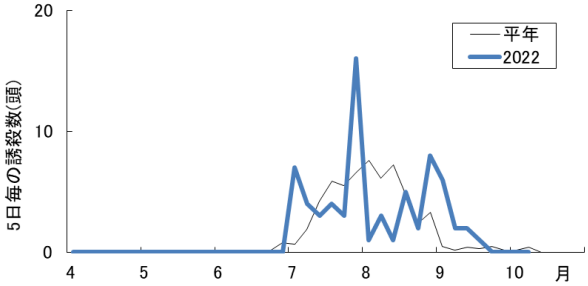
葉食害度※：25株中の被害度



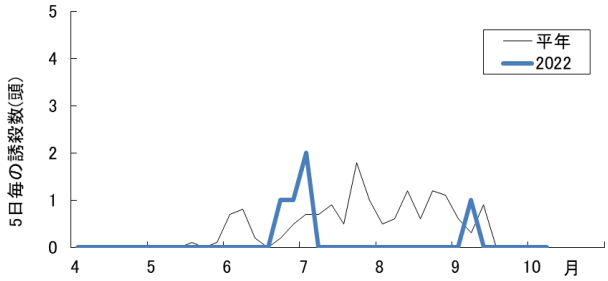
畑地の予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数
（松阪市嬉野川北町　100W水銀灯）



畑地の予察灯におけるイチモンジカメムシの誘殺数
（松阪市嬉野川北町　100W水銀灯）



畑地の予察灯におけるホソヘリカメムシの誘殺数
（松阪市嬉野川北町　100W水銀灯）



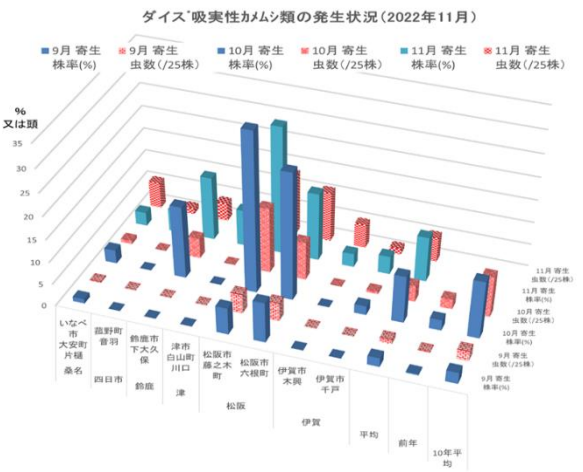
畑地の予察灯におけるアオクサカメムシの誘殺数
（松阪市嬉野川北町　100W水銀灯）

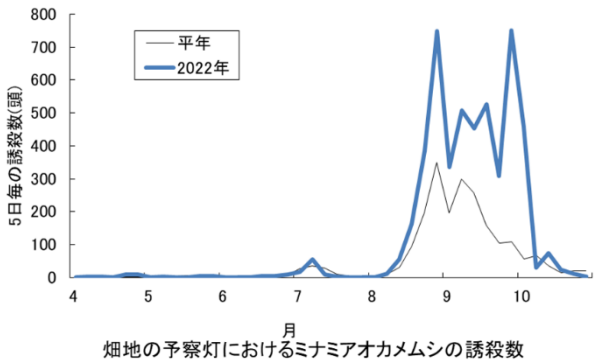
ダイズ吸実性カメムシ類の発生状況(2022年11月)

地区	調査地点	調査月日	9月 寄生株率(%)	9月 寄生虫数(/25株)	9月 種類	10月 寄生株率(%)	10月 寄生虫数(/25株)	10月 種類	11月 寄生株率(%)	11月 寄生虫数(/25株)	11月 種類
桑名	いなべ市大安町片樋	11/7	1.0	0.3	ﾐﾅﾐｱｵｶﾒﾑｼ成虫	3.0	0.8	ホソヘリカメムシ成幼虫	3.0	5.8	ミナミアオカメムシ幼虫
四日市	菰野町音羽	11/14	0	0		0.0	0	ミナミアオカメムシ成幼虫	5.0	1.3	ミナミアオカメムシ成幼虫
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	11/14	0	0		16.0	4.5	ミナミアオカメムシ成幼虫	14.0	4.0	ミナミアオカメムシ幼虫
津	津市白山町川口	11/10	0	0		0	0		8.0	1.8	ミナミアオカメムシ成幼虫
松阪	松阪市藤之木町	11/8	6.0	4.3	ミナミアオカメムシ成幼虫 ホソヘリカメムシ成虫	35.0	14.5	ミナミアオカメムシ成幼虫 ホソヘリカメムシ成虫	28.0	13.5	ミナミアオカメムシ成幼虫
	松阪市六根町		9.0	4.0	ﾐﾅﾐｱｵｶﾒﾑｼ成幼虫、ｲﾁﾓﾝｼﾞｶﾒﾑｼ成虫、ﾎｿﾍﾘｶﾒﾑｼ成虫	28.0	8.5	ミナミアオカメムシ成幼虫 イチモンジカメムシ成虫	15.0	11.0	ミナミアオカメムシ成幼虫　イチモンジカメムシ成虫
伊賀	伊賀市木興	11/7	0	0		0	0		3.0	5.3	ミナミアオカメムシ成幼虫
	伊賀市千戸	11/7、11/9	0	0		2.0	0.5	イチモンジカメムシ成虫 ﾐﾅﾐｱｵｶﾒﾑｼ幼虫	4.0	1.3	ミナミアオカメムシ成幼虫
	平均		2.0	1.1	—	10.5	3.6	—	10.0	5.5	—
	前年		0.3	0.1	—	2.4	2.2	—	-	-	—
	10年平均		2.5	2.2	—	12.8	9.1	—	-	-	—

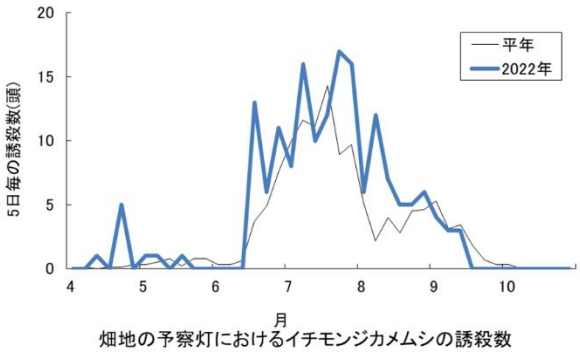
巡回調査圃場における防除の状況

地区	調査地点	種子消毒	時期	防除内容
桑名	いなべ市大安町片樋	無	9月13日	ｷﾗｯﾌﾟﾌﾛｱﾌﾞﾙ(ドローン)
			10月1日	ｷﾗｯﾌﾟﾌﾛｱﾌﾞﾙ(ドローン)
四日市	菰野町音羽	無	9月15日	ｷﾗｯﾌﾟﾌﾛｱﾌﾞﾙ(無人ヘリ)
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	無	無	
津	津市白山町川口	キヒゲンR2 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	10月3日	ｷﾗｯﾌﾟ(巡回調査4筆の内3筆) 残り1筆は別生産者で無防除
松阪	松阪市藤之木町	クルーザーMAXX	9月27日	ﾌﾟﾚﾊﾞｿﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ、ｶｽｹｰﾄﾞ乳剤(無人ヘリ)
	松阪市六根町	クルーザーMAXX	9月14日	ﾌﾟﾚﾊﾞｿﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ、ｷﾗｯﾌﾟﾌﾛｱﾌﾞﾙ(ドローン)
			10月1日	ﾌﾟﾚﾊﾞｿﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ、ｷﾗｯﾌﾟﾌﾛｱﾌﾞﾙ(ドローン)
伊賀	伊賀市木興	クルーザーMAXX	9月21日	ｱﾐｽﾀｰﾄﾚﾎﾞﾝ(無人ヘリ)
	伊賀市千戸	クルーザーMAXX又はキヒゲン	9月8日	ｱﾐｽﾀｰ20、ﾌﾟﾚﾊﾞｿﾝ(無人ヘリ)
			9月24日	ｽﾀｰｸﾙ(無人ヘリ)

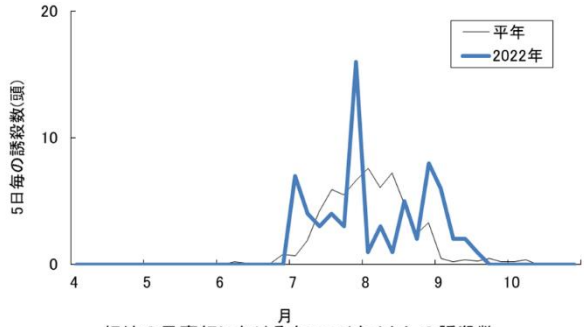




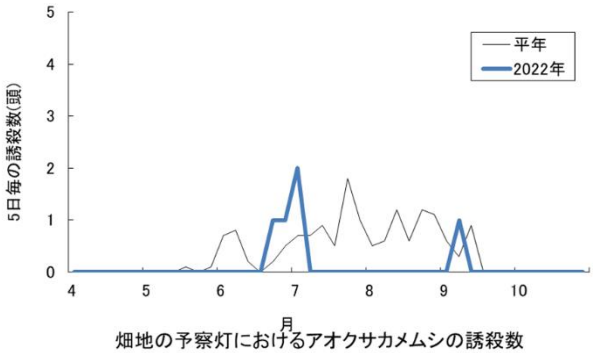
畑地の予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数
（松阪市嬉野川北町　100W水銀灯）



畑地の予察灯におけるイチモンジカメムシの誘殺数
（松阪市嬉野川北町　100W水銀灯）



畑地の予察灯におけるホソヘリカメムシの誘殺数
（松阪市嬉野川北町　100W水銀灯）



畑地の予察灯におけるアオクサカメムシの誘殺数
（松阪市嬉野川北町　100W水銀灯）

ダイズ成熟期における莢および子実の被害発生状況（2022年12月）

地区	調査地点	採取月日	*莢調査 被害莢率(%) 虫害1	虫害2	被害粒調査 紫斑粒率(%)	褐斑粒率(%)	フタスジヒメハムシ黒斑粒率(%)	吸実性カメムシ類(著しい未熟粒を除く) 被害粒率(%) 合計	萎縮粒(しぼみ粒)	変形粒(へこみ粒)	変色粒(しみ粒)	その他被害粒 虫害粒(%)	腐敗粒(%)
桑名	いなべ市大安町片樋	11/25	0.8	11.3	0	0	0.7	14.5	2.7	4.3	7.5	4.1	2.2
四日市鈴鹿	菰野町音羽	11/14	2.0	2.5	0	0	0.2	19.3	2.4	2.6	14.4	3.0	1.0
	鈴鹿市下大久保	11/25	1.4	1.1	0	0	1.6	34.7	2.1	3.1	29.5	0.8	4.5
津	津市白山町川口	11/10	0	2.7	0	0	0.0	22.9	3.6	10.0	9.3	1.1	0.6
松阪	松阪市藤之木	11/21	0.4	1.1	0	0	0.7	80.0	17.0	14.4	48.5	2.0	5.2
	松阪市六根町	11/21	1.1	1.5	0	0	1.1	48.9	4.8	8.3	35.8	0.6	7.7
伊賀	伊賀市木興	11/25	4.2	1.7	0	0	0.7	5.8	0	0.9	4.8	0.5	0.7
	伊賀市千戸	11/25	0	2.7	0	0	1.3	14.3	2.0	9.6	2.6	2.0	1.1
	平均		1.2	3.1	0	0	0.8	30.0	4.3	6.7	19.1	1.8	2.9
	前年		0.6	3.4	0	4.0	0.9	25.2	9.1	3.9	12.2	0.8	1.3
	平年(10年平均)		0.6	1.5	0.3	0.6	1.5	31.3	3.8	11.8	15.7	2.2	0.7

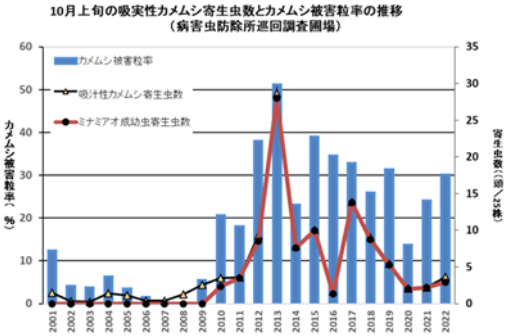
9,10,11月の巡回調査結果

地区	調査地点	9月 寄生株率(%)	9月 寄生虫数(/25株)	10月 寄生株率(%)	10月 寄生虫数(/25株)	11月 寄生株率(%)	11月 寄生虫数(/25株)
桑名	いなべ市大安町片樋	1.0	0	4.0	1.0	3.0	5.8
四日市鈴鹿	菰野町音羽	0	0	0	0	5.0	1.3
	鈴鹿市下大久保	0	0	17.0	4.8	14.0	4.0
津	津市白山町川口	0	0	0	0	8.0	1.8
松阪	松阪市藤之木	6.0	4.3	35.0	14.5	28.0	13.5
	松阪市六根町	9.0	4.0	28.0	8.5	15.0	11.0
伊賀	伊賀市木興	0	0	0	0	3.0	5.3
	伊賀市千戸	0	0	2.0	0.5	4.0	1.3
	平均	2.0	1.1	10.8	3.7	10.0	5.5
	前年	0.3	0.1	2.4	2.2	—	—
	平年(10年平均)	2.5	2.2	12.8	9.1	—	—

1地点あたり4圃場を調査。1圃場あたり任意の10株を選定し、それぞれ上位約5莢ずつを採取（200莢程度）。
*被害莢率はフタスジヒメハムシ被害莢を含まず集計
虫害1：莢外部からの食害および被害、タバコガ類等。
虫害2：莢内部における食害、シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤムシガ、マメシンクイガ等。

巡回調査圃場における防除の状況

地区	調査地点	種子消毒	時期	防除内容
桑名	いなべ市大安町片樋	無	9月13日	キラップフロアブル（ドローン）
			10月1日	キラップフロアブル（ドローン）
四日市	菰野町音羽	無	9月15日	キラップフロアブル（無人ヘリ）
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	無	無	
津	津市白山町川口	キヒゲンR2 フロアブル	10月3日	キラップ（巡回調査4筆の内3筆） 残り1筆は別生産者で無防除
松阪	松阪市藤之木町	クルーザーMAXX	9月27日	プレバソンフロアブル、カスケード乳剤（無人ヘリ）
	松阪市六根町	クルーザーMAXX	9月14日	プレバソンフロアブル、キラップフロアブル（ドローン）
			10月1日	プレバソンフロアブル、キラップフロアブル（ドローン）
伊賀	伊賀市木興	クルーザーMAXX	9月21日	アミスタートレボン（無人ヘリ）
	伊賀市千戸	クルーザーMAXX又はキヒゲン	9月8日	アミスター20、プレバソン（無人ヘリ）
			9月24日	スタークル（無人ヘリ）



県予察圃（カンキツ・紀南果樹研究室）における発生消長

そうか病発病率　葉

	初発	4月		5月			6月			7月		
		中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	4月14日	1.9	21.8	57.2	71.1	77.8	80.2	83.0	84.4	85.5	86.7	87.8
2022年	4月12日	1.5	42.5	96.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

そうか病発病率　果実

	初発	5月		6月			7月			8月		
		中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	5月16日	9.8	53.5	76.9	90.8	97.4	99.8	100.0	99.8	99.5	100.0	99.8
2022年	5月10日	11.7	18.7	23.2	90.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

黒点病発病率

	初発	6月			7月			8月			9月			10月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年発病果率	平年	27.5	58.3	86.4	97.9	99.7	99.5	100	100	100	100	100	100	100	100	100
2022年発病果率	5月23日	20.8	45.0	92.5	99.2	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平年果実発病度	2022年	4.4	13.8	24.5	37.2	50.4	54.5	61.1	68.8	74.0	74.7	76.9	80.5	81.3	86.2	90.4
2022年果実発病度	5月23日	3.0	7.1	22.0	25.4	43.8	49.3	55.0	76.9	70.5	69.5	83.1	85.5	82.6	91.7	92.9

かいよう病発病率　葉

	初発	5月		6月			7月			8月		
		中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	5月18日	0	0.6	1.3	1.6	2.0	2.2	2.4	2.7	3.0	3.1	3.3
2022年	5月27日	0	0	0	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5

かいよう病発病率　果実

	初発	5月	6月			7月			8月			9月			10月		
		下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	6月21日	0	0.2	0.3	0.4	2.2	6.8	12.0	18.8	21.0	19.2	20.1	21.2	21.3	19.8	20.8	19.4
2022年	6月22日	0	0	0	0.8	0.8	1.7	1.7	11.7	8.3	8.3	19.2	15.8	18.3	12.5	15.0	10.0

果実外観調査

無防除区	そうか病		黒点病		かいよう病		慣行防除区	そうか病		黒点病		かいよう病	
	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度		発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度
平年	94.4	64.2	100	84.1	15.5	7.5	平年	0.7	0.1	68.9	20.2	9.1	3.2
2022年	97.2	68.3	100	83.2	16.0	5.3	2022年	0.0	0	95.4	23.6	22.6	6.2

ハダニ発生消長調査結果（無防除区・雌成虫100葉当たり寄生虫数）　※6月上旬調査から新葉による調査

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	26.2	30.9	50.5	19.7	27.9	26.2	76.5	78.0	55.9	11.9	3.6	2.0	4.9	3.4	9.4	19.2	19.8	29.5
2022年	2.2	10.0	44.4	2.2	7.8	7.8	6.7	6.7	21.1	15.6	11.1	4.4	3.3	23.3	8.9	11.1	11.1	1.1

	10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	19.9	15.9	15.7	10.8	7.8	15.8	11.7	13.1	15.2	16.1	12.6	—	15.9	26.5	—	14.9	14.8	—
2022年	2.2	0	1.1	3.3	3.3	0	0	2.2	1.1	10.0	3.3	—	2.2	1.1	—	7.8	5.6	—

ハダニ発生消長調査結果（慣行防除区・雌成虫100葉当たり寄生虫数）

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	3.2	0.2	0.7	1.6	1.1	3.7	22.2	16.0	7.2	7.7	7.4	4.2	14.9	11.0	16.0	143.6	55.8	66.9
2022年	0	0	1.1	0	0	5.6	62.2	51.1	65.6	0	0	2.2	10.0	16.7	23.3	3.3	14.4	0

	10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	61.6	50.8	100.9	60.2	33.4	19.9	12.2	16.3	12.1	3.9	0.4	—	2.7	1.4	—	1.1	0.2	—
2022年	2.2	1.1	2.2	3.3	7.8	22.2	6.7	7.8	28.9	25.5	15.6	—	12.2	12.2	—	8.9	1.1	—

チャバネアオカメムシ発生消長調査結果　予察灯誘殺数

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	4.5	12.7	100.1	298.0	4746.4	4720.0	647.5	630.3	941.2	1415.3	7207.8	2341.8	855.6	566.2	839.8	665.3	967.4	1890.6
2022年	4	330	604	280	607	1,922	801	4,193	38,200	19,970	9,756	8,870	5,498	1,478	238	204	90	27

	10月			11月		
	上	中	下	上	中	下
平年	2038.9	127.9	14.1	2.3	0.1	0.2
2022年	4	11	0	0	0	0

ツヤアオカメムシ発生消長　予察灯誘殺数

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	36.5	89.0	477.2	1329.1	896.4	254.7	69.1	75.4	15.6	10.7	7.5	9.8	18.0	29.4	82.0	186.4	634.6	1632.3
2022年	6	812	5664	1041	823	339	66	91	125	42	44	32	59	37	37	9	4	33

	10月			11月		
	上	中	下	上	中	下
平年	3955.2	1320.3	285.6	84.4	5.5	5.8
2022年	88	60	3	5	4	2

チャノキイロアザミウマ発生消長調査結果　100果実あたり寄生数調査

	6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	1.6	0.6	4.2	2.9	4.9	4.0	2.9	6.0	2.6	2.9	1.9	1.1	1.6	1.8	0.5
2022年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.8	0.8	0	0	0	0

チャノキイロアザミウマ発生消長調査結果　黄色粘着板誘殺数

	5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	0.9	1.6	0.8	2.9	3.5	3.2	1.9	2.4	4.3	9.8	11.0	11.2	8.0	7.3	6.4	4.2	1.4	0.6
2022年	0.5	0.6	0.2	1.7	0.8	1.2	1.7	1.4	1.6	6.7	9.9	4.5	2.8	5.2	3.3	3.3	3.3	0.1

県予察圃（ナシ・農業大学校）における発生消長

ナシヒメシンクイ

月・半旬	トラップ誘殺数	
	平年	2022年
3月.1	0	0
2	0.1	0
3	0.8	0
4	1.3	1
5	7.8	1
6	22.4	7
4月.1	27.3	5
2	20.5	23
3	17.9	8
4	21.3	10
5	14.4	6
6	6.5	1
5月.1	7.4	0
2	4.9	4
3	4.6	0
4	4.1	1
5	9.4	10
6	17.9	18
6月.1	20.6	15
2	17.8	6
3	12.9	9
4	8.9	4
5	5.9	4
6	7.4	9
7月.1	13.7	23
2	24.8	9
3	32.3	8
4	26.2	18
5	25.9	10
6	28.4	8
8月.1	30.0	33
2	34.9	17
3	25.4	15
4	20.2	14
5	24.1	19
6	34.9	25
9月.1	28.3	7
2	41.1	13
3	44.5	23
4	28.8	15
5	20.6	11
6	14.5	7
10月.1	8.0	3
2	4.2	0
3	2.0	1
4	1.1	2
5	0.4	1
6	0.4	1
11月.1	0	0
2	0	0
3	0.2	0
4	0.2	0
5	0.2	0
6	0	0

チャハマキ

月・半旬	トラップ誘殺数	
	平年	2022年
4月.1	1.7	0
2	5.1	11
3	3.9	16
4	5.8	11
5	5.4	9
6	5.6	5
5月.1	7.9	4
2	5.2	4
3	5.3	5
4	3.2	6
5	1.5	2
6	0.8	1
6月.1	0.8	0
2	1.2	0
3	2.4	0
4	3.6	0
5	2.7	1
6	3.6	4
7月.1	5.1	2
2	5.6	1
3	2.0	0
4	1.7	0
5	1.0	0
6	1.6	0
8月.1	1.9	0
2	1.3	0
3	0.9	0
4	0.8	0
5	1.5	0
6	1.2	1
9月.1	1.0	0
2	1.0	0
3	1.5	1
4	1.2	1
5	1.2	0
6	1.1	1
10月.1	3.6	1
2	4.9	2
3	5.7	3
4	4.3	0
5	3.5	2
6	2.0	4
11月.1	1.1	5
2	1.3	4
3	1.2	4
4	1.0	3
5	0.6	2
6	0.5	2

チャノコカクモンハマキ

月・半旬	トラップ誘殺数	
	平年	2022年
4月.1	4.9	3
2	7.5	5
3	14.4	14
4	26.1	12
5	37.3	35
6	30.8	20
5月.1	31.0	14
2	21.8	5
3	15.4	3
4	6.0	3
5	5.1	0
6	4.9	2
6月.1	15.0	1
2	23.9	12
3	35.0	13
4	34.0	13
5	28.9	10
6	18.1	9
7月.1	11.5	1
2	9.3	0
3	5.1	1
4	6.4	0
5	9.3	3
6	10.7	2
8月.1	8.0	4
2	5.4	3
3	3.2	2
4	4.1	1
5	2.0	2
6	2.1	1
9月.1	1.7	1
2	5.6	2
3	6.9	0
4	11.0	12
5	11.1	3
6	10.8	10
10月.1	12.9	18
2	22.2	20
3	20.9	24
4	11.8	12
5	14.3	7
6	8.5	9
11月.1	7.0	7
2	7.1	5
3	3.1	7
4	2.3	10
5	2.1	4
6	2.4	7
12月.1	1.2	0
2	1.0	1
3	0.8	1
4	0.9	0
5	0.2	
6	0	

予察灯（畑・農業研究所）における発生消長

チャバネアオカメムシ

月・半旬	予察灯誘殺数	
	平年	2022年
4月.1	0	0
2	0	0
3	0	2
4	0.4	0
5	1.8	16
6	0.6	144
5月.1	20.1	8
2	34.9	351
3	481.5	19
4	110.3	168
5	686.6	203
6	533.3	525
6月.1	219.2	36
2	96.9	21
3	129.8	20
4	120.6	1032
5	59.9	330
6	59.7	1386
7月.1	132.2	271
2	128.2	177
3	179.3	150
4	170.0	412
5	188.9	902
6	173.7	486
8月.1	118.7	480
2	117.0	338
3	209.9	382
4	188.3	208
5	421.9	182
6	409.3	43
9月.1	225.1	112
2	271.0	51
3	133.8	79
4	175.8	9
5	118.4	29
6	109.5	42
10月.1	68.3	14
2	134.1	1
3	40.8	2
4	0.5	0
5	0.2	0
6	0	0

ツヤアオカメムシ

月・半旬	予察灯誘殺数	
	平年	2022年
4月.1	0	0
2	0	0
3	0.1	0
4	0.2	0
5	0.6	5
6	0.2	13
5月.1	6.5	1
2	7.6	8
3	23.3	3
4	24.4	5
5	37.9	21
6	41.4	13
6月.1	37.4	10
2	49.4	24
3	106.7	16
4	73.2	650
5	35.4	282
6	42.3	118
7月.1	78.3	38
2	24.8	54
3	25.6	11
4	27.1	18
5	12.8	17
6	29.8	26
8月.1	12.2	39
2	12.9	23
3	20.9	22
4	26.1	67
5	19.7	11
6	26.9	4
9月.1	22.8	13
2	38.6	0
3	59.3	0
4	55.4	0
5	100.5	3
6	77.7	31
10月.1	76.5	8
2	142.9	4
3	110.8	4
4	21.5	5
5	38.8	1
6	15.9	0

クサギカメムシ

月・半旬	予察灯誘殺数	
	平年	2022年
4月.1	0	0
2	0	0
3	0	0
4	0	0
5	0	0
6	0	0
5月.1	0.1	0
2	0	0
3	0.1	0
4	0	0
5	0.7	0
6	2.3	1
6月.1	0.5	0
2	1.1	0
3	2.4	0
4	1.2	1
5	2.7	5
6	5.5	52
7月.1	12.5	27
2	32.2	37
3	47.5	33
4	81.9	40
5	112.3	57
6	123.2	122
8月.1	50.9	71
2	26.7	55
3	23.4	30
4	23.5	11
5	22.3	8
6	14.5	5
9月.1	5.7	2
2	3.1	3
3	1.4	0
4	0.5	0
5	0.7	0
6	0.4	0
10月.1	0	0
2	0.3	0
3	0.1	0
4	0.1	0
5	0	0
6	0	0

カンキツ巡回調査結果

4月

地区	調査場所	そうか病 旧葉発病度	かいよう病 温州(旧葉) 発病葉率(%)	かいよう病 温州(旧葉) 発病度	かいよう病 中晩柑(旧葉) 発病葉率(%)	かいよう病 中晩柑(旧葉) 発病度	ミカンハダニ 寄生葉率(%)	ミカンハダニ 寄生虫数/葉	カイガラムシ類 寄生枝率(%)	アカマルカイガラムシ 寄生枝率(%)	ヤノネカイガラムシ 寄生葉率(%)	カメムシ類 叩き落し数	品種	調査月日
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	―	―	0	0	0	0	0	0	早生温州	4月8日
津	津市大里窪田	0	0	0	―	―	0	0	0	0	0	0	早生温州	4月12日
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	―	―	0	0	0	0	0	0	早生温州	4月13日
	松阪市小阿坂町	0	2	0.4	―	―	0	0	0	0	0	0	普通温州	4月13日
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	―	―	0	0	0	0	0	0	普通温州	4月13日
	南伊勢町泉	0	―	―	4	2.4	0	0	0	0	0	0	セミノール	4月13日
	南伊勢町五ヶ所浦	0	―	―	8	1.6	0	0	0	0	0	0	カラ	4月13日
紀州	紀北町道瀬	0	―	―	28	5.6	12	0.24	0	0	8	0	新甘夏	4月8日
	熊野市久生屋	0	0	0	―	―	52	2.06	0	0	0	0	早生温州	4月8日
	御浜町下市木	0	―	―	48	17.6	0	0	0	0	0	0	カラ	4月8日
	御浜町阿田和	0	0	0	―	―	0	0	0	0	0	0	早生温州	4月8日
	御浜町中立	0	―	―	16	8.0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	4月8日
	紀宝町大里	0	―	―	16	11.2	0	0	0	0	0	0	セミノール	4月8日
	平　　均	0	0.3	0.06	20.0	7.7	4.9	0.18	0	0	0.6	0		
	前　　年	0	0	0	2.0	0.9	6.9	0.49	0	0	0	0		

5月

地区	調査場所	そうか病 旧葉 発病度	そうか病 新葉 発病度	かいよう病 温州(旧葉) 発病葉率(%)	かいよう病 温州(旧葉) 発病度	かいよう病 中晩柑(旧葉) 発病葉率(%)	かいよう病 中晩柑(旧葉) 発病度	カイガラムシ類 寄生枝率(%)	アカマルカイガラムシ 寄生枝率(%)	品種	調査月日
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	―	―	0	0	早生温州	5月6日
津	津市大里窪田	0	0	0	0	―	―	0	0	早生温州	5月11日
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	0	―	―	0	0	早生温州	5月10日
	松阪市小阿坂町	0	0	10	2.0	―	―	0	0	普通温州	5月10日
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	―	―	0	0	普通温州	5月10日
	南伊勢町泉	0	0	―	―	0	0	0	0	セミノール	5月10日
	南伊勢町五カ所浦	0	0	―	―	4	0.8	0	0	カラ	5月10日
紀州	紀北町道瀬	0	0	―	―	2	0.4	0	0	新甘夏	5月9日
	熊野市久生屋	0	0	0	0	―	―	0	0	早生温州	5月9日
	御浜町下市木	0	0	―	―	2	0.4	0	0	カラ	5月9日
	御浜町阿田和	0	0	0	0	―	―	0	0	早生温州	5月9日
	御浜町中立	0	0	―	―	2	0.4	0	0	新甘夏	5月9日
	紀宝町大里	0	0	―	―	4	0.8	0	0	セミノール	5月9日
平均		0	0	1.4	0.3	2.3	0.5	0	0		
前年		0	0	0	0	5.0	2.1	0.3	0.3		
平年(10年平均)		0.02	0.006	0.06	0.01	5.2	1.8	0.4	0.2		

（5月続き）

地区	調査場所	ミカンハダニ 旧葉 寄生率(%)	ミカンハダニ 旧葉 寄生虫数/葉	ミカンハダニ 新葉 寄生率(%)	ミカンハダニ 新葉 寄生虫数/葉	ヤノネカイガラムシ 旧葉寄生率(%)	カメムシ類 叩き落とし虫数	生育状況等
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	春葉4.5cm、つぼみ1.8cm、着花数多
津	津市大里窪田	0	0	0	0	0	0	微発生:かいよう病、春葉6～7cm、着果数中
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	0	0	1	開花最盛期、春葉7cm、つぼみ1.5cm、着果数多
	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	0	1	アブラムシ確認、開花始め、春葉8cm、つぼみ1.5cm、着果数中
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	2	0.08	-	-	0	2	蕾1.5cm、着果数多
	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	1	開花始め、春葉7cm、蕾1.5cm、着果数少
	南伊勢町五カ所浦	0	0	0	0	0	0	春葉13cm、蕾1.5cm、着果数中
紀州	紀北町道瀬	20	0.32	32	0.56	0	0	春葉7cm、つぼみ1cm、着果数少
	熊野市久生屋	60	2.52	40	0.84	0	0	
	御浜町下市木	0	0	0	0	0	0	春葉7cm、着果数少
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	春葉7cm、つぼみ1cm、着果数中
	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	春葉10cm、つぼみ1cm、着果数中
	紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	春葉7cm、つぼみ1cm
平均		6.3	0.22	6.0	0.12	0	0.4	
前年		3.1	0.10	2.5	0.03	0	0	
平年(10年平均)		5.2	0.35	3.8	0.10	0.05	0.2	

※ミカンハダニは、旧葉と新葉それぞれ25葉調査。ただし、新葉で調査できない場合は旧葉のみ50葉調査。

6月

地区	調査場所	そうか病 春葉発病度	かいよう病 温州(春葉) 発病葉率(%)	かいよう病 温州(春葉) 発病度	かいよう病 中晩柑(春葉) 発病葉率(%)	かいよう病 中晩柑(春葉) 発病度	黒点病 春葉発病度	ミカンハダニ(春葉) 寄生率(%)	ミカンハダニ(春葉) 寄生虫数(/葉)	アブラムシ類 新梢寄生率(%)	品種	調査月日
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	―	―	0	2	0.02	0	早生温州	6月6日
津	津市大里窪田町	0	0	0	―	―	0	0	0	2	早生温州	6月3日
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	―	―	0	0	0	0	早生温州	6月2日
	松阪市小阿坂町	0	0	0	―	―	0	0	0	2	普通温州	6月2日
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	―	―	0	4	0.06	0	普通温州	6月2日
	南伊勢町泉	0	―	―	0	0	6.0	0	0	0	セミノール	6月2日
	南伊勢町五カ所浦	0.4	―	―	0	0	0	0	0	0	カラ	6月2日
紀州	紀北町道瀬	0	―	―	4	0.8	0	54	1.30	0	新甘夏	6月7日
	熊野市久生屋町	0	0	0	―	―	0	6	0.22	0	早生温州	6月7日
	御浜町下市木	0	―	―	4	0.8	0	0	0	0	カラ	6月7日
	御浜町阿田和	0	0	0	―	―	0	0	0	0	早生温州	6月7日
	御浜町中立	0	―	―	0	0	0	0	0	0	新甘夏	6月7日
	紀宝町大里	0	―	―	0	0	0	0	0	0	セミノール	6月7日
	平　　均	0.03	0	0	1.3	0.3	0.5	5.1	0.12	0.3		
	前　　年	0.03	0	0	2.0	0.4	0.06	14.3	0.21	2.8		
	平年(10年平均)	0.03	0.1	0.07	2.7	0.9	0.6	10.1	0.38	3.1		

（6月続き）

地区	調査場所	チャノキイロアザミウマ被害果率(%)	ヤノネカイガラムシ春葉寄生率(%)	カメムシ類叩き落とし虫数	カイガラムシ類新梢寄生率(%)	アカマルカイガラムシ新梢寄生率(%)	ハマキムシ類新梢被害率(%)	生育状況等
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	果実1.5cm、夏枝数中
津	津市大里窪田町	0	0	0	0	0	0	微発生:ミカンハダニ、果実1cm、夏枝数中
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	0	0	0	微発生:黒点病、果実1cm、夏枝数少
	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	0	0	微発生:そうか病、果実1cm、夏枝数少
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	0	0	微発生:そうか病、果実1cm、夏枝数少
	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	微発生:そうか病、かいよう病、果実0.5cm、夏枝数中
	南伊勢町五カ所浦	0	0	0	0	0	0	微発生:かいよう病、ミカンハダニ、アブラムシ類、果実1cm、夏枝数多
紀州	紀北町道瀬	0	0	0	0	0	0	果実1cm、夏枝数少
	熊野市久生屋町	0	0	0	0	0	0	果実1.5cm、夏枝数少
	御浜町下市木	0	0	0	0	0	0	果実0.5cm、夏枝数少
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	微発生:チャノキイロアザミウマ、果実1.5cm、夏枝数少
	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	微発生:かいよう病、果実2cm、夏枝数少
	紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	果実0.5cm、夏枝数少
	平　　均	0	0	0	0	0	0	
	前　　年	0	0	0	0.2	0.2	0	
	平年(10年平均)	0.5	0	0.03	0.4	0.2	0.3	

7月

地区	調査場所	そうか病	かいよう病(春葉)				かいよう病(果実)		黒点病	ハマキムシ類	ミカンサビダニ	品種
			温州		中晩柑		温州	中晩柑				
		果実発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病度	発病度	果実発病度	被害新梢率(%)	被害果率(%)	
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	−	−	0	−	0	0	0	早生温州
津	津市大里窪田	0	0	0	−	−	0	−	0	0	0	早生温州
松阪	多気町五桂	0	0	0	−	−	0	−	0	0	0	早生温州
	松阪市小阿坂町	0.8	0	0	−	−	0	−	0	0	0	普通温州
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	−	−	0	−	0	0	0	普通温州
	南伊勢町泉	1.2	−	−	0	0	−	0	15.6	0	0	セミノール
	南伊勢町五カ所浦	0	−	−	4	0.8	−	0	0	0	0	カラ
紀州	紀北町道瀬	0	−	−	2	0.4	−	0	0	0	0	新甘夏
	熊野市久生屋	0	0	0	−	−	0	−	0	0	0	早生温州
	御浜町下市木	0	−	−	16	6.4	−	0.4	0	0	0	カラ
	御浜町阿田和	0	0	0	−	−	0	−	0	0	0	早生温州
	御浜町中立	0.8	−	−	0	0	−	0	0	0	0	新甘夏
	紀宝町大里	0	−	−	2	0.4	−	0	0	0	0	セミノール
	平均	0.2	0	0	4.0	1.3	0	0.07	1.2	0	0	
	前年	0.03	0	0	5.0	2.3	0	0.1	0.06	0	0	
	平年(10年平均)	0.04	0.03	0.006	5.8	2.3	0	0.3	0.9	0.1	0	

(7月続き)

地区	調査場所	ミカンハダニ		チャノキイロアザミウマ	カメムシ類	カイガラムシ類	アカマルカイガラムシ	ヤノネカイガラムシ	生育状況等	調査月日
		寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	被害果率(%)	叩き落とし虫数	寄生新梢率(%)	寄生新梢率(%)	新葉寄生率(%)		
桑名	桑名市多度町小山	6	0.12	0	0	0	0	0	果実横径2.5cm、夏枝数少	7月8日
津	津市大里窪田	0	0	0	0	0	0	0	果実横径2cm、夏枝数少	7月7日
松阪	多気町五桂	0	0	0	0	0	0	0	微発生:そうか病、黒点病、果実横径2cm、夏枝数少	7月5日
	松阪市小阿坂町	2	0.04	0	0	0	0	0	微発生:かいよう病(葉)、果実横径2cm、夏枝数少	7月5日
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	0	0	0	微発生:そうか病、かいよう病(葉)、果実横径2cm、夏枝数少	7月5日
	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	0	果実1～2cm、夏枝数多	7月5日
	南伊勢町五カ所浦	20	0.47	0	0	0	0	0	果実2cm、夏枝数少	7月5日
紀州	紀北町道瀬	0	0	0	0	0	0	0	微発生:黒点病、果実横径3cm、夏枝数中	7月12日
	熊野市久生屋	2	0.02	0	0	0	0	0	果実横径3cm、夏枝数少	7月12日
	御浜町下市木	0	0	0	0	0	0	0	果実横径2cm、夏枝数中	7月12日
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	果実横径2cm、夏枝数少	7月12日
	御浜町中立	16	0.18	0	0	0	0	0	果実横径4cm、夏枝数多	7月12日
	紀宝町大里	2	0.02	0	0	0	0	0	果実横径1～2cm、夏枝数多	7月12日
	平均	3.7	0.07	0	0	0	0	0		
	前年	3.4	0.07	0.8	0	0	0	0		
	平年(10年平均)	7.8	0.33	0.9	0.02	0.5	0.1	0.1		

8月

地区	調査場所	そうか病	かいよう病(春葉)				かいよう病(果実)		黒点病	ハマキムシ類	ヤノネカイガラムシ新葉寄生率(%)	品種	調査月日
		果実発病度	温州		中晩柑		温州	中晩柑	果実発病度	被害果率(%)			
			発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病度	発病度					
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	—	—	0	—	0	0	0	早生温州	8月10日
津	津市大里窪田町	0	0	0	—	—	0	—	0	0	0	早生温州	8月8日
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	—	—	0	—	0	0	0	早生温州	8月8日
	松阪市小阿坂町	0	0	0	—	—	0	—	0	0	0	普通温州	8月8日
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	—	—	0	—	2.8	0	0	普通温州	8月8日
	南伊勢町泉	8.0	—	—	0	0	—	0	30.0	0	0	セミノール	8月8日
	南伊勢町五カ所浦	0	—	—	0	0	—	0.4	0	0	0	カラ	8月8日
紀州	紀北町道瀬	0	—	—	0	0	—	0.4	0.4	0	0	新甘夏	8月12日
	熊野市久生屋町	0	0	0	—	—	0	—	0	0	0	早生温州	8月4日
	御浜町下市木	0	—	—	20	12.0	—	2.0	0	0	0	カラ	8月4日
	御浜町阿田和	0	0	0	—	—	0	—	0	0	0	早生温州	8月4日
	御浜町中立	0	—	—	0	0	—	0	0	0	0	新甘夏	8月4日
	紀宝町大里	0	—	—	4	0.8	—	0	0	0	0	セミノール	8月4日
平均		0.6	0	0	4.0	2.1	0	0.5	2.6	0	0		
前年		0.1	0	0	9.0	2.6	0	1.9	0.2	0	0		
平年(10年平均)		0.06	0.1	0.03	6.3	1.9	0.006	1.6	2.4	0	0		

(8月続き)

地区	調査場所	ミカンハダニ		チャノキイロアザミウマ	ミカンハモグリガ	カメムシ類	カイガラムシ類	アカマルカイガラムシ	アカマルカイガラムシ	品種	備考
		寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	被害果率(%)	被害新梢率(%)	叩き落とし虫数	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	寄生果率(%)		生育状況等
桑名	桑名市多度町小山	2	0.06	0	0	0	0	0	0	早生温州	
津	津市大里窪田町	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実4cm、夏枝数多
松阪	多気町五桂(定)	24	0.50	0	4	0	0	0	0	早生温州	微発生:かいよう病(果実)果実3cm、夏枝数少
	松阪市小阿坂町	8	0.08	0	4	0	0	0	0	普通温州	アブラムシ類確認、果実3cm、夏枝数多
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	4	0	0	0	0	普通温州	微発生:そうか病、果実3cm、夏枝数少
	南伊勢町泉	2	0.02	0	12	0	0	0	0	セミノール	果実2cm、夏枝数少
	南伊勢町五カ所浦	0	0	0	2	0	0	0	0	カラ	アブラムシ類確認、果実4cm、夏枝数多
紀州	紀北町道瀬	16	0.24	4	4	0	0	0	0	新甘夏	果実5cm、夏枝数少
	熊野市久生屋町	0	0	0	6	0	0	0	0	早生温州	果実5cm、夏枝数中
	御浜町下市木	0	0	0	20	0	0	0	0	カラ	果実4.5cm、夏枝数多
	御浜町阿田和	0	0	0	4	0	0	0	0	早生温州	果実3.5cm、夏枝数少
	御浜町中立	0	0	0	4	1	0	0	0	新甘夏	果実6.5cm、夏枝数少
	紀宝町大里	0	0	0	10	0	0	0	0	セミノール	微発生:かいよう病(果実)、果実3cm、夏枝数少
平均		4.0	0.07	0.3	5.7	0.08	0	0	0		
前年		8.9	1.56	1.2	6.8	0	0.2	0	0		
平年(10年平均)		4.8	0.31	0.8	27.2	0.02	0.2	0.1	0.08		

9月

地区	調査場所	かいよう病(春葉) 温州 発病率(%)	かいよう病(春葉) 温州 発病度	かいよう病(春葉) 中晩柑 発病率(%)	かいよう病(春葉) 中晩柑 発病度	かいよう病(果実) 温州 発病度	かいよう病(果実) 中晩柑 発病度	黒点病 果実発病度	褐色腐敗病 発病果率(%)	ヤノネカイガラムシ 寄生葉率(%)	品種	調査月日
桑名	桑名市多度町小山	0	0	−	−	0	−	0	0	0	早生温州	9月12日
津	津市大里窪田町	0	0	−	−	0	−	0	0	0	早生温州	9月13日
松阪	多気町五桂(定)	0	0	−	−	0	−	10.0	0	0	早生温州	9月12日
	松阪市小阿坂町	0	0	−	−	0	−	0	0	0	普通温州	9月12日
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	−	−	0	−	11.6	0	0	普通温州	9月12日
	南伊勢町泉	−	−	0	0	−	0	50.0	0	0	セミノール	9月12日
	南伊勢町五カ所浦	−	−	6	4.4	−	4.0	0	0	0	カラ	9月12日
紀州	紀北町道瀬	−	−	4	0.8	−	1.6	0	0	0	新甘夏	9月8日
	熊野市久生屋町	0	0	−	−	0	−	1.2	0	0	早生温州	9月8日
	御浜町下市木	−	−	20	5.6	−	18.0	0.4	0	0	カラ	9月8日
	御浜町阿田和	0	0	−	−	0	−	0	0	0	早生温州	9月8日
	御浜町中立	−	−	0	0	−	12.4	0	0	0	新甘夏	9月8日
	紀宝町大里	−	−	6	1.2	−	0.4	2.0	0	0	セミノール	9月8日
	平均	0	0	6.0	2.0	0	6.1	5.8	0	0		
	前年	0	0	16.3	6.5	0	8.9	8.0	0	0		
	平年(10年平均)	0.3	0.2	9.8	4.0	0.006	3.7	5.6	0	0.03		

(9月続き)

地区	調査場所	ミカンハダニ 寄生葉率(%)	ミカンハダニ 寄生虫数/葉	チャノキイロアザミウマ 被害果率(%)	ミカンハモグリガ 被害新梢率(%)	カメムシ類 叩き落とし虫数	カイガラムシ類 寄生枝率(%)	アカマルカイガラムシ 寄生枝率(%)	アカマルカイガラムシ 寄生果率(%)	生育状況等
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	6	0	0	0	0	果実4.5cm、夏枝数少
津	津市大里窪田町	14	0.30	0	24	0	0	0	0	果実4.5cm、夏枝数少
松阪	多気町五桂(定)	30	0.40	0	10	0	0	0	0	果実4cm、夏枝数少
	松阪市小阿坂町	0	0	0	60	0	0	0	0	微発生:かいよう病(葉、果実)、チャノキイロアザミウマ、果実5cm、夏枝数中
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	50	0	0	0	0	微発生:チャノキイロアザミウマ、果実5cm、夏枝数少
	南伊勢町泉	0	0	50	10	0	0	0	0	果実3cm、夏枝数少
	南伊勢町五カ所浦	0	0	2	50	0	2	0	0	アブラムシ類確認、果実6cm、夏枝数多
紀州	紀北町道瀬	2	0.02	0	22	0	0	0	0	果実8cm、夏枝数中
	熊野市久生屋町	12	0.28	2	0	0	0	0	0	微発生:かいよう病(果実)果実4cm、夏枝数少
	御浜町下市木	0	0	2	20	0	0	0	0	果実4cm、夏枝数多
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	0	微発生:黒点病、果実4cm、夏枝数多
	御浜町中立	34	0.56	0	50	0	0	0	0	微発生:かいよう病(葉)、果実8cm、夏枝数少
	紀宝町大里	70	1.60	4	56	0	0	0	0	果実5cm、夏枝数少
	平均	12.4	0.24	4.6	27.5	0	0.2	0	0	
	前年	0.3	0.005	12.9	33.7	0	0	0	0	
	平年(10年平均)	5.9	0.14	2.3	28.1	0.02	0.3	0.2	0.1	

10月

地区	調査場所	かいよう病（春葉） 温州 発病率(%)	かいよう病（春葉） 温州 発病度	かいよう病（春葉） 中晩柑 発病率(%)	かいよう病（春葉） 中晩柑 発病度	かいよう病（果実） 温州 発病度	かいよう病（果実） 中晩柑 発病度	黒点病 果実発病度	褐色腐敗病 発病果率	ヤノネカイガラムシ 寄生葉率(%)	品種
桑名	桑名市多度町小山	0	0	－	－	0	－	1.6	0	0	早生温州
津	津市大里窪田	0	0	－	－	0	－	2.0	0	0	早生温州
松阪	多気町五桂(定)	0	0	－	－	0	－	24.8	0	0	早生温州
	松阪市小阿坂町	0	0	－	－	0	－	0	0	0	普通温州
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	－	－	0	－	48.8	0	0	普通温州
	南伊勢町泉	－	－	0	0	－	0	55.6	0	0	セミノール
	南伊勢町五カ所浦	－	－	6	4.4	－	2.8	1.2	0	0	カラ
紀州	紀北町道瀬	－	－	4	2.4	－	4.0	2.0	0	0	新甘夏
	熊野市久生屋	0	0	－	－	0	－	0.4	0	0	早生温州
	御浜町下市木	－	－	24	12.8	－	26.0	0	0	0	カラ
	御浜町阿田和	0	0	－	－	0	－	0	0	0	早生温州
	御浜町中立	－	－	0	0	－	3.6	0	0	0	新甘夏
	紀宝町大里	－	－	0	0	－	0	0.4	0	0	セミノール
平均		0	0	5.7	3.3	0	6.1	10.5	0	0	
前年		0	0	6.7	2.7	0	2.1	7.8	0	0	
平年（10年平均）		0.1	0.02	8.8	3.8	0.007	3.4	8.6	0	0.1	

（10月続き）

地区	調査場所	ミカンハダニ 寄生葉率(%)	ミカンハダニ 寄生虫数/葉	チャノキイロアザミウマ 被害果率(%)	カメムシ類 叩き落とし虫数	カイガラムシ類 寄生枝率(%)	アカマルカイガラムシ 寄生枝率(%)	アカマルカイガラムシ 寄生果率(%)	生育状況等	調査月日
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	0		10月12日
津	津市大里窪田	4	0.12	0	0	0	0	0		10月7日
松阪	多気町五桂(定)	2	0.02	0	0	0	0	0	微発生：チャノキイロアザミウマ	10月6日
	松阪市小阿坂町	0	0	4	0	0	0	0	微発生：かいよう病、アブラムシ類確認	10月6日
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	10	0	0	0	0	微発生：かいよう病	10月6日
	南伊勢町泉	0	0	58	0	0	0	0	微発生：かいよう病（葉）、カイガラムシ類	10月6日
	南伊勢町五カ所浦	2	0.04	10	0	0	0	0		10月6日
紀州	紀北町道瀬	0	0	0	0	0	0	0		10月5日
	熊野市久生屋	0	0	0	0	0	0	0		10月5日
	御浜町下市木	0	0	0	0	0	0	0		10月5日
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	微発生：かいよう病、黒点病	10月5日
	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	微発生：チャノキイロアザミウマ	10月5日
	紀宝町大里	0	0	10	0	0	0	0	微発生：かいよう病	10月5日
平均		0.6	0.01	7.1	0	0	0	0		
前年		9.8	0.50	17.4	0.08	0	0	0		
平年（10年平均）		5.6	0.19	2.9	0.06	0.5	0.5	0.2		

3月

地区	調査場所	そうか病 旧葉発病度	かいよう病 温州(旧葉) 発病葉率(%)	温州(旧葉) 発病度	中晩柑(旧葉) 発病葉率(%)	中晩柑(旧葉) 発病度	ミカンハダニ 寄生葉率(%)	ミカンハダニ 寄生虫数/葉	カイガラムシ類 寄生枝率(%)	アカマルカイガラムシ 寄生枝率(%)	ヤノネカイガラムシ 寄生葉率(%)	品種	生育状況等	調査月日
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	－	－	0	0	0	0	0	早生温州		3月3日
津	津市大里窪田	0	0	0	－	－	0	0	0	0	0	早生温州	微発生:そうか病、ミカンハダニ	3月8日
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	－	－	0	0	0	0	0	早生温州		3月7日
	松阪市小阿坂町	0	0	0	－	－	0	0	0	0	0	普通温州	微発生:かいよう病	3月7日
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	－	－	0	0	0	0	0	普通温州		3月7日
	南伊勢町泉	0	－	－	6	2.8	0	0	0	0	0	セミノール	甚発生:黒点病	3月7日
	南伊勢町五ヶ所浦	0	－	－	2	0.4	0	0	0	0	0	カラ		3月7日
紀州	紀北町道瀬	0	－	－	4	0.8	10	0.32	0	0	0	新甘夏		3月2日
	熊野市金山	0	0	0	－	－	26	2.06	2	2	0	早生温州		3月2日
	御浜町下市木	0	－	－	60	36.0	6	0.06	0	0	0	カラ		3月2日
	御浜町阿田和	0	0	0	－	－	0	0	0	0	0	早生温州	微発生:そうか病	3月2日
	御浜町中立	0	－	－	0	0	8	0.08	0	0	0	新甘夏	微発生:かいよう病	3月2日
	紀宝町大里	0	－	－	2	0.4	0	0	0	0	0	セミノール		3月2日
平均		0	0	0	12.3	6.7	3.8	0.19	0.2	0.2	0			
前年		0	0	0	4.7	1.5	2.0	0.05	0	0	0			
平年(10年平均)		0.006	0.1	0.05	4.8	2.0	3.7	0.28	0.6	0.6	0.1			

ナシ巡回調査結果

4月

地区	調査場所	黒星病 発病芽率(%)	黒星病 発病葉率(%)	赤星病 発病葉率(%)	ハダニ類 寄生葉率(%)	ハダニ類 寄生虫数/葉	アブラムシ類 寄生枝率(%)	品種	生育状況等	調査月日
四日市鈴鹿	四日市市下海老	0	0	0	0	0	0	幸水	開花最盛期、展葉始期	4月13日
津	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	0	幸水	微発生:アブラムシ、開花最盛期、展葉最盛期	4月12日
	津市香良洲町(定)	0	0	0	0	0	0	幸水	開花最盛期、展葉始期	4月12日
松阪	松阪市嬉野川北町	0	0	0	0	0	0	幸水	微発生:アブラムシ、開花始期、展葉始期	4月8日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	0	0	0	0	0	幸水	開花最盛期、展葉最盛期	4月13日
伊賀	伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	幸水	微発生:アブラムシ、開花始期、展葉始期	4月11日
	伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	0	幸水	開花始期、展葉始期	4月11日
平均		0	0	0	0	0	0			
前年		0	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)		0	0	0	0	0	0.2			
				(9年平均)	(9年平均)	(9年平均)				

5月

地区	調査場所	黒星病 発病葉率(%)	赤星病 発病葉率(%)	ハダニ類 寄生葉率(%)	ハダニ類 寄生虫数/葉	アブラムシ類 寄生枝率(%)	カメムシ類 見取り虫数	疫病 発病枝率(%)	品種	生育状況等	調査月日
四日市 鈴鹿	四日市市下海老	0	0	0	0	0	0	0	幸水	微発生:黒星病、果実横径1cm	5月11日
津	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	0	0	幸水	微発生:黒星病、果実横径3cm	5月11日
	津市香良洲町(定)	0	0	0	0	0	0	0	幸水	微発生:黒星病、果実横径1cm	5月11日
松阪	松阪市嬉野川北町(場内)	0	8	0	0	0	0	0	幸水		5月9日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実横径1.5cm	5月10日
伊賀	伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	0	幸水	微発生:赤星病	5月12日
	伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	0	0	幸水	微発生:赤星病	5月12日
	平　均	0	1.1	0	0	0	0	0			
	前　年	0	0.3	0	0	0	0	−			
	平年(10年平均)	0.4	0.7	0.02	0.0002	0.6	0	−			

6月

地区	調査場所	黒星病 発病葉率(%)	赤星病 発病葉率(%)	ハダニ類 寄生葉率(%)	ハダニ類 寄生虫数(/葉)	アブラムシ類 寄生枝率(%)	カメムシ類 見取り虫数	品種	生育状況等	調査月日
四日市	四日市市下海老	0	0	0	0	0	0	幸水	微発生:黒星病、赤星病、果実3cm	6月7日
津	津市久居小野辺町(定)	0	6	2	0.20	2	0	幸水	果実横径4cm	6月3日
	津市香良洲町(定)	2	2	0	0	0	0	幸水	果実横径3cm	6月3日
松阪	松阪市嬉野川北町	0	4	0	0	0	0	幸水	微発生:黒星病、袋掛け済	6月8日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	0	0	0	10	0	幸水	微発生:黒星病、果実横径2～3cm	6月2日
伊賀	伊賀市羽根1	0	0	0	0	2	0	幸水	果実横径3.5cm	6月8日
	伊賀市羽根2	0	0	0	0	2	0	幸水	微発生:赤星病、果実横径3cm	6月8日
	平　均	0.3	1.7	0.3	0.03	2.3	0			
	前　年	0.3	0	0	0	0.6	0			
	平年(10年平均)	1.7	0.2	0.06	0.0006	1.6	0.0003			

7月

地区	調査場所	黒星病 発病葉率(%)	うどんこ病 発病葉率(%)	ハダニ類 寄生葉率(%)	ハダニ類 寄生虫数/葉	アブラムシ類 寄生枝率(%)	カメムシ類 被害果率(%)	カメムシ類 見取り虫数	品種	生育状況等	調査月日
四日市 鈴鹿	四日市市下海老	2	0	10	1.04	0	0	0	幸水	果実横径6cm	7月5日
津	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	10	0	0	幸水	赤星病確認、果実横径4～5cm	7月7日
	津市香良洲町(定)	2	0	0	0	0	0	0	幸水	赤星病確認、果実横径4～5cm	7月7日
松阪	松阪市嬉野川北町	0	2	0	0	2	0	0	幸水	赤星病確認	7月6日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	2	0	0	0	20	0	0	幸水	果実横径5cm	7月5日
伊賀	伊賀市羽根1	4	0	0	0	10	0	0	幸水	果実横径6cm	7月8日
	伊賀市羽根2	2	0	0	0	6	0	0	幸水	果実横径4.5cm	7月8日
	平　均	1.7	0.3	1.4	0.15	6.9	0	0			
	前　年	0.3	0	0	0	1.1	0	0			
	平年(10年平均)	1.6	0.1	1.8	0.07	0.2	0.04	0			

8月

地区	調査場所	黒星病 発病葉率(%)	黒星病 発病果率(%)	うどんこ病 発病葉率(%)	疫病 発病葉率(%)	ハダニ類 寄生葉率(%)	ハダニ類 寄生虫数/葉	アブラムシ類 寄生新梢率(%)	カメムシ類 被害果率(%)	カメムシ類 見取り虫数	品種	備考 生育状況等	調査月日
四日市鈴鹿	四日市市下海老	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	微発生:黒星病(葉、果実)	8月12日
津	津市久居小野辺町(定)	2	0	4	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	微発生:アブラムシ類	8月8日
	津市香良洲町(定)	4	2	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	微発生:カメムシ類被害果	8月9日
松阪	松阪市嬉野川北町	0	0	50	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	微発生:黒星病(葉)、ハダニ類、カメムシ類被害果 カメムシ類寄生(チャバネアオカメムシ)	8月4日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	2	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	微発生:黒星病(葉)、アブラムシ類	8月8日
伊賀	伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	微発生:黒星病(果実)、カメムシ類被害果	8月9日
	伊賀市羽根2	0	2	0	0	0	0	2	0	0	幸水(無袋)		8月9日
平均		0.9	0.9	7.7	0	0	0	0.3	0	0			
前年		0.3	2.3	0.9	0	1.1	0.02	0	0	0			
平年(10年平均)		0.9	1.1	0.7	0	3.2	0.17	0.02	1.2	0.01			

9月

地区	調査場所	黒星病 発病葉率(%)	黒星病 発病果率(%)	うどんこ病 発病葉率(%)	疫病 発病葉率(%)	疫病 発病新梢率(%)	ハダニ類 寄生葉率(%)	ハダニ類 寄生虫数/葉	アブラムシ類 寄生枝率(%)	カメムシ類 被害果率(%)	カメムシ類 見取り虫数	品種	生育状況等	調査月日
四日市鈴鹿	四日市市下海老	0	−	0	0	0	0	0	0	−	0	幸水(有袋)	収穫済	9月9日
津	津市久居小野辺町(定)	0	−	50	0	0	0	0	0	−	0	幸水(有袋)	収穫済	9月13日
	津市香良洲町(定)	2	−	0	0	0	0	0	0	−	0	幸水(有袋)	収穫済	9月13日
松阪	松阪市嬉野川北町	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	微発生:黒星病、カメムシ類被害果	9月7日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	微発生:黒星病	9月12日
伊賀	伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	幸水(無袋)	微発生:黒星病(葉)	9月13日
	伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)		9月13日
平均		0.3	0	14.3	0	0	0	0	0	1.0	0			
前年		0.3	−	10.9	0	0	0.3	0.003	0.9	−	0			
平年(10年平均)		0.6	1.2	4.5	0	0.02	3.3	0.19	0.1	0.1	0.1			
			(9年平均)							(9年平均)				

カキ巡回調査結果

4月

地区	調査場所	炭疽病 発病枝率(%)	カイガラムシ類 発病枝率(%)	備考	調査月日
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0	0		4月8日
	松阪市嬉野川北町1	0	0		4月8日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0		4月13日
	玉城町蚊野1	0	0		4月13日
平均		0	0		
前年		0	0		
平年(10年平均)		0	0		
		(1年平均)			

5月

地区	調 査 場 所	うどんこ病 発病葉率(%)	炭疽病 発病新梢率(%)	炭疽病 病斑数/枝	カイガラムシ類 寄生枝率(%)	生育状況等	調査月日
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0	0	0	0	開花直前	5月9日
	松阪市嬉野川北町1	0	0	0	0	開花直前	5月9日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0		5月10日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0		5月10日
平　均		0	0	0	0		
前　年		0	0	0	0		
平年(10年平均)		0.05	0	0	0		
					(1年平均)		

6月

地区	調 査 場 所	うどんこ病 発病葉率(%)	炭疽病 発病新梢率(%)	カメムシ類 叩き落とし虫数	カイガラムシ類 被害果率(%)	アザミウマ類 被害果率(%)	ハマキムシ類 被害果率(%)	生育状況等	調査月日
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0	0	0	0	0	0	果実横径2～3cm	6月8日
	松阪市嬉野川北町1	2	0	0	0	0	0	果実横径2～3cm	6月8日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0	果実横径1～2cm	6月2日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0	果実横径1～2cm	6月2日
平　均		0.5	0	0	0	0	0		
前　年		0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)		1.7	0	0.1	0	0	0		
					(1年平均)	(1年平均)	(1年平均)		

7月

地区	調 査 場 所	うどんこ病 発病葉率(%)	炭疽病 発病新梢率(%)	炭疽病 発病果率(%)	カキノヘタムシガ 被害果率(%)	カメムシ類 被害果率(%)	カメムシ類 叩き落とし虫数	カイガラムシ類 被害果率(%)	アザミウマ類 被害果率(%)	ハマキムシ類 被害果率(%)	生育状況等	調査月日
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	果実横径4cm	7月6日
	松阪市嬉野川北町1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	灰色かび病確認、果実横径4cm	7月6日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	果実横径4cm	7月5日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	果実横径4cm	7月5日
平　均		0	0	0	0	0	0	0	0	0		
前　年		0	0	0	0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)		6.2	0	0	0.2	0.8	0	0	0	0		
								(1年平均)	(1年平均)	(1年平均)		

8月

地区	調査場所	うどんこ病	炭疽病		カメムシ類		カキノヘタムシガ	カイガラムシ類	アザミウマ類	ハマキムシ類	生育状況等	調査月日
		発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病果率(%)	被害果率(%)	叩落し虫数	被害果率(%)	被害果率(%)	被害果率(%)	被害果率(%)		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	果実横径5cm	8月4日
	松阪市嬉野川北町1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	果実横径5cm	8月4日
伊勢	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	果実横径5cm	8月8日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	果実横径5cm	8月8日
	平　均	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	前年	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	平年(10年平均)	7.1	0	0	0.7	0.03	0.05	0	0	0		
								(1年平均)	(1年平均)	(1年平均)		

9月

地区	調査場所	うどんこ病	炭疽病		カメムシ類		カキノヘタムシガ	カイガラムシ類	アザミウマ類	ハマキムシ類	生育状況等	調査月日
		発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病果率(%)	被害果率(%)	見取り虫数	被害果率(%)	寄生果率(%)	被害果率(%)	被害果率(%)		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	微発生:うどんこ病	9月7日
	松阪市嬉野川北町1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	微発生:カキノヘタムシガ	9月7日
伊勢	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黒点病確認	9月12日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		9月12日
	平　均	0.5	0	0	0	0	0.5	0	0	0		
	前　年	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	平年(10年平均)	11.5	0	0	1.4	0	1.0	0	0	0		
								(1年平均)	(1年平均)	(1年平均)		

10月

地区	調査場所	うどんこ病	炭疽病	カメムシ類		カキノヘタムシガ	カイガラムシ類	アザミウマ類	ハマキムシ類	生育状況等	調査月日
		発病葉率(%)	発病果率(%)	被害果率(%)	見取り虫数	被害果率(%)	寄生果率(%)	被害果率(%)	被害果率(%)		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	微発生:カキノヘタムシガ	10月11日
	松阪市嬉野川北町1	2	0	0	0	2	0	0	0		10月11日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	黒点病確認	10月6日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0	0	0	落葉病確認	10月6日
	平　均	0.5	0	0	0	0.5	0	0	0		
	前　年	0	0	0	0	0.5	0	0	0.5		
	平年(10年平均)	14.3	0	5.6	0	0.5	0	0	0.5		
							(1年平均)	(1年平均)	(1年平均)		

※カイガラムシ類、アザミウマ類、ハマキムシ類は令和3年度より調査

ブドウ巡回調査結果

4月

地 区	調 査 場 所	黒とう病 発病葉率(%)	品 種	生育状況等	調査月日
津	津市久居明神町	0	安芸クイーン	展葉始期	4月12日
伊勢志摩	玉城町勝田	0	デラウェア	展葉始期	4月13日
伊 賀	伊賀市森寺(定)	―	安芸クイーン		―
	伊賀市森寺1	―	巨峰		―
	伊賀市上ノ庄(定)	―	巨峰		―
	伊賀市上ノ庄1	―	巨峰		―
	名張市下小波田1	―	デラウェア		―
	名張市下小波田2	―	巨峰		―
	平　　均	0			
	前　　年	―			
	平年(10年平均)	―			

5月

地 区	調 査 場 所	べと病 発病葉率(%)	黒とう病 発病葉率(%)	ハダニ類 寄生葉率(%)	ハダニ類 寄生虫数/葉	品 種	生育状況等	調査月日
津	津市久居明神町	0	0	0	0	安芸クイーン	結実期	5月11日
伊勢志摩	玉城町勝田	0	0	0	0	デラウェア		5月10日
伊 賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	安芸クイーン		5月12日
	伊賀市森寺1	0	0	0	0	巨峰	微発生:黒とう病	5月12日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	巨峰		5月12日
	伊賀市上ノ庄	0	0	0	0	巨峰		5月12日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	デラウェア		5月12日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	巨峰		5月12日
	平　均	0	0	0	0			
	前　年	0	0	0	0			
	平年(10年平均)	0	0.8	0.03	0.003			

6月

地 区	調 査 場 所	べと病 発病葉率(%)	黒とう病 発病葉率(%)	ハダニ類 寄生葉率(%)	ハダニ類 寄生虫数(/葉)	チャノキイロアザミウマ 被害穂軸率(%)	品 種	生育状況等	調査月 日
津	津市久居明神町	0	0	0	0	0	安芸クイーン	果実2mm	6月3日
伊勢志摩	玉城町勝田	0	0	0	0	0	デラウェア	果実3mm	6月2日
伊 賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0	安芸クイーン		6月8日
	伊賀市森寺1	0	6	0	0	0	巨峰	無防除	6月8日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	巨峰		6月8日
	伊賀市上ノ庄	0	0	0	0	0	巨峰		6月8日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	0	デラウェア		6月8日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	0	巨峰		6月8日
平 均		0	0.8	0	0	0			
前 年		0	0.5	0	0	0			
平年(10年平均)		0	1.0	0.06	0.0006	0			

7月

地 区	調 査 場 所	べと病 発病葉率(%)	黒とう病 発病葉率(%)	ハダニ類 寄生葉率(%)	ハダニ類 寄生虫数/葉	品 種	生育状況等	調査月 日
津	津市久居明神町	0	0	0	0	安芸クイーン		7月7日
伊勢志摩	玉城町勝田	2	0	46	1.94	デラウェア	微発生:べと病	7月5日
伊 賀	伊賀市森寺(定)	10	0	0	0	安芸クイーン		7月8日
	伊賀市森寺1	85	0	0	0	巨峰	微発生:黒とう病、マメコガネ確認	7月8日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	巨峰		7月8日
	伊賀市上ノ庄	0	0	0	0	巨峰		7月8日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	巨峰		7月8日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	デラウェア	マメコガネ確認	7月8日
平 均		12.1	0	5.8	0.24			
前 年		0.3	6.3	0	0			
平年(10年平均)		2.6	2.1	1.0	0.02			

8月

地区	調査場所	べと病 発病葉率(%)	黒とう病 発病葉率(%)	晩腐病 発病房率(%)	ハダニ類 寄生葉率(%)	ハダニ類 寄生虫数/葉	チャノキイロアザミウマ 被害穂軸率(%)	カメムシ類 寄生房率(%)	品種	備考 生育状況等	調査月日
津	津市久居明神町	0	0	0	2	0.06	0	0	安芸クイーン	マメコガネ確認	8月8日
伊勢志摩	玉城町勝田	30	0	0	0	0	0	0	デラウェア	微発生:ハダニ類、カメムシ類寄生(チャバネアオカメムシ、ホソヘリカメムシ)	8月8日
伊賀	伊賀市森寺(定)	50	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	微発生:ハダニ類、カメムシ類寄生(チャバネアオカメムシ)	8月9日
	伊賀市森寺1	80	0	0	0	0	0	0	巨峰		8月9日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	微発生:べと病	8月9日
	伊賀市上ノ庄	0	0	0	0	0	0	0	巨峰		8月9日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	0	0	0	デラウェア	褐斑病確認	8月9日
	名張市下小波田2	10	0	0	0	0	0	0	巨峰		8月9日
平均		21.3	0	0	0.3	0.008	0	0			
前年		10.0	3.6	0.5	0	0	0.3	0			
平年(10年平均)		5.0	1.9	1.5	2.1	0.08	0.04	0.02			
				(8年平均)			(6年平均)	(8年平均)			

9月

地区	調査場所	べと病 発病葉率(%)	黒とう病 発病葉率(%)	ハダニ類 寄生葉率(%)	ハダニ類 寄生虫数(/葉)	チャノキイロアザミウマ 被害穂軸率(%)	品種	生育状況等	調査月日
津	津市久居明神町	0	0	0	0	0	安芸クイーン		9月13日
伊勢志摩	玉城町勝田	6	0	0	0	0	デラウェア		9月12日
伊賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0	安芸クイーン	微発生:べと病	9月13日
	伊賀市森寺1(無防除)	78	76	0	0	0	巨峰		9月13日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	巨峰		9月13日
	伊賀市上ノ庄1	0	0	0	0	0	巨峰	微発生:べと病、褐斑病確認	9月13日
	名張市下小波田1	2	0	0	0	0	デラウェア		9月13日
	名張市下小波田2	8	0	0	0	0	巨峰	褐斑病確認	9月13日
平均		11.8	9.5	0	0	0			
前年		11.5	0	0	0	0			
平年(10年平均)		3.1	1.6	0.4	0.01	0			
						(5年平均)			

10月

地 区	調 査 場 所	べと病 発病葉率(%)	黒とう病 発病葉率(%)	ハダニ類 寄生葉率(%)	ハダニ類 寄生虫数(頭/葉)	品 種	生育状況等	調査月日
津	津市久居明神町	10	0	0	0	安芸クイーン	微発生:ハダニ類	10月7日
伊勢志摩	玉城町勝田	4	0	0	0	デラウェア		10月6日
伊 賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	安芸クイーン		10月12日
	伊賀市森寺1(無防除)	―	―	―	―	巨峰	落葉のため調査不可	10月12日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	巨峰		10月12日
	伊賀市上ノ庄	2	0	0	0	安芸クイーン		10月12日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	デラウェア		10月12日
	名張市下小波田2	2	0	0	0	巨峰		10月12日
平 均		2.6	0	0	0			
前 年		0	0	0	0			
平年(10年平均)		2.1	0.2	0.7	0.01			

ウメ巡回調査結果

4月

地区	調査場所	黒星病	かいよう病		アブラムシ類		ウメシロカイガラムシ	品種	生育状況等	調査月日
		果実発病度	葉発病度	果実発病度	葉発生度	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)			
津	津市片田田中町	0	0	0	0.3	2	20	白加賀	微発生:黒星病、かいよう病、果実縦径1cm	4月12日
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦	0	0	0	0	0	2	五ヶ所小梅	果実縦径2cm	4月13日
紀州	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	南高	果実縦径2cm	4月8日
	御浜町上市木	0	0	0	0	0	0	南高	ミカンハダニ確認、果実縦径1.5～2cm	4月8日
	平　均	0	0	0	0.1	0.5	5.5			
	前　年	0	0	0.07	0	0	2.0			
	平　年(10年平均)	0	0.06	0.03	0.02	0	6.1			
			(9年平均)							

5月

地区	調査場所	黒星病	かいよう病		アブラムシ類		ウメシロカイガラムシ	品種	生育状況等	調査月日
		果実発病度	葉発病度	果実発病度	葉発生度	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)			
津	津市片田田中町	0	0	0.6	0	0	0	白加賀	微発生:ウメシロカイガラムシ	5月11日
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦	0	0	0	0	0	2	五ヶ所小梅	果実縦径1.2cm	5月10日
紀州	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	南高	果実縦径3.5cm	5月9日
	御浜町上市木	0	0	0	0	0	0	南高	果実縦径2cm	5月9日
	平　均	0	0	0.1	0	0	0.5			
	前　年	3.9	0	1.1	0.8	2.5	7.5			
	平年(10年平均)	2.5	0.1	0.2	0.08	0.5	4.8			

6月

地区	調査場所	黒星病	かいよう病	アブラムシ類		ウメシロカイガラムシ	品種	生育状況等	調査月日
		果実発病度	果実発病度	葉発生度	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)			
津	津市片田田中町	8.6	15.7	0	0	2	白加賀		6月3日
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦	0	0	0	0	0	五ヶ所小梅	収穫終期	6月2日
紀州	御浜町中立	—	—	—	—	—	南高	収穫済	6月7日
	御浜町上市木	0	0	0	0	0	南高		6月7日
	平　均	2.9	5.2	0	0	0.7			
	前　年	9.2	1.0	0	0	2.5			
	平年(10年平均)	9.7	1.0	0.02	0.2	2.5			

果樹カメムシ類越冬個体数調査

a.チャバネアオカメムシ越冬量調査　　単位:頭

調査年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	10年平均
津市白山町二本木	0	1	1	0	0	5	2	1	0	0	0	1.0
津市白山町川口(スギ、ヒノキ林)	1	13	9	0	0	3	0	1	0	2	0	2.9
松阪市大阿坂町(広葉樹林)	1	27	1	0	1	14	1	0	0	1	6	4.6
松阪市小阿坂町(ヒノキ林)	2	36	28	0	6	11	0	1	0	0	0	8.4
松阪市嬉野川北町	0	3	0	0	7	3	1	0	0	1	0	1.5
平均	0.8	16.0	7.8	0.0	2.8	7.2	0.8	0.6	0.0	0.8	1.2	3.7
採集地点率(%)	60	100	80	0	60	100	60	60	0	60	20	58.0

※1地点あたり1㎡範囲内の落葉を3カ所採取し(計3㎡)、捕獲した数を計測。
※調査地点は津市白山町二本木、津市白山町川口、松阪市大阿坂町、松阪市小阿坂町、松阪市嬉野川北町の5地点。
※調査は、2017年までは1月～3月に実施。2018～2020年は12月に実施。2021～2022年は12月または1月に実施。

b.クサギカメムシ越冬量調査　　単位:頭

調査年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	10年平均
津市白山町二本木	1	12	9	7	4	6	6	9	6	2	3	6.2
津市白山町川口(スギ、ヒノキ林)	8	658	543	46	38	172	50	152	10	82	11	175.9
南伊勢町船越(カンキツ園)	0	55	5	4	30	27	1	2	0	14	0	13.8
御浜町志原(カンキツ園)	0	3	10	1	0	3	0	0	1	2	0	2.0
平均	2.3	182.0	141.8	14.5	18.0	52.0	14.3	40.8	4.3	25.0	3.5	49.5
採集地点率(%)	50	100	100	100	75	100	75	75	75	100	50	85.0

※越冬小屋(0.6m×0.6m×1m)に入った数を計測。
※調査地点は津市白山町二本木、津市白山町川口、南伊勢町船越、御浜町志原の4地点。
※小屋の設置は10月。1月～2月に回収調査を実施。

広域病害虫防除員調査結果

カンキツ　6月

地区	調査地点	品種	そうか病				かいよう病				黒点病		ミカンハダニ		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病果数	発病果率	発病葉数	発病葉率	発病果数	発病果率	発病果数	発病果率	寄生葉率	虫数／葉		
伊勢	南伊勢町切原1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○切原 新梢数はやや多く、着果数はやや少ない。一次生理落果終期。 春先にはカメムシが散見されたが、現在はほぼ見られない。 ○五ヶ所浦 新梢数はやや多く、着果数はやや少ない。開花は4月下旬～5月下旬までバラついた。 そうか病は、特定の木で発生している。	6月9日
	南伊勢町切原2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.04		6月9日
	南伊勢町切原3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		6月9日
	南伊勢町五ヶ所1	早生温州	5	10	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0		6月9日
	南伊勢町五ヶ所2	早生温州	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		6月9日
	南伊勢町五ヶ所3	早生温州	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.02		6月9日
	平均		1.3	2.7	0.2	0.3	0	0	0	0	0	0	0.7	0.01		
	過去の平均値 （データ数）		0.6 10	1.2 10	0.3 10	0.6 10	0.1 10	0.1 10	0 10	0 10	0 10	0 10	1.5 10	0.19 10		
東紀州	熊野市金山町1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0.18	早生温州1：樹勢並、着果少 早生温州2：樹勢弱、着果少　果実に灰色かび病確認 早生温州3：樹勢弱、着果バラつき	6月8日
	熊野市金山町2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0.14		6月8日
	熊野市金山町3	早生温州	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		6月8日
	御浜町志原1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州：樹勢良、着果やや多 不知火　：樹勢弱、生理落果中 甘夏　　：樹勢弱、着果少	6月8日
	御浜町志原2	不知火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0.08		6月8日
	御浜町志原3	甘夏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	1.22		6月8日
	御浜町下市木1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0.12	極早生温州：樹勢並、着果やや多　果径15～20mm カラ　　：樹勢良 セミノール　：樹勢良	6月8日
	御浜町下市木2	カラ	1	2	0	0	5	10	0	0	0	0	0	0		6月8日
	御浜町下市木3	セミノール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		6月8日
	御浜町阿田和1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.04	極早生温州：樹勢弱、着果やや少、果径15～25mm 甘夏　　：樹勢良、着果少 セミノール　：樹勢並	6月8日
	御浜町阿田和2	甘夏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76	2.10		6月8日
	御浜町阿田和3	セミノール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.04		6月8日
	紀宝町井田1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0.24	極早生温州：樹勢良、着果少、果径10～25mm 早生温州　：樹勢良、着果バラつき 不知火　　：樹勢並、剪定不足	6月8日
	紀宝町井田2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		6月8日
	紀宝町井田3	不知火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	1.50		6月8日
	平均		0.1	0.3	0	0	0.3	0.7	0	0	0	0	14.9	0.38		
	過去の平均値 （データ数）		0.4 10	0.9 10	0 10	0 10	1.1 10	2.1 10	0 10	0 10	0 10	0 10	15.2 10	0.74 10		

※いずれも50葉または50果調査。

広域病害虫防除員調査結果
カンキツ 8月

地区	調査地点	品種	そうか病				かいよう病				黒点病		ミカンハダニ		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病果数	発病果率	発病葉数	発病葉率	発病果数	発病果率	発病果数	発病果率	寄生葉率	虫数／葉		
伊勢	南伊勢町切原1	早生温州	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	果実横径35～50mm 摘果作業終期 カメムシ被害と思われる黄化果実が少し見られる	8月9日
	南伊勢町切原2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		8月9日
	南伊勢町切原3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		8月9日
	南伊勢町五ヶ所1	早生温州	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	果実横径40～55mm 8月中旬に摘果終了予定 地点1、2は海岸側、3は山中のほ場 地点1、2はかいよう病(果実)が見られる	8月9日
	南伊勢町五ヶ所2	早生温州	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0		8月9日
	南伊勢町五ヶ所3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		8月9日
	平均		0.0	0.0	0.2	0.3	0	0	0.5	1.0	0	0	0	0		
	過去の平均値 (データ数)		0.3 10	0.6 10	0.4 10	0.8 10	0.4 10	0.8 10	0.6 10	1.1 10	0.7 10	1.4 10	1.2 10.0	0.05 10		
東紀州	熊野市金山町1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	1.60	早生温州1、3:マルチ栽培	8月7日
	熊野市金山町2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	86	3.24		8月7日
	熊野市金山町3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0.00		8月7日
	御浜町志原1	早生温州	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0.00	早生温州:マルチ栽培、果径40mm～50mm	8月7日
	御浜町志原2	不知火	0	0	0	0	2	4	4	8	0	0	0	0.00		8月7日
	御浜町志原3	甘夏	0	0	0	0	1	2	9	18	0	0	0	0.00		8月7日
	御浜町下市木1	極早生温州	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0.00	極早生温州:マルチ栽培、果径40mm～50mm	8月7日
	御浜町下市木2	カラ	0	0	0	0	24	48	10	20	1	2	0	0.00		8月7日
	御浜町下市木3	セミノール	0	0	0	0	3	6	2	4	0	0	0	0.00		8月7日
	御浜町阿田和1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0.00	極早生温州:マルチ栽培、果径40mm～50mm セミノール:肥大少、旧葉の黄化が見られる	8月7日
	御浜町阿田和2	セミノール	0	0	0	0	1	2	2	4	4	8	0	0.00		8月7日
	御浜町阿田和3	甘夏	0	0	0	0	23	46	17	34	0	0	0	0.00		8月7日
	紀宝町井田1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	極早生温州:マルチ栽培、果径30mm～50mm 不知火:着果数極少	8月7日
	紀宝町井田2	早生温州	0	0	0	0	1	2	2	4	0	0	0	0.00		8月7日
	紀宝町井田3	不知火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.06		8月7日
	平均		0	0	0	0	3.7	7.5	3.1	6.3	0.5	1.1	8.7	0.33		
	過去の平均値 (データ数)		0.2 10	0.5 10	0.01 10	0.03 10	1.3 10	2.5 10	1.8 10	3.7 10	4.0 10	8.0 10	8.0 10.0	0.48 10		

※いずれも50葉または50果調査。過去の平均値は、平成23年までは7月の調査結果。

広域病害虫防除員調査結果
カンキツ　10月

地区	調査地点	品種	そうか病				かいよう病				黒点病		ミカンハダニ		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病果数	発病果率	発病葉数	発病葉率	発病果数	発病果率	発病果数	発病果率	寄生葉率	虫数／葉		
伊勢	南伊勢町切原1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	果実横径5～7cm 果実着色中程度 チャノキイロアザミウマの被害果が散見される	10月10日
	南伊勢町切原2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		10月10日
	南伊勢町切原3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		10月10日
	南伊勢町五ヶ所浦1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	果実横径5～7cm 果実着色中程度 チャノキイロアザミウマの被害果が散見される	10月10日
	南伊勢町五ヶ所浦2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		10月10日
	南伊勢町五ヶ所浦3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		10月10日
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	過去の平均値 （データ数）		0.3 10	0.5 10	0.3 10	0.6 10	0.2 10	0.4 10	0.6 10	1.3 10	10.8 10	21.7 10	0.3 10	0.02 10		
東紀州	熊野市金山町1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	早生温州1：マルチ栽培 早生温州3：マルチ栽培	10月8日
	熊野市金山町2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	10	20	0	0		10月8日
	熊野市金山町3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		10月8日
	御浜町志原1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		10月8日
	御浜町志原2	甘夏	0	0	0	0	1	2	4	8	0	0	0	0		10月8日
	御浜町志原3	不知火	0	0	0	0	0	0	3	6	0	0	0	0		10月8日
	御浜町下市木1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	10	20	0	0	極早生温州：アザミウマの被害が目立つ	10月8日
	御浜町下市木2	セミノール	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0		10月8日
	御浜町下市木3	カラ	0	0	0	0	24	48	17	34	1	2	0	0		10月8日
	御浜町阿田和1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	極早生温州：マルチ栽培、収穫中	10月8日
	御浜町阿田和2	セミノール	0	0	0	0	9	18	2	4	11	22	0	0		10月8日
	御浜町阿田和3	甘夏	0	0	0	0	4	8	6	12	0	0	0	0		10月8日
	紀宝町井田1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	極早生温州：マルチ栽培、収穫中 不知火：着果極少、夏芽にかいよう病多数	10月8日
	紀宝町井田2	早生温州	0	0	0	0	1	2	0	0	4	8	0	0		10月8日
	紀宝町井田3	不知火	0	0	0	0	3	6	2	4	0	0	0	0		10月8日
	平均		0	0	0	0	2.9	5.7	2.3	4.5	2.8	5.6	0	0		
	過去の平均値 （データ数）		0.3 10	0.6 10	0.007 10	0.01 10	1.3 10	2.7 10	2.9 10	5.8 10	8.5 10	17.0 10	4.2 10	0.21 10		

※いずれも50葉または50果調査。

広域病害虫防除員調査結果
ブドウ 7月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市湯屋谷1	巨峰	0	0%	0	0%	生育状況は良好	7月6日
	伊賀市湯屋谷2	シャインマスカット	0	0%	0	0%		7月6日
	伊賀市予野1	巨峰	0	0%	0	0%		7月6日
	伊賀市予野2	シャインマスカット	0	0%	0	0%		7月6日
	名張市美旗中村	巨峰	0	0%	0	0%		7月6日
	平均		0	0%	0	0%		
	過去の平均値		0.5	1.0%	0	0%		
	(データ数)		(10)	(10)	(10)	(10)		

※べと病は1圃場当り50葉、晩腐病は1圃場当り50房調査。

広域病害虫防除員調査結果
ブドウ 8月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市湯屋谷1	巨峰	0	0%	0	0%	生育良好	8月3日
	伊賀市湯屋谷2	シャインマスカット	0	0%	0	0%		8月3日
	伊賀市予野1	巨峰	0	0%	0	0%		8月3日
	伊賀市予野2	シャインマスカット	0	0%	0	0%		8月3日
	伊賀市美旗中村	巨峰	5	10%	7	14%		8月3日
	平均		1.0	2.0%	1.4	2.8%		
	過去の平均値		1.8	3.6%	0.8	1.5%		
	(データ数)		(10)	(10)	(10)	(10)		

※べと病は1圃場当り50葉、晩腐病は1圃場当り50房調査。

広域病害虫防除員調査結果
ブドウ 9月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市湯屋谷1	巨峰	0	0%	0	0%		9月6日
	伊賀市湯屋谷2	シャインマスカット	0	0%	0	0%		9月6日
	伊賀市予野1	巨峰	16	32%	19	38%		9月6日
	伊賀市予野2	シャインマスカット	5	10%	4	8%		9月6日
	伊賀市美旗中村	巨峰	13	26%	12	24%		9月6日
	平均		6.8	13.6%	7.0	14.0%		
	過去の平均値		2.7	5.4%	7.5	15.0%		
	(データ数)		(10)	(10)	(9)	(9)		

※べと病は1圃場当り50葉、晩腐病は1圃場当り50房調査。

茶 巡 回 調 査 結 果〈2022年4月〉

地区	調査場所	炭疽病 旧葉発病枚数／㎡	カンザワハダニ 旧葉寄生率(%)	カンザワハダニ 旧葉寄生虫数／葉	チャノミドリヒメヨコバイ たたき落とし虫数	チャノキイロアザミウマ たたき落とし虫数	ハマキムシ類 巻葉数／㎡	ハマキムシ類 幼虫数(頭/葉)	クワシロカイガラムシ 雌成虫寄生株率(%)	チャトゲコナジラミ 寄生葉率(%)	チャトゲコナジラミ 寄生度	チャトゲコナジラミ 発生程度	調査月日	備考
四日市鈴鹿	四日市市水沢町(定)	2	36	1.26	0	0	0	0	16	82	36.0	少	4月7日 萌芽期	
	四日市市水沢町1	2	32	1.20	0	0	0	0	24	56	18.7	少	4月7日 萌芽期	
	四日市市水沢町2	8	40	4.94	0	0	0	0	20	82	34.7	少	4月7日 萌芽期	
	鈴鹿市山本町(定)	7	4	0.36	0	0	0	0	10	50	17.3	少	4月7日 萌芽期	
	鈴鹿市山本町1	2	26	3.60	0	0	0	0	2	22	7.3	少	4月7日 萌芽期	
	鈴鹿市山本町2	1	28	1.38	0	0	0	0	18	36	12.0	少	4月7日 萌芽期	
	鈴鹿市山本町3	4	0	0	0	0	0	0	12	56	20.0	少	4月7日 萌芽期	
	亀山市太森町1	10	6	0.10	0	0	0	0	4	8	2.7	少	4月7日 萌芽期	
	亀山市太森町2	0	6	0.10	0	0	0	0	10	10	3.3	少	4月7日 萌芽期	
	亀山市太森町3	0	2	0.04	0	0	0	0	14	12	4.0	少	4月7日 萌芽期	
松阪	松阪市飯南町粥見1	7	12	0.38	0	0	0	0	16	88	30.0	少	4月12日 萌芽期	
	松阪市飯南町粥見2	4	6	0.16	0	0	0	0	12	76	25.3	少	4月12日 萌芽期	
	松阪市飯南町粥見3	7	20	1.92	0	0	0	0	8	60	20.0	少	4月12日 萌芽期	
	大台町栃原(定)	2	4	0.04	0	0	0	0	0	34	11.3	少	4月12日 萌芽期	
	大台町栃原1	10	4	0.04	0	0	0	0	4	32	10.7	少	4月12日 萌芽期	
	大台町栃原2	4	22	0.66	0	0	0	0	0	26	8.7	少	4月12日 萌芽期	
伊勢志摩	度会町牧戸1	18	6	0.28	0	0	0	0	6	60	20.0	少	4月12日 萌芽期	
	度会町牧戸2	13	22	0.80	0	0	0	0	0	32	10.7	少	4月12日 萌芽期	
平　均		5.6	15.3	0.96	0	0	0	0	9.8	45.7	16.3	少		
前　年		4.3	5.9	0.30	0.5	0.06	0.8	0.1	20.0	56.2	19.2			
平年(10年平均)		2.4	5.5	0.27	0.3	1.0	1.6	0.1	15.8	40.3	14.4			

※チャトゲコナジラミ裾葉裏幼虫寄生程度；A：51頭以上、B：26頭～50頭、C：1頭～25頭、E：0頭

寄生度={(A×3)+(B×2)+(C×1)}/{3×(調査葉数)}×100

発生程度のランク分けは右表による

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61～80	多
41～60	中
1～40	少
0	無

茶 巡 回 調 査 結 果(2022年5月)

地区	調査場所	炭疽病	もち病	カンザワハダニ		チャノミドリヒメヨコバイ	チャノキイロアザミウマ	チャノホソガ		ハマキムシ類	クワシロカイガラムシ	チャトゲコナジラミ幼虫			調査月日	備考
		新葉発病枚数／㎡	新葉発病枚数／㎡	寄生葉率(%)	寄生虫数／葉	たたき落とし虫数	たたき落とし虫数	巻葉数／㎡	幼虫数／㎡	巻葉数／㎡	雌成虫寄生株率(%)	寄生葉率%	寄生程度	発生度		
四日市鈴鹿	四日市市水沢町(定)	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	5月6日	被覆中
	四日市市水沢町1	0	0	6	0.06	2	0	0	0	0	20	44	14.7	少	5月6日	摘採後
	四日市市水沢町2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	5月6日	被覆中
	鈴鹿市山本町(定)	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	5月6日	被覆中
	鈴鹿市山本町1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	5月6日	被覆中
	鈴鹿市山本町2	0	0	6	0.06	1	0	0	0	0	18	58	19.3	少	5月6日	摘採前、ツマグロアオカスミカメによる食害を確認
	鈴鹿市山本町3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	24	46	16.0	少	5月6日	摘採前、ツマグロアオカスミカメによる食害を確認
	亀山市太森町1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	10	8	2.7	少	5月10日	摘採後
	亀山市太森町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	2	0.7	少	5月10日	摘採前、ツマグロアオカスミカメによる食害を確認
	亀山市太森町3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	18	6.0	少	5月10日	摘採前
松阪	松阪市飯南町粥見1	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	10	72	24.7	少	5月6日	摘採後
	松阪市飯南町粥見2	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	10	74	27.3	少	5月6日	摘採後
	松阪市飯南町粥見3	0	0	2	0.06	0	0	0	0	0	0	68	22.7	少	5月6日	摘採後、ツマグロアオカスミカメによる食害を確認
	大台町栃原(定)	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	16	5.3	少	5月6日	摘採前、ツマグロアオカスミカメによる食害を確認
	大台町栃原1	0	0	2	0.10	0	0	0	0	0	0	34	11.3	少	5月6日	摘採後、もち病微発生、ツマグロアオカスミカメによる食害を確認
	大台町栃原2	0	0	12	0.16	0	0	0	0	0	0	18	6.0	少	5月6日	摘採前
伊勢志摩	度会町牧戸1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	74	24.7	少	5月6日	摘採後
	度会町牧戸2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	46	15.3	少	5月6日	摘採後、ツマグロアオカスミカメによる食害を確認
平　均		0	0	2.4	0.04	0.5	0	0	0	0.07	8.3	41.3	14.0	少		
前　年		0	0	0.4	0.007	0	0	0.2	0	0.07	14.7	61.7	20.9			
平年(10年平均)		0.04	0	4.2	0.09	0.7	1.4	0.6	0.4	0.1	12.9	33.9	12.5			

(9年平均)

※炭疽病、もち病、ハマキムシ類、チャノホソガについては、枠調査(1／8㎡×8ヶ所=1㎡)による。
※チャトゲコナジラミ裾葉裏幼虫寄生程度;A:51頭以上、B:26頭～50頭、C:1頭～25頭、E:0頭
寄生度=｛(A×3)+(B×2)+(C×1)｝/｛3×(調査葉数)｝×100
発生程度のランク分けは右表による。

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61～80	多
41～60	中
1～40	少
0	無

広域防除員報告

調査地点、調査日		カンザワハダニ		炭疽病
		頭数/葉	寄生葉率%	発病葉数
四日市市水沢町	R4	0.18	18.1	0.0
3月3日調査	平年	−	−	−
松阪市飯南町粥見	R4	0.00	0.0	0.0
5月4日調査	平年	0.03	1.1	0.0

茶 巡 回 調 査 結 果〈2022年6月〉

地区	調査場所	炭疽病	もち病	カンザワハダニ		チャノミドリヒメヨコバイ	チャノキイロアザミウマ	ハマキムシ類	チャノホソガ	ツマグロアオカスミカメ	クワシロカイガラムシ		チャトゲコナジラミ			調査日	備考
		(二番茶芽、一番茶残葉)発病枚数/㎡	発病枚数/㎡	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	たたき落とし虫数	たたき落とし虫数	巻葉数/㎡	巻葉数/㎡	被害芽数/㎡	雄マユ寄生株率(%)	雌成虫寄生株率(%)	裾葉幼虫寄生率(%)	寄生度	発生程度		
四日市鈴鹿	四日市市水沢町(定)	0	0	4	0.22	0	0	5	3	0	14	10	34	16.0	少	6月2日	2.0～3.0葉期、微発生:ツマグロアオカスミカメによる食害
	四日市市水沢町1	0	0	0	0	0	0	4	0	1	6	4	8	2.7	少	6月2日	2.0葉期
	四日市市水沢町2	0	0	6	0.14	0	0	2	1	1	14	8	24	12.0	少	6月2日	0.5～1.0葉期
	鈴鹿市山本町(定)	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	6	8	20	6.7	少	6月2日	萌芽期
	鈴鹿市山本町1	0	0	16	0.46	1	0	0	0	0	0	6	4	1.3	少	6月2日	萌芽期、微発生:ツマグロアオカスミカメによる食害
	鈴鹿市山本町2	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	12	22	28	9.3	少	6月2日	萌芽期
	鈴鹿市山本町3	0	0	4	0.04	1	0	0	0	0	16	8	44	15.3	少	6月2日	萌芽期
	亀山市太森町1	0	0	2	0.04	0	0	8	0	2	8	12	10	3.3	少	6月2日	萌芽期
	亀山市太森町2	0	0	0	0	0	0	4	2	0	6	2	8	2.7	少	6月2日	萌芽期
	亀山市太森町3	0	0	2	0.02	0	0	6	1	0	2	10	24	8.0	少	6月2日	萌芽期
松阪	松阪市飯南町粥見1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	6	24	8.7	少	6月2日	1.5葉期
	松阪市飯南町粥見2	0	0	2	0.04	0	0	0	0	0	6	0	8	3.3	少	6月2日	1.5葉期
	松阪市飯南町粥見3	0	0	2	0.08	3	0	0	0	0	4	2	0	0	無	6月2日	1.5葉期
	大台町栃原(定)	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	2	0.7	少	6月2日	萌芽期、微発生:もち病
	大台町栃原1	0	0	4	0.04	0	0	0	0	0	8	0	0	0	無	6月2日	1.5～2.0葉期、微発生:もち病
	大台町栃原2	0	0	2	0.04	1	0	0	0	2	4	0	4	1.3	少	6月2日	萌芽期、微発生:もち病
伊勢志摩	度会町牧戸1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6	0	8	2.7	少	6月2日	中刈のため隣接茶園調査、1.5葉期、微発生:ツマグロアオカスミカメによる食害
	度会町牧戸2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2	2	0.7	少	6月2日	1.5葉期
平　均		0	0	2.8	0.07	0.3	0	1.7	0.4	0.3	7.1	5.6	14.0	5.3	少		
前　年		0	0	3.3	0.05	0.7	0	3.6	0.1	1.9	25.0	15.1	21.9	7.5			
平年(10年平均)		0.2	0.01	4.7	0.11	2.3	7.3	1.4	0.3	1.7	11.2	8.4	23.8	8.9			

※炭疽病、もち病、チャノホソガ、ハマキムシ類，ツマグロアオカスミカメは、枠調査(1㎡)による。
※チャトゲコナジラミ裾葉裏幼虫寄生程度;A:51頭以上、B:26頭～50頭、C:1頭～25頭、E:0頭
寄生度=｛(A×3)+(B×2)+(C×1)｝/｛3×(調査葉数)｝×100
発生程度のランク分けは右表による。

チャトゲコナジラミ幼虫	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61～80	多
41～60	中
1～40	少
0	無

茶 巡 回 調 査 結 果〈2022年7月〉

地区	調査場所	炭疽病	もち病	輪斑病	カンザワハダニ		チャノミドリヒメヨコバイ	チャノキイロアザミウマ	ハマキムシ類	チャノホソガ	ツマグロカスミカメ	クワシロカイガラムシ		チャトゲコナジラミ幼虫			調査月日	備考
		発病枚数(新葉・残葉)/㎡	発病枚数(新葉・残葉)/㎡	発病枚数(新葉・残葉)/㎡	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	たたき落とし虫数	たたき落とし虫数	巻葉数/㎡	巻葉数/㎡	被害芽数/㎡	雄マユ寄生株率(%)	雌成虫寄生株率(%)	寄生葉率%	寄生度	発生程度		
四日市鈴鹿	四日市市水沢町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	無	7月4日	被覆中
	四日市市水沢町1	0	0	0	6	0.18	0	0	0	0	0	20	24	30	10.0	少	7月4日	整枝後
	四日市市水沢町2	0	0	0	6	0.24	0	0	0	0	0	60	62	78	34.7	少	7月4日	整枝後
	鈴鹿市山本町(定)	0	2	1	2	0.04	0	0	0	0	0	24	56	22	7.3	少	7月4日	刈取後
	鈴鹿市山本町1	0	0	1	2	0.02	1	0	0	0	0	24	30	18	6.0	少	7月4日	刈取後
	鈴鹿市山本町2	0	0	0	6	0.36	0	0	0	0	0	62	66	48	16.0	少	7月4日	整枝後
	鈴鹿市山本町3	0	0	0	2	0.02	1	0	0	0	0	74	90	50	16.7	少	7月4日	整枝後、微発生:もち病
	亀山市太森町1	0	0	0	6	0.10	0	0	0	0	0	24	38	30	10.0	少	7月4日	整枝後
	亀山市太森町2	0	1	0	2	0.02	0	0	0	0	0	26	24	26	8.7	少	7月4日	刈取後、微発生:ヨモギエダシャク
	亀山市太森町3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	10	20	22	7.3	少	7月4日	刈取後
松阪	松阪市飯南町粥見1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	34	44	40	13.3	少	7月4日	刈取後
	松阪市飯南町粥見2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	12	38	48	16.0	少	7月4日	刈取後
	松阪市飯南町粥見3	0	0	0	2	0.02	3	0	0	0	0	16	8	36	12.0	少	7月4日	刈取後
	大台町栃原(定)	0	0	1	2	0.02	2	0	2	0	0	0	0	16	5.3	少	7月12日	整枝後
	大台町栃原1	0	0	0	2	0.02	1	0	1	0	0	0	0	10	3.3	少	7月12日	整枝後
	大台町栃原2	0	0	1	8	0.18	1	0	2	0	0	0	0	36	12.0	少	7月12日	整枝後
伊勢志摩	度会町牧戸1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	20	6.7	少	7月12日	中刈後展葉2.5～3.0枚
	度会町牧戸2	0	0	0	10	0.34	0	0	0	0	0	4	0	34	11.3	少	7月12日	整枝後
平　均		0	0.2	0.2	3.1	0.09	0.7	0	0.4	0	0	21.7	27.8	31.3	10.9	少		
前　年		0.4	2.4	0.06	1.1	0.01	3.4	0	8.2	1.1	1.2	19.3	17.8	47.9	18.4			
平年(10年平均)		0.7	0.3	1.2	1.3	0.08	2.5	12.9	1.0	0.6	0.8	13.4	17.2	41.5	15.7			

※炭疽病、輪斑病、ホソガ、ハマキムシ類については、枠調査(1㎡)による。
※クワシロカイガラムシ雄マユ寄生程度程度:A:株の1／2以上かつ幹に環状、B:株の1／4以上又は枝幹の一部に環状、C:枝幹に転々、D:寄生なし、寄生度=[{(A×3)+(B×2)+(C×1)}/{3×(調査株数)}]×100
※チャトゲコナジラミ一葉当たり寄生程度:A:51頭以上、B:26～50頭、C:1～25頭(裾葉当年春葉～前年最終葉)、寄生度=[{(A×3)+(B×2)+(C×1)}/{3×(調査葉数)}]×100

(9年平均)

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61～80	多
41～60	中
1～40	少
0	無

広域防除員報告

対象病害虫		カンザワハダニ		炭疽病	カンザワハダニ		炭疽病
調査地点	項目	頭数/葉	寄生葉率%	発病葉数	頭数/葉	寄生葉率%	発病葉数
四日市市水沢町	調査月	3月			－		
	R4	0.18	18.1	0.0	－	－	－
	平年＊	－	－	－	－	－	－
松阪市飯南町粥見	調査月	5月			7月		
	R4	0.00	0.0	0.0	0	0	0.7
	平年	0.03	1.1	0.0	0.01	0.7	10.1

茶 巡 回 調 査 結 果(2022年8月)

地区	調査場所	炭疽病	もち病	輪斑病	カンザワハダニ		チャノミドリヒメヨコバイ	チャノキイロアザミウマ	ハマキムシ類	チャノホソガ	ツマグロアオカスミカメ	ヨモギエダシャク	クワシロカイガラムシ		チャトゲコナジラミ幼虫			調査月日	備考
		新葉発病葉数/㎡	新葉発病葉数/㎡	新葉発病葉数/㎡	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	たたき落とし虫数	たたき落とし虫数	巻葉数／㎡	巻葉数／㎡	被害葉数／㎡	被害葉数／㎡	雄マユ寄生株率(%)	雌成虫寄生株率(%)	寄生葉率%	寄生度	発生程度		
四日市鈴鹿	四日市市水沢町(定)	0	0	0	2	0.10	0	0	0	0	0	0	0	10	60	23.3	少	8月5日	0.5～1葉期
	四日市市水沢町1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	22	7.3	少	8月5日	3葉期
	四日市市水沢町2	0	0	0	8	0.18	0	0	0	0	0	0	0	4	72	29.3	少	8月5日	3葉期、微発生:チャノキイロアザミウマ
	鈴鹿市山本町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	16	5.3	少	8月5日	2葉期
	鈴鹿市山本町1	0	0	0	4	0.26	1	0	0	0	1	0	2	4	22	7.3	少	8月5日	1.5葉期、微発生:ヨモギエダシャク
	鈴鹿市山本町2	0	0	0	2	0.04	0	0	0	0	0	0	14	26	50	16.7	少	8月5日	3葉期、微発生:チャノミドリヒメヨコバイ
	鈴鹿市山本町3	0	0	0	2	0.02	4	0	0	0	0	0	18	28	38	12.7	少	8月5日	3～4葉期
	亀山市太森町1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	26	12	20	6.7	少	8月5日	4葉期
	亀山市太森町2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	6	40	13.3	少	8月5日	1～1.5葉期
	亀山市太森町3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	4	24	8.0	少	8月5日	3～4葉期
松阪	松阪市飯南町粥見1	0	0	0	2	0.02	2	0	0	0	0	0	32	20	44	15.3	少	8月5日	3～4葉期
	松阪市飯南町粥見2	0	0	0	2	0.04	0	0	0	0	1	0	12	14	62	20.7	少	8月5日	3～4葉期、微発生:チャノミドリヒメヨコバイ
	松阪市飯南町粥見3	0	0	0	10	0.12	5	0	0	0	0	0	6	0	50	16.7	少	8月5日	3～4葉期
	大台町栃原(定)	0	0	0	6	0.08	1	0	1	0	0	0	12	0	10	3.3	少	8月12日	4～5葉期
	大台町栃原1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	10	3.3	少	8月12日	4～5葉期
	大台町栃原2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	14	4.7	少	8月12日	3～4葉期
伊勢志摩	度会町牧戸1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	16	2	26	8.7	少	8月12日	3～4葉期
	度会町牧戸2	1	0	0	6	0.16	0	0	0	0	0	0	2	0	30	10.0	少	8月12日	4～5葉期
平　均		0.06	0	0	2.4	0.06	1.3	0	0.06	0	0.2	0.06	8.4	7.8	33.9	11.8	少		
前　年		0.06	0.1	0.06	3.1	0.09	1.9	0.6	0.8	2.8	4.8	0.3	22.2	15.4	45.7	16.4			
平年(10年平均)		1.2	0.06	3.3	0.8	0.02	1.4	6.6	0.7	0.8	1.1	0.06	8.9	8.3	32.1	12.3			

※炭疽病、もち病、輪斑病、ハマキムシ類、チャノホソガ、ツマグロアオカスミカメ、ヨモギエダシャクについては、枠調査(1㎡)による。
※チャトゲコナジラミ:一葉当たり寄生程度(裾葉当年春葉):A:51頭以上、B:26～50頭、C:1～25頭、E:0頭
寄生度=[{(A×3)+(B×2)+(C×1)}/{3×(調査葉数)}]×100、発生程度は右表によりランク分け

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61～80	多
41～60	中
1～40	少
0	無

茶 巡 回 調 査 結 果〈2022年9月〉

地区	調査場所	炭疽病	輪斑病	カンザワハダニ		チャノミドリヒメヨコバイ	チャノキイロアザミウマ	ハマキムシ類	チャノホソガ	クワシロカイガラムシ		チャトゲコナジラミ幼虫			調査月日	備考
		新葉発病葉数/㎡	新葉発病葉数/㎡	寄生葉率(%)	寄生虫数(頭/葉)	たたき落とし虫数(頭)	たたき落とし虫数(頭)	巻葉数／㎡	巻葉数／㎡	雄繭寄生株率(%)	雌成虫寄生株率(%)	寄生葉率(%)	寄生度	発生程度		
四日市鈴鹿	四日市市水沢町(定)	0	0	0	0	2	0	0	0	2	6	50	22.7	少	9月9日	三番茶硬化期(4.5～5.5葉)
	四日市市水沢町1	1	0	0	0	0	0	0	0	6	2	10	3.3	少	9月9日	三番茶硬化期(2.5～3.5葉)
	四日市市水沢町2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	8	30	12.0	少	9月9日	三番茶硬化期(3～4葉)
	鈴鹿市山本町(定)	2	1	0	0	0	0	0	0	4	4	32	10.7	少	9月7日	三番茶硬化期(3～4葉)
	鈴鹿市山本町1	2	1	0	0	0	0	0	0	6	4	8	2.7	少	9月7日	三番茶硬化期(2～3葉)
	鈴鹿市山本町2	0	2	2	0.02	0	0	0	0	10	4	38	12.7	少	9月7日	三番茶硬化期(3.5～4.5葉)
	鈴鹿市山本町3	2	1	0	0	0	0	1	0	16	14	26	8.7	少	9月7日	三番茶硬化期(3～4葉)
	亀山市太森町1	1	0	2	0.02	1	0	0	0	8	2	30	10.0	少	9月7日	三番茶硬化期(6～7葉)
	亀山市太森町2	0	0	6	0.12	0	0	0	0	4	2	20	6.7	少	9月7日	三番茶硬化期(3～4葉)
	亀山市太森町3	0	0	0	0	0	0	0	1	6	16	10	3.3	少	9月7日	三番茶硬化期(4～5葉)
松阪	松阪市飯南町粥見1	4	0	10	0.16	0	0	0	15	2	0	24	8.0	少	9月7日	三番茶硬化期(4～5葉)
	松阪市飯南町粥見2	0	0	2	0.02	0	0	0	16	0	0	26	8.7	少	9月7日	三番茶硬化期(3～4葉)
	松阪市飯南町粥見3	5	0	0	0	0	0	0	0	2	2	22	7.3	少	9月7日	三番茶硬化期(2.5～3.5葉)
	大台町栃原(定)	3	2	0	0	0	1	0	0	0	0	18	6.0	少	9月7日	三番茶硬化期(3～4葉)
	大台町栃原1	4	0	8	0.10	0	0	0	0	2	0	32	10.7	少	9月7日	三番茶硬化期(2～3葉)
	大台町栃原2	2	1	2	0.02	1	0	0	1	2	0	10	3.3	少	9月7日	三番茶硬化期(2～3葉)
伊勢志摩	度会町牧戸1	14	2	2	0.02	0	0	1	1	0	4	46	15.3	少	9月7日	刈取後
	度会町牧戸2	8	0	2	0.02	0	0	0	0	4	0	32	10.7	少	9月7日	刈取後
平　均		2.7	0.6	2.0	0.03	0.2	0.1	0.2	1.9	4.1	3.8	25.8	9.0	少		
前　年		2.6	10.9	1.2	0.02	0.9	0.4	1.3	4.2	10.4	24.9	33.4	13.0			
平年(10年平均)		1.5	4.6	2.1	0.04	1.7	4.5	1.7	0.7	6.3	8.7	21.0	8.3			

※炭疽病、もち病、輪斑病、ハマキムシ類、ホソガは、枠調査(1㎡)による。
※輪斑病は新梢枯死症を含む。
※チャトゲコナジラミ:寄生程度:裾葉当年春葉～前年最終葉一葉当たり:A:51頭以上、B:26～50頭、C:1～25頭、E:0頭、
寄生度={(A×3)+(B×2)+(C×1)}/{3×(調査葉数)}×100
発生程度:右表による。

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61～80	多
41～60	中
1～40	少
0	無

茶 巡 回 調 査 結 果〈2022年10月〉

地区	調査場所	炭疽病	輪斑病	カンザワハダニ		チャノミドリヒメヨコバイ	チャノキイロアザミウマ	ハマキムシ類		チャノホソガ		ツマグロアオカスミカメ	クワシロカイガラムシ		チャトゲコナジラミ幼虫			調査月日	備考
		発病枚数/㎡	発病枚数/㎡	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	叩き落し虫数	叩き落し虫数	巻葉数/㎡	幼虫数/㎡	巻葉数/㎡	幼虫数/㎡	被害葉数/㎡	雄マユ寄生株率(%)	雌成虫寄生株率(%)	寄生葉率(%)	寄生度	発生程度		
四日市鈴鹿	四日市市水沢町(定)	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	38	16.7	少	10月11日 8-9葉	
	四日市市水沢町1	4	0	2	0.02	0	2	1	0	0	0	0	4	0	16	5.3	少	10月11日 摘採後	
	四日市市水沢町2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	14	2	64	26.0	少	10月11日 摘採後	
	鈴鹿市山本町(定)	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	10	0	40	13.3	少	10月11日 摘採後	
	鈴鹿市山本町1	1	0	4	0.04	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.7	少	10月11日 摘採後	
	鈴鹿市山本町2	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	6	32	11.3	少	10月11日 摘採後	
	鈴鹿市山本町3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	6	2.0	少	10月11日 摘採後	
	亀山市太森町1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	4	14	4.7	少	10月11日 摘採後	
	亀山市太森町2	13	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	10	3.3	少	10月11日 6-7葉	
	亀山市太森町3	3	1	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	28	12	12	4.0	少	10月11日 摘採後	
松阪	松阪市飯南町粥見1	4	0	30	0.44	0	0	0	0	0	0	0	22	2	34	11.3	少	10月7日 10-11葉	
	松阪市飯南町粥見2	0	0	2	0.02	1	0	0	0	0	0	0	24	6	22	7.3	少	10月7日 摘採後	
	松阪市飯南町粥見3	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	28	4	28	9.3	少	10月7日 5-6葉	
	大台町栃原(定)	2	1	4	0.04	1	0	0	0	0	0	0	4	0	16	5.3	少	10月7日 4-5葉	
	大台町栃原1	4	0	4	0.04	1	0	0	0	0	0	0	6	0	20	6.7	少	10月7日 5-6葉	
	大台町栃原2	4	0	2	0.02	1	0	0	0	0	0	1	6	0	22	7.3	少	10月7日 5-6葉	
伊勢志摩	度会町牧戸1	1	0	2	0.02	1	0	0	0	0	0	0	26	6	20	6.7	少	10月7日 4-5葉	
	度会町牧戸2	3	0	8	0.10	2	0	0	0	0	0	1	28	6	16	5.3	少	10月7日 5-6葉	
平　均		3.0	0.6	3.3	0.04	0.8	0.2	0.06	0	0	0	0.1	15.6	3.2	22.9	8.1	少		
前　年		2.9	0.4	3.6	0.09	0.4	0.8	0.06	0	5.4	2.9	1.6	20.8	7.0	35.4	13.4			
平年(10年平均)		2.0	2.2	1.8	0.04	1.2	0.9	0.1	0.02	1.6	0.7	0.7	12.8	4.7	23.3	8.6			

※炭疽病、輪斑病、ハマキムシ類、チャノホソガについては、枠調査(1㎡)による。

※チャトゲコナジラミ:寄生程度:裾葉当年春葉～前年最終葉一葉当たり:A:51頭以上、B:26～50頭、C:1～25頭、E:0頭、
寄生度=｛(A×3)+(B×2)+(C×1)｝/｛3×(調査葉数)｝×100
発生程度:右表による。

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61～80	多
41～60	中
1～40	少
0	無

茶 巡 回 調 査 結 果〈2023年3月〉

地区	調査場所	カンザワハダニ		クワシロカイガラムシ	チャトゲコナジラミ幼虫			調査月日	備考
		寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	雌成虫寄生株率(%)	寄生葉率(%)	寄生度	発生程度		
四日市鈴鹿	四日市市水沢町(定)	0	0	2	42	16.7	少	3月8日	
	四日市市水沢町1	10	0.30	2	28	9.3	少	3月8日	クワシロカイガラムシ雄繭
	四日市市水沢町2	0	0	6	64	24.0	少	3月8日	
	鈴鹿市山本町(定)	6	0.06	0	32	10.7	少	3月8日	
	鈴鹿市山本町1	16	0.74	0	0	0	無	3月8日	チャノミドリヒメヨコバイ
	鈴鹿市山本町2	2	0.02	0	28	9.3	少	3月8日	
	鈴鹿市山本町3	4	0.08	2	12	4.0	少	3月8日	クワシロカイガラムシ雄繭
	亀山市太森町1	2	0.02	8	42	14.0	少	3月8日	クワシロカイガラムシ雄繭
	亀山市太森町2	2	0.02	0	24	8.0	少	3月8日	
	亀山市太森町3	0	0	22	20	6.7	少	3月8日	
松阪	松阪市飯南町粥見1	16	0.96	16	54	18.7	少	3月7日	クワシロカイガラムシ雄繭
	松阪市飯南町粥見2	10	0.26	16	44	14.7	少	3月7日	
	松阪市飯南町粥見3	6	0.12	0	26	8.7	少	3月7日	クワシロカイガラムシ雄繭
	大台町栃原(定)	16	1.34	0	4	1.3	少	3月7日	
	大台町栃原1	4	0.04	4	18	6.0	少	3月7日	クワシロカイガラムシ雄繭
	大台町栃原2	6	0.38	4	34	11.3	少	3月7日	クワシロカイガラムシ雄繭、チャノミドリヒメヨコバイ
伊勢志摩	度会町牧戸1	0	0	8	40	13.3	少	3月7日	
	度会町牧戸2	32	1.88	6	34	11.3	少	3月7日	
平　均		7.3	0.35	5.3	30.3	10.4	少		
前　年		5.2	0.12	13.0	40.8	15.5			
平年(10年平均)		2.5	0.07	12.9	35.6	12.7			

※チャトゲコナジラミ裾葉裏幼虫寄生程度;
A:51頭以上、B:26頭～50頭、C:1頭～25頭、E:0頭
寄生度＝{(3×NA＋2×NB＋1×NC)/3N}×100
発生程度のランク分けは右表による。

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61～80	多
41～60	中
1～40	少
0	無

広域防除員報告(茶)

調査方法

1圃場あたり炭疽病は1㎡を調査(1/8㎡枠調査×10カ所)
ｶﾝｻﾞﾜﾊﾀﾞﾆは50葉の寄生葉率、寄生頭数を調査。
新葉がない場合は、旧葉を調査する。
生育状況、特記事項等を記録する。

調査結果

調査地点:四日市市水沢町　8圃場

調査日	令和4年3月3日						調査日	—					
対象病害虫	ｶﾝｻﾞﾜﾊﾀﾞﾆ				炭疽病	備　考	対象病害虫	ｶﾝｻﾞﾜﾊﾀﾞﾆ				炭疽病	備　考
圃場N0.	寄生虫数	頭数/葉	寄生葉数	寄生葉率(%)	発病葉数(枚／㎡)		圃場N0.	寄生虫数	頭数/葉	寄生葉数	寄生葉率(%)	発病葉数(枚／㎡)	
1	7	0.07	7	7.0	0		1	—	—	—	—	—	
2	52	0.52	52	52.0	0		2	—	—	—	—	—	
3	20	0.20	20	20.0	0		3	—	—	—	—	—	
4	11	0.11	11	11.0	0		4	—	—	—	—	—	
5	9	0.09	9	9.0	0		5	—	—	—	—	—	
6	20	0.20	20	20.0	0		6	—	—	—	—	—	
7	15	0.15	15	15.0	0		7	—	—	—	—	—	
8	11	0.11	11	11.0	0		8	—	—	—	—	—	
平　均	18.1	0.18	18.1	18.1	0		平　均	—	—	—	—	—	
平　年	—	—	—	—	—		平　年	—	—	—	—	—	
生育状況等 3月中のバロックフロアブルの使用を控えた傾向もあり、4月に入ってから多発茶園が増えているためダニサラバフロアブルを使用する場面もあった。							生育状況等						

調査地点:松阪市飯南町粥見藤ヶ瀬　櫛田川左岸下流(魚瀬橋付近)10圃場

調査日	令和4年5月4日						調査日	令和4年7月2日					
対象病害虫	ｶﾝｻﾞﾜﾊﾀﾞﾆ				炭疽病	備　考	対象病害虫	ｶﾝｻﾞﾜﾊﾀﾞﾆ				炭疽病	備　考
圃場N0.	寄生虫数	頭数/葉	寄生葉数	寄生葉率(%)	発病葉数(枚／㎡)		圃場N0.	寄生虫数	頭数/葉	寄生葉数	寄生葉率(%)	発病葉数(枚／㎡)	
1	0	0.00	0	0.0	0		1	0	0.00	0	0.0	7	
2	0	0.00	0	0.0	0		2	0	0.00	0	0.0	0	
3	0	0.00	0	0.0	0		3	0	0.00	0	0.0	0	
4	0	0.00	0	0.0	0		4	0	0.00	0	0.0	0	
5	0	0.00	0	0.0	0		5	0	0.00	0	0.0	0	
6	0	0.00	0	0.0	0		6	0	0.00	0	0.0	0	
7	0	0.00	0	0.0	0		7	0	0.00	0	0.0	0	
8	0	0.00	0	0.0	0		8	0	0.00	0	0.0	0	
9	0	0.00	0	0.0	0		9	0	0.00	0	0.0	0	
10	0	0.00	0	0.0	0		10	0	0.00	0	0.0	0	
平　均	0.0	0.00	0.0	0.0	0		平　均	0	0	0	0.0	0.7	
10年平均	1.3	0.03	0.6	1.1	0		10年平均	0.6	0.01	0.4	0.7	10.1	
生育状況等 生育は大変良い。 害虫の発生は例年より少ない。							生育状況等 クワシロカイガラムシやコナジラミが確認された。						

(6)野菜

1. イチゴ

イチゴ《2022年4月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		アザミウマ類	コナジラミ類		備考		
			葉 発病株率(%)	発病果率(%)	葉 発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	寄生花率(%)	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町	4月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	かおり野	土耕	果実でうどんこ病・灰色かび病微発生
	津市雲出長常町	4月12日	0	0	0	0	2	1.0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	ﾅﾐﾊﾀﾞﾆ局所的に発生。微発生：果実灰色かび病
松阪	松阪市曽原町	4月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	80	0	0	章姫	ベンチ	微発生：ﾅﾐﾊﾀﾞニ
	松阪市嬉野権現前町	4月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	18	80	10	章姫	ベンチ	ｵﾝｼﾂｸｺﾅｼﾞﾗﾐ・ﾀﾊﾞｺｺﾅｼﾞﾗﾐ
	松阪市藤之木町	4月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	土耕	
	松阪市新開町	4月11日	0	0	0	0	4	1.0	0	0	3	0	0	かおり野	土耕	
伊勢志摩	玉城町岩出	4月7日	2	0.5	0	0	2	1.0	0	0	1	0	0	かおり野	ベンチ	
	伊勢市小俣町	4月7日	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
	玉城町勝田	4月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	50	0	0	章姫	ベンチ	
	伊勢市二見町	4月7日	0	15.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	微発生：ﾅﾐﾊﾀﾞﾆ、灰色かび病（葉）、ｱｻﾞﾐｳﾏ類
	志摩市磯部町栗木広	4月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	章姫	ベンチ	微発生：アブラムシ類
	平　均		0.5	1.4	0	0	0.7	0.3	0	0	15.3	7.3	0.9			
	前　年		1.1	0.2	0	0	3.1	1.0	0.7	0.2	1.7	0	0			
	平 年（10年平均）		1.6	0.8	0.3	0.7	13.2	6.9	1.5	0.5	10.5	0.6（8年平均）	0.05（7年平均）			

イチゴ（親株床）《2022年6月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病	うどんこ病	萎黄病	ハダニ類		アブラムシ類		備考			
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	品種	生育状況	栽培形式	その他
津	津市芸濃町	6月3日	0	0	0	0	0	2	1.5	かおり野	育苗期	露地	
	津市雲出長常町	6月3日	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	育苗期	ハウス	微発生：ハダニ類　カキノヒメヨコバイ確認
松阪	松阪市曽原町	6月6日	0	0	0	2	0.5	2	0.5	章姫	育苗期	ハウス	
	松阪市嬉野権現前町	6月6日	0	0	0	0	0	2	0.5	章姫	育苗期	露地	カキノヒメヨコバイ確認
	松阪市藤之木町	6月6日	0	0	0	0	0	2	0.5	章姫	育苗期	ハウス	
	松阪市新開町	6月6日	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	育苗期	ハウス	輪斑病確認、葉色悪く一部開花（肥料切れ）。
伊勢志摩	伊勢市小俣町	6月8日	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	育苗期	露地	微発生：アブラムシ類、根張り弱い株多い。
	伊勢市二見町	6月8日	0	0	0	0	0	2	0.5	章姫	育苗期	露地	
	玉城町岩出	6月8日	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	育苗期	露地	微発生：アブラムシ類
	玉城町勝田	6月8日	0	0	0	4	1.0	0	0	章姫	育苗期	ハウス	
	志摩市磯部町栗木広	6月8日	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	ハウス	
	平　均		0	0	0	0.5	0.1	0.9	0.3				
	平 年（10年平均）		0	4.0	0（8年平均）	5.6	2.0	5.0	1.5				

イチゴ（親株床）《2022年7月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病	うどんこ病	萎黄病	ハダニ類		アブラムシ類		備考			
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	品種	生育状況	栽培形式	その他
津	津市芸濃町	7月7日	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	育苗期	露地・ベンチ	微発生：ﾊﾀﾞﾆ類、ｶｷﾉﾋﾒﾖｺﾊﾞｲ、輪斑病確認
	津市雲出長常町	7月7日	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	育苗期	ハウス・ベンチ	
松阪	松阪市曽原町	7月11日	0	0	0	4	1.0	0	0	章姫	育苗期	露地・ベンチ	
	松阪市嬉野権現前町	7月11日	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地・ベンチ	ｶｷﾉﾋﾒﾖｺﾊﾞｲ、輪斑病確認。
	松阪市藤之木町	7月11日	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	ハウス・ベンチ	ｶｷﾉﾋﾒﾖｺﾊﾞｲ確認（防除済み）
	松阪市新開町	7月11日	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	育苗期	ハウス・地床	ｶｷﾉﾋﾒﾖｺﾊﾞｲ・輪斑病確認。
伊勢志摩	伊勢市小俣町	7月11日	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	育苗期	露地・ベンチ	微発生：アブラムシ類。
	伊勢市二見町	7月11日	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地・ベンチ	ﾁｬﾉｺｶｸﾓﾝﾊﾏﾁ幼虫確認。
	玉城町岩出	7月11日	0	0	0	4	1.5	2	0.5	かおり野	育苗期	露地・ベンチ	ｶｷﾉﾋﾒﾖｺﾊﾞｲ・ﾁｬﾉｺｶｸﾓﾝﾊﾏﾁ幼虫確認
	玉城町勝田	7月11日	0	0	0	2	0.5	4	1.5	章姫	育苗期	ハウス・ベンチ	ｶｷﾉﾋﾒﾖｺﾊﾞｲ確認。
	志摩市磯部町	7月11日	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	ハウス・ベンチ	微発生：アブラムシ類。ﾁｬﾉｺｶｸﾓﾝﾊﾏﾁ幼虫確認。
	平　均		0	0	0	0.9	0.3	0.5	0.2				
	前　年		0	0	0	2.7	0.7	1.8	0.5				
	平 年（10年平均）		0.02	2.4	0.09（8年平均）	5.1	1.7	1.3	0.4				

イチゴ（育苗床）《2022年8月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病	うどんこ病	萎黄病	ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考			
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	品種	生育状況	栽培形式	その他
津	津市芸濃町	8月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	親株切離し後	露地・ベンチ	輪斑病多発。ﾁｬﾉｺｶｸﾓﾝﾊﾏﾅｷ幼虫確認。
	津市雲出長常町	8月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	親株切離し後	ハウス・ベンチ	ハマキムシ類あり
松阪	松阪市曽原町	8月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	親株切離し前	露地・ベンチ	ﾖﾄｳ食害あり
	松阪市嬬野権現前町	8月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	親株切離し後	露地・ベンチ	8/5ﾗﾝﾅｰ切り離し。
	松阪市藤之木町	8月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	親株切離し前	ハウス・ベンチ	
	松阪市新開町	8月5日	0	0	0	14	6.0	0	0	0	0	かおり野	親株切離し前	ハウス・地床	ｶﾝｻﾞﾜﾙﾀﾞﾆ。微発生：萎黄病
伊勢志摩	伊勢市小俣町	8月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	親株切離し前	露地・ベンチ	
	伊勢市二見町	8月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	親株切離し後	露地・ベンチ	微発生：萎黄病
	玉城町岩出	8月10日	0	0	0	0	0	2	0.5	0	0	かおり野	親株切離し後	露地・ベンチ	微発生：萎黄病、ﾊﾀﾞﾆ食害痕あり
	玉城町勝田	8月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	親株切離し後	ハウス・ベンチ	微発生：ﾊﾀﾞﾆ類・ｱﾌﾞﾗﾑｼ類、クラウンからハエ幼虫確認
	志摩市磯部町	8月10日	4	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	親株切離し前	ハウス・ベンチ	微発生：ｶﾝｻﾞﾜﾙﾀﾞﾆ、萎黄病
	平　均		0.4	0	0	1.3	0.5	0.2	0.05	0	0				
	前　年		0.2	0	0	2.7	1.2	0	0	0	0				
	平　年（10年平均）		0.09	0.04	0.5 (9年平均)	4.0	1.2	0.7	0.2	0.2 (8年平均)	0.2 (8年平均)				

イチゴ親株床《2022年9月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病	うどんこ病	萎黄病	ハダニ類		アブラムシ類		ハスモンヨトウ	コナジラミ類		備考			
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	品種	生育状況	栽培形式	その他
津	津市芸濃町	9月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	苗	露地・ベンチ	微発生：萎黄病、輪斑病あり。
	津市雲出長常町	9月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	苗	ハウス・ベンチ	微発生：炭疽病・ﾊﾀﾞﾆ類
松阪	松阪市曽原町	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	苗	露地・ベンチ	微発生：ナミハダニ
	松阪市嬬野権現前町	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	苗	露地・ベンチ	
	松阪市藤之木町	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	苗	ハウス・ベンチ	微発生：炭疽病
	松阪市新開町	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	苗	ハウス・地床	輪斑病多い。
伊勢志摩	伊勢市小俣町	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	苗	露地・ベンチ	微発生:炭疽病・萎黄病
	伊勢市二見町	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	苗	露地・ベンチ	
	玉城町勝田	9月8日	2.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	苗	ハウス・ベンチ	微発生：萎黄病、コナジラミ類
	玉城町岩出	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	苗	露地・ベンチ	
	志摩市磯部町	9月8日	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	苗	ハウス・ベンチ	微発生：アブラムシ類
	平　均		1.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	平　年（10年平均）		0.2	0.02	1.1 (9年平均)	2.4	0.7	0.5	0.1	0.5	0.02 (8年平均)	0.05 (8年平均)				

イチゴ《2022年10月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病	うどんこ病	萎黄病	ハダニ類		アブラムシ類		ハスモンヨトウ	コナジラミ類		備考		
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町椋本	10月7日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	かおり野	土耕	雨による畝間冠水で調査不可
	津市雲出長常町	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	高設	ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ食害小発生
松阪	松阪市曽原町	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	高設	微発生：ナミハダニ
	松阪市嬬野権現前町	10月6日	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	章姫	高設	ｶｷﾒﾅﾋﾞﾖｺﾊﾞｲ食害やや多い
	松阪市藤之木町	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	土耕	微発生：萎黄病
	松阪市新開町	10月6日	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	かおり野	育苗	微発生：萎黄病、輪斑病全体的に発生、ﾎｺﾘｻﾞﾆ食害確認
伊勢志摩	伊勢市小俣町	10月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	高設	疫病と思われる株枯れ散見
	伊勢市二見町	10月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	高設	
	玉城町勝田	10月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	高設	微発生：炭疽病・ナミハダニ・萎黄病
	玉城町岩出	10月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	高設	小葉の大きさは異なるが色は薄くない株をﾌｻﾞﾘｳﾑ選択培地で確認した結果、萎黄病の可能性が高い。
	志摩市磯部町	10月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	高設	微発生：炭疽病・ナミハダニ
	平　均		0	0	0	0.4	0.1	0	0	0	0	0			
	前　年		0.9	0	0	0	0	0.2	0.05	0	0	0			
	平　年（10年平均）		0.1	0.1	0.2 (9年平均)	5.1	1.7	2.6	0.7	1.6	0 (8年平均)	0 (8年平均)			

イチゴ《2022年11月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病	うどんこ病	萎黄病	ハダニ類		アブラムシ類		ハスモンヨトウ	コナジラミ類		備考		
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町椋本	11月10日	0	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	かおり野	土耕	定植後ヨトウガ被害目立つ。幼虫も確認
	津市雲出長常町	11月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	高設	
松阪	松阪市曽原町	11月8日	0	0	0	4	1.5	0	0	0	0	0	章姫	高設	
	松阪市嬬野権現前町	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	高設	
	松阪市藤之木町	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	土耕	
	松阪市新開町	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	高設	輪斑病確認。定植11月上旬で活着悪い。
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	11月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	高設	微発生：ナミハダニ・萎黄病。しおれ株散見
	伊勢市二見町	11月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	高設	微発生：萎黄病、ヨトウ食害やや目立つ
	玉城町勝田	11月11日	0	0	0	4.0	1.5	0	0	0	0	0	章姫	高設	微発生：萎黄病、ﾖﾄｳ被害株、ｷﾉｺﾊﾞｴ類成虫確認
	玉城町岩出	11月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	高設	微発生：萎黄病、果房にｷﾉｺﾊﾞｴ類成虫確認。
	志摩市磯部町栗木広	11月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	高設	しおれ株散見
	平　均		0	0	0	0.7	0.3	0.2	0.05	0	0	0			
	前　年		0.4	0	0.2	4.0	1.6	0	0	0	0	0			
	平　年（10年平均）		0.2	0.4	0.3 (9年平均)	7.8	2.6	2.2	0.9	0.2	0.06 (8年平均)	0 (8年平均)			

イチゴ《2022年12月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考		
			葉 発病株率(%)	発病果率(%)	葉 発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町椋本	12月7日	0	0	0	0	0	0	90.0	25.0	0	0	かおり野	土耕	ヨトウガ類被害小発生
	津市雲出長常町	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	高設	菌核病小発生
松阪	松阪市曽原町	12月13日	0	0	0	0	4.0	1.5	0	0	0	0	章姫	高設	
	松阪市嬉野権現前町	12月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	高設	
	松阪市藤之木町	12月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	土耕	
	松阪市新開町	12月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	萎黄病疑い株小発生
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	高設	微発生：ナミハダニ･ﾊｽﾓﾝｺﾄﾘ被害、炭疽病小発生
	伊勢市二見町	12月9日	0	0	0	0	0	0	6	1.5	0	0	章姫	高設	
	玉城町勝田	12月9日	0	0	0	0	0	0	6	1.5	0	0	章姫	高設	炭疽病･萎黄病小発生
	玉城町岩出	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	高設	炭疽病の補植1/20程度
	志摩市磯部町栗木広	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	高設	炭疽病やや多
	平　均		0	0	0	0	0.4	0.1	9.3	2.5	0	0			
	前　年		0	0	0	0	4.2	1.2	0	0	0	0			
	平 年（10年平均）		0.10	0.3	0.2	0.008	12.9	5.4	1.0	0.3	0.06（8年平均）	0.02（8年平均）			

イチゴ《2023年1月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考		
			葉 発病株率(%)	発病果率(%)	葉 発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町椋本	1月10日	0	0	0	0	0	0	32.0	13.5	0	0	かおり野	土耕	
	津市雲出長常町	1月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	
松阪	松阪市曽原町	1月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	微発生：灰色かび病（果実）、少発生：炭疽病
	松阪市嬉野権現前町	1月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	微発生：カンザワハダニ･アブラムシ類
	松阪市藤之木町	1月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	土耕	
	松阪市新開町	1月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	微発生：アブラムシ類
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	1月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	微発生：アブラムシ類、少発生：炭疽病･キノコバエ類
	伊勢市二見町	1月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	萎黄病疑い株確認
	玉城町勝田	1月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
	玉城町岩出	1月12日	0	0	0	0	4.0	2.5	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	微発生：灰色かび病（果実）
	志摩市磯部町栗木広	1月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	微発生：ハダニ類
	平　均		0	0	0	0	0.4	0.2	2.9	1.2	0	0			
	前　年		0	0	0	0	1.8	0.7	1.1	0.4	0.2	0			
	平 年（10年平均）		0.6	0.4	0.08	0.009	15.7	7.9	0.4	0.1	0.1（8年平均）	0.07（8年平均）			

イチゴ《2023年2月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考		
			葉 発病株率(%)	発病果率(%)	葉 発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町椋本	2月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	微発生：アブラムシ類。菌核病確認。
	津市雲出長常町	2月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	
松阪	松阪市曽原町	2月6日	0	0	0	0	0	0	2.0	0.5	0	0	章姫	ベンチ	微発生：灰色かび病（果実）
	松阪市嬉野権現前町	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	微発生：アブラムシ類。アザミウマ類確認。
	松阪市藤之木町	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	土耕	微発生：アブラムシ類。萎黄病疑い株あり。
	松阪市新開町	2月6日	0	0	0	0	0	0	2.0	0.5	0	0	かおり野	土耕	
伊勢志摩	伊勢市小俣町	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	キノコバエ幼虫確認。萎黄病疑い株あり。
	伊勢市二見町	2月7日	0	0	0	0	2.0	1.5	2.0	0.5	0	0	章姫	ベンチ	微発生：灰色かび病（果実･葉）。萎黄病疑い株あり
	玉城町勝田	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	微発生：灰色かび病（果実）、萎凋株確認（ハウスの両端）
	玉城町岩出	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	萎黄病疑い株あり
	志摩市磯部町栗木広	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	萎黄病疑い株あり
	平　均		0	0	0	0	0.2	0.1	0.5	0.1	0	0			
	前　年		0	0.09	0	0	1.8	0.9	0.7	0.2	0.9	0.2			
	平 年（10年平均）		1.1	0.6	0.02	0.02	16.2	7.0	0.3	0.1	0.4（8年平均）	0.1（8年平均）			

イチゴ《2023年3月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		アザミウマ類	備考		
			葉 発病株率(%)	発病果率(%)	葉 発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	寄生花率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町椋本	3月2日	0	0	0	0	0	0	2.0	0.5	0	0	0	かおり野	土耕	微発生：灰色かび病（基葉）
	津市雲出長常町	3月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	
松阪	松阪市曽原町	3月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.0	章姫	ベンチ	微発生：灰色かび病（果実）
	松阪市嬉野権現前町	3月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	章姫	ベンチ	微発生：アブラムシ類
	松阪市藤之木町	3月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	土耕	微発生：アザミウマ類
	松阪市新開町	3月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	
伊勢志摩	伊勢市小俣町	3月3日	0	0	0	0	0	0	6.0	1.5	0	0	0	かおり野	ベンチ	微発生：灰色かび病（基葉）
	伊勢市二見町	3月3日	0	0	0	0	2.0	1.5	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	微発生：灰色かび病（葉･果実）
	玉城町勝田	3月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	微発生：アブラムシ類、アザミウマ類
	玉城町岩出	3月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	
	志摩市磯部町栗木広	3月3日	0	0	0	0	2.0	1.5	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	キノコバエ類及び炭疽病による株枯れ散見
	平　均		0	0	0	0	0.4	0.3	0.7	0.2	0	0	0.6			
	前　年		0.4	0	0	0	1.1	0.3	0.9	0.3	2.0	0.2	5.8			
	平 年（10年平均）		1.7	0.7	0	0.03	12.4	6.0	0.5	0.2	0.5（8年平均）	0.1（8年平均）	2.5			

2. トマト

トマト《2022年4月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	アブラムシ類	備考		
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	葉発病株率(%)	果実発病株率(%)	蛹寄生葉率(%)	蛹寄生葉率(%)	被害株率(%)	寄生株率(%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曽岬町源緑輪中	4月8日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	かれん	8月12日	微発生：果実灰色かび病、コナジラミ類
	木曽岬町和泉	4月8日	0	0	0	0	60	2	0	0	0	0	かれん	8月12日	葉先枯れからの灰色かび病目立つ
	桑名市長島町	4月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	みぞら109	9月14日	微発生：灰色かび病（葉）
四日市鈴鹿	四日市市貝家町	4月13日	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	りんか409	9月30日	
松阪	松阪市嬉野一志町	4月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	はれぞら	9月下旬	
	明和町佐田	4月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	12月上旬	
伊勢志摩	伊勢市小俣町	4月7日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	ごほうび	1月14日	収穫終了
	平　均		0	0	0	0	20.3	0.3	0	0	0	0			
	前　年		0	0	0	0	13.1	3.7	0	6.0	0	0			
	平　年（10年平均）		0	1.7	0.4	0.4	5.3	1.3	0.05	0.9	0.09	0			

トマト《2022年5月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	アブラムシ類	備考		
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	葉 発病株率（%）	果実 発病株率（%）	蛹寄生葉率(%)	蛹寄生葉率(%)	被害株率(%)	寄生株率(%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曽岬町源緑輪中	5月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	8月12日	微発生：灰色かび病（葉）、黄化病。コナジラミ類誘殺確認。
	木曽岬町和泉	5月6日	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	みぞら109	9月14日	
	桑名市長島町	5月6日	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	9月30日	微発生：うどんこ病。
四日市	四日市市貝家町	5月11日	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	はれぞら	9月下旬	微発生：うどんこ病。
松阪	松阪市嬉野一志町	5月12日	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	12月上旬	微発生：コナジラミ類成虫、葉かび病。
	明和町佐田	5月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	ごほうび	1月14日	微発生：コナジラミ類成虫。
伊勢	伊勢市小俣町	5月9日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	ハウス桃太郎	9月2日	
	平　均		0	3.3	0	0	6.0	0	0	0	0.7	0			
	前　年		0	0	0.7	0	13.3	7.0	0.3	0.7	2.0	0			
	平　年（10年平均）		0	1.7	0.9	0.3	7.4	2.4	0.03	0.4	1.4	0.1			

トマト《2022年9月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	アブラムシ類	オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	ハスモンヨトウ		オオタバコガ	備考		
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	寄生株率(%)	蛹寄生葉率(%)	蛹寄生葉率(%)	被害株率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	被害株率(%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曽岬町源緑輪中	9月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		9月上旬	葉焼け（高温障害で白い葉）あり。
	木曽岬町和泉	9月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		定植直後	葉焼け（高温障害で若い葉先しおれ）あり。
	桑名市長島町	9月12日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	– –		未	
四日市	四日市市貝家町	9月9日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	– –		未	定植準備中
松阪	松阪市嬉野一志町	9月9日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	– –		未	
	明和町佐田	9月9日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	– –		未	
伊勢	伊勢市小俣町相合	9月8日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	– –		9月上旬	定植準備中
	平　均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	平　年（10年平均）		0	0	0	0	0	0	0	0	0.07 (9年平均)	0.1 (9年平均)	0			

トマト《2022年10月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	アブラムシ類	オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	ハスモンヨトウ		オオタバコガ	備考		
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	寄生株率(%)	蛹寄生葉率(%)	蛹寄生葉率(%)	被害株率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	被害株率(%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曽岬町源緑輪中	10月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11月巡回で確認		微発生：黄化葉巻病、トラップのコナジラミ10匹/100cm2
	木曽岬町和泉	10月12日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	11月巡回で確認		一部塩害で生育不良。トラップのコナジラミ1～5匹/100cm2
	桑名市長島町	10月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	9/24～9/25	
四日市鈴鹿	四日市市貝家町	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	確認中	
松阪	松阪市嬉野一志町	10月6日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
	明和町佐田	10月6日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	10月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	平　均		0	0	0	0.4	0	0	0	0	0	0	0			
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	平　年（10年平均）		0	0	0.5	2.0	0	0.05	0.3	0.1	0 (8年平均)	0.04	0.1			

トマト《2022年11月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		アブラムシ類	オンシツコナジラミ蛹寄生	タバココナジラミ蛹寄生	ハモグリバエ類	ハスモンヨトウ		オオタバコガ	備考		
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	葉 発病株率(%)	果実 発病株率(%)	寄生株率(%)	葉率(%)	葉率(%)	被害株率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	被害株率(%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曽岬町源緑輪中	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	かれん	8月13日	微発生：ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ･ｺﾅｼﾞﾗﾐ成虫両種、黄化病疑い株あり。
	木曽岬町和泉	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	9月2日	微発生：黄化葉巻病･コナジラミ類成虫、黄化病疑い株あり。
	桑名市長島町	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	9/24～9/25	
四日市	四日市市貝家町	11月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	9月中旬	微発生：ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ(幼虫･果実食害痕)
松阪	松阪市嬉野一志町	11月8日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	ハウス桃太郎		
	明和町佐田	11月8日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	ごほうび		
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	11月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎		微発生：コナジラミ類
	平　均		0	0	0	0	0	0	0	0.4	0.4	0	0	0	0			
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	平　年（10年平均）		0	0.1	0.6	1.1	0.03	0.06	0	0.03	1.7	0.7	0 (8年平均)	0	0.10			

トマト《2022年12月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツコナジラミ蛹寄生	タバココナジラミ蛹寄生	ハモグリバエ類	備考		
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	葉 発病株率(%)	果実 発病株率（%）	葉率(%)	葉率(%)	被害株率(%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曽岬町源緑輪中	12月9日	0	0	0	2.0	0	0	2.0	2.0	0	かれん	8月13日	黄化病疑い株確認
	木曽岬町和泉	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	9月2日	微発生：黄化葉巻病、ｵﾝｼﾂｺﾅｼﾞﾗﾐ成虫確認
	桑名市長島町	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	9/24～9/25	
四日市鈴鹿	四日市市貝家町	12月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	9月中旬	微発生：果実の灰色かび病、ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ食害、尻腐れ果やや多
松阪	松阪市嬉野一志町	12月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月15日	
	明和町佐田	12月13日	–	–	–	–	–	–	–	–	–		定植準備中	
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月2日	
	平　均		0	0	0	0.3	0	0	0.3	0.3	0			
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0	1.7			
	平　年（10年平均）		0	0.06	6.3	1.6	0.3	0.03	0.03	0.4	0.6			

トマト《2023年1月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツコナジラミ蛹寄生	タバココナジラミ蛹寄生	ハモグリバエ類	備考		
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	葉 発病株率（%）	果実 発病株率（%）	葉率(%)	葉率(%)	被害株率(%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曽岬町源緑輪中	1月11日	0	0	0	10.0	0	0	0	0	0	かれん	8月13日	
	木曽岬町和泉	1月11日	0	0	0	0	0	0	0	2.0	0	かれん	9月2日	微発生：オンシツコナジラミ、黄化病疑い株確認
	桑名市長島町	1月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	9月24日	うどんこ病確認
四日市鈴鹿	四日市市貝家町	1月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	9月中旬	微発生：灰色かび病（葉）、尻腐れ果、黄化病疑い株確認
松阪	松阪市嬉野一志町	1月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月15日	
	明和町佐田	1月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ごほうび	1月上旬	葉色薄い
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	1月12日	0	0	0	0	0	0	0	10.0	0	ハウス桃太郎	9月2日	微発生：ｵﾝｼﾂｺﾅｼﾞﾗﾐ（蛹･成虫）
	平　均		0	0	0	1.4	0	0	0	1.7	0			
	前　年		0	0	0	0	1.1	0	0.9	0.6	0			
	平　年（10年平均）		0.1	1.9	4.0	0.4	1.3	0.06	0.2	0.5	0.3			

トマト《2023年2月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツコナジラミ蛹寄生	タバココナジラミ蛹寄生	ハモグリバエ類	備考		
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	葉 発病株率(%)	果実 発病株率(%)	葉率(%)	葉率(%)	被害株率(%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曽岬町源緑輪中	2月10日	0	0	0	2.0	2.0	0	0	0	0	かれん	8月13日	黄化病確認
	木曽岬町和泉	2月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	9月2日	
	桑名市長島町	2月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	9月24日	
四日市鈴鹿	四日市市貝家町	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	9月中旬	菌核病確認
松阪	松阪市嬉野一志町	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月15日	
	明和町佐田	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ごほうび	1月上旬	凍霜害確認
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	2月7日	0	0	0	0	0	0	10.0	8.0	0	ハウス桃太郎	9月2日	黄化病疑い株あり。うどんこ病確認。
	平　均		0	0	0	0.3	0.3	0	1.4	1.1	0			
	前　年		0	0	0	0	3.1	0	1.4	0.9	0.6			
	平　年（10年平均）		0.03	1.1	3.8	0.2	2.5	0.2	0.2	0.8	1.2			

トマト《2023年3月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	備考			
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	葉 発病株率(%)	果実 発病株率(%)	蛹寄生葉率(%)	蛹寄生葉率(%)	被害株率(%)	品種	定植時期	その他	
桑名	木曽岬町源緑輪中	3月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	8月13日	黄化病確認	
	木曽岬町和泉	3月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	9月2日		
	桑名市長島町	3月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	9月24日		
四日市鈴鹿	四日市市貝家町	3月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	9月中旬	黄化病確認	
松阪	松阪市嬬野一志町	3月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月15日	微発生：灰色かび病（葉）	
	明和町佐田	3月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ごほうび	1月上旬		
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	3月3日	0	0	0	0	0	0	0	10.0	0	ハウス桃太郎	9月2日	微発生：葉かび病、灰色かび病（果実）	
	平　均		0	0	0	0	0	0	0	1.4	0				
	前　年		0	0	0	0	11.4	0.3	2.0	1.4	0				
	平　年（10年平均）		0	1.2	0.5	0.09	3.2	0.3	0.3	0.8	0				

3.　ハクサイ

ハクサイ《2022年10月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白斑病		べと病	アブラムシ類	コナガ		ヨトウガ	ハスモンヨトウ		モンシロチョウ	備考			
			発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	寄生株率(%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市鈴鹿	四日市市水沢町１	10月5日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	結福85/78/5!	9月20日		微発生：ハスモンヨトウ、ハムシの被害痕やや目立つ
	四日市市水沢町２	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福85	9月上旬		微発生：白斑病、モンシロチョウ卵確認
	四日市市下海老町	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福078	9月上旬		
	四日市市平尾町	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生大福	9月12日		微発生：モンシロチョウ幼虫
	鈴鹿市山本町１	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	結福	9月14日		ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ卵塊（拡散後）・オオタバコガ成虫確認
	鈴鹿市山本町２	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	結福	9月16日		カタツムリ被害株確認
津	津市一志町高野１	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	黄ごころ80	9月8日		微発生：ｱﾌﾞﾗﾑｼ類・ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ食害、オオタバコガ成虫確認
	津市一志町高野２	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	晴黄85I	9月14日		微発生:ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ食害
松阪	明和町金剛坂	10月6日	0	0	0	0	0	10	0	0	0	4	10	0	黄ごころ90	10月上旬		微発生：モンシロチョウ幼虫
	多気町丹生	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	80	0	黄ごころ90	10月上旬		根朽病散見
	平　均		0	0	0	0	0	1.2	0	0	0	0.6	10.6	0				
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	平　年（10年平均）		0.06	0.03	0.6	0.2	0	1.4	0.08	0.0008	0.05	0.2	0.2 (8年平均)	0.05				
県予察ほ	松阪市嬬野川北町(場内)	10月11日	0	0	0	0	0	38	0	0	0	4	100	0	黄ごころ85	9月21日		シロイチモジヨトウ1/50株程度確認。
	前　年		0	0	0	0	0	2.0	0	0	0	8.0	60	0				

ハクサイ《2022年11月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白斑病		べと病	アブラムシ類	コナガ		ヨトウガ	ハスモンヨトウ		モンシロチョウ	備考			
			発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	寄生株率(%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市鈴鹿	四日市市水沢町１	11月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福	9月20日		微発生：白斑病・ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ
	四日市市水沢町２	11月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福85	9月上旬		
	四日市市下海老町	11月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福078	9月上旬		微発生：軟腐病・ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ成虫確認。
	四日市市平尾町	11月14日	0	0	10	2.5	0	0	0	0	0	0	0	0	早生大福	9月12日		
	鈴鹿市山本町１	11月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福	9月14日		
	鈴鹿市山本町２	11月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福	9月16日		微発生：軟腐病・白斑病、ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ被害株
津	津市一志町高野１	11月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ80	9月8日		
	津市一志町高野２	11月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	晴黄85I	9月14日		
松阪	明和町金剛坂	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	黄ごころ90	10月上旬		モンシロチョウ成虫多い。
	多気町丹生	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	10月上旬		
	平　均		0	0	1.0	0.3	0	0	0	0	0	0.4	0.4	0				
	前　年		4.2	1.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	平　年（10年平均）		1.8	0.7	3.7	0.9	0	1.7	0.04	0.0004	0.04	0.1	0 (8年平均)	0.02				
県予察ほ	松阪市嬬野川北町(場内)	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	黄ごころ85	9月21日		ダイコンハムシ確認

ハクサイ《2022年12月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白斑病		べと病	コナガ		備考			
			発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市鈴鹿	四日市市水沢町１	12月12日	0	0	0	0	0	0	0	結福		収穫期	
	四日市市水沢町２	12月12日	–	–	–	–	–	–	–	結福85	9月上旬	収穫終了	
	四日市市下海老町	12月12日	–	–	–	–	–	–	–	結福078	9月上旬	収穫終了	
	四日市市平尾町	12月12日	–	–	–	–	–	–	–	早生大福		収穫終了	
	鈴鹿市山本町１	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	結福		収穫期	
	鈴鹿市山本町２	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	結福		収穫期	
津	津市一志町高野１	12月7日	4.0	1.0	0	0	0	0	0	黄ごころ80		収穫期	
	津市一志町高野２	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	晴黄85I		収穫期	微発生：ヨトウガ類被害
松阪	明和町金剛坂	12月13日	0	0	14.0	3.5	0	0	0	黄ごころ90	10月上旬	収穫期	ハスモンヨトウ寄生・被害約2割
	多気町丹生	12月13日	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	10月上旬	収穫期	微発生：軟腐病・白斑病、菌核病確認、黄化病疑い株あり。ヨトウガ類被害小発生
	平　均		0.6	0.1	2.0	0.5	0	0	0				
	前　年		0.8	0.2	0	0	0	0	0				
	平 年（10年平均）		1.7	0.5	4.3	1.2	0.05	0	0				
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ85		収穫期	ﾔｻｲｼﾞｳﾑｼ幼虫25/50、ﾐﾅﾐｱｵｶﾒﾑｼ確認
	前　年		0	0	0	0	0	0	0				
	平 年（10年平均）		0	0	0.6	0.15	0	0.4	0.004				

4. 冬キャベツ

冬キャベツ《2022年10月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ	ハスモンヨトウ		備考			
			発病株率(%)	発病度	寄生株率(%)	寄生度	寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市鈴鹿	四日市市平尾町１	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	8月28日		
	四日市市下海老町１	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月上旬		モンシロチョウ卵多い
	四日市市下海老町２	10月5日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	夢舞台	9月5日		未定植
	鈴鹿市国府町１	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月22日		微発生：ハスモンヨトウ
	鈴鹿市国府町２	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月22日		微発生：ハスモンヨトウ
津	津市芸濃町椋本	10月7日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–		9月上旬		未定植
	津市安東町小船	10月7日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	夢舞台	10月6日		雨で調査不可
	津市久居野口町	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				定植直後
	津市新家町	10月7日	0	0	0	0	2	0.02	0	0	0	0	10	冬藍	8月下旬		
松阪	松阪市嬉野算所町	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	20	翠緑	9月下旬		拡散前のﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ・根朽病・ﾓﾝｼﾛﾁｮｳ卵確認
伊勢志摩	玉城町岡出	10月11日	50	25.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	翠緑/夢いぶき	8月19日		低い所を中心に黒斑細菌病も併発。
	平　均		6.3	3.1	0	0	0.3	0.003	0	0	0	0.5	3.8				
	前　年		6.4	1.6	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.18182				
	平 年（10年平均）		0.9	0	3.9	1.3	0.5	0.007	0.9	0.008	0.5	2.1	1.1 （8年平均）				
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	10月11日	0	0	10	2.5	0	0	8	0.1	2	8	94	そらと	9月21日		タバコガ類寄生あり
	前　年		0	0	2.0	0.5	0	0	0	0.02	0	10.0	30				

冬キャベツ《2022年11月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		菌核病	アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ	ハスモンヨトウ		備考			
			発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	寄生株率(%)	寄生度	寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市鈴鹿	四日市市平尾町	11月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	8月28日	生育期	微発生：軟腐病・ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ成虫確認。
	四日市市下海老町１	11月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月上旬	生育期	
	菰野町菰野	11月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月5日	生育期	雑草多い。
	鈴鹿市国府町１	11月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月22日	生育期	微発生：黒腐病
	鈴鹿市国府町２	11月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月22日	生育期	微発生：黒腐病・菌核病
津	津市芸濃町椋本	11月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月上旬	生育期	微発生：ﾓﾝｼﾛﾁｮｳ幼虫
	津市小舟	11月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	10月上旬	生育期	微発生：コナガ幼虫。湿害で生育悪い。
	津市新家町2	11月10日	0	0	0	0	0	4	0.04	0	0	0	0	2	新藍	8月下旬	生育期	微発生：菌核病
	津市新家町１	11月10日	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	8月下旬	生育期	微発生：ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ。菌核病下葉に多い。
松阪	松阪市嬉野算所町	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	翠緑	9月下旬	生育期	ヨトウ類（又はﾀﾏﾅｷﾞﾝｳｸﾊﾞ）食害全体的に発生。ﾀﾏﾅｷﾞﾝｳｸﾊﾞ幼虫確認。
伊勢志摩	玉城町岡出	11月11日	40	15.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	翠緑/夢いぶき	8月19日	生育期	微発生：菌核病。外葉に黒腐病・黒斑細菌病残る。
	平　均		3.6	1.4	0.5	0	0	0.4	0.004	0	0	0	0	0.2				
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.5	0.5				
	平 年（10年平均）		5.0	1.4	0.1	3.8	1.4	0.4	0.005	0.5	0.005	0.2	0.5	0.2 （8年平均）				
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	6	0.2	0	0	0	そらと	9月21日	生育期	

冬キャベツ 《2022年12月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		菌核病	コナガ		アブラムシ類		根こぶ病	備考			
			発病株率(%)	発病度	発病株率(%)	寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率(%)	寄生度	発病株率(%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市鈴鹿	四日市市平尾町	12月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	8月28日	収穫期	微発生：菌核病、株腐病確認
	四日市市下海老町１	12月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月上旬	収穫期	
	菰野町菰野	12月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月5日	収穫期	微発生：菌核病、ﾖﾄｳｶﾞ類食害確認
	鈴鹿市国府町１	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月22日	収穫期	
	鈴鹿市国府町２	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月22日	収穫期	
津	津市芸濃町椋本	12月7日	0	0	6.0	4.0	0.04	0	0	0	松波	9月上旬	収穫期	菌核病下葉で局発。ﾀﾊﾞﾅｷﾞﾝｸｸﾘﾊﾞ幼虫確認
	津市小舟	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	10月上旬	収穫期	微発生：コナガ、オオタバコガ
	津市新家町2	12月7日	0	0	0	2.0	0.02	0	0	0	新藍	8月下旬	収穫期	微発生：ヨトウガ類食害、株腐病確認。
	津市新家町１	12月7日	0	0	2.0	0	0	0	0	0	冬藍	8月下旬	収穫期	微発生：ヨトウガ類食害、黒斑病・株腐病確認
松阪	松阪市嬉野算所町	12月13日	0	0	0	0	0	0	0	4.0	翠緑	9月下旬	収穫期	ヨトウガ類被害外葉でやや多
伊勢志摩	玉城町岡出	12月9日	40.0	10.0	0	0	0	0	0	0	翠緑/夢いぶき	8月19日	収穫期	黒斑細菌病、タバコガ類食害確認
	平　均		3.6	0.9	0.7	0.5	0.005	0	0	0.4				
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0				
	平 年（10年平均）		5.3	1.7	0.6	0.2	0.004	0.3 (8年平均)	0.09 (8年平均)	0.2				
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	そらと	9月21日	収穫期	コナガ蛹、アオムシ確認

5.春キャベツ

春キャベツ 《2022年4月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病	アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		備考			
			発病株率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市鈴鹿	四日市市平尾町	4月13日	0	0	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期	微発生：モンシロチョウ幼虫
	四日市市下海老町	4月13日	0	0	0	0	0	0	0	若女将	3月中旬	生育期	微発生：モンシロチョウ幼虫、モンシロチョウ卵多数確認。
津	津市川方町１	4月12日	8	0	0	0	0	0	0	味春	12月上旬	収穫終期	収穫遅れ
	津市川方町２	4月12日	6	0	0	2	0.04	0	0	味春	12月中旬	収穫始期	コナガ・モンシロチョウ成虫確認。コナガ蛹確認。
	津市新家町１	4月12日	0	0	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	微発生：アブラムシ類
	津市新家町２	4月12日	0	0	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期	モンシロチョウ卵確認
	平　均		2.3	0	0	0.3	0.007	0	0				
	前　年		5.0	0	0	0	0	0	0				
	平 年（10年平均）		3.3	0.8	0.2	0.3	0.003	0.1	0.001				
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	4月8日	0	2	0.5	6	0.08	0.02	0.02	味春	11月10日	生育期	モンシロチョウ卵多数確認
	前　年	4月5日	0	0	0	0	0.3	0	0	味春	11月10日	生育期	
	平 年（10年平均）		0.2	2	0.6	2	0.1	1	0.0				

春キャベツ 《2022年12月》

地区	調査場所	調査月日	アブラムシ類		コナガ		備考			
			寄生株率(%)	寄生度	寄生株率(%)	株当たり虫数(頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市鈴鹿	四日市市赤水（平尾）町	12月12日	0	0	0	0	石井	11月26日		
	四日市市水沢町	12月12日	0	0	0	0	若妻	10月4日	生育期	菌核病・ヒヨドリ食害確認
津	津市川方町１（久居）	12月7日	–	–	–	–	味春	12月中旬	未定植	
	津市川方町２（久居）	12月7日	–	–	–	–	味春	12月中旬	未定植	
	津市新家町１（久居）	12月7日	–	–	–	–	若女将	12月上旬	生育期	定植直後
	津市新家町２（久居）	12月7日	–	–	–	–	若女将	12月中旬	未定植	
	平　均		0	0	0	0				
	前　年		0	0	0.7	0.007				
	平 年（10年平均）		1.1	0.3	0.2	0.002				
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	12月9日	6	1.5	0	0	味春	11月17日	生育期	ﾔｻｲｼﾞﾝﾑｼ幼虫5/50

春キャベツ《2023年1月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病	アブラムシ類		コナガ		備考			
			発病株率（%）	寄生株率（%）	寄生度	寄生株率（%）	株当たり虫数（頭/株）	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市鈴鹿	四日市市赤水町	1月10日	0	0	0	0	0	石井	11月26日	生育期	
	四日市市水沢町	1月10日	0	0	0	0	0	若妻	11月4日	生育期	
津	津市川方町１	1月10日	0	0	0	0	0	味春	12月中旬	生育期	
	津市川方町２	1月10日	0	0	0	0	0	味春	12月中旬	生育期	
	津市新家町１	1月10日	0	0	0	0	0	若女将	1月上旬	生育期	
	津市新家町２	1月10日	0	0	0	0	0	若女将	12月中旬	生育期	ヒヨドリ被害株確認
	平　均		0	0	0	0	0				
	前　年		0	0	0	0	0				
	平 年（10年平均）		0	0.4	0.09	0	0				
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	1月11日	0	0	0	0	0	味春	11月17日	生育期	
	前　年		0	0	0	0	0				
	平 年（10年平均）		0	24	6.6	0	0.002				

春キャベツ《2023年2月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病	アブラムシ類		コナガ		備考			
			発病株率（%）	寄生株率（%）	寄生度	寄生株率（%）	株当たり虫数（頭/株）	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市鈴鹿	四日市市赤水町	2月6日	0	0	0	0	0	石井	11月26日	生育期	
	四日市市水沢町	2月6日	4.0	0	0	0	0	若女将	11月4日	生育期	凍霜害（結球の一部腐敗）確認
津	津市川方町１	2月10日	0	0	0	0	0	味春	12月中旬	生育期	凍霜害（外葉の褪色･腐敗）確認
	津市川方町２	2月10日	0	0	0	0	0	味春	12月中旬	生育期	凍霜害（外葉の褪色･腐敗）確認
	津市新家町１	2月10日	0	0	0	0	0	若女将	12月上旬	生育期	鳥害確認
	津市新家町２	2月10日	0	0	0	0	0	若女将	12月中旬	生育期	鳥害確認
	平　均		0.7	0	0	0	0				
	前　年		0	0	0	0	0				
	平 年（10年平均）		0	1.4	0.4	0.1	0.002				
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	2月9日	0	0	0	0	0	味春	11月10日	生育期	アオムシ確認。ムクドリ被害拡大
	前　年		0	0	0	0	0				
	平　年		0	7.4	1.9	0	0				

春キャベツ《2023年3月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病	アブラムシ類		コナガ		備考			
			発病株率（%）	寄生株率（%）	寄生度	寄生株率（%）	株当たり虫数（頭/株）	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市鈴鹿	四日市市赤水町	3月6日	0	0	0	0	0	石井	11月26日	生育期	根朽病確認
	四日市市水沢町	3月6日	6.0	0	0	0	0	若妻	10月4日	生育期	凍霜害7割
津	津市川方町１	3月2日	0	0	0	0	0	味春	12月中旬	生育期	
	津市川方町２	3月2日	0	0	0	0	0	味春	12月中旬	生育期	
	津市新家町１	3月2日	0	0	0	0	0	若女将	12月上旬	生育期	鳥害確認
	津市新家町２	3月2日	0	0	0	0	0	若女将	12月中旬	生育期	
	平　均		1.0	0	0	0	0				
	前　年		0	0	0	0.8	0.008				
	平 年（10年平均）		0.8	0.4	0.10	0.08	0.0008				
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	3月3日	0	0	0	0	0	味春	11月10日	生育期	（無防除）
	前　年		0	0	0	0	0				
	平 年（10年平均）		0	1.0	0.3	0	0				

6.青ネギ

青ネギ 《2022年4月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	草丈	その他
松阪	松阪市柿木原町	4月11日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	65cm	全面抽苔
伊勢志摩	伊勢市東豊浜町	4月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38cm	微発生：アブラムシ類
	伊勢市小俣町１	4月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55cm	
	伊勢市小俣町２	4月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70cm	収穫終期(一部抽苔)
	平　均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	前　年		3.0	0.8	0	0	0.5	0.1	0	0	0	0	5.2		
	平 年（10年平均）		0.4	0.09	0.8	0.2	1.1	0.3	0.1	0.1	0	0.03	1.7		
							（６年平均）	（６年平均）							
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	4月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75cm	微発生：アブラムシ類、一部抽苔
	前　年	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70cm	
	平 年（10年平均）		0	0	2.2	0.6	3.3	0.8	1.0	0.8	0	1.1	2.7		

青ネギ 《2022年5月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	草丈	その他
松阪	松阪市柿木原町	5月12日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–		
伊勢	伊勢市東豊浜町	5月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0.7	63cm	微発生：さび病。
	伊勢市小俣町１	5月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55cm	
	伊勢市小俣町２	5月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm	
	平　均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.2		
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.8	13.5		
	平 年（10年平均）		0	0	0.5	0.1	0.1	0.3	0	0	0.03	5.1	17.3		
							(6年平均)	(6年平均)							
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	5月12日	2.0	1.5	4.0	1.0	0	0	30.0	6.7	0	2.0	3.3	78cm	抽苔
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	平 年（10年平均）		4	1.0	12.6	6.9	0	0	6	0.3	0	12.3	28.3		

青ネギ 《2022年6月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	草丈	その他
伊勢志摩	伊勢市東豊浜町	6月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90.0	14cm	
	伊勢市小俣町１	6月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48cm	微発生：さび病･ﾈｷﾞﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ･ﾈｷﾞｱｻﾞﾐｳﾏ
	伊勢市小俣町２	6月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm	微発生：ネギハモグリバエ
	平　均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30.0		
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.1	0		
	平 年（10年平均）		0	0	3.8	1.4	0	0	0.05	0.05	0	6.7	35.4		
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	6月7日	0	0	0	0	0	0	50	6.7	1	50.0	50.0	28cm	
	前 年		0	0	0	0	0	0	10	0	0	3.3	76.0		
	平 年（10年平均）		0	0.06	7	1.8	0	0	8.3	2.6	0.02	5.0	81.0		

青ネギ 《2022年7月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	草丈	その他
伊勢志摩	伊勢市東豊浜町	7月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.7	70.0	35cm	葉先枯れ目立つ。
	伊勢市小俣町１	7月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45cm	
	伊勢市小俣町２	7月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28cm	
	平　均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.6	23.3		
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	16.7		
	平 年（10年平均）		1.0	1.4	1.0	0.6	0	0	0	1.6	0.07	4.8	25.1		
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	7月7日	0	0	0	0	0	0	0	10.0	0	50.0	90.0	40cm	
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	32.0	0	9.3	20.7		
	平 年（10年平均）		0.6	0.2	0.5	0.2	0	0	10.6	8.7	0	9.8	61.0		

青ネギ　《2022年8月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備　考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	草丈	その他
伊勢志摩	伊勢市東豊浜町	8月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	33.3	0	0	37cm	微発生：黒斑病･べと病･ﾈｷﾞﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ
	伊勢市小俣町１	8月10日	40	15.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52cm	えそ条斑病の疑いあり（5%程度）
	伊勢市小俣町２	8月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13.3	0	0	46cm	微発生：ネギコガ、えそ条斑病の疑いあり（5%程度）
	平　均		13.3	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	15.6	0	0		
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.6	0	0		
	平 年（10年平均）		0	0	0	0	0.1 (6年平均)	0.03 (6年平均)	0	0	0.4	8.4	19.2	0.1 (8年平均)	0.1 (8年平均)		
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	8月12日	20	7.5	0	0	0	0	0	10.0	0	3.3	80.0	0	0	46cm	
	前　年		6	1.5	0	0	0	0	0	4.0	0	14.7	1.3	0	0		
	平 年（10年平均）		0.9	0.2	0	0	0 (6年平均)	0 (6年平均)	0	10.5	0.03	11.2	52.2	0 (8年平均)	0 (8年平均)		

青ネギ《2022年9月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	草丈	その他
松阪	松阪市柿木原町	9月9日	4	1.0	0	0	0	0	0	10.0	2.0	66.7	0	2	2	60cm	軟腐病なし。
伊勢	伊勢市東豊浜町	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35cm	軟腐病なし。微発生：ヨトウ食害痕、生育ムラ大きい。
	伊勢市小俣町１	9月8日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60cm	軟腐病局発。微発生：えそ条斑病
	伊勢市小俣町２	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	35cm	
	平　均		1.5	0.4	0	0	0	0	0	2.5	5.5	16.7	0	0.5	0.5		
	平 年（10年平均）		0.03	0.008	0	0	0 (6年平均)	0 (6年平均)	0.02	0.1	2.6	19.9	6.6	0.2 (8年平均)	0.1 (8年平均)		
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	9月7日	2	5.0	0	0	0	0	0	0.7	0	66.7	0	6	6	50cm	
	平 年（10年平均）		0.6	0.2	0	0	0	0	0	0.4	0	38.3	37.9	0	0		

青ネギ《2022年10月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	草丈	その他
松阪	松阪市柿木原町	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	100	0	0	0	40cm	
伊勢志摩	伊勢市東豊浜町	10月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	0	0	0	0	45cm	微発生：ネギハモグリバエ シロイチモジヨトウの寄生も確認
	伊勢市小俣町１	10月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45cm	ネギ腐敗病1/150株程度確認
	伊勢市小俣町２	10月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm	ネギ腐敗病わずかに確認。
	平　均		0	0	0	0	0	0	0	0.5	0.8	25.0	0	0	0		
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0	1.1	8.9	0	0	0		
	平 年（10年平均）		0.3	0.07	0	0	0	0	0	0.2	5.4	29.0	9.2	1.8 (8年平均)	1.9 (8年平均)		
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	10月11日	6	1.5	0	0	0	0	0	0	4.7	33.3	0	4	12	55cm	
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0	4.0	40.0	0	0	0		
	平 年（10年平均）		0.06	0.01	0	0	0	0	0	0.1	1	42.0	26.8	0.6	0.9		

青ネギ《2022年11月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	草丈	その他
松阪	松阪市柿木原町	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50.0	0	0	0	40cm	微発生：ネギコガ
伊勢志摩	伊勢市東豊浜町	11月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	0	45cm	微発生：黒斑病･ネギコガ
	伊勢市小俣町１	11月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm	
	伊勢市小俣町２	11月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm	微発生：ネギコガ･ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾖﾄｳ
	平　均		0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	12.5	0	0	0		
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.3	0.7	0.2	0	0		
	平 年（10年平均）		0.2	0.05	0	0	0 (6年平均)	0 (6年平均)	0	0.03	0.6	5.6	5.6	0.04 (8年平均)	0.1 (8年平均)		
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	20.0	0	0	0	60cm	
	前　年		4	1.0	0	0	0	0	0	1.3	0	1.3	0	0	0		
	平 年（10年平均）		0.8	0.2	0	0	0	0	0	0.4	1.5	19.2	23.6	0	0		

青ネギ《2022年12月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	草丈	その他
松阪	松阪市柿木原町	12月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	1.3	0	0	65cm	葉枯病による葉先枯れやや多
伊勢志摩	伊勢市東豊浜町	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35cm	微発生：ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾖﾄｳ
	伊勢市小俣町１	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm	微発生：ﾈｷﾞﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ･ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾖﾄｳ
	伊勢市小俣町２	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm	微発生：ﾈｷﾞﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ
	平　均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.5	0.3	0	0		
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.2	0.2	0.3	0	0		
	平 年（10年平均）		0.3	0.09	0.07	0.02	0 (6年平均)	0 (6年平均)	0	0.07	0.10	0.8	4.9	0.04 (8年平均)	0.04 (8年平均)		
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	0	0	50cm	
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	2.0	0	0.7	0	0	0		
	平 年（10年平均）		0.8	0.2	0.1	0.02	0	0	0	0.2	0.05	0.8	8.1	0.05	0.05		

青ネギ 《2023年1月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		ネギアザミウマ	備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	被害葉率(%)	草丈	その他
松阪	松阪市柿木原町	1月11日	0	0	0	0	0	0	3.3	60cm	
伊勢志摩	伊勢市東豊浜町	1月12日	0	0	0	0	0	0	0	40cm	
	伊勢市小俣町１	1月12日	0	0	0	0	0	0	0	58cm	微発生：ネギコガ
	伊勢市小俣町２	1月12日	0	0	0	0	0	0	0	60cm	
	平　均		0	0	0	0	0	0	0.8		
	前　年		0	0	0	0	0	0	0		
	平 年（10年平均）		0.07	0.02	0.4	0.1	0 (6年平均)	0 (6年平均)	3.0		
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	1月11日	0	0	0	0	0	0	3.3	50cm	
	前　年		0	0	0	0	0	0	0		
	平 年（10年平均）		0	0	0	0	0	0	6.5		

青ネギ 《2023年2月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		ネギアザミウマ	備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	被害葉率(%)	草丈	その他
松阪	松阪市柿木原町	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	50cm	霜害（葉先白変）確認
伊勢志摩	伊勢市東豊浜町	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	45cm	霜害（葉先白変）確認
	伊勢市小俣町１	2月7日	0	0	4.0	1.5	0	0	0	60cm	霜害（葉先白変）確認
	伊勢市小俣町２	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	60cm	霜害（葉先白変）確認
	平　均		0	0	1.0	0.4	0	0	0		
	前　年		0	0	0	0	0	0	0.5		
	平 年（10年平均）		0	0	0.08	0.02	0 (6年平均)	0 (6年平均)	1.4		
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	2月9日	0	0	0	0	0	0	0	40cm	葉先の黄化確認
	前　年		0	0	0	0	0	0	0		
	平 年（10年平均）		0	0	0	0	0	0	1.6		

青ネギ 《2023年3月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	草丈	その他
松阪	松阪市柿木原町	3月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28cm	微発生：ネギハモグリバエ（産卵はじめ）
伊勢志摩	伊勢市東豊浜町	3月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm	
	伊勢市小俣町１	3月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm	
	伊勢市小俣町２	3月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm	
	平　均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	平 年（10年平均）		0	0	0.2	0.1	0 (6年平均)	0 (6年平均)	0	0	0	0	1.5		
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	3月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45cm	
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	平 年（10年平均）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.8		

7.白ネギ

白ネギ 《2022年6月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	備考		
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	草丈	品種	
四日市鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	6月3日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	-	未定植	
	鈴鹿市深溝町	6月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	20～25cm		
松阪	明和町佐田	6月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25cm		
	多気町三疋田	6月6日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	-	未定植	
	平　均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.0			
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20.0			
	平 年（5年平均）		0	0	0	0	0	0	0	1.4	0	0.5	34.8			
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	6月7日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–		未定植	育苗中
	前 年		0	0	0	0	0	0	4	0	0	5	87			
	平 年（5年平均）		0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	72			

白ネギ 《2022年7月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	草丈	その他
四日市鈴鹿	鈴鹿市長澤町	7月4日	4	10.0	2	5.0	0	0	0	0	0	0.7	0.7	50cm	えそ条斑病、軟腐病確認。
	鈴鹿市深溝町	7月4日	2	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm	
松阪	明和町佐田	7月11日	14	35.0	0	0	0	0	0	0	0	0	83.3	49cm	
	多気町三疋田	7月11日	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–		未定植。
	平　均		6.7	16.7	0.7	1.7	0	0	0	0	0	0.2	28.0		
	前　年		0.5	1.3	0	0	0	0	0	0	0	0.7	13.3		
	平　年（5年平均）		1.0	2.5	0.3	0.7	0	0	0	3.1	0	1.1	25.4		
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	7月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30.0	0	28cm	
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	30.0	0	7.3	18.7		
	平　年（5年平均）		0.4	0.4	6	15.0	0	0	0	8.8	0	9.9	67.1		

白ネギ 《2022年8月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備　考		
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	草丈	品種	その他
鈴鹿	鈴鹿市長澤町	8月4日	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	60～70cm	夏扇4号	
	鈴鹿市深溝町	8月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	34.0	0	0	60～70cm	関羽	微発生：べと病
松阪	明和町佐田	8月5日	50.0	22.5	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0	0	0	55cm	夏扇3号	微発生：ネギコガ、ﾈｷﾞﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ
	多気町下出江	8月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53cm	龍翔	微発生：黒斑病、ﾈｷﾞﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ
	平　均		12.5	5.6	0	0	0	0	0	0	0	0.2	33.5	0	0			
	前　年		1	2.5	0	0	0	0	0	0	0.3	0.2	12.3	0	0			
	平　年（5年平均）		2.1	5.4	0	0	0	0	0.1	0	0.3	3.5	18.3	0	0			
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	8月12日	10	25	0	0	0	0	0	0	0	50	10.0	0	0	47cm	夏扇4号	
	前　年		4	10	0	0	0	0	0	3	0	7	2.0	0	0	30cm		
	平　年（5年平均）		0.8	2	0	0	0	0	0	0.7	0	1.3	34.4	0	0			

白ネギ 《2022年9月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備　考		
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	草丈	品種	その他
鈴鹿	鈴鹿市長澤町	9月7日	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0	0	60cm	夏扇4号	葉はきれいだが白絹病と軟腐病がほぼ全体で発生。微発生：ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ
	鈴鹿市深溝町	9月7日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0	0	60cm	夏扇	軟腐病散発的に発生。白絹病例年と同じ場所で場所で発生。微発生：ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ・ﾈｷﾞﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ、
松阪	明和町佐田	9月9日	80.0	22.5	0	0	0	0	0	0	0	20.0	20	0.0	0.0	75cm	元禄	軟腐病散見（1/15程度）。
	多気町下出江	9月9日	100	40	0	0	0	0	0	0	0	3.3	0.0	0	0	60cm	龍翔	軟腐病なし。ハスモンヨトウ食害痕あり。
	平　均		45.5	15.8	0	0	0	0	0	0	0.0	5.8	5.0	0	0			
	平　年（4年平均）		1.7	4.3	0	0	0.8	0	0.2	0.3	1.0	21.5	14.4	0.1	0.1			
県予察ほ	松阪市嬉野川北町（場内）	9月7日	2	5	0	0	0	0	0	0.0	0.0	66.7	0.0	0	0	50cm	石倉一本太	
	平　年（5年平均）		0.6	1.5	0	0	0	0	0	2.0	0	34.4	56.7	0	0			

白ネギ 《2022年10月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率	被害葉率	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率	寄生株率(%)	被害株率(%)	草丈	
四日市鈴鹿	鈴鹿市長澤町	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50.0	0	0	0	65cm	微発生：黒斑病、アブラムシ類。白絹病、軟腐病かなり減少。
	鈴鹿市深溝町	10月5日	10.0	2.5	0	0	0	0	0	0	0	50.0	0	0	0	60cm	微発生：白絹病
松阪	明和町佐田	10月6日	10	2.5	0	0	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	60cm	
	多気町下出江	10月6日	80	30	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	70cm	全面で葉枯症発生（ｽﾎﾟﾄﾘｱｽ属菌）
	平　均		25	8.8	0	0	0	0	0	0	0	50.2	0	0	0	-	
	前　年		17.5	4.4	0	0	0	0	0	0	1.2	18.5	0	0	0		
	平　年（5年平均）		0	0	0	0	0	0	0	0.4	9	13.8	1.8	1.7	2.1		
県予察ほ	松阪市嬉野川北町（場内）	10月11日	0	0	0	0	0	0	0	0.7	2.7	13.3	0.0	0	6	51cm	
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	53.3	0	0	0		
	平　年（5年平均）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	60.9	36.7	0	0		

白ネギ《2022年11月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	草丈	その他
四日市鈴鹿	鈴鹿市長澤町	11月8日	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	50cm	微発生：ネギコガ
	鈴鹿市深溝町	11月8日	10	3.5	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	60cm	外葉にﾈｷﾞﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ被害葉残る。
松阪	明和町佐田	11月14日	10.0	2.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55cm	黒斑病葉先に多い。微発生：ﾈｷﾞﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ（10月からかなり改善）
	多気町下出江	11月14日	10.0	2.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68cm	葉枯症10月より改善。微発生：ﾈｷﾞﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ
	平　均		8.5	2.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
	前　年		4.0	10.0	0	0	0	0	0	0.2	0	5.3	0.2	0	0		
	平 年（5年平均）		5.24	11.45	0	0	0	0	0	0.03	0.0	8.2	7.2	0	0		
県予察ほ	松阪市嬉野川北町（場内）	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	20.0	0.0	0	0	50cm	
	前　年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	13.3	0.7	0	0		
	平 年（5年平均）		0.4	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	26.8	30.0	0.0	0.0		

白ネギ《2022年12月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	被害葉率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	草丈	その他
四日市鈴鹿	鈴鹿市長澤町	12月7日	50.0	12.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60cm	
	鈴鹿市深溝町	12月7日	30.0	7.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70cm	
松阪	明和町佐田	12月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	0	0	70cm	葉枯病約8割、微発生：ネギハモグリバエ
	多気町下出江	12月13日	90.0	25.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70cm	
	平　均		42.5	11.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0.5	0	0		
	前　年		3	7.5	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.2	0	0		
	平 年（5年平均）		6.4	16.1	0	0	0	0	0	0	0	2.7	6.3	0	0		
県予察ほ	松阪市嬉野川北町（場内）	12月9日	4.0	1.0	0	0	0	0	0	1.3	0	0	23.3	0	0	50cm	ネギコガ蛹確認
	前　年		2.0	5.0	0	0	0	0	0	0.0	0	1	0.7	0	0		
	平 年（5年平均）		0.4	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0.9	10.8	0	0		

白ネギ《2023年1月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		ネギアザミウマ	備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	被害葉率(%)	草丈	その他
四日市鈴鹿	鈴鹿市長澤町	1月10日	4.0	1.0	0	0	0	0	0	70cm	
	鈴鹿市深溝町	1月10日	0	0	0	0	0	0	0	50cm	
松阪	明和町佐田	1月11日	0.0	0.0	0	0	0	0	2.0	70cm	外葉に葉枯病残る
	多気町下出江	1月11日	10.0	2.5	0	0	0	0	0	60cm	
	平　均		3.5	0.9	0	0	0	0	0.5		
	前　年		0.7	1.7	0	0	0	0	0		
	平 年（5年平均）		0.1	0.3	0	0	0	0	5.9		
県予察ほ	松阪市嬉野川北町（場内）	1月11日	0	0	0	0	0	0	6.7	53cm	
	前　年		0	0	0	0	0	0	8.7		
	平 年（5年平均）		0	0	0	0	0	0	11.2		

白ネギ《2023年2月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		ネギアザミウマ	備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	被害葉率(%)	草丈	その他
四日市鈴鹿	鈴鹿市長澤町	—	–	–	–	–	–	–	–		収穫終了
	鈴鹿市深溝町	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	65cm	微発生：さび病
松阪	明和町佐田	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	70cm	葉先枯れ確認
	多気町下出江	—	–	–	–	–	–	–	–		収穫終了
	平　均		0	0	0	0	0	0	0		
	前　年		0	0	0	0	0	0	0		
	平 年（5年平均）		0	0	0	0	0	0	3.9		
県予察ほ	松阪市嬉野川北町（場内）	2月9日	0	0	0	0	0	0	0	48cm	霜害（葉先白変）確認
	前　年		0	0	0	0	0	0	0		
	平 年（5年平均）		0	0	0	0	0	0	2.0		

3. 気象データ

(1)気象概況(津地方気象台)

月	旬	気温	降水量	日照時間	備　　考
2022 1	上	□	▲	○	高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
	中	△	□	□	寒気や気圧の谷の影響により雨や雪が降った。
	下	□	□	□	天気は前半は周期的に変化した。後半は概ね晴れた。
2	上	□	△	□	冬型の気圧配置となり晴れた日が多かった。
	中	□	□	○	雨の降った日もあったが、晴れた日が多かった。
	下	△	▲	●	前半は寒気の影響を受け、後半は晴れた日が多かった。
3	上	□	△	□	高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
	中	●	○	○	高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
	下	○	□	△	天気は周期的に変化した。
4	上	○	▲	●	前半は雨の日が降り、その後晴天が多かった。
	中	●	□	△	天気は数日の周期的で変化した。
	下	●	○	▲	天気は周期的に変化した。雨の降った日が多かった。
5	上	△	△	○	降雨はあったものの、晴れた日が多かった。
	中	□	○	△	雨の降った日が多かった。その後曇の日が多かった。
	下	○	○	○	天気は数日の周期的で変化した。真夏日を観測した。
6	上	□	○	●	降雨はあったものの、晴れた日が多かった。
	中	△	□	□	曇りや雨の日が多かった。6/14 東海地方梅雨入り。
	下	●	△	●	前半は曇雨天、後半は晴天。猛暑日観測。
7	上	○	□	□	晴れた日もあったが、曇りや雨の日もあった。
	中	□	□	△	雨や曇りの日が多かった。日照時間は少なくなった。
	下	□	□	●	晴天の日が多かった。7/23 東海地方梅雨明け。
8	上	□	●	□	初め晴れたものの、その後雨や雷雨となった所があった。
	中	□	○	△	晴天もあったが、台風 8 号等により曇雨天の日が多かった。
	下	□	□	△	曇りや雨の日が多かった。猛烈な雨が降った所もあった。
9	上	○	○	△	雨や曇りの日が多かった。
	中	●	□	○	前半は概ね晴天。後半は台風 14 号により雨天が多かった。
	下	□	○	□	天気は周期的に変化した。台風 15 号により大雨となった。
10	上	□	□	△	前半は晴天が多く、後半は曇りや雨の日が多かった。
	中	□	△	○	晴天の日が多かった。
	下	△	▲	●	晴天の日が多かった。
11	上	□	□	●	初め雨となったが、のち、晴天となった。
	中	○	□	○	天気は周期的に変化した。晴天の日が多かった。
	下	●	○	△	天気は周期的に変化した。平均気温は高かった。
12	上	□	▲	□	晴天の日が多かった。津で 12/3 初霜を観測した。
	中	□	△	□	天気は周期的に変化。津で 12/18 初雪・12/19 初氷を観測。
	下	△	△	□	天気は周期的に変化。雨や雪が降った日があった。

気　温:　▲かなり低い　△低い　□平年並　○高い　●かなり高い

降水量:　▲かなり少ない　△少ない　□平年並　○多い　●かなり多い

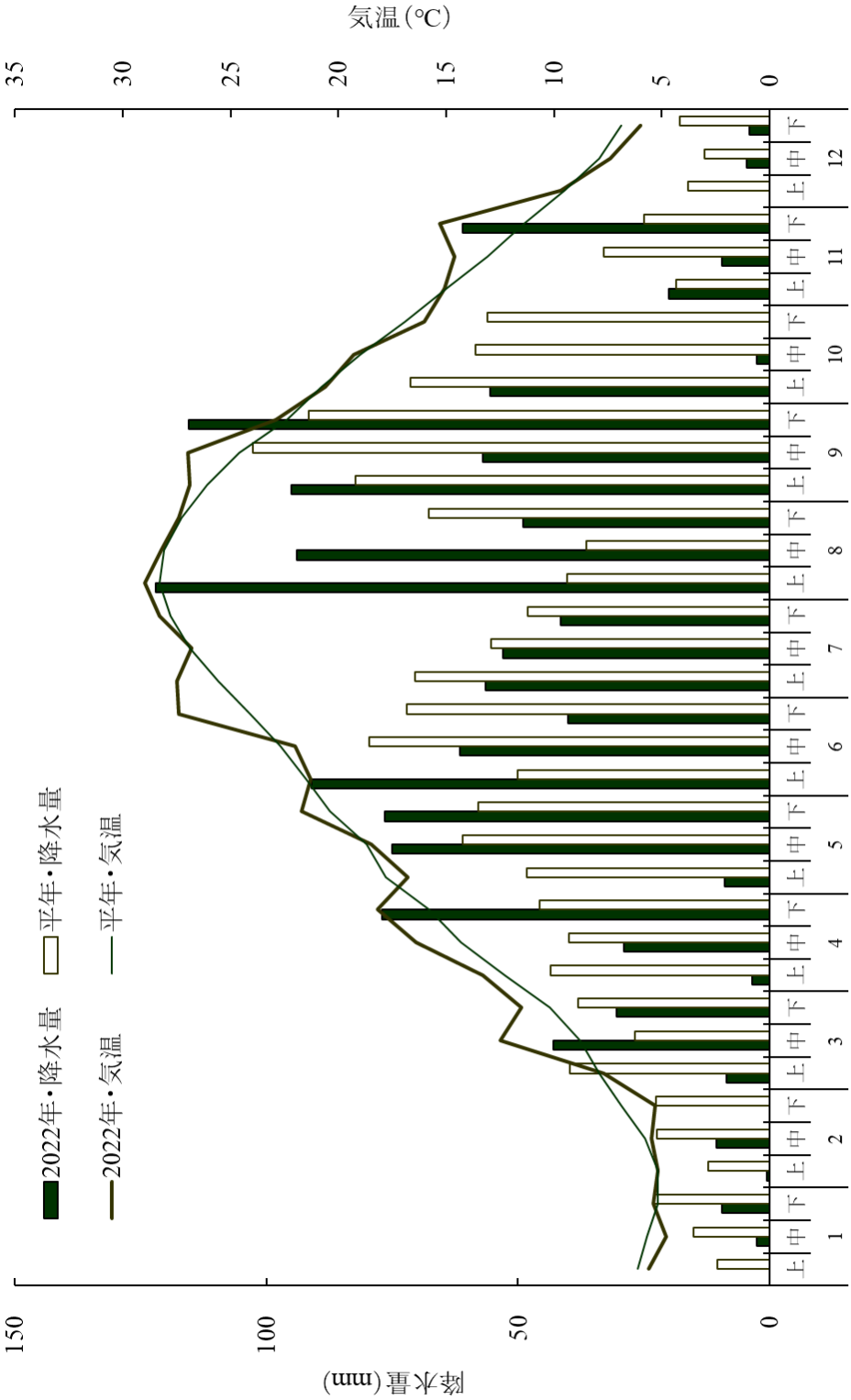
日　照:　▲かなり少ない　△少ない　□平年並　○多い　●かなり多い

(2) 旬別気象表（津地方気象台）

月	旬	平均気温(℃)		降水量(mm)		日照時間(h)	
		2022年	平年	2022年	平年	2022年	平年
1	上	5.6	6.1	0.0	10.4	63.5	53.9
	中	4.8	5.7	2.5	15.1	53.7	52.8
	下	5.4	5.2	9.5	23.0	59.5	56.2
2	上	5.2	5.2	0.5	12.2	50.0	54.4
	中	5.5	5.8	10.5	22.4	61.4	53.9
	下	5.3	6.9	0.0	22.6	60.5	48.6
3	上	7.7	7.9	8.5	39.7	61.6	56.6
	中	12.5	8.8	43.0	26.7	71.0	63.2
	下	11.5	10.2	30.5	38.1	46.7	66.4
4	上	13.3	12.3	3.5	43.5	89.7	63.1
	中	16.4	14.3	29.0	39.8	57.9	63.8
	下	18.2	15.8	77.0	45.8	38.6	65.8
5	上	16.8	17.8	9.0	48.2	69.0	61.3
	中	18.5	18.7	75.0	61.1	33.1	63.8
	下	21.7	20.4	76.5	58.0	87.5	72.7
6	上	21.3	21.5	91.0	50.1	76.3	59.5
	中	22.0	22.7	61.5	79.6	39.5	47.5
	下	27.4	24.1	40.0	72.1	80.0	39.9
7	上	27.5	25.6	56.5	70.4	54.1	47.3
	中	26.8	26.9	53.0	55.4	42.1	56.8
	下	28.3	27.8	41.5	48.1	102.5	76.1
8	上	29.0	28.3	122.0	40.3	72.8	76.6
	中	28.2	28.1	94.0	36.4	54.3	72.0
	下	27.4	27.3	49.0	67.8	47.2	72.1
9	上	26.9	26.1	95.0	82.3	39.3	60.4
	中	27.0	24.6	57.0	102.8	71.9	55.3
	下	22.9	22.4	115.5	91.6	51.5	49.6
10	上	20.6	20.8	55.5	71.4	38.3	48.9
	中	19.3	19.0	2.5	58.5	69.0	55.2
	下	16.0	16.9	0.0	56.1	83.3	60.5
11	上	15.1	15.0	20.0	18.5	79.6	56.8
	中	14.6	13.1	9.5	32.9	65.2	53.2
	下	15.3	11.4	61.0	25.0	40.9	53.7
12	上	9.7	9.5	0.0	16.3	61.3	56.1
	中	7.4	7.9	4.5	13.0	58.7	55.4
	下	6.0	6.9	4.0	17.9	63.0	59.9

※平年値は、1991年から2020年までの30年間による地上気象観測での値。
※気象庁発表「気象統計情報」より作成。

(3) 気象グラフ



令和4年　旬別気温と降水量(津地方気象台・地上気象観測)

令和４年度植物防疫年報

発行 2024 年 ２月 １日
三重県病害虫防除所

〒515-2316
三重県松阪市嬉野川北町 530
Tel　0598-42-6365
Fax　0598-42-7568